

**環境に関する県民等意識調査
報告書**

**平成28年7月
岡山県**

目次

第1章 調査概要

1 調査目的	1
2 調査内容	1
(1) 県民調査	1
(2) 事業所調査	1
3 調査設計	2
(1) 県民調査	2
(2) 事業所調査	2
4 回収結果	2
(1) 県民調査	2
(2) 事業所調査	2
5 標本誤差	4
6 報告書の見方	5

第2章 県民調査結果

1 回答者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 家族人数	7
(4) 居住年数	8
(5) 居住形態	8
(6) 居住地域	8
2 現在の環境に対する実感について	9
(1) 身近な環境の状況	9
3 環境に配慮した日常生活の行動について	13
(1) 日頃の行動について	13
4 環境問題に対する考え方について	18
(1) 環境問題に対する考え方や意見	18
5 関心のある環境問題について	22
(1) 関心のある環境問題	22
6 活動すべき主体について	27
(1) 環境保全活動を進めるために活動すべき主体について	27
7 環境と企業活動について	31
(1) 環境保全活動を進めるために、企業に望むこと	31

8	環境学習や環境保全活動への参加について	35
	(1) 参加経験がある環境保全に関する学習会や活動	35
	(2) 今後の参加意向	39
	(3) 参加したことがない理由	40
	(4) 環境保全活動を行う民間団体に参加することについて	42
9	環境情報について	45
	(1) 環境に関する情報の入手方法／入手程度	45
	(2) 環境問題に関する情報の関心度	48
	(3) 環境問題に関する情報の満足度	52
10	行政に期待することについて	58
	(1) 自主的な環境配慮への取組を推進していくため、行政に期待すること	58
11	岡山県の取組状況について	62
	(1) 岡山県が行う施策の重要度・満足度	62
12	岡山県の将来像について	68
	(1) 2020年頃の環境はどのようにあるべきか	68
13	環境に関する言葉の認知度	71
	(1) 環境に関する言葉の認知度	71
14	自由意見	81
	(1) 自由意見	81

第3章 事業所調査結果

1	回答者の属性	91
	(1) 本社／支社（支店・営業所）区分	91
	(2) 業種	91
	(3) 事業所の主な形態	92
	(4) 従業員数（パートの人数を含む）	92
2	環境保全への取組等について	93
	(1) 経営方針における環境保全に関する項目の設定の有無	93
	(2) 環境保全に関する具体的な行動方針の設定と対策の実施	95
	(3) 環境保全対策の目的や動機	99
	(4) 積極的に環境保全対策を進めるための条件	101
	(5) 環境保全に配慮するための部署等の有無	102
	(6) 従業員に対する環境教育の形態	106
	(7) 環境保全への取組と事業収益との関係	110
	(8) 年間の環境保全対策費	113

(9) 製品やサービスの価格に、環境保全対策上の経費等を含めた 販売の可否	116
(10) 環境マネジメントシステムの取組状況	119
(11) 環境マネジメントシステムの形態	124
(12) 環境マネジメントシステムの認証取得による効果	125
(13) 環境に配慮した取組の実施状況	126
(14) 環境に配慮した取組を実施していない要因	130
(15) 環境保全を進めるために活動すべき主体	134
(16) 環境に関する社会貢献活動の実施の有無	138
(17) 実施している社会貢献活動	140
(18) 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場への参加意向	142
(19) 環境ビジネスの重要性	145
(20) 環境ビジネスの進展のために行政に望むこと	148
(21) 環境保全への取組を推進していくために行政に期待すること	149
(22) 2020年頃の環境はどのようにあるべきか	154
(23) 岡山県が進めている取組の認知度	158
(24) 法律や条例による環境規制についての考え方	175
3 自由意見	178
(1) 自由意見	178

第4章 主要施策別の調査結果 181

1 地域から取り組む地球環境の保全	182
2 循環型社会の形成	195
3 安全な生活環境の確保	201
4 自然と共生した社会の形成	208
5 参加と協働による快適な環境の保全	213
6 環境と経済が好循環する仕組みづくり	223

<参考資料>

1 調査票（県民版）	235
2 調査票（事業所）	249

第 1 章 調査概要

第1章 調査概要

1 調査目的

新岡山県環境基本計画エコビジョン 2020（以降、エコビジョンと略す）の見直しにあたり、県民の環境保全意識の変化や県民ニーズを調査し、同計画に掲げる主要施策・重点プログラムの見直しのための基礎資料とする。

2 調査内容

（1）県民調査

- ① 現在の環境に対する実感について
- ② 環境に配慮した日常生活の行動について
- ③ 環境問題に対する考え方について
- ④ 関心のある環境問題について
- ⑤ 活動すべき主体について
- ⑥ 環境と企業活動について
- ⑦ 環境学習や環境保全活動への参加について
- ⑧ 環境情報について
- ⑨ 行政に期待することについて
- ⑩ 岡山県の取組状況について
- ⑪ 岡山県の将来像について
- ⑫ 環境に関する言葉の認知度

（2）事業所調査

- ① 環境保全への取組等について

3 調査設計

(1) 県民調査

- ① 調査地域 岡山県全域
- ② 調査対象 20歳以上の県内住居者
- ③ 標本数 2,500
- ④ 抽出法

・市区町村毎の20歳以上の人口比率により、市区町村毎の対象人数及び対象地区数を定める。

※市区町村毎のサンプル数を確保するため、各市区町村で少なくとも5人を抽出するよう抽出人数を調整した。

・市区町村の大字を無作為抽出（国勢調査に係る調査地区一覧表を活用）。

・住民基本台帳を閲覧し、大字毎に対象者を無作為抽出。

- ⑤ 調査方法 郵送配布－郵送回収（礼状兼督促はがき1回送付）
- ⑥ 調査期間 平成28年5月13日～6月9日

(2) 事業所調査

- ① 調査地域 岡山県全域
- ② 調査対象 従業員数30人以上の県内の事業所
- ③ 標本数 500
- ④ 抽出の手順

・経済センサス基礎調査において、常時雇用者数30名以上の事業場を抽出。

・産業分類毎に抽出事業者数を比重配分により決定。

・産業分類毎に、乱数を用い無作為に抽出。

- ⑤ 調査方法 郵送配布－郵送回収（礼状兼督促はがき1回送付）
- ⑥ 調査期間 平成28年5月18日～6月9日

4 回収結果

(1) 県民調査

- ① 標本数 2,500
- ② 回答数（率） 1,372（54.9%）
- ③ 有効回答数（率） 1,335（53.4%）

(2) 事業所調査

- ① 標本数 500
- ② 回答数（率） 237（47.4%）
- ③ 有効回答数（率） 223（44.6%）

※本調査における有効回答数とは、属性に対する全ての質問に回答していた調査票の数としている。

県民のアンケート項目にある「お住まいの市町村」の結果は、回答者の居住する自治体をもとに、県民局と地域事務所の所管区域ごとに再集計した。なお、地域事務所の所管区域に含まれている自治体は、県民局の所管区域に含まないこととした。

○地域別回収結果

地域区分	20歳以上の人口	回収数
備前県民局	744,915	629
備中県民局	623,148	558
美作県民局	187,288	148
計	1,555,351	1,335

○地域区分と該当する自治体名

地域区分	当該自治体
備前県民局	岡山市、玉野市、吉備中央町、瀬戸内市、備前市、赤磐市、和気町
備中県民局	倉敷市、総社市、早島町、井原市、笠岡市、浅口市、里庄町、矢掛町、高梁市、新見市
美作県民局	津山市、鏡野町、美咲町、久米南町、真庭市、新庄村、美作市、奈義町、勝央町、西粟倉村

5. 標本誤差

本調査は抽出調査であるため、母集団（20歳以上の全県民）に対して標本誤差が生じる。統計学的には、次式で標本誤差率を計算して、母集団の回答を推測する。

■計算式

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N…母集団の大きさ（平成27年10月1日時点20歳以上人口 1,555,351人）

n…サンプル数（有効回答数 1,335件）

p…回答の比率（%）（誤差が最大となる50%と設定）

危険率 5%（信頼度 95%）

信頼度95%の場合の標準偏差=1.96

注）信頼度95%：100回同じ調査を実施したときに、概ね95回まではこの精度が得られることを示す。

■標本誤差の数値

上記の計算から計算した誤差率は下記の表である。例えば、ある設問の回答率が50%であった場合、その回答比率は±2.68の誤差があることを示している。

標本誤差早見表

	N 母集団数	n 回答者数	P 回答の比率										
			50%	45% 55%	40% 60%	35% 65%	30% 70%	25% 75%	20% 80%	15% 85%	10% 90%	5% 95%	
全体	1,555,351	1,335	2.68	2.67	2.63	2.56	2.46	2.32	2.14	1.91	1.61	1.17	
性別	男性	732,376	552	4.17	4.15	4.09	3.98	3.82	3.61	3.34	2.98	2.50	1.82
	女性	822,975	783	3.50	3.48	3.43	3.34	3.21	3.03	2.80	2.50	2.10	1.53
年齢別	20代	186,705	100	9.80	9.75	9.60	9.35	8.98	8.48	7.84	7.00	5.88	4.27
	30代	220,701	124	8.80	8.75	8.62	8.39	8.06	7.62	7.04	6.28	5.28	3.84
	40代	257,487	215	6.68	6.65	6.55	6.37	6.12	5.79	5.34	4.77	4.01	2.91
	50代	220,673	235	6.39	6.36	6.26	6.1	5.86	5.53	5.11	4.56	3.83	2.79
	60代	276,330	318	5.49	5.46	5.38	5.24	5.03	4.76	4.39	3.92	3.30	2.39
	70歳以上	393,455	343	5.29	5.26	5.18	5.05	4.85	4.58	4.23	3.78	3.17	2.31
地域別	備前県民局管内	744,915	629	3.91	3.89	3.83	3.73	3.58	3.38	3.12	2.79	2.34	1.70
	備中県民局管内	623,148	558	4.15	4.13	4.06	3.96	3.80	3.59	3.32	2.96	2.49	1.81
	美作県民局管内	187,288	148	8.05	8.01	7.89	7.68	7.38	6.97	6.44	5.75	4.83	3.51

（注）母集団数（N）は、「毎月流動人口調査 年齢5歳階級別男女別人口（平成27年10月1日現在）」の20歳以上人口

6 報告書の見方

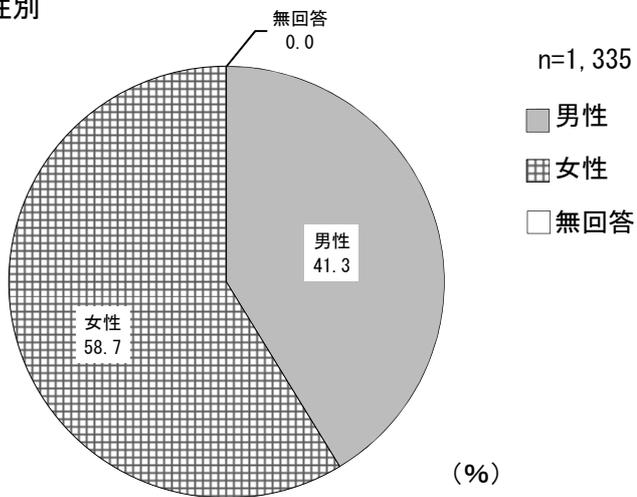
- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。
- (4) 文字数が多い選択肢については、意味を損なわない程度に選択肢を省略しているものがある。
- (5) 結果を記載する際において、回答数が少ない項目については、結果から省いてある。
- (6) 本調査の結果は前回の調査である平成24年度の調査結果と比較することを想定していたため、調査を行った各項目は基本的に質問事項を変更しなかった。しかし、環境問題の多様化に応じるなどの必要性があるため、質問事項を変更、または新規に追加した質問も存在する。そのような質問には、注釈を追記している。
- (7) 平成19年度調査は集計時に補正をかけているため、回答数は実際の回答数(n=1,506)を上回っている。今回は、補正後の回答数(n=7,700)で比較を行っている。

第2章 県民調査結果

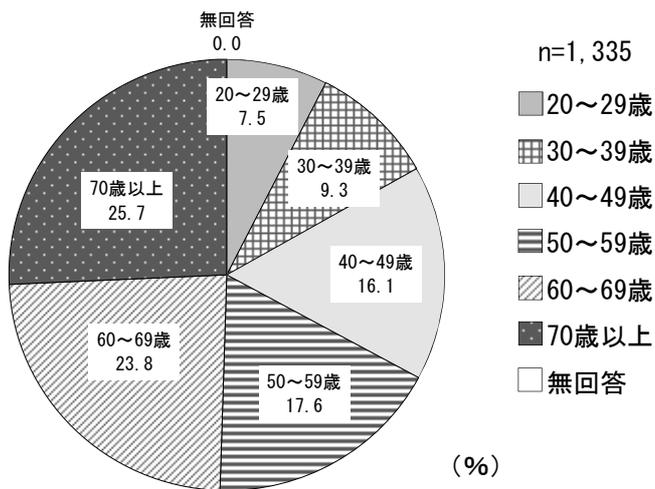
第2章 県民調査結果

1 回答者の属性

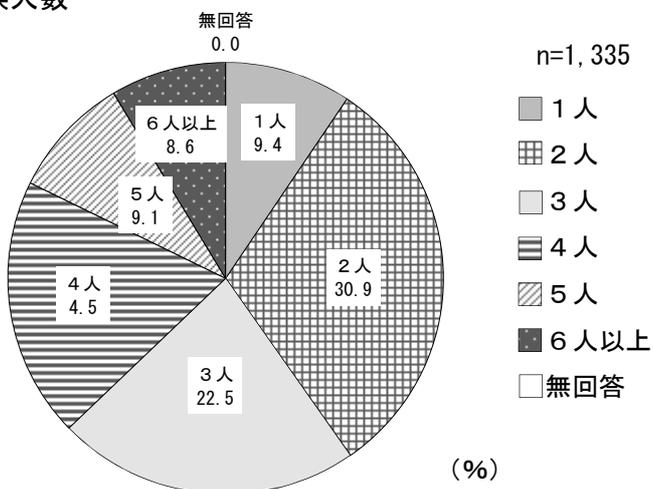
(1) 性別



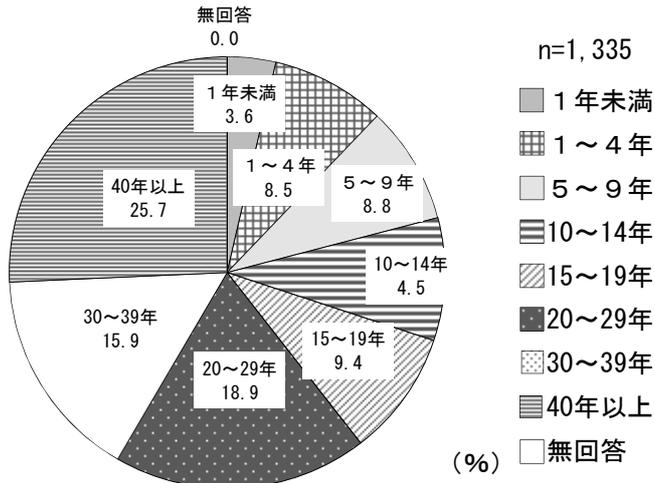
(2) 年齢



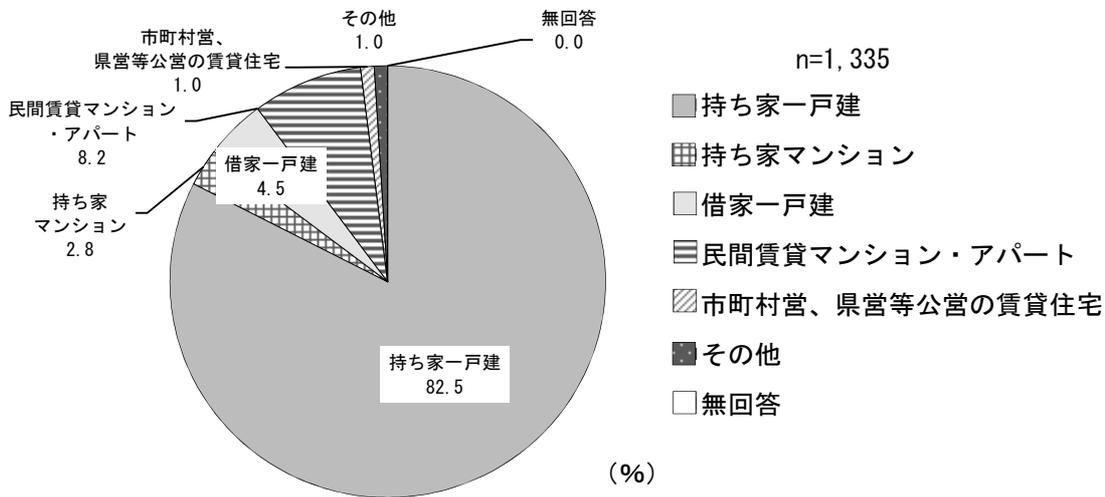
(3) 家族人数



(4) 居住年数



(5) 居住形態



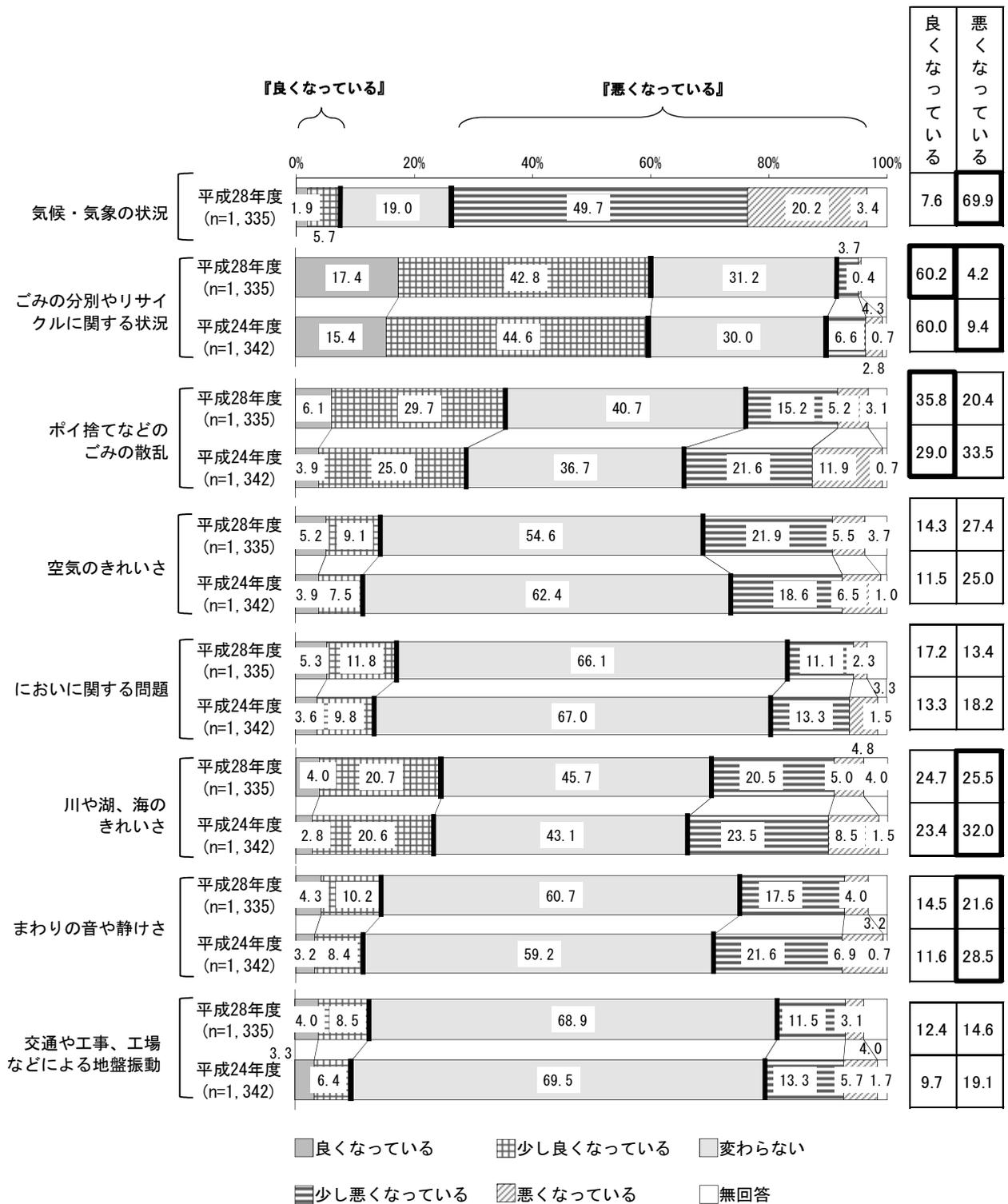
(6) 居住地域

市町村	回答数	構成割合 (%)	市町村	回答数	構成割合 (%)	市町村	回答数	構成割合 (%)			
備前県民局管内	岡山市北区	223	16.7	備中県民局管内	倉敷市	338	25.3	美作県民局管内	津山市	57	4.3
	岡山市中区	96	7.2		笠岡市	49	3.7		真庭市	23	1.7
	岡山市東区	57	4.3		井原市	31	2.3		美作市	16	1.2
	岡山市南区	111	8.3		総社市	39	2.9		新庄村	3	0.2
	玉野市	41	3.1		高梁市	23	1.7		鏡野町	14	1.0
	備前市	25	1.9		新見市	23	1.7		勝央町	8	0.6
	瀬戸内市	22	1.6		浅口市	30	2.2		奈義町	7	0.5
	赤磐市	34	2.5		早島町	8	0.6		西粟倉村	4	0.3
	和気町	12	0.9		里庄町	7	0.5		久米南町	5	0.4
	吉備中央町	8	0.6		矢掛町	10	0.7		美咲町	11	0.8
									無回答	0	0.0
						計	1,335	100.0			

2 現在の環境に対する実感について

(1) 身近な環境の状況

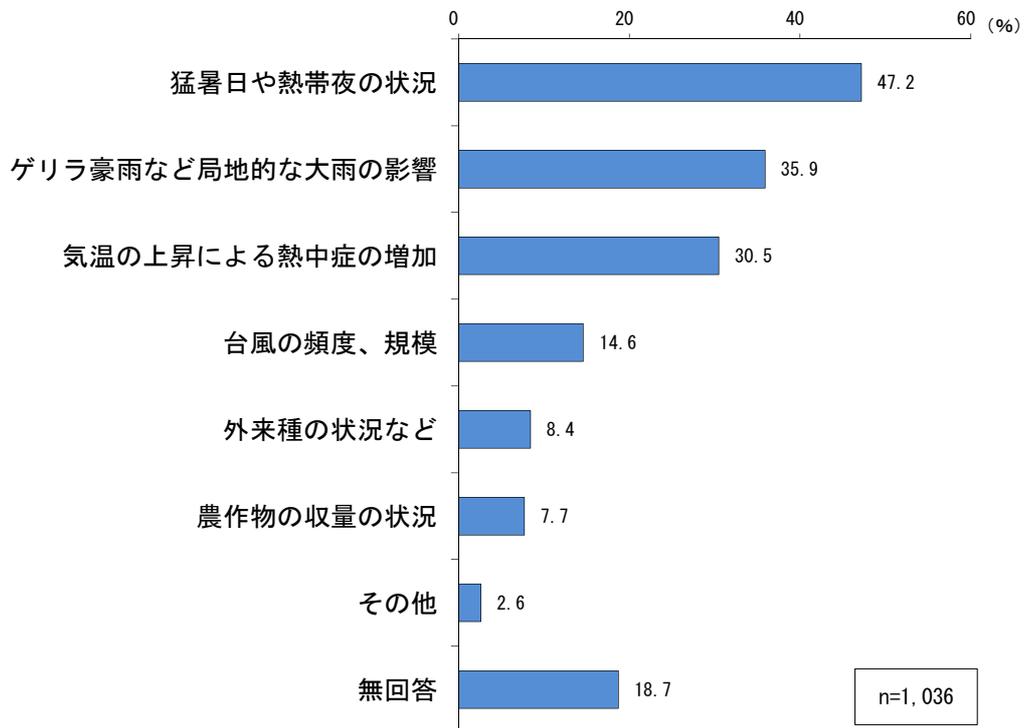
問1 あなたは、近年、身近な環境の状況についてどのような実感をお持ちですか？
各項目について、1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。



	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『良くなっている』（「良くなっている」と「少し良くなっている」を合わせた割合）との回答は「ごみの分別やリサイクルに関する状況」で約6割、「ポイ捨てなどのごみの散乱」で3割台半ば、「まち並みなどの景観」、「落書きがないなど、まちの快適さ」で3割前後と高くなっている。 ・『悪くなっている』（「悪くなっている」と「少し悪くなっている」を合わせた割合）との回答は「気候・気象の状況」で約7割、「鳥や昆虫、魚、草木などの動植物の豊富さ」で約4割と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『良くなっている』との回答は「ポイ捨てなどのごみの散乱」で平成28年度（35.8%）が平成24年度（29.0%）から6.8ポイント、「重金属や油による土壌汚染」で平成28年度（17.3%）が平成24年度（11.5%）から5.8ポイント、「まち並みなどの景観」で平成28年度（29.2%）が平成24年度（23.3%）から5.9ポイント、「落書きがないなど、まちの快適さ」で平成28年度（31.1%）が平成24年度（22.7%）から8.3ポイント増加している。 ・『悪くなっている』との回答は「ごみの分別やリサイクルに関する状況」で平成28年度（4.2%）が平成24年度（9.4%）から5.2ポイント、「川や湖、海のきれいさ」で平成28年度（25.5%）が平成24年度（32.0%）から6.5ポイント「まわりの音や静けさ」で平成28年度（21.6%）が平成24年度（28.5%）から7.0ポイント、「鳥や昆虫、魚、草木などの動植物の豊富さ」で平成28年度（37.1%）が平成24年度（52.5%）から15.4ポイント、「森林や公園などの緑」で平成28年度（18.4%）が平成24年度（23.7%）から5.3ポイント減少している。

問1-1 問1の(1)で3.「変わらない」以外を答えた方にお聞きします。

気候・気象の状況について、特に実感している事柄を選んで、○をつけてください。

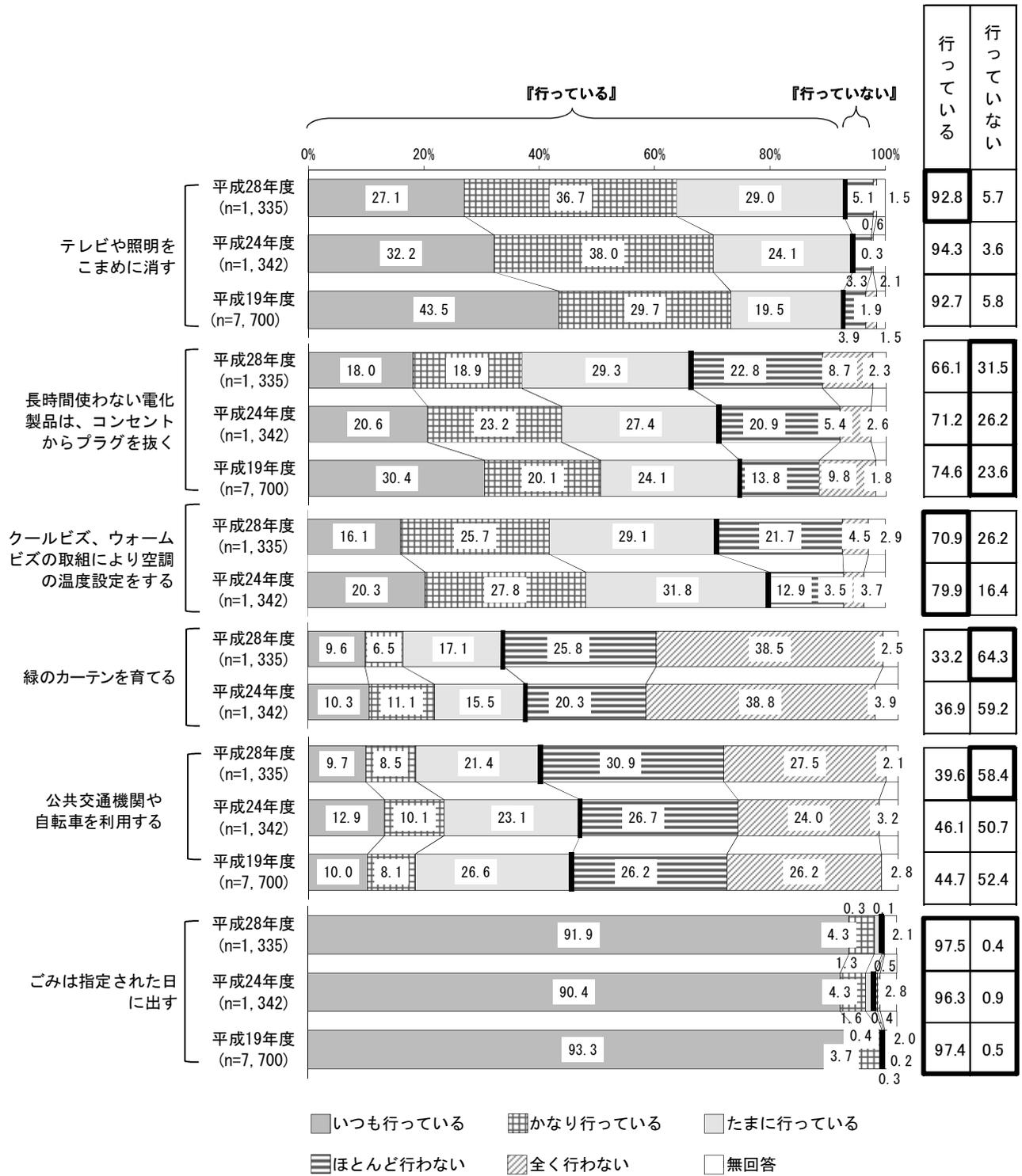


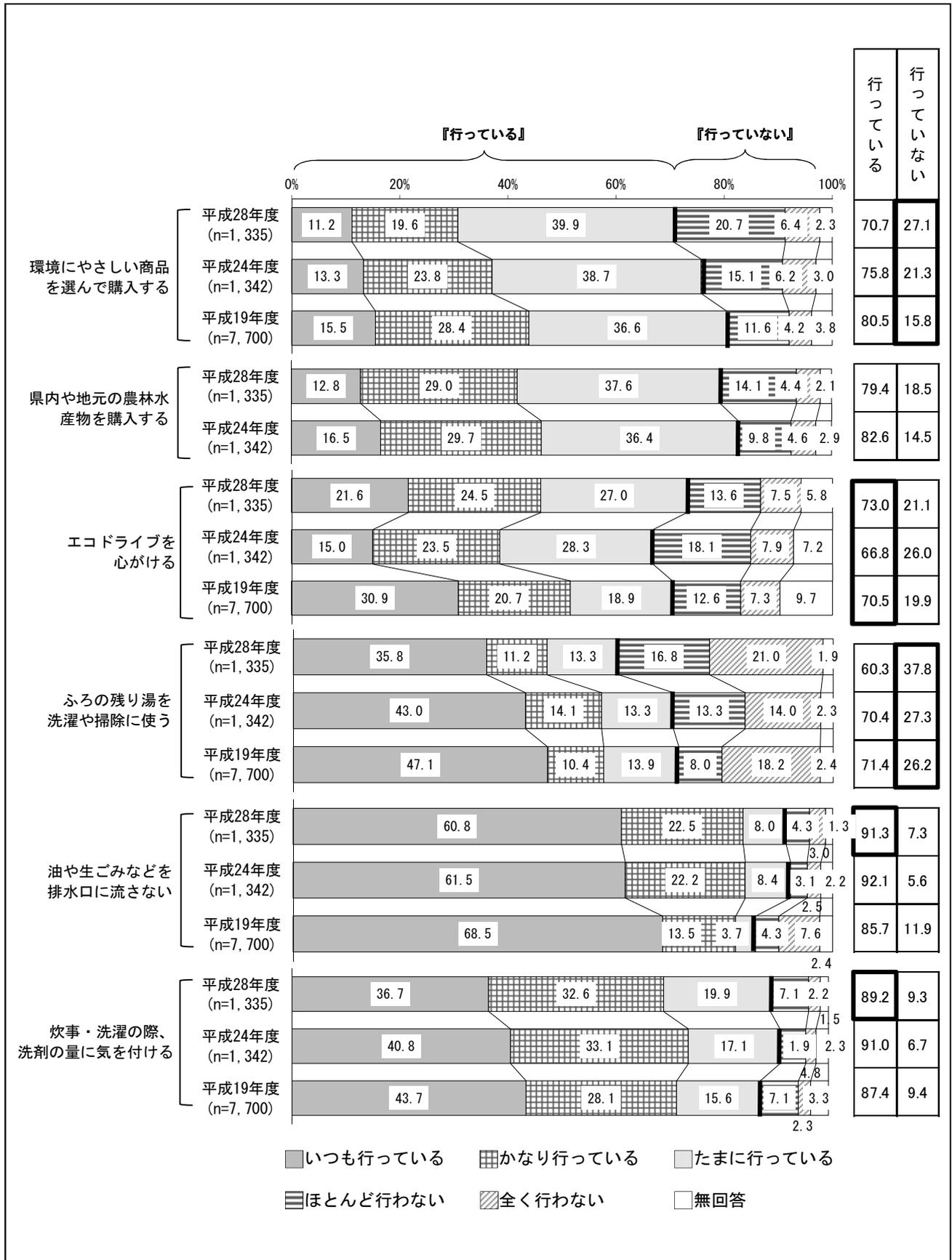
結果の要点	
全体	・「猛暑日や熱帯夜の状況」との回答が47.2%と最も高く、「ゲリラ豪雨など局地的な大雨の影響」(35.9%)、「気温の上昇による熱中症の増加」(30.5%)などの順となっている。

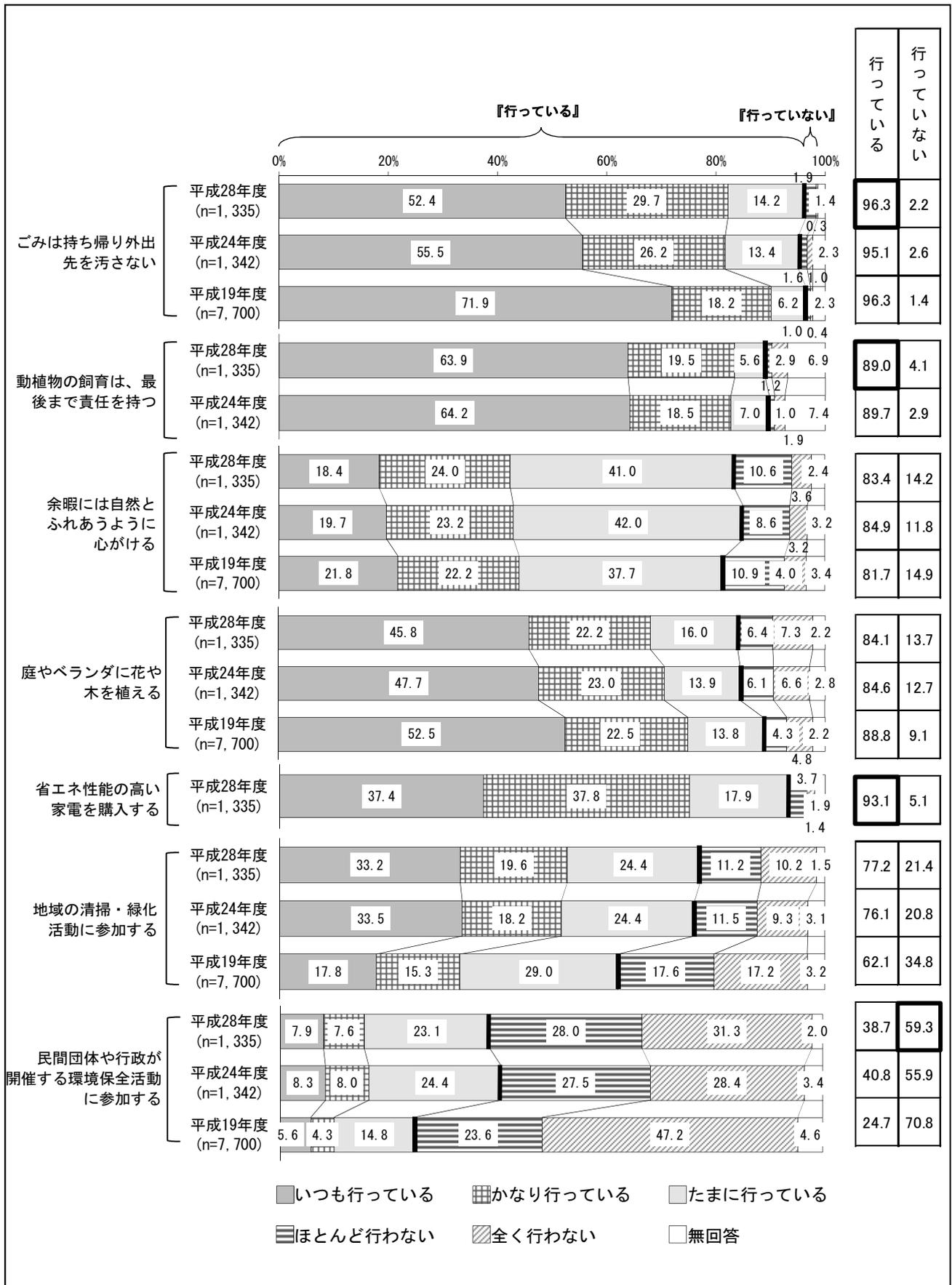
3 環境に配慮した日常生活の行動について

(1) 日頃の行動について

問2 あなた（及びあなたの家族）は日ごろ、次のような行動をどの程度行っていますか？
各項目について、1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。





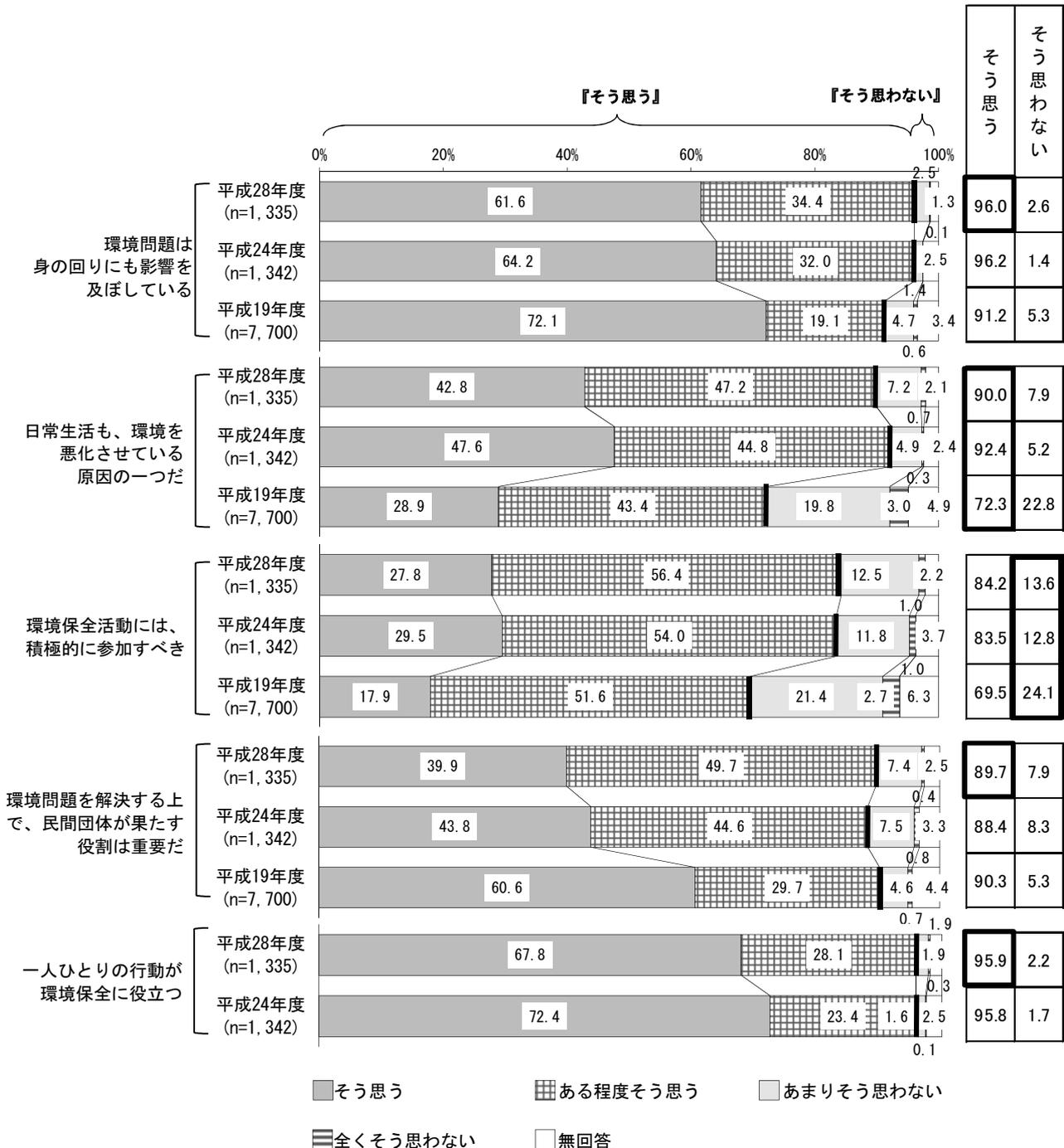


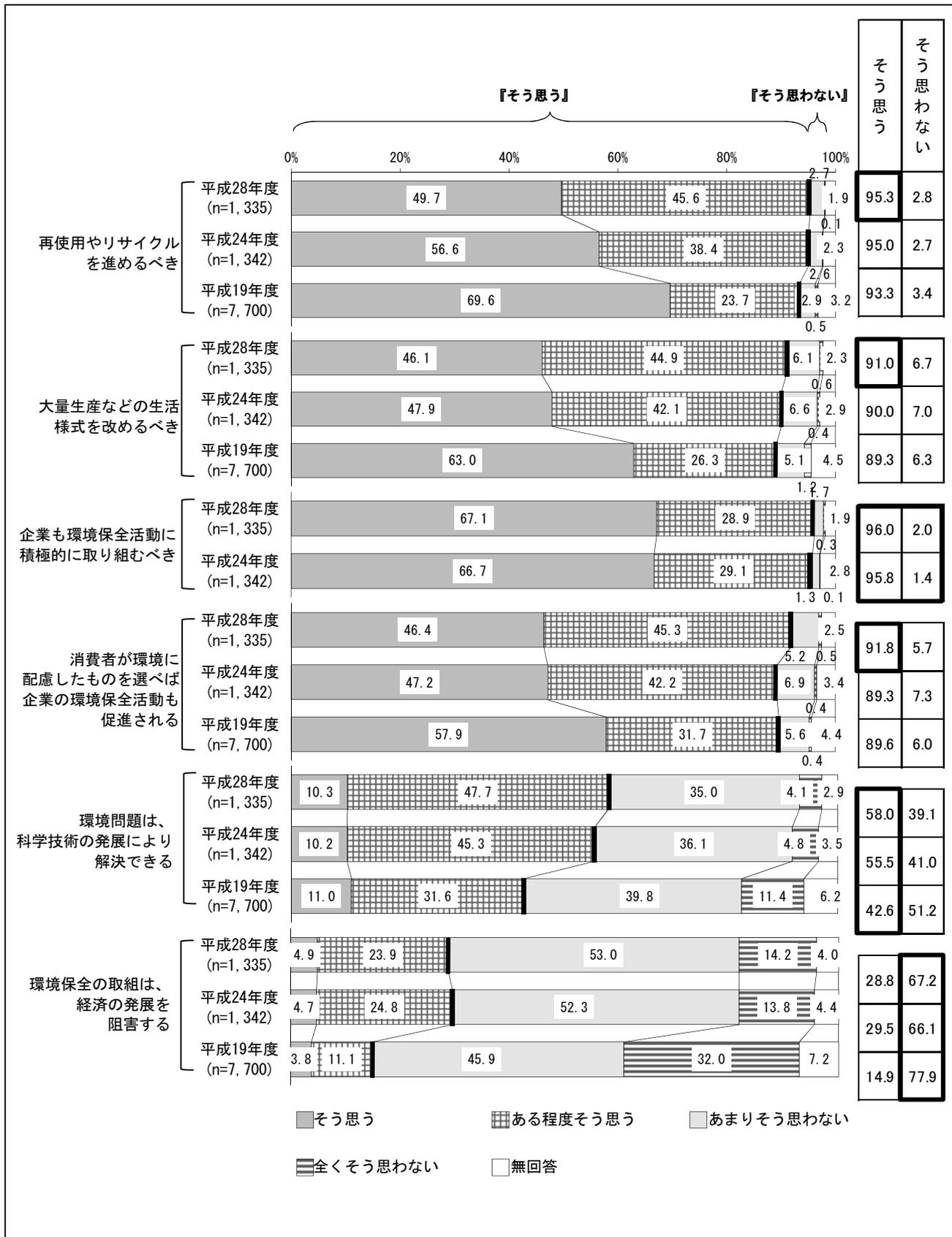
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』（「いつも行っている」と「かなり行っている」と「たまに行っている」を合わせた割合）との回答は「ゴミは指定された日に出す」で約10割、「ビン・カン・ペットボトルは分別しリサイクルに回す」、「ごみは持ち帰り外出先を汚さない」、「省エネ性能の高い家電を購入する」で9割台半ば、「テレビや照明をこまめに消す」、「油や生ごみなどを排水口に流さない」で9割超、「炊事・洗濯の際、洗剤の量に気を付ける」、「動植物の飼育は、最後まで責任を持つ」で約9割と高くなっている。 ・『行っていない』との回答は「生ごみは、たい肥化し自家処理する」で7割超、「緑のカーテンを育てる」で6割台半ば、「公共交通機関や自転車を利用する」、「民間団体や行政が開催する環境保全活動に参加する」で約6割と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』との回答は「エコドライブを心がける」で平成28年度（73.0%）が、平成24年度（66.8%）から6.2ポイント増加している。一方、「クールビズ、ウォームビズの取組により空調の温度設定をする」で平成28年度（70.9%）が平成24年度（79.9%）から9.0ポイント、「不用品は再使用に回す」で平成28年度（47.6%）が、平成24年度（53.4%）から5.7ポイント減少している。 ・『行っていない』（「全く行わない」と「ほとんど行わない」を合わせた割合）との回答は「長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く」で平成28年度（31.5%）が平成24年度（26.2%）から5.3ポイント、「生ごみは、たい肥化し自家処理する」で平成28年度（72.3%）が平成24年度（65.9%）から6.4ポイント、「環境にやさしい商品を選んで購入する」で平成28年度（27.1%）が平成24年度（21.3%）から5.8ポイント、「ふろの残り湯を洗濯や掃除に使う」で平成28年度（37.8%）が平成24年度（27.3%）から10.5ポイント増加している ・「ごみは指定された日に出す」、「ビン・カン・ペットボトルは分別しリサイクルに回す」は経年比較しても行動の変化はほとんどみられない。

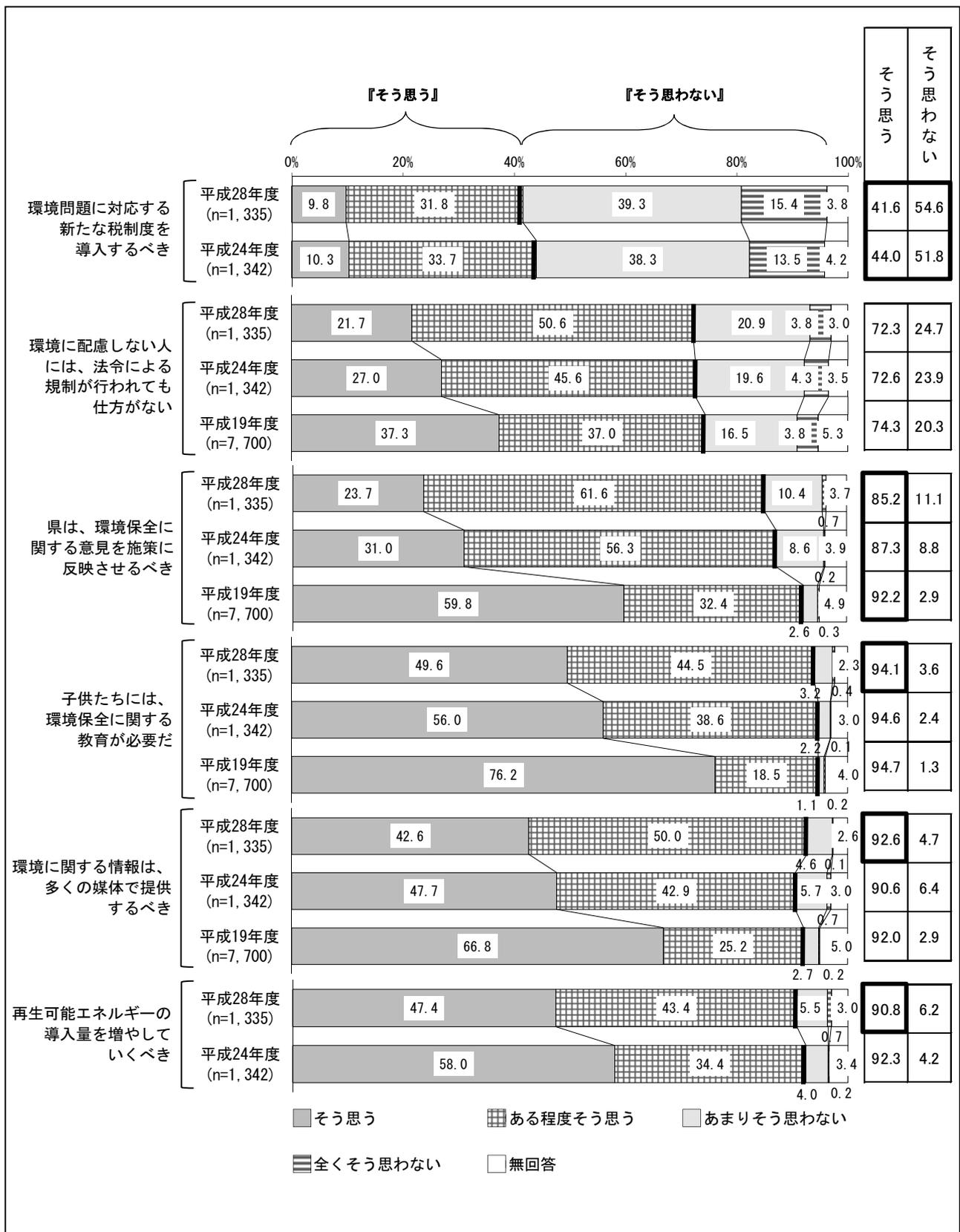
4 環境問題に対する考え方について

(1) 環境問題に対する考え方や意見

問3 環境問題に対して、次のような考えや意見があります。
各項目について、あなたの考えや意見に最も近いものはどれですか？
1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。





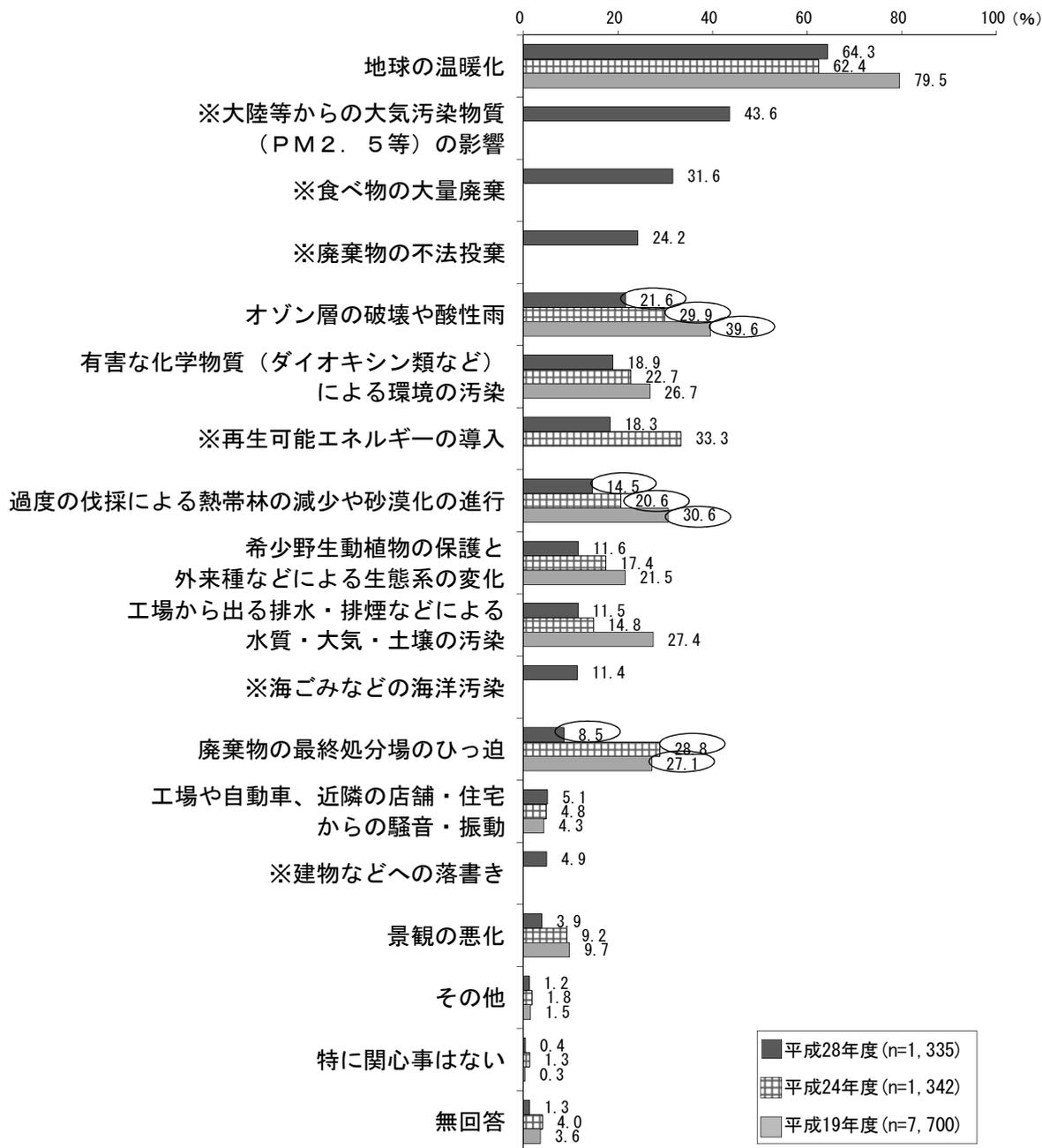


	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『そう思う』との回答は「環境問題は身の回りにも影響を及ぼしている」、「一人ひとりの行動が環境保全に役立つ」、「再利用やリサイクルを進めるべき」、「企業も環境保全活動に積極的に取り組むべき」、「子供たちには、環境保全に関する教育が必要だ」で9割台半ば、「大量生産などの生活様式を改めるべき」、「消費者が環境に配慮した製品を選べば企業の環境保全活動も促進される」、「環境に関する情報は、多くの媒体で提供するべき」で9割超、「日常生活も、環境を悪化させている原因の一つだ」、「環境問題を解決する上で、民間団体が果たす役割は重要だ」、「再生可能エネルギーの導入量を増やしていくべき」で9割前後と高くなっている。 ・『そう思わない』との回答は「環境保全の取組は、経済発展を阻害する」で約7割、「環境問題に対応する新たな税制度を導入するべき」で5割台半ばと高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『そう思う』との回答は「日常生活も、環境を悪化させている原因の一つだ」で平成28年度（90.0%）が平成19年度（72.3%）から17.7ポイント、「環境問題は、科学技術の発展により解決できる」で平成28年度（58.0%）が平成19年度（42.6%）から15.4ポイント増加している。一方、「県は、環境保全に関する意見を施策に反映させるべき」で平成28年度（85.2%）が平成19年度（92.2%）から6.9ポイント減少している。 ・『そう思わない』（「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合）との回答は「環境保全活動には、積極的に参加すべき」で平成28年度（13.6%）が平成19年度（24.1%）から10.5ポイント、「環境保全の取組は、経済の発展を阻害する」で平成28年度（67.2%）が平成19年度（77.9%）から10.7ポイント減少している。 ・「企業も環境保全活動に積極的に取り組むべき」、「環境問題に対応する新たな税制度を導入するべき」は経年比較してもほとんど意識の変化はみられない。

5 関心のある環境問題について

(1) 関心のある環境問題

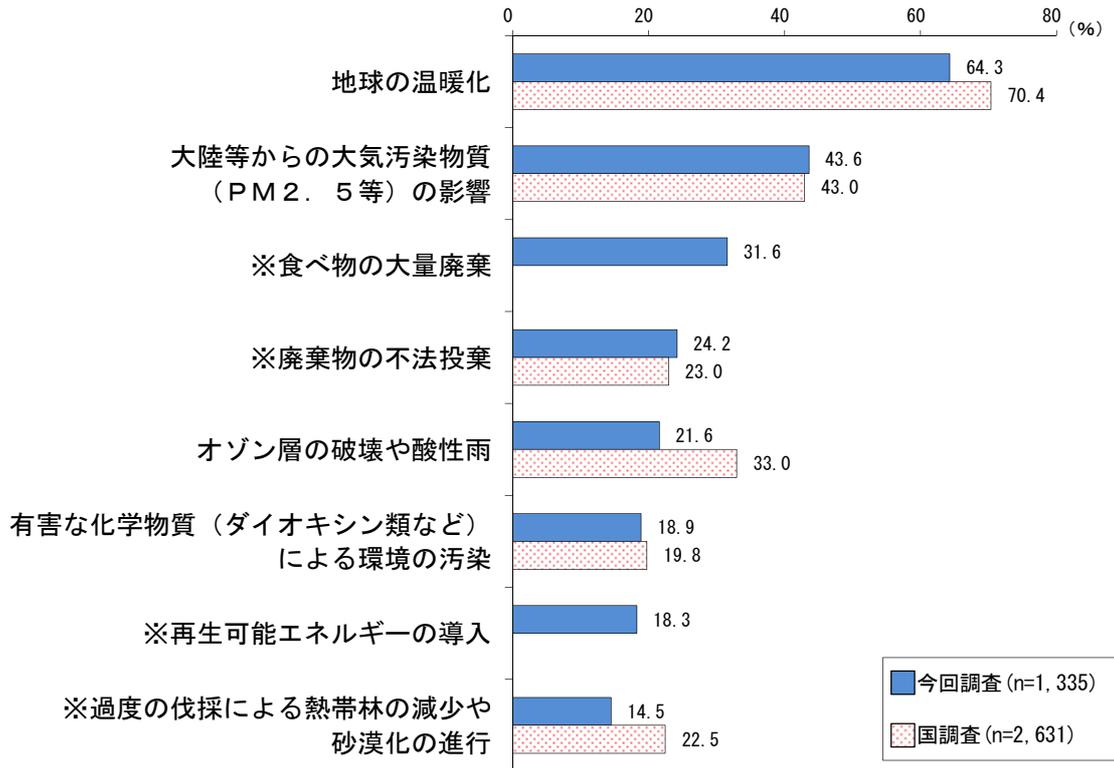
問4 あなたが、次にあげる環境問題で、関心があるものはどれですか？
 あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



※H19、H24にはない選択肢
 「大陸等からの大気汚染物質 (PM2.5等) の影響」
 「食物の大量廃棄」
 「廃棄物の不法投棄」
 「海ごみなどの海洋汚染」
 「建物などへの落書き」
 ※H19にはない選択肢
 「再生可能エネルギーの導入」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球の温暖化」との回答が64.3%と最も高く、次いで「大陸等からの大気汚染物質（PM2.5等）の影響」（43.6%）、「食べ物の大量廃棄」（31.6%）などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「オゾン層の破壊や酸性雨」との回答は平成28年度（21.6%）が平成19年度（39.6%）から18.0ポイント、平成24年度（29.9%）から8.3ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「過度の伐採による熱帯林の減少や砂漠化の進行」との回答は平成28年度（14.5%）が平成19年度（30.6%）から16.1ポイント、平成24年度（20.6%）から6.1ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「廃棄物の最終処分場のひっ迫」との回答は平成28年度（8.5%）が平成19年度（27.1%）から18.6ポイント、平成24年度（28.8%）から20.3ポイント減少している。 ・全体的に既存の環境問題への関心は経年ごとに低くなっており、「大陸等からの大気汚染物質（PM2.5等）の影響」、「食べ物の大量廃棄」などの新しい環境問題に関心が移っている傾向がみられる。

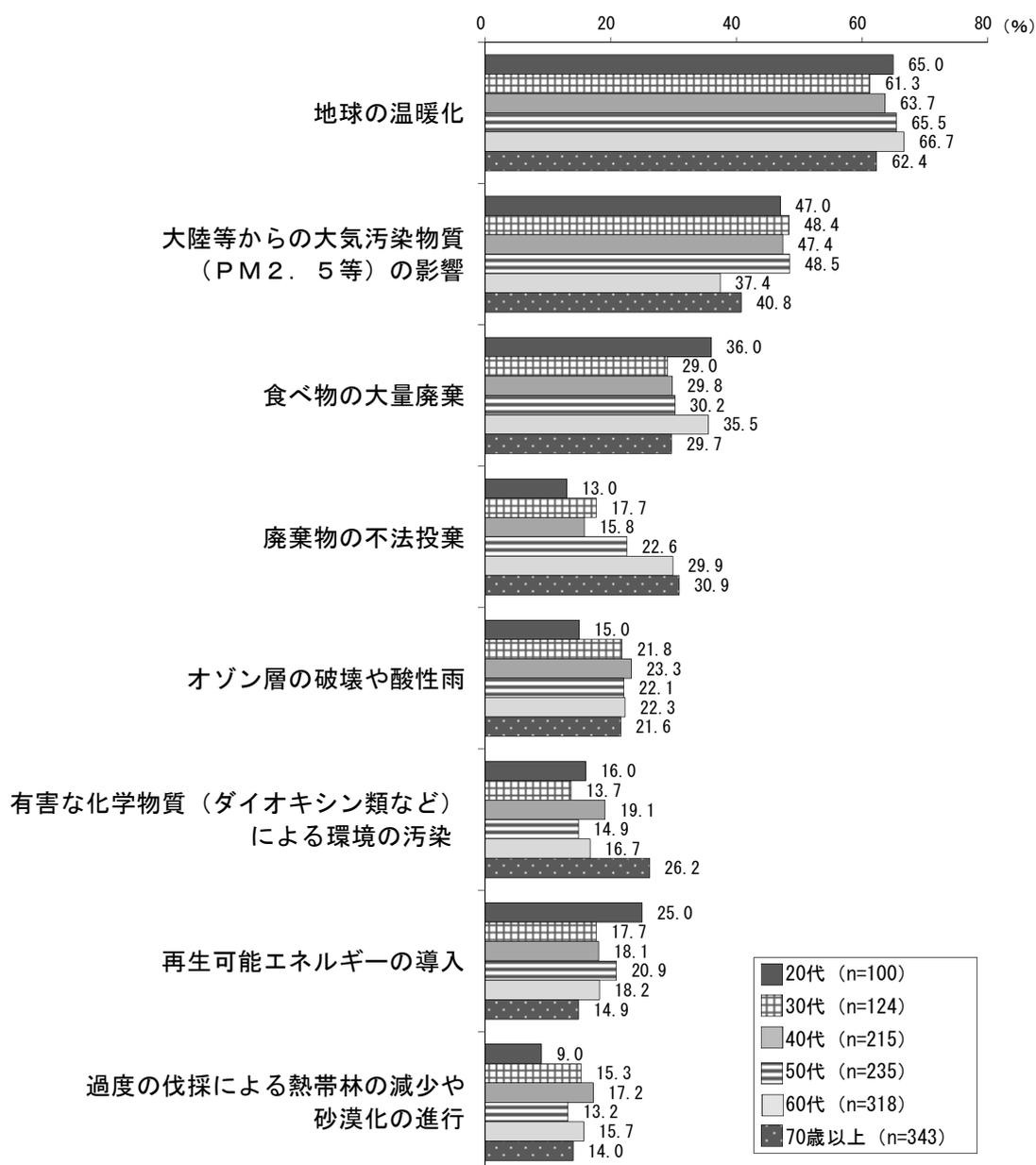
【図表 関心のある環境問題（国調査との比較）】



※国調査にはない選択肢
 「食べ物の大量廃棄」
 「再生可能エネルギーの導入」
 ※選択肢の表現方法について
 今回調査「廃棄物の不法投棄」→国調査「不法投棄など廃棄物の不適正処理」
 今回調査「過度の伐採による熱帯林の減少や砂漠化の進行」→国調査「砂漠化」

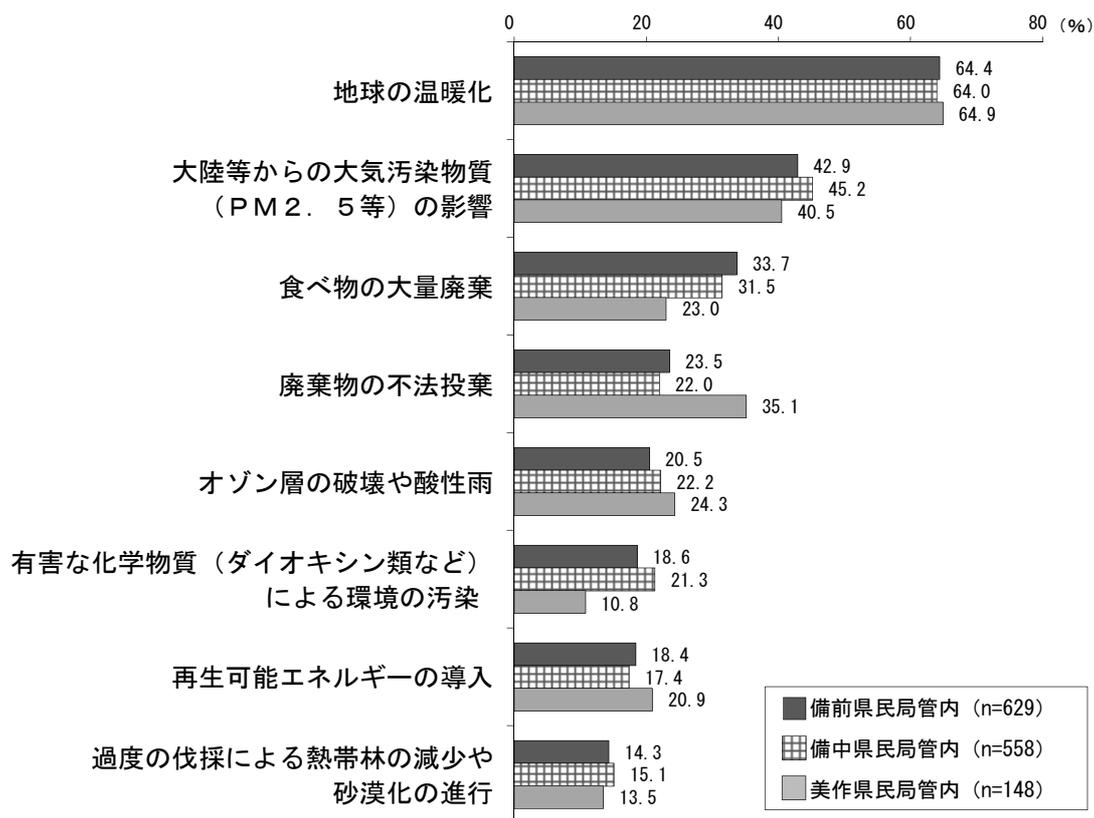
結果の要点	
国調査との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「地球の温暖化」との回答は今回調査（70.4%）が国調査（64.3%）を6.1ポイント、「オゾン層の破壊や酸性雨」との回答は今回調査（21.6%）が国調査（33.0%）を11.4ポイント下回っている。 ・関心のある環境問題は国調査と同様の傾向がみられる。また、「食べ物の大量廃棄」などの国調査にはない環境問題についても関心が高くなっている。

【図表 関心のある環境問題（年齢別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「大陸等からの大気汚染物質 (PM2.5等) の影響」との回答は、60代、70歳以上で4割前後と低くなっている。 ・「廃棄物の不法投棄」との回答は60代、70歳以上で3割前後と高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「有害な化学物質 (ダイオキシン類など) による環境の汚染」との回答は70歳以上で2割台半ばと高くなっている。 ・関心の高い環境問題は若年層で「大陸等からの大気汚染物質 (PM2.5等) の影響」、高齢者層で「廃棄物の不法投棄」となっており、「地球の温暖化」についてはすべての年代で関心が高くなっている。

【図表 関心のある環境問題（地域別）】

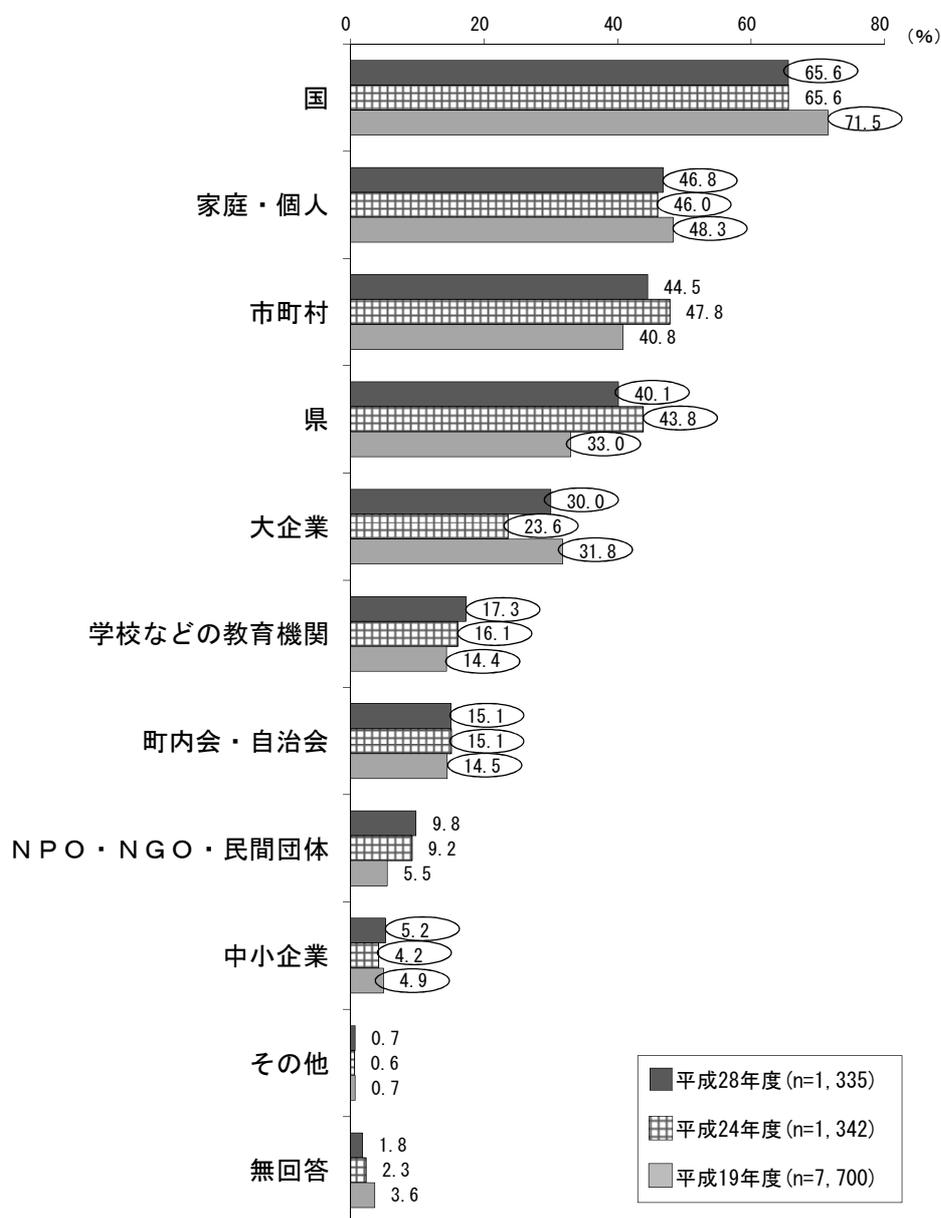


結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「食べ物の大量廃棄」との回答は美作県民局管内が2割台半ばと低くなっている。 ・「廃棄物の不法投棄」との回答は美作県民局管内が3割台半ばと高くなっている。 ・「有害な化学物質（ダイオキシン類など）による環境の汚染」との回答は美作県民局管内で約1割と低くなっている。 ・備前県民局管内で「食べ物の大量廃棄」、備中県民局管内で「有害な化学物質（ダイオキシン類など）による環境の汚染」、美作県民局管内で「廃棄物の不法投棄」が他の地域に比べ関心が高くなっている。一方、美作県民局管内で「食べ物の大量廃棄」、「有害な化学物質（ダイオキシン類など）による環境の汚染」が他の地域に比べ関心が低くなっている

6 活動すべき主体について

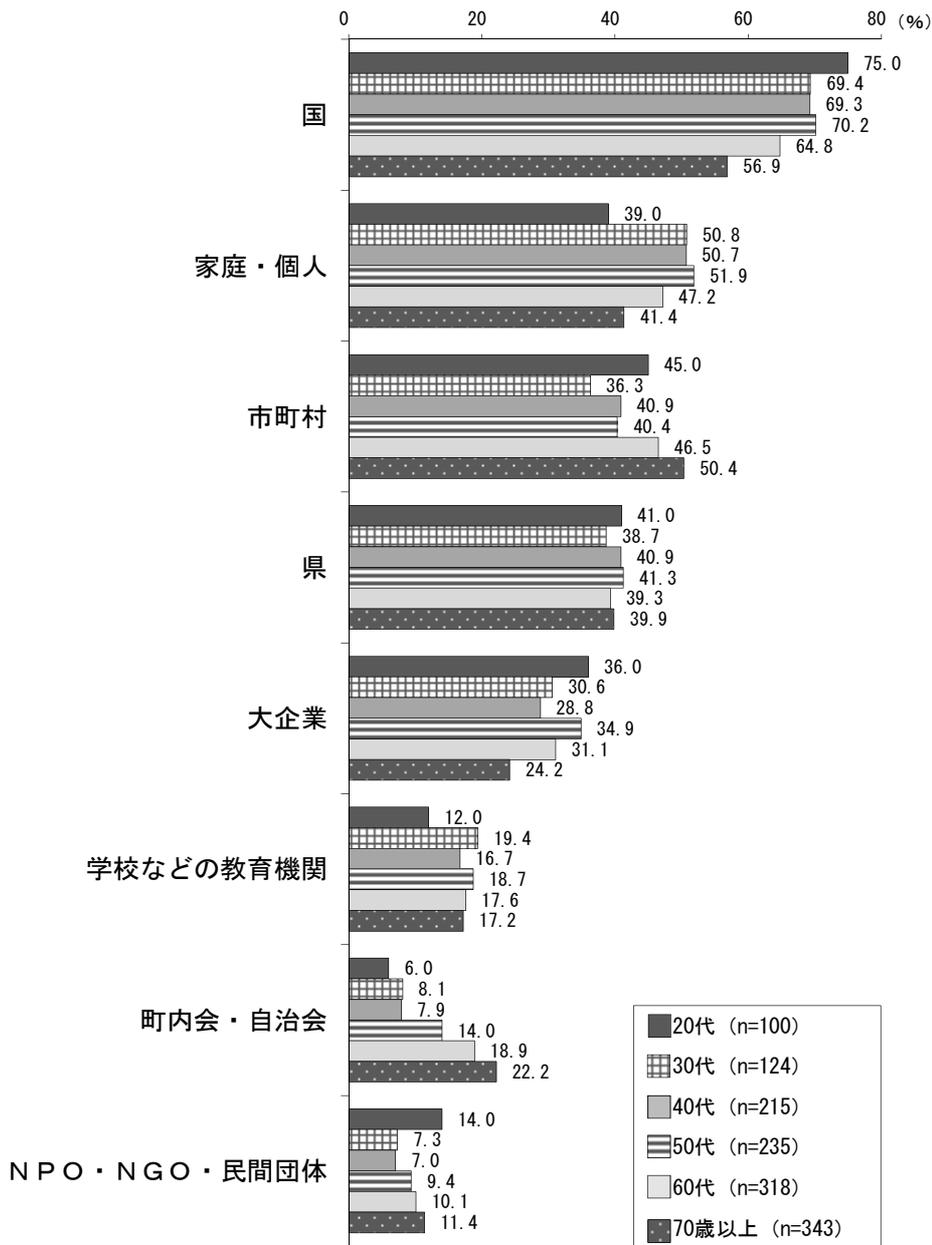
(1) 環境保全活動を進めるために活動すべき主体について

問5 あなたは、環境保全を進めるためには、だれが主に活動すべきと思いますか？
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



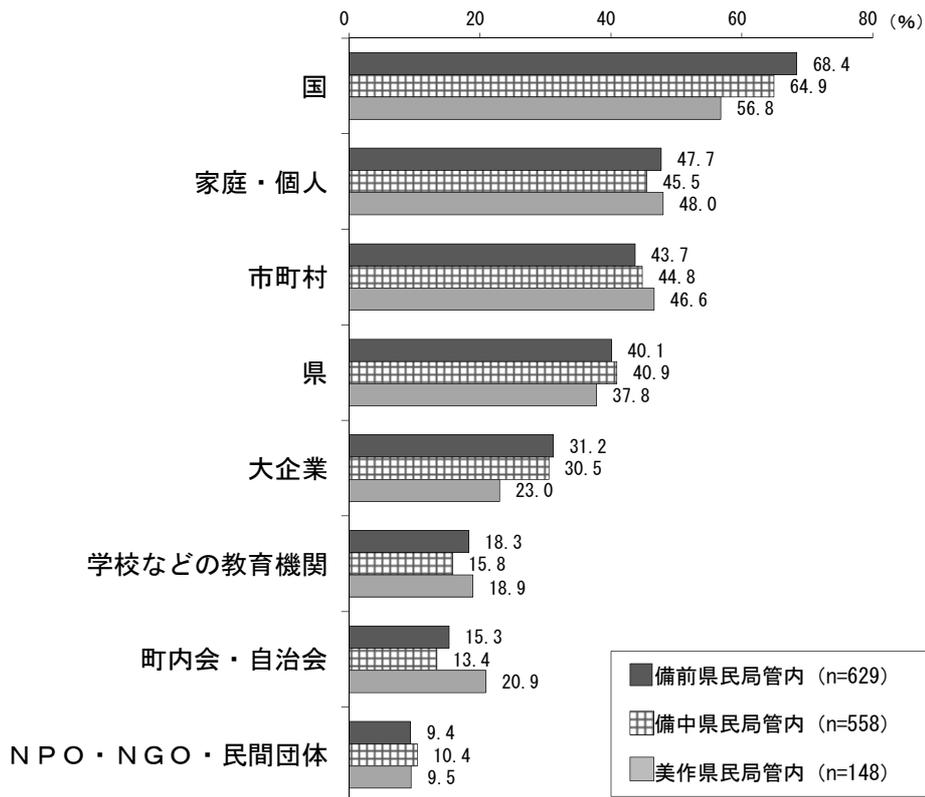
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「国」との回答が 65.6%と最も高く、次いで「家庭・個人」(46.8%)、「市町村」(44.5%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「国」との回答は平成 28 年度 (65.6%) が平成 19 年度 (71.5%) から 5.9 ポイント減少している。 ・「県」との回答は平成 28 年度 (40.1%) が平成 19 年度 (33.0%) から 7.1 ポイント増加し、平成 24 年度 (43.8%) から 3.7 ポイント減少している。 ・「大企業」との回答は平成 28 年度 (30.0%) が平成 19 年度 (31.8%) から 1.8 ポイント減少し、平成 24 年度 (23.6%) から 6.4 ポイント増加している。 ・活動すべき主体についてはいずれの調査でもほぼ同じ傾向がみられるが、「家庭・個人」、「町内会・自治会」との回答がほぼ同じ割合となっている一方、「学校などの教育機関」との回答は経年ごとに徐々に増加している。

【図表 環境保全活動を進めるために活動すべき主体について（年齢別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「国」との回答は20代で7割台半ばと高くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・「家庭・個人」との回答は20代、70歳以上が4割前後と低くなっている。 ・「市町村」との回答は70歳以上が約5割と高くなっている。 ・「町内会・自治会」との回答は70歳以上で2割超と高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「県」との回答は年齢によって大きな差はみられない。

【図表 環境保全活動を進めるために活動すべき主体について（地域別）】

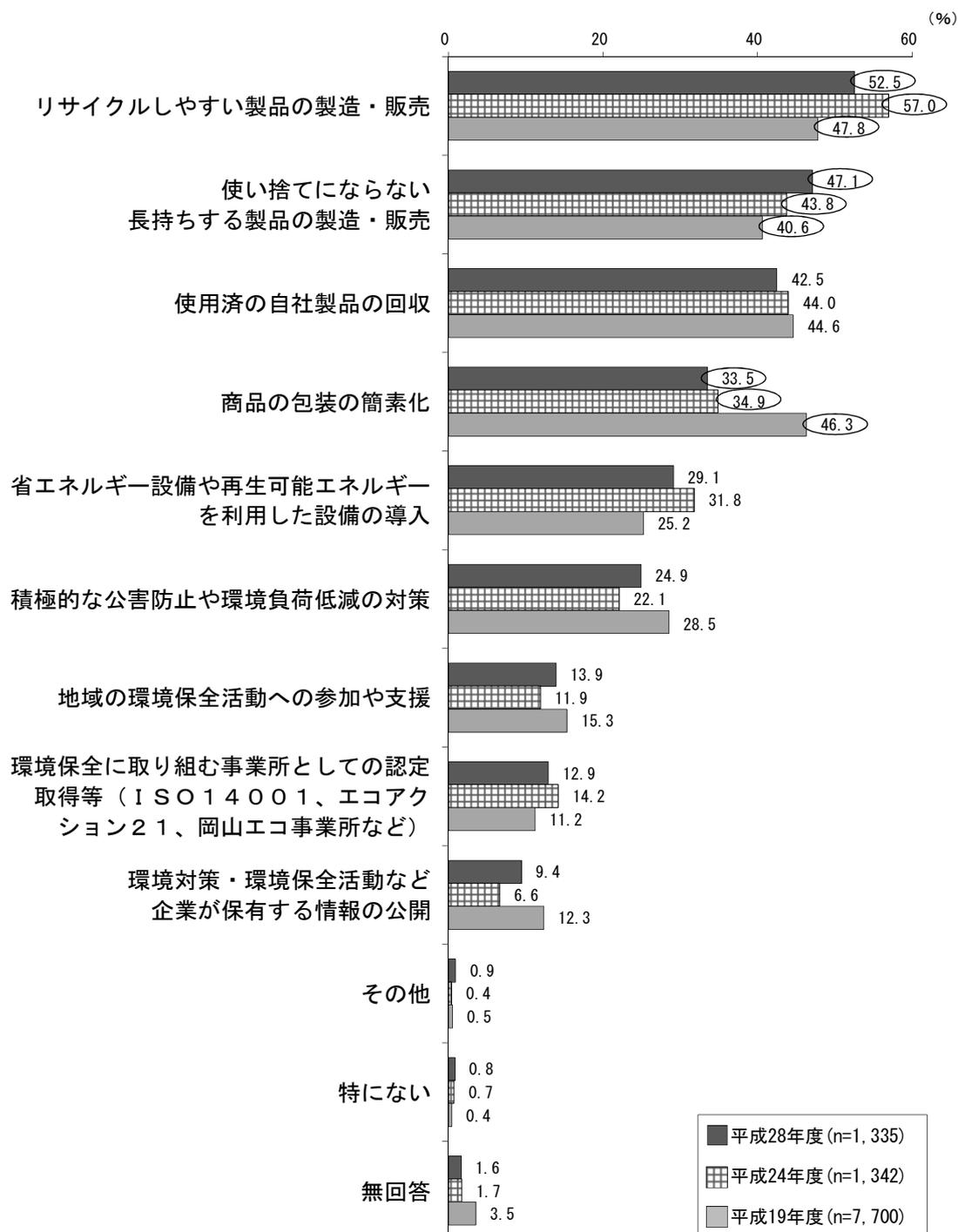


結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「国」との回答は美作県民局管内が5割台半ばと低くなっている。 ・「大企業」との回答は美作県民局管内が2割台半ばと低くなっている。 ・「町内会・自治会」との回答は美作県民局管内が約2割と高くなっている。

7 環境と企業活動について

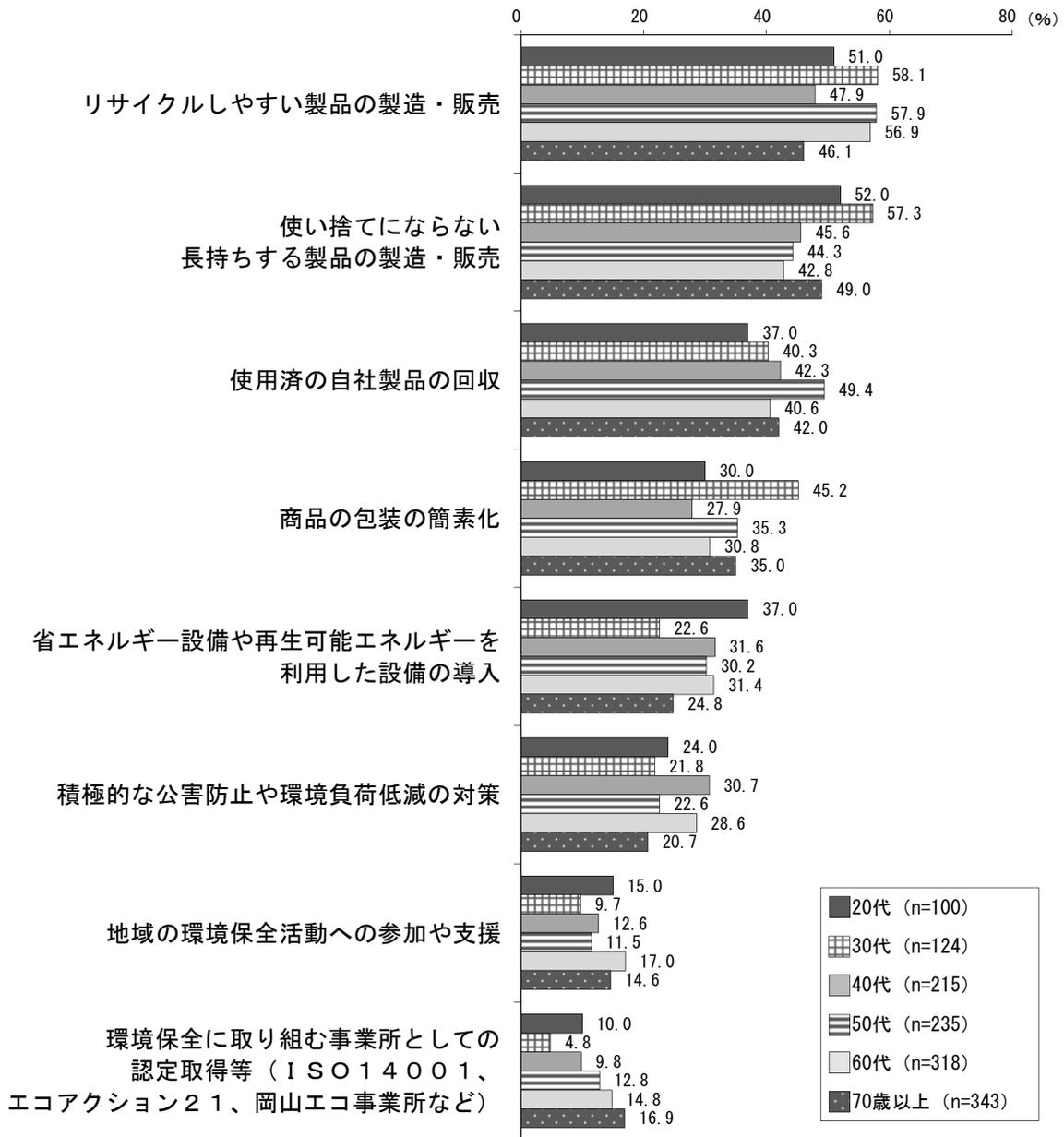
(1) 環境保全活動を進めるために、企業に望むこと

問6 あなたは、環境保全を進めるために、企業にどのようなことを望みますか？
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



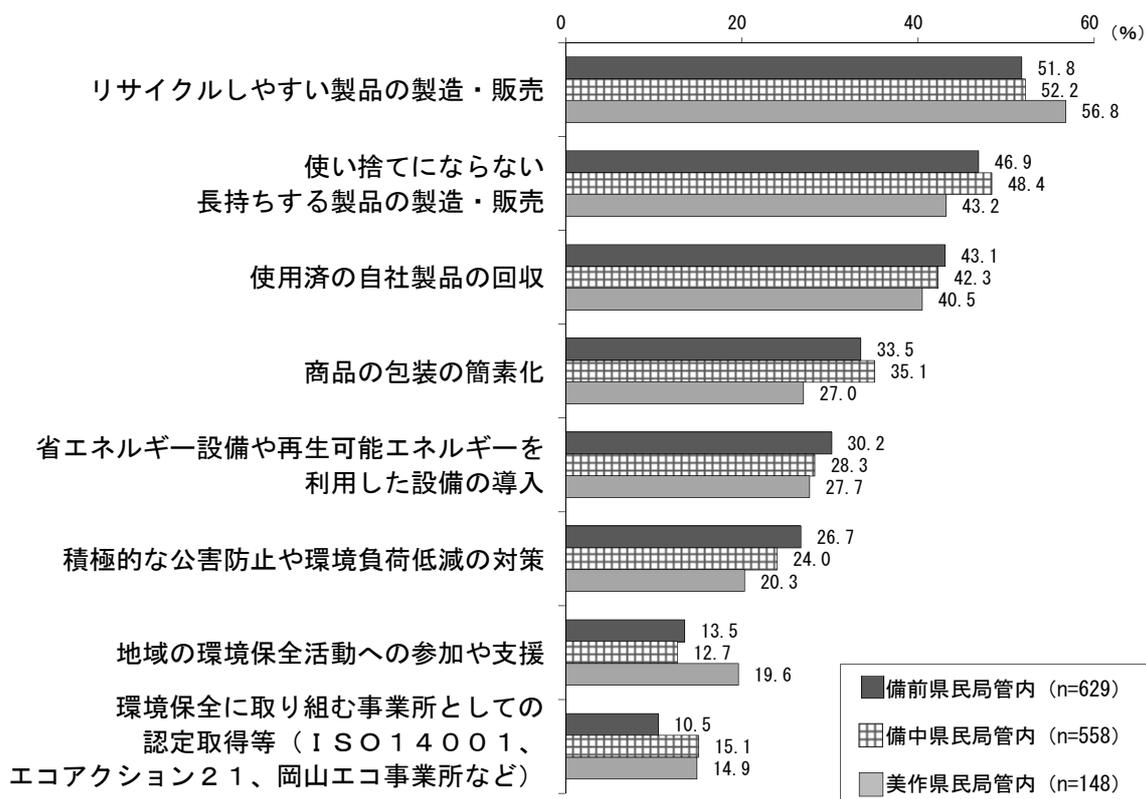
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「リサイクルしやすい製品の製造・販売」との回答が 52.5%と最も高く、次いで「使い捨てにならない長持ちする製品の製造・販売」(47.1%)、「使用済の自社製品の回収」(42.5%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「リサイクルしやすい製品の製造・販売」との回答は平成 28 年度 (52.5%) が平成 19 年度 (47.8%) から 4.7 ポイント増加し、平成 24 年度 (57.0%) から 4.5 ポイント減少している。 ・「使い捨てにならない長持ちする製品の製造・販売」との回答は平成 28 年度 (47.1%) が平成 19 年度 (40.6%) から 6.5 ポイント、平成 24 年度 (43.8%) から 3.3 ポイント増加しており、経年ごとに高くなっている。 ・「商品の包装の簡素化」との回答は平成 28 年度 (33.5%) が平成 19 年度 (46.3%) から 12.8 ポイント、平成 24 年度 (34.9%) から 1.4 ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。

【図表 環境保全活動を進めるために、企業に望むこと（年齢別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用済の自社製品の回収」との回答は50代で約5割と高くなっている。 ・「商品の包装の簡素化」との回答は30代で4割台半ばと高くなっている。 ・「省エネルギー設備や再生可能エネルギーを利用した設備の導入」との回答は20代で約4割と高くなっている。

【図表 環境保全活動を進めるために、企業に望むこと（地域別）】

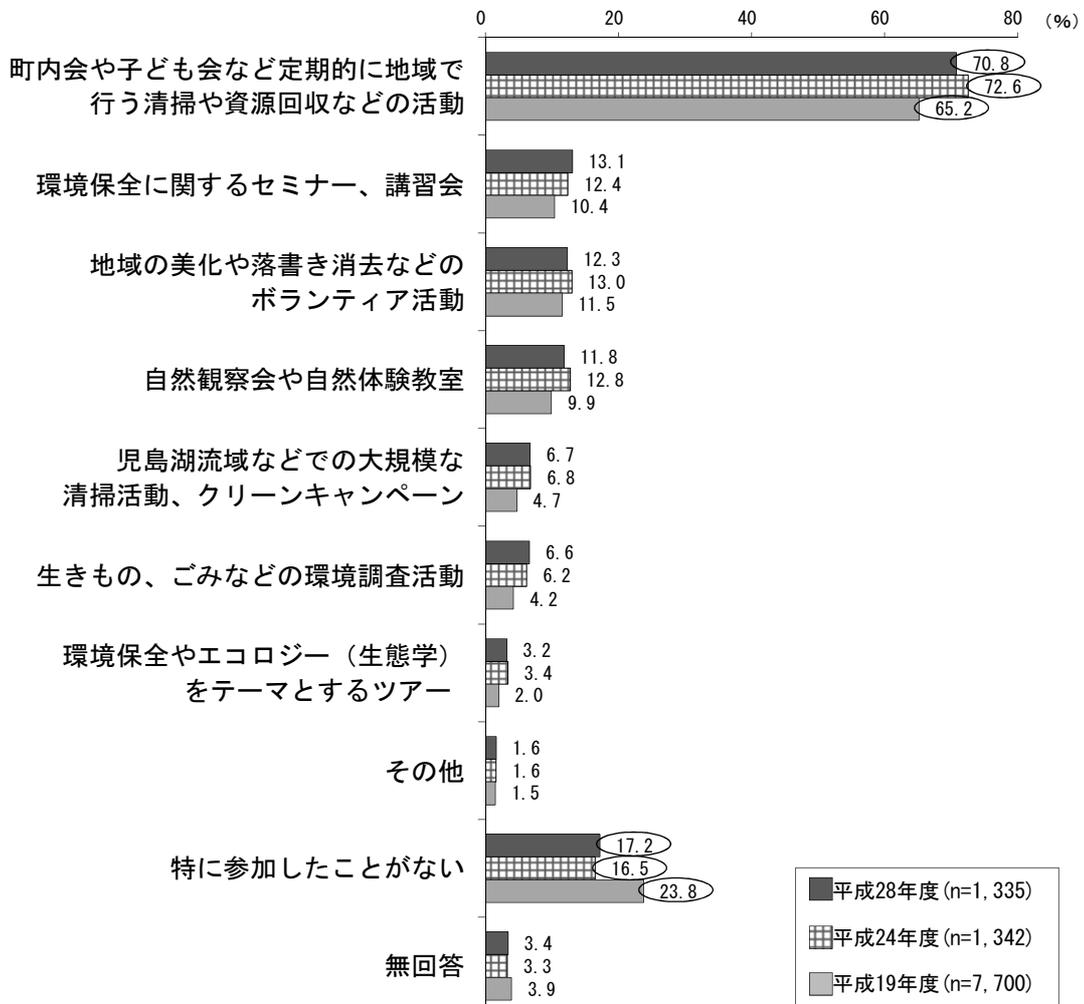


結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「商品の包装の簡素化」との回答は美作県民局管内で約3割と低くなっている。 ・「積極的な公害防止や環境負荷低減の対策」との回答は美作県民局管内で約2割と低くなっている。 ・「地域の環境保全活動への参加や支援」との回答は美作県民局管内で約2割と高くなっている。

8 環境学習や環境保全活動への参加について

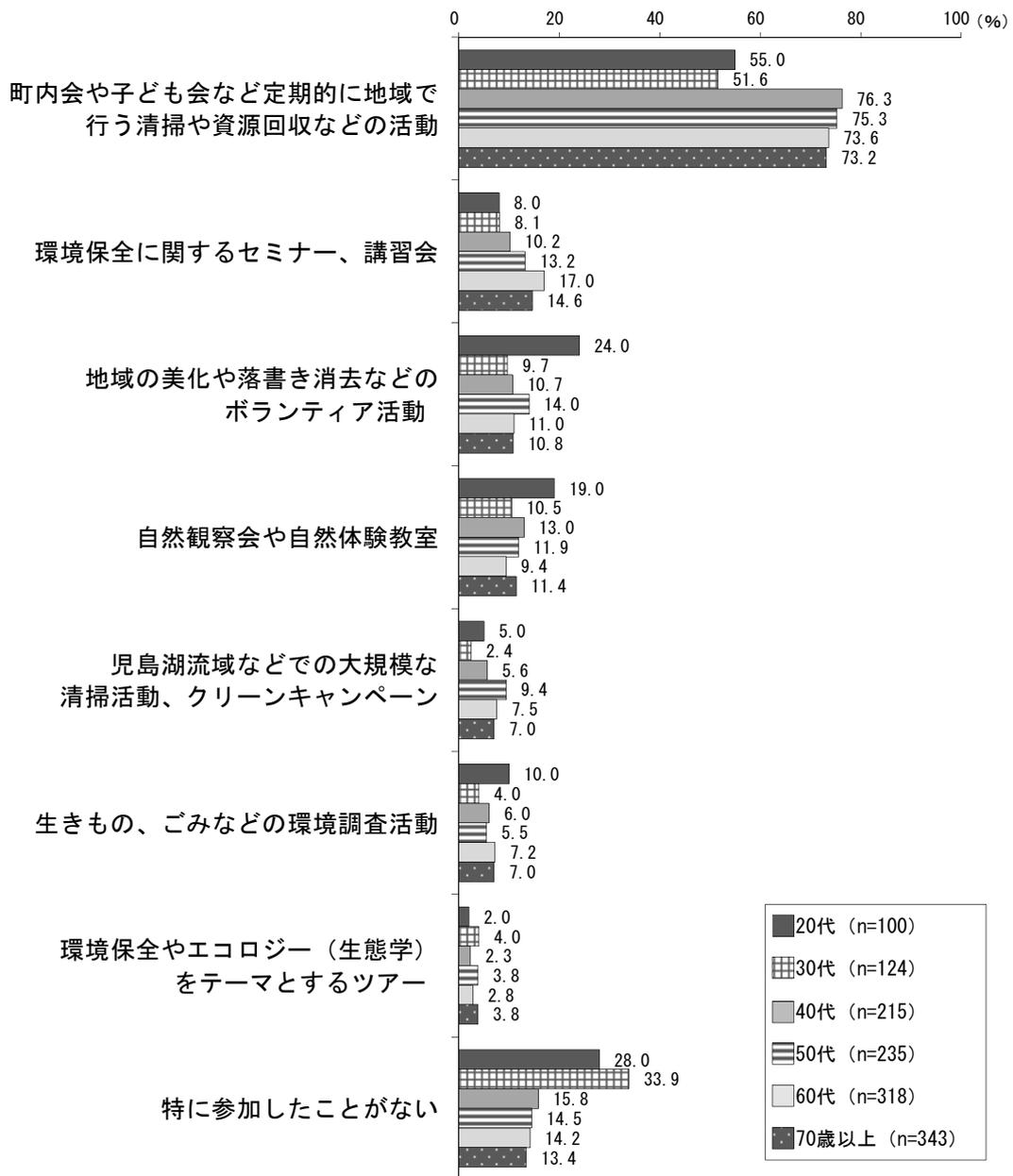
(1) 参加経験がある環境保全に関する学習会や活動

問7 次のような環境保全に関する学習の場や活動がありますが、あなたは、これまでに参加したことがあるものがありますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。



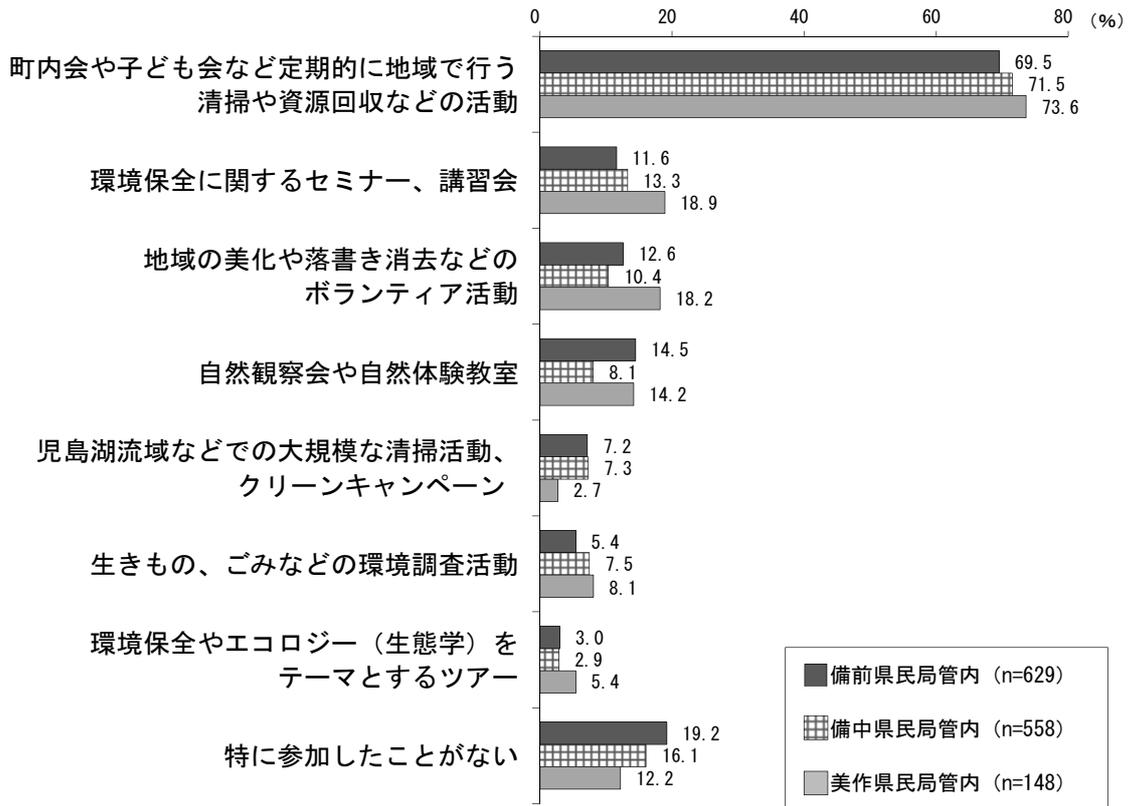
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「町内会や子ども会など定期的に地域で行う清掃や資源回収などの活動」との回答が70.8%と最も高く、次いで「環境保全に関するセミナー、講習会」（13.1%）、「地域の美化や落書き消去などのボランティア活動」（12.3%）などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> 「町内会や子ども会など定期的に地域で行う清掃や資源回収などの活動」との回答は平成28年度（70.8%）が平成19年度（65.2%）から5.6ポイント増加し、平成24年度（72.6%）から1.8ポイント減少している。 「特に参加したことがない」との回答は平成28年度（17.2%）が平成19年度（23.8%）から6.6ポイント減少し、平成24年度（16.5%）から0.7ポイント増加している。

【図表 参加経験がある環境保全に関する学習会や活動（年齢別）】



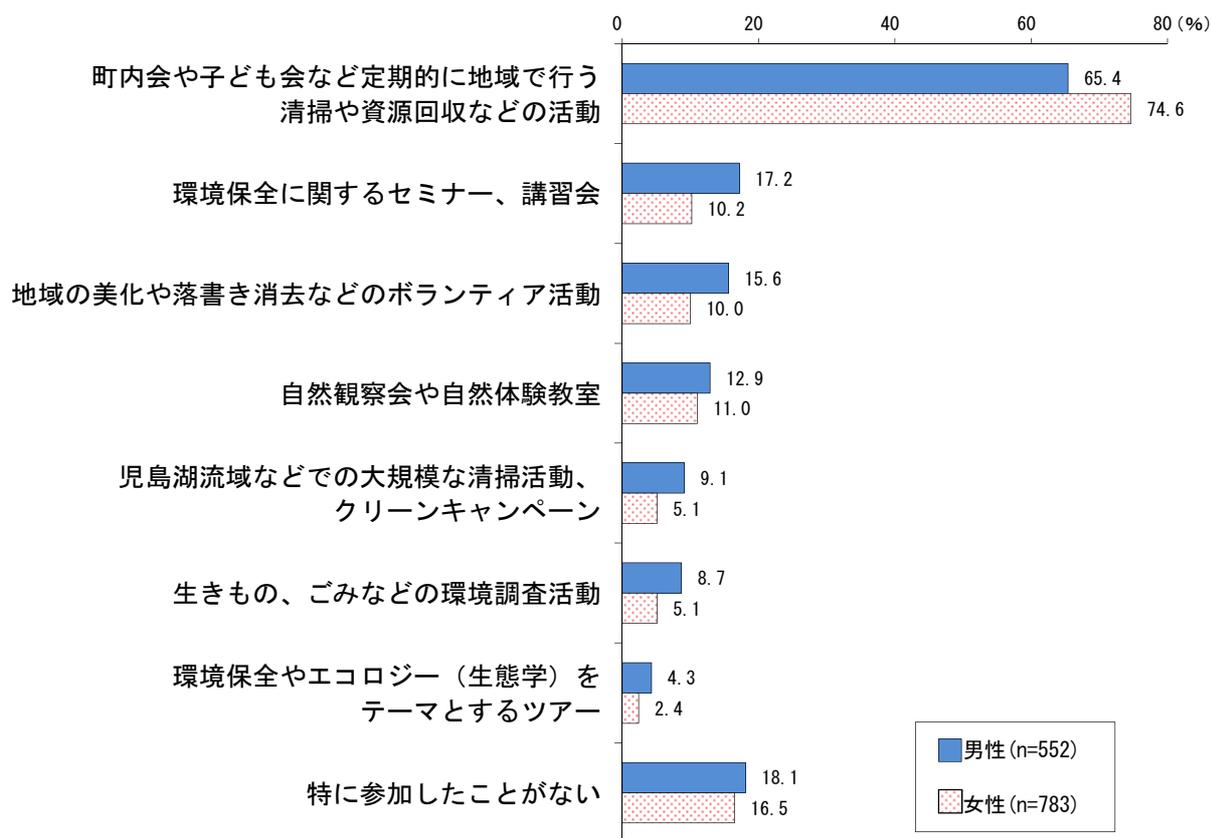
結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「町内会や子ども会など定期的に地域で行う清掃や資源回収などの活動」との回答は20代、30代で5割台と低くなっている。 ・「地域の美化や落書き消去などのボランティア活動」との回答は20代で2割台半ばと高くなっている。 ・「自然観察や自然体験教室」との回答は20代で約2割と高くなっている。 ・「特に参加したことがない」との回答は20代、30代で3割前後と高くなっている。

【図表 参加経験がある環境保全に関する学習会や活動（地域別）】



結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境保全に関するセミナー、講習会」との回答は美作県民局管内で約2割と高くなっている。 ・「地域の美化や落書き消去などのボランティア活動」との回答は美作県民局管内で約2割と高くなっている。 ・「特に参加したことがない」との回答は備前県民局管内で約2割と高くなっている。

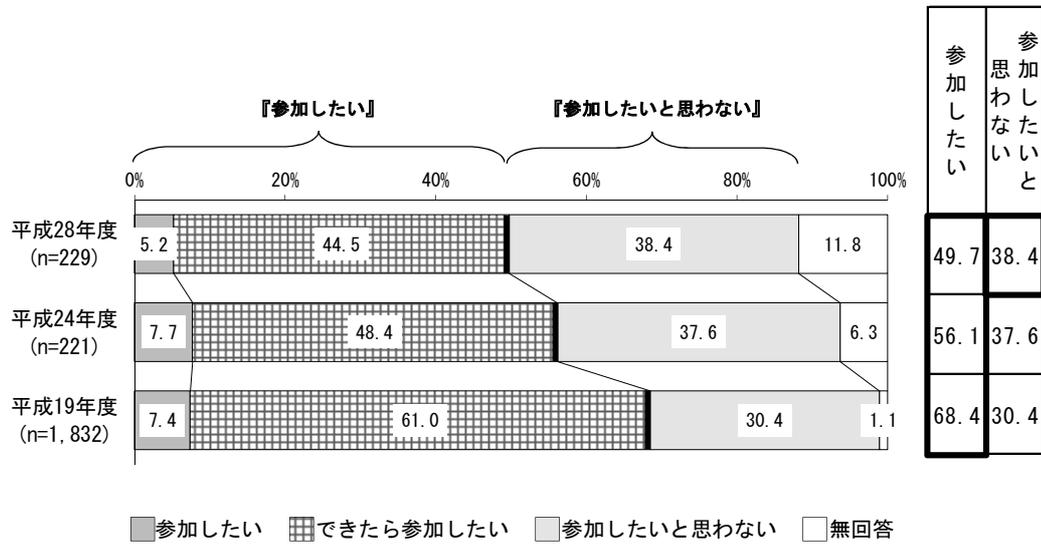
【図表 参加経験がある環境保全に関する学習会や活動（性別）】



結果の要点	
性別	<ul style="list-style-type: none"> ・「町内会や子ども会など定期的に地域で行う清掃や資源回収などの活動」との回答は、女性（74.6%）が男性（65.4%）を9.2ポイント上回っている。 ・「環境保全に関するセミナー、講習会」との回答は男性（17.2%）が女性（10.2%）を7.0ポイント、「地域の美化や落書き消去などのボランティア活動」との回答は男性（15.6%）が女性（10.0%）を5.6ポイント上回っている。

(2) 今後の参加意向

問7-1 また、「9. 特に参加したことがない」とお答えの方は、参加したことがない理由と今後、機会があれば参加したいと思うかどうかお答えください。



結果の要点	
全体	・『参加したい』（「参加したい」と「できたら参加したい」を合わせた割合）との回答が49.7%、『参加したいと思わない』（「参加したいと思わない」と「できたら参加したい」を合わせた割合）との回答が38.4%となっている。
経年比較	・『参加したい』との回答は、平成28年度（49.7%）が平成19年度（68.4%）から18.7ポイント、平成24年度（56.1%）から6.4ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。

(3) 参加したことがない理由

① 時間がないため、忙しいため (40 件)

地域	性別	年齢	参加したことがない理由
新見市	女性	60 代	仕事をしているので参加出来ない。
浅口市	女性	60 代	多くの活動、集会などは休日である事がほとんどで仕事を持っている為参加出来ない。
倉敷市	女性	40 代	子どもを連れての参加は大変。
岡山市北区	男性	60 代	自営なので時間がない。

② 情報がない、知らない (44 件)

地域	性別	年齢	参加したことがない理由
岡山市東区	男性	20 代	どのようなイベントがあるかわからない。
倉敷市	女性	40 代	どこでどのような活動があるのか、全く情報が入ってこないから。

③ 身体的な問題で参加できない (高齢・体が不自由・病気の為) (16 件)

地域	性別	年齢	参加したことがない理由
総社市	女性	70 歳以上	年寄りでは往復する乗り物がない。
岡山市北区	女性	70 歳以上	体に障がいがあるため参加しても話を聞くだけで終わる事が多いから。
岡山市中区	女性	50 代	体が不自由なので。
倉敷市	男性	70 歳以上	老々介護のため不可能です。

④ 参加機会がない (35 件)

地域	性別	年齢	参加したことがない理由
岡山市南区	男性	20 代	その活動に参加する機会がないため。
倉敷市	男性	60 代	身近に講習会等がない。

⑤ 自分には関係がない。意味がない。(13 件)

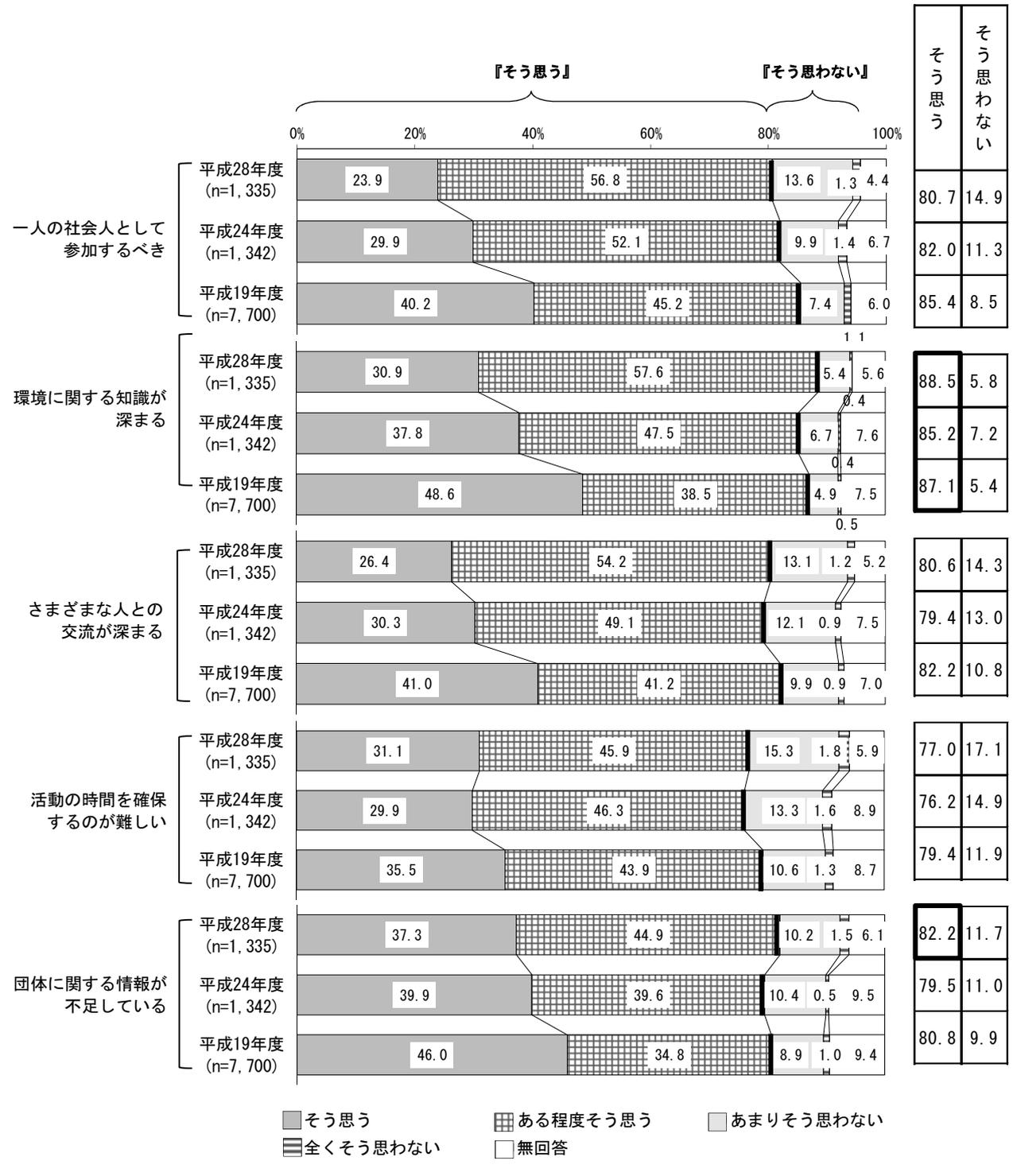
地域	性別	年齢	参加したことがない理由
倉敷市	男性	30 代	一個人が変わっても、他は変わらない。
岡山市北区	女性	50 代	我が身にさしせまった問題が今のところないため。
倉敷市	女性	40 代	申し訳ないと思うが他人まかせ。
高梁市	男性	60 代	地域に自然が豊か、人口が少ない。

⑥ その他（17件）

地域	性別	年齢	参加したことがない理由
赤磐市	女性	20代	興味がなため。
新見市	女性	70歳以上	車を持っていないため足がないので行きづらい。
岡山市北区	女性	50代	マンション住まいで町内会とのつながりが少ないせいか活動したい気持ちがわからない。
岡山市北区	男性	50代	自分でゴミ拾い活動を行っている。

(4) 環境保全活動を行う民間団体に参加することについて

問8 あなたは、環境保全活動を行う民間団体、またはその活動に参加することについて、どのようにお考えですか？（参加経験の有無にかかわらずお答えください。）
各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。



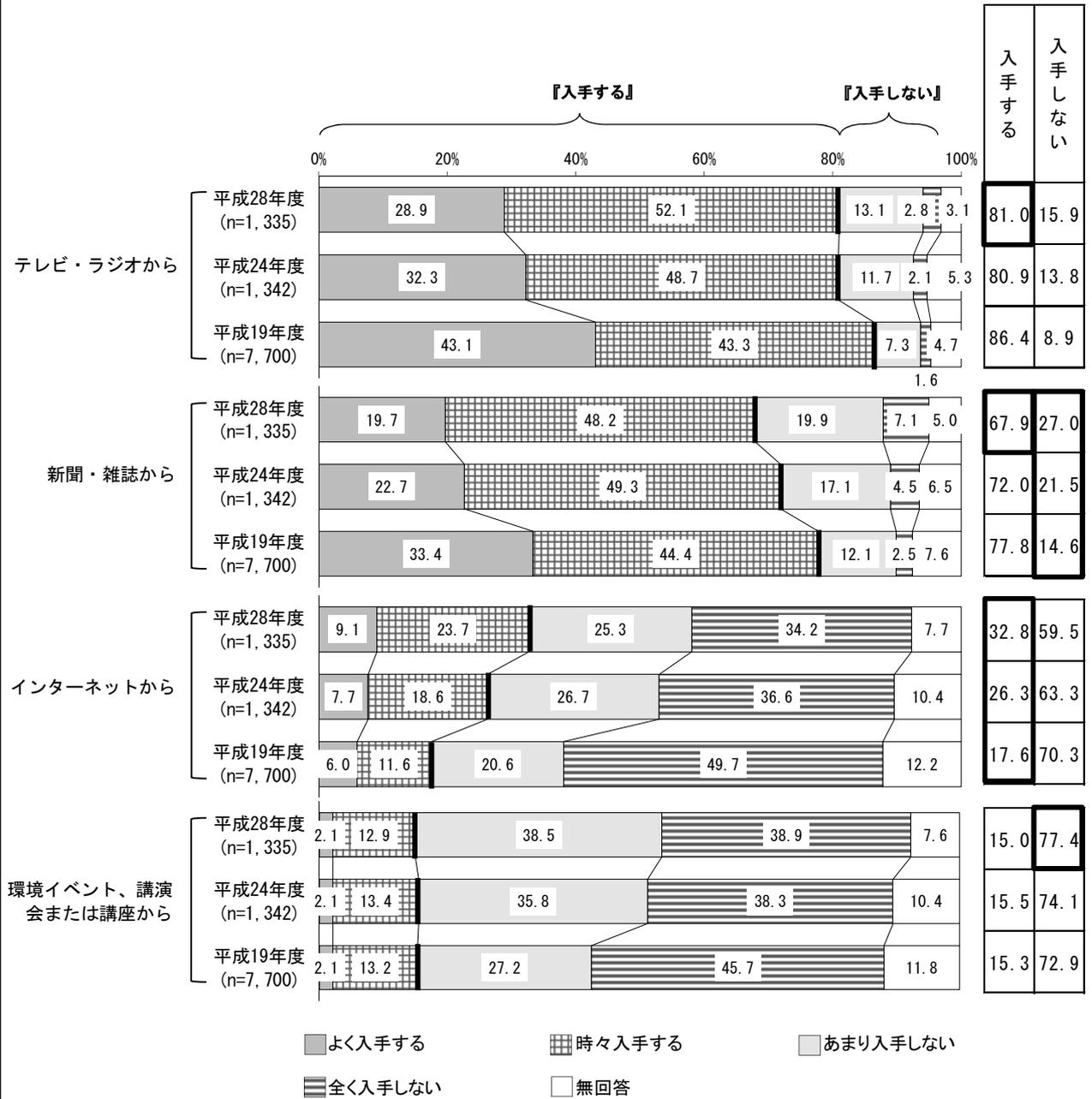
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『そう思う』（「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合）との回答は「環境に関する知識が深まる」で約9割、「団体に関する情報が不足している」で8割超、「一人の社会人として参加すべき」、「さまざまな人との交流が深まる」で約8割と高くなっている。 ・『そう思わない』（「全くそう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた割合）との回答は「趣旨に賛同できる団体がない」、「人間関係が難しい（難しそうだ）」で4割前後と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「そう思う」との回答は「一人の社会人として参加すべき」で平成28年度（23.9%）が平成24年度（29.9%）から6.0ポイント、「環境に関する知識が深まる」で平成28年度（30.9%）が平成24年度（37.8%）から6.9ポイント減少している。 ・『そう思う』との回答は「人間関係が難しい（難しそうだ）」で平成28年度（52.7%）が平成24年度（46.7%）から6.0ポイント増加している。

9 環境情報について

(1) 環境に関する情報の入手方法／入手程度

問9 あなたは、環境に関する情報（環境問題に関する知識や環境配慮のための方法など）について、次にあげる方法によって、どの程度入手していますか？

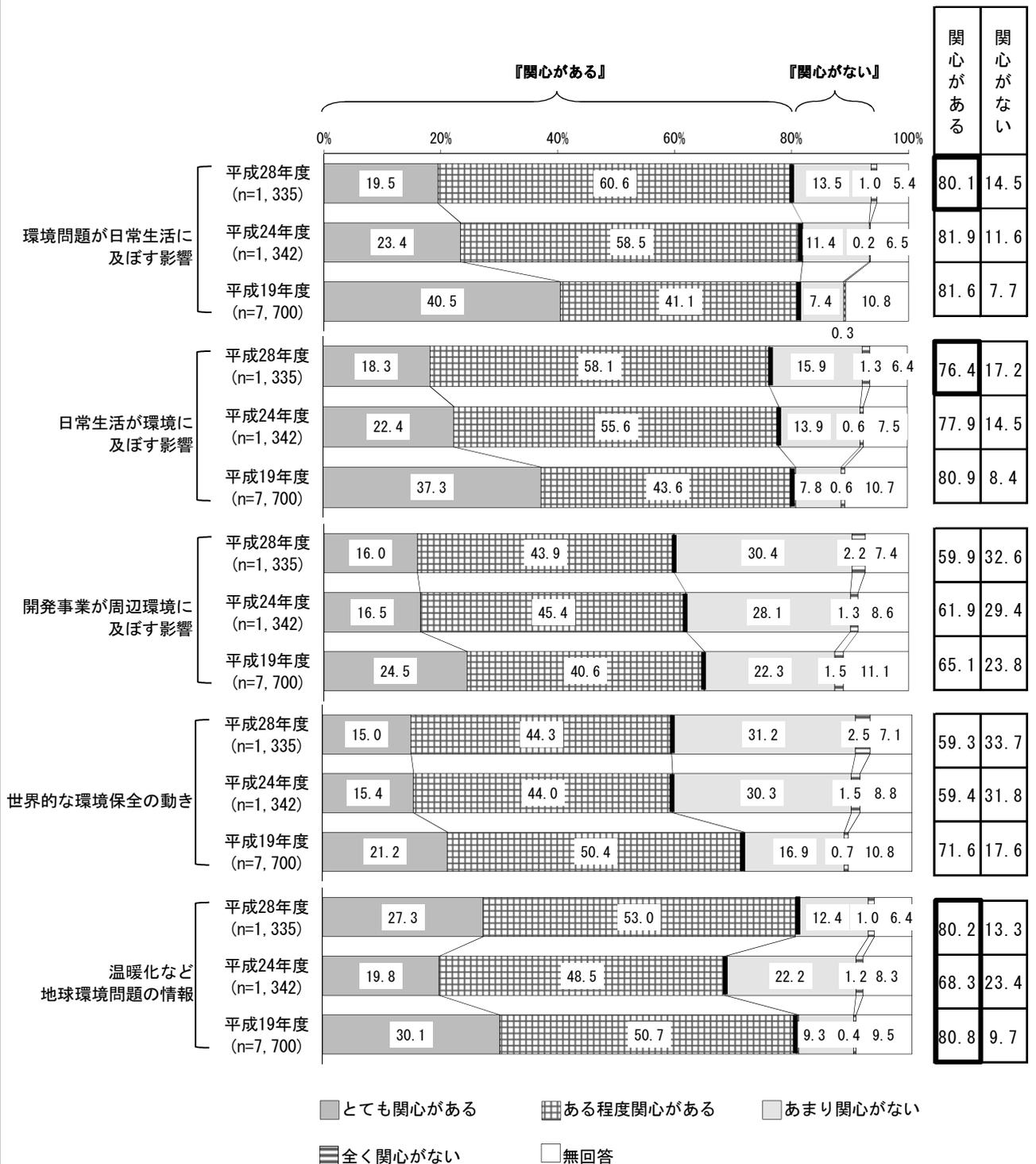
各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

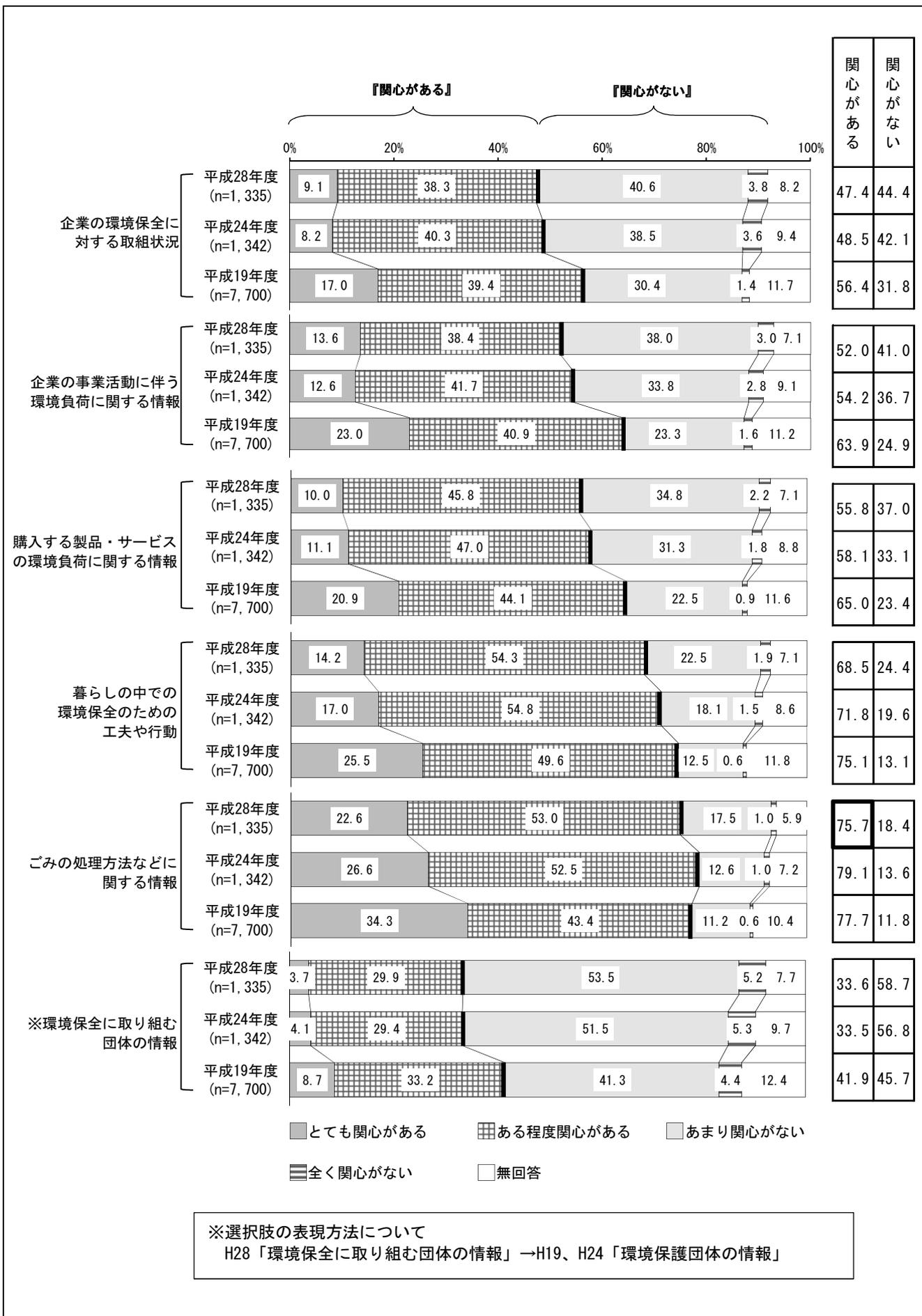


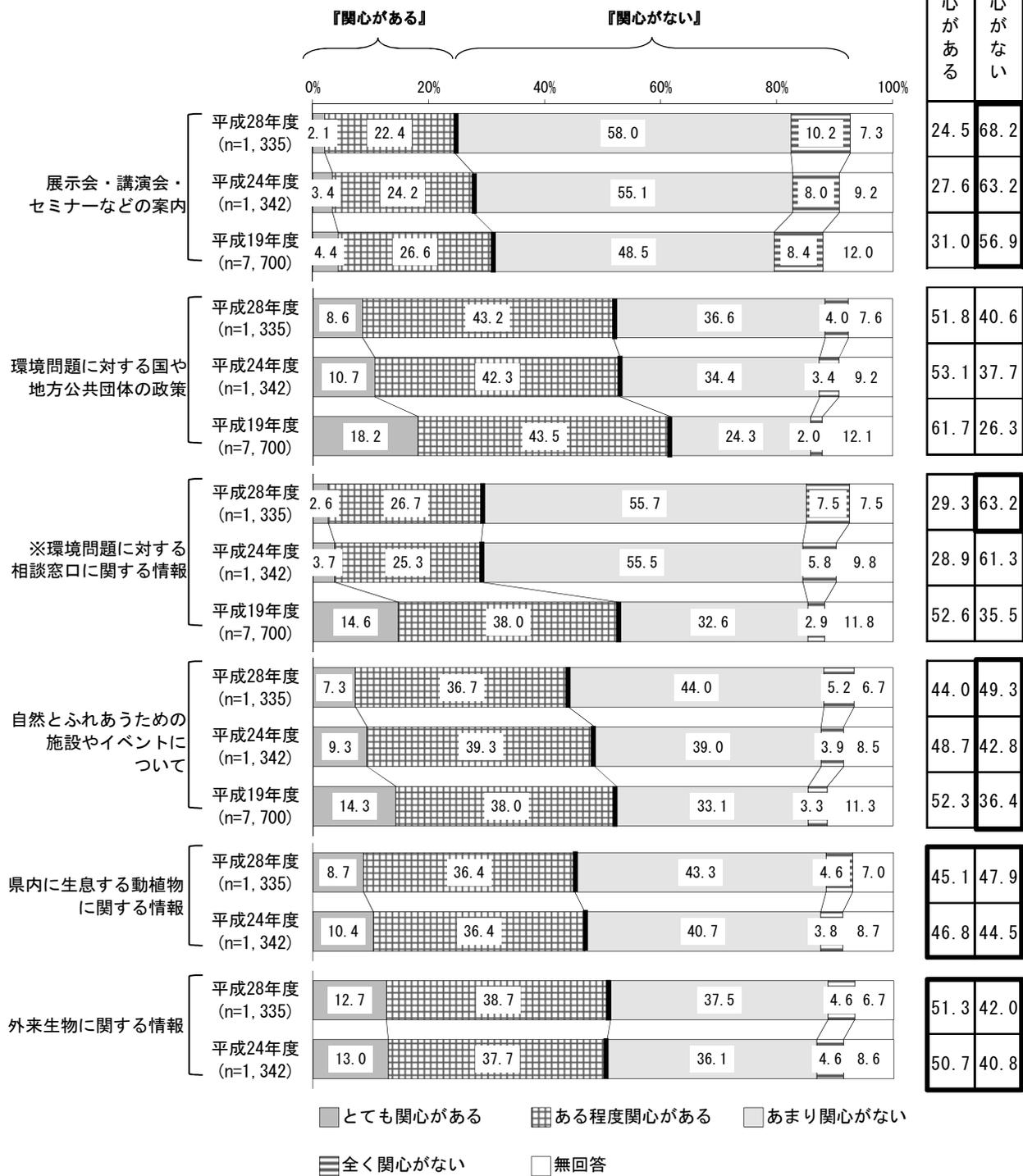
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『入手する』（「よく入手する」と「時々入手する」を合わせた割合）との回答は「テレビ・ラジオから」で8割超、「新聞・雑誌から」で約7割、「県や市町村の広報誌から」で6割台半ばと高くなっている。 ・『入手しない』（「全く入手しない」と「あまり入手しない」を合わせた割合）との回答は「環境イベント、講演会または講座から」、「企業の広報誌から」「環境保全活動の団体などから」で約8割と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『入手する』との回答は「インターネットから」で平成28年度（32.8%）が平成24年度（26.3%）から6.5ポイント増加している。 ・『入手しない』との回答は「新聞・雑誌から」で平成28年度（27.0%）が平成24年度（21.5%）から5.5ポイント、「家族、友人・知人などからの口コミで」で平成28年度（57.5%）が平成24年度（51.7%）から5.8ポイント増加している。

(2) 環境問題に関する情報の関心度

問 10 次にあげる環境問題に関する情報について、あなたはどの程度関心がありますか？
各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。





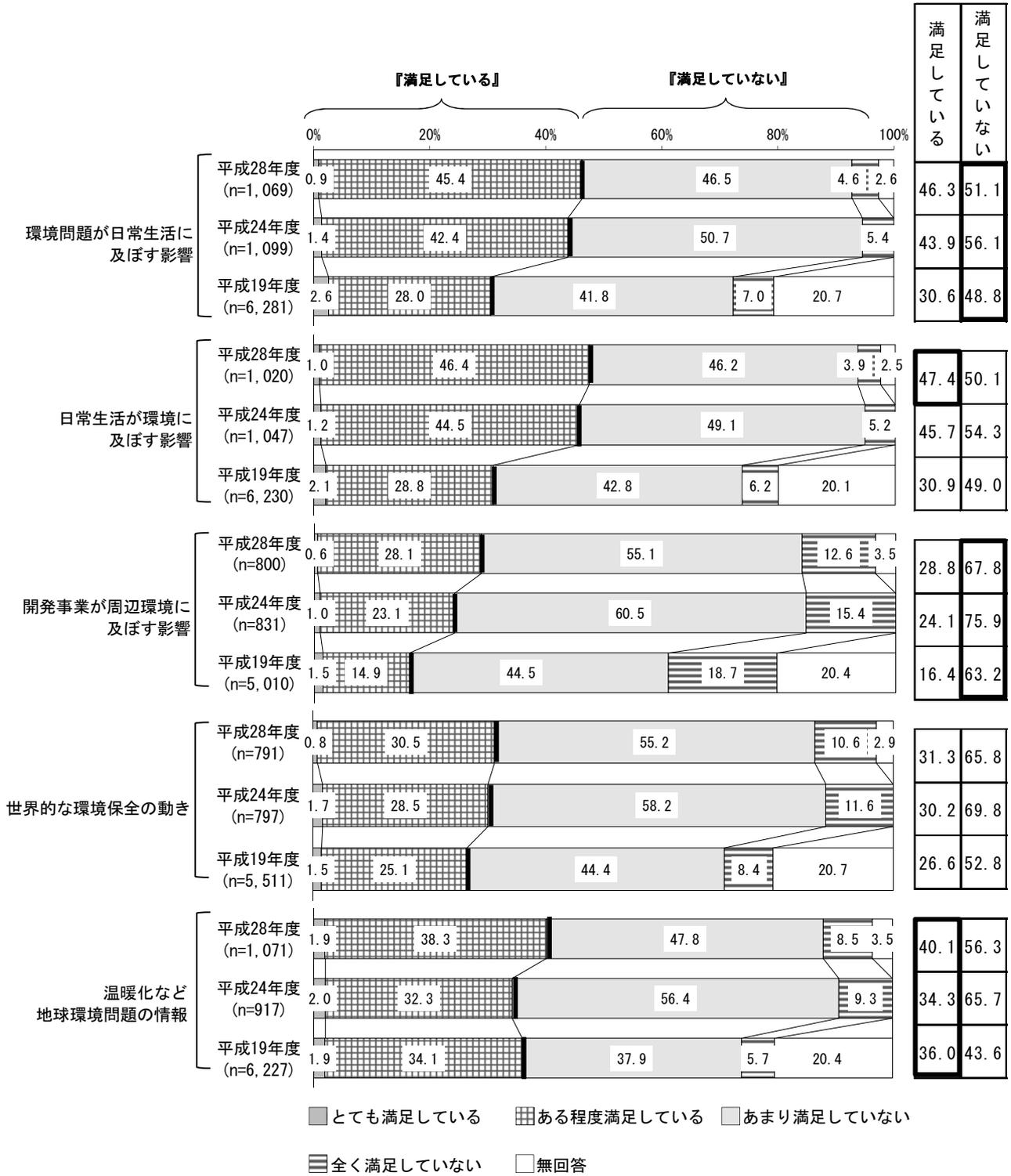


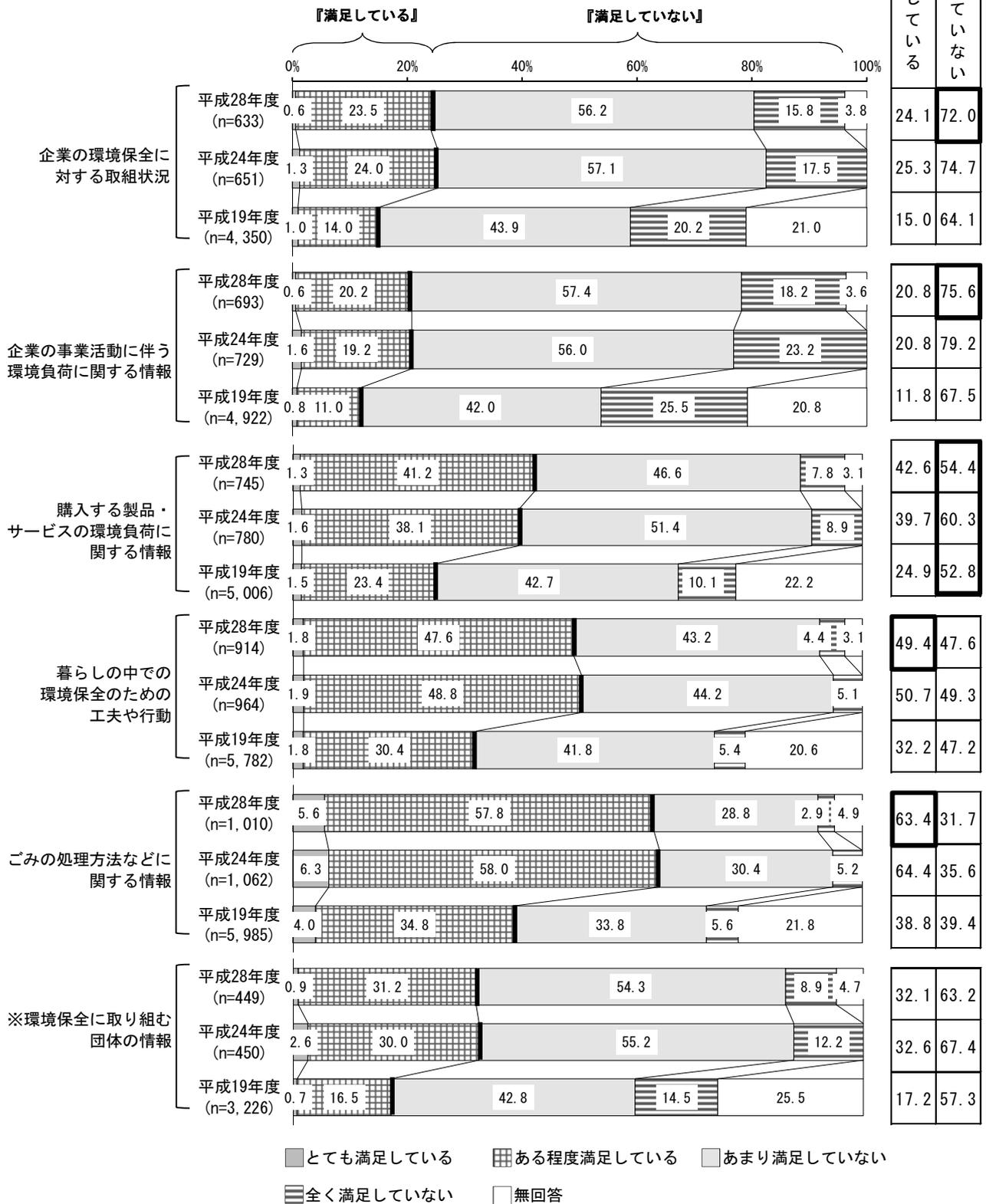
※選択肢の表現方法について
 H28、H24「環境問題に対する相談窓口に関する情報」
 →H19「環境問題に困った場合の相談窓口に関する情報」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『関心がある』（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた割合）との回答は「環境問題が日常生活に及ぼす影響」、「温暖化など地球環境問題の情報」で約8割、「日常生活が環境に及ぼす影響」、「ごみの処理方法などに関する情報」で7割台半ばと高くなっている。 ・『関心がない』との回答は「展示会・講演会・セミナーなどの案内」で約7割、「環境問題に対する相談窓口に関する情報」で6割台半ばと高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『関心がある』との回答は「温暖化など地球環境問題の情報」で平成28年度（80.2%）が平成24年度（68.3%）から11.9ポイント増加している。 ・『関心がない』との回答は「展示会・講演会・セミナーなどの案内」で平成28年度（68.2%）が平成24年度（63.2%）から5.0ポイント、「自然とふれあうための施設やイベントについて」で平成28年度（49.3%）が平成24年度（42.8%）から6.5ポイント増加している。 ・「県内に生息する動植物に関する情報」、「外来生物に関する情報」は経年比較しても関心度の変化はほとんどみられない。

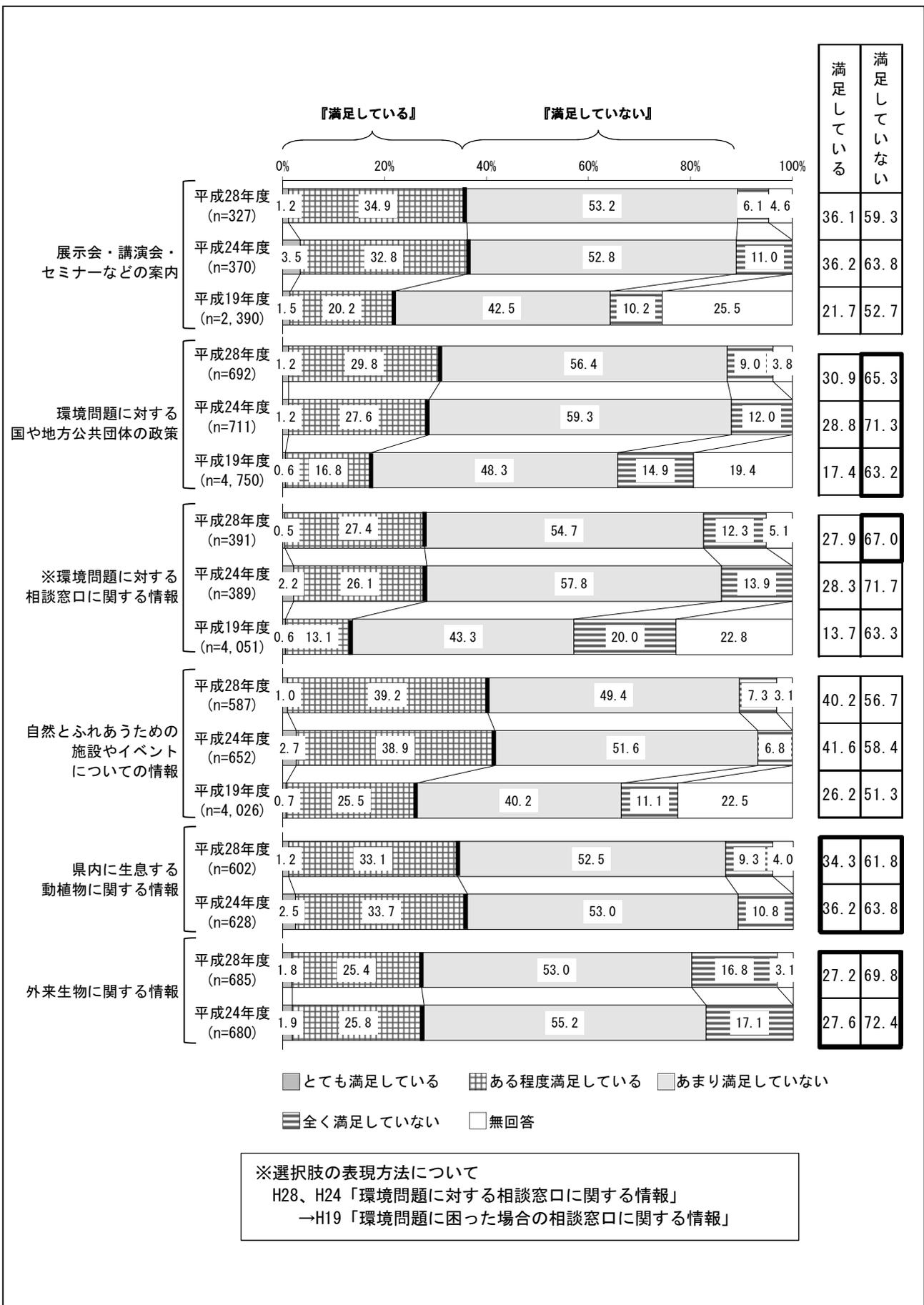
(3) 環境問題に関する情報の満足度

問 10-1 また、「とても関心がある」または「ある程度関心がある」と答えられた方は、得られる情報の量・質にどの程度満足しているかをア～エから選んで、1つに○をつけてください。





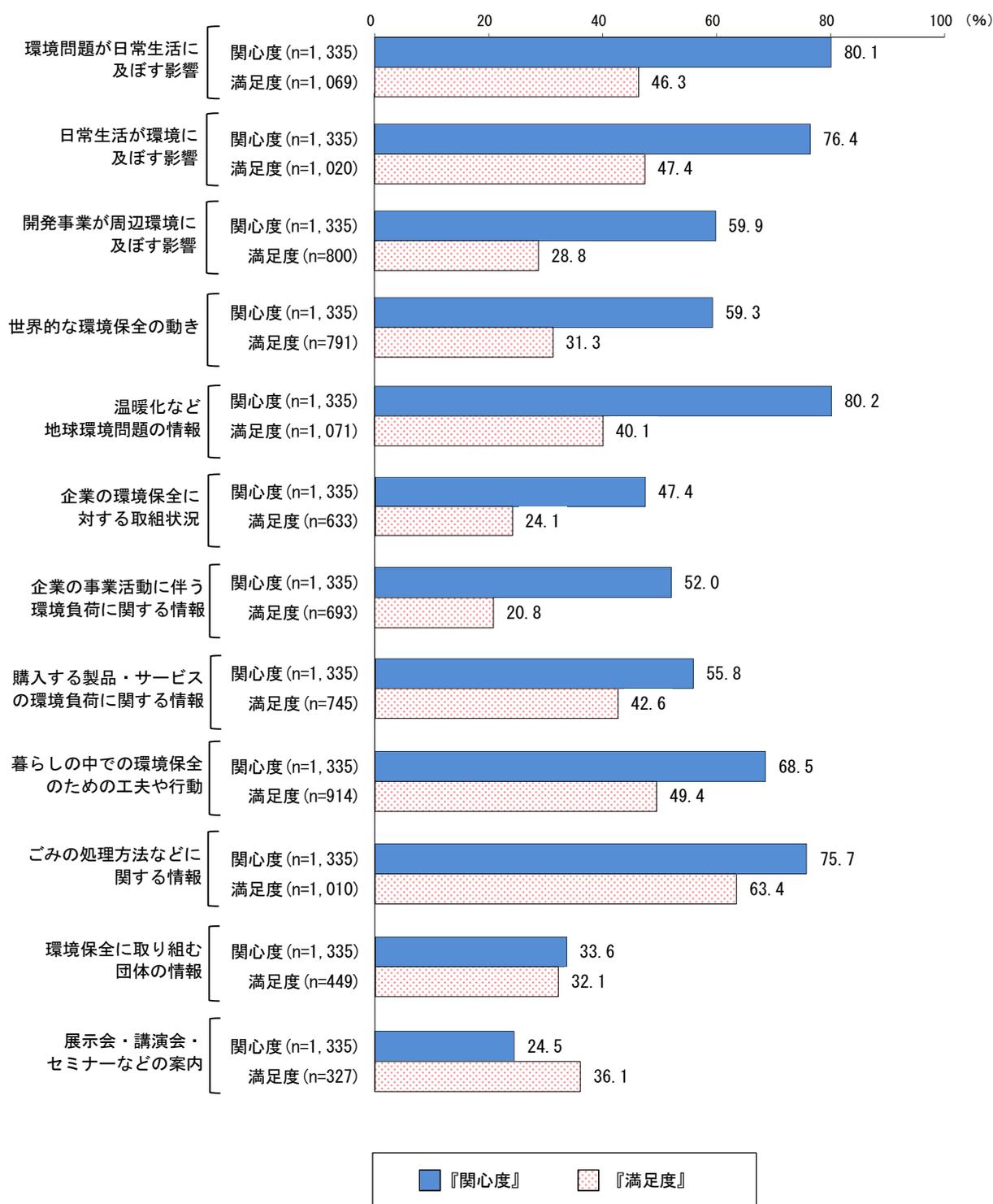
※選択肢の表現方法について
H28「環境保全に取り組む団体の情報」→H19、H24「環境保護団体の情報」

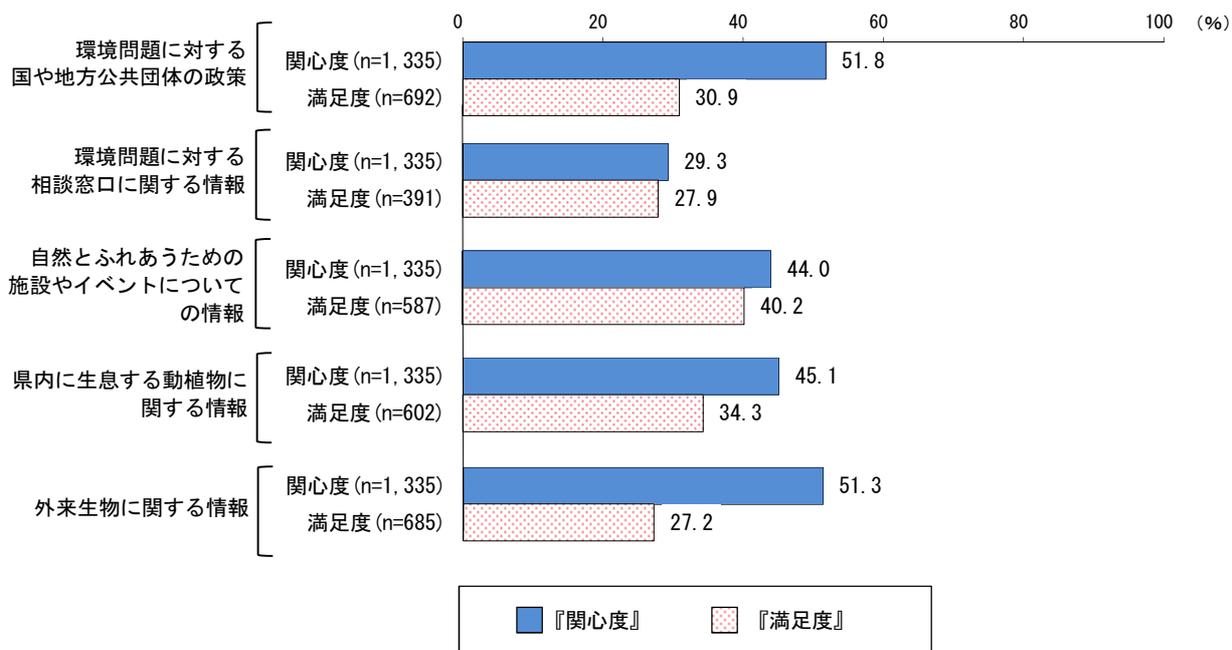


※選択肢の表現方法について
 H28、H24「環境問題に対する相談窓口に関する情報」
 →H19「環境問題に困った場合の相談窓口に関する情報」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『満足している』（「とても満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合）との回答は「ごみの処理方法などに関する情報」で6割台半ば、「日常生活が環境に及ぼす影響」、「暮らしの中での環境保全のための工夫や行動」で約5割と高くなっている。 ・『満足していない』（「全く満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた割合）との回答は「企業の事業活動に伴う環境負荷に関する情報」で7割台半ば、「企業の環境保全に対する取組状況」で7割超、「開発事業が周辺環境に及ぼす影響」、「環境問題に対する相談窓口に関する情報」、「外来生物に関する情報」で約7割と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『満足している』との回答は「温暖化など地球環境問題の情報」で平成28年度(40.1%)が平成24年度(34.3%)から5.8ポイント増加している。 ・『満足していない』との回答は「環境問題が日常生活に及ぼす影響」で平成28年度(51.1%)が平成24年度(56.1%)から5.0ポイント、「開発事業が周辺環境に及ぼす影響」で平成28年度(67.8%)が平成24年度(75.9%)から8.1ポイント、「購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報」で平成28年度(54.4%)が平成24年度(60.4%)から5.9ポイント、「環境問題に対する国や地方公共団体の政策」で平成28年度(65.3%)が平成24年度(71.3%)から6.0ポイント減少している。 ・「県内に生息する動植物に関する情報」、「外来生物に関する情報」は経年比較しても関心度の変化はほとんどみられない。

【図表 環境問題に対する情報（関心度と満足度の比較）】



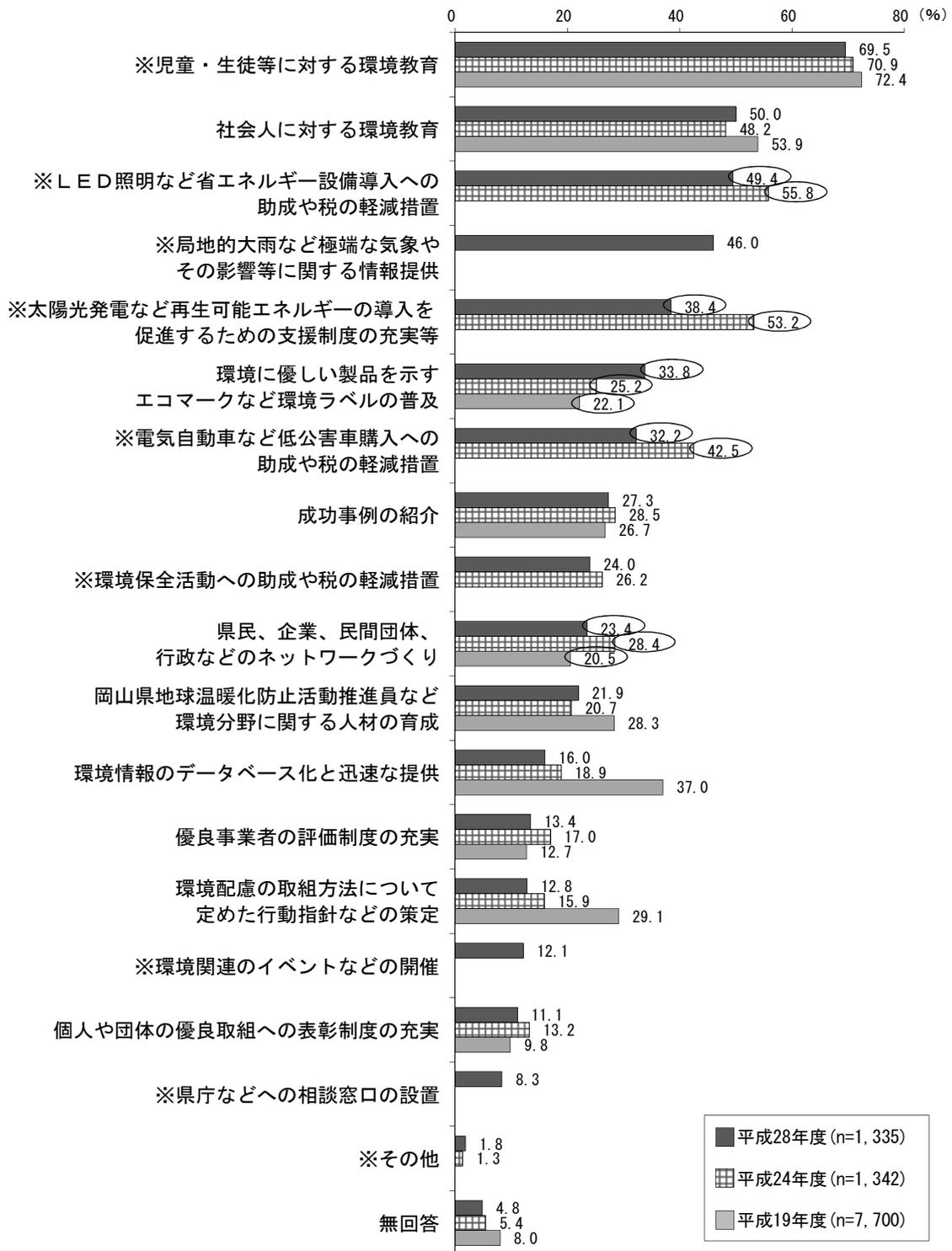


結果の要点	
関心度と満足度の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「展示会・講演会・セミナーなどの案内」は『満足度』（「とても満足している」と「ある程度満足している」を合わせた割合）が『関心度』（「とても関心がある」と「ある程度満関心がある」を合わせた割合）を上回っている。 ・「環境保全に取り組む団体の情報」、「環境問題に対する相談窓口に関する情報」、「自然とふれあうための施設やイベントに関する情報」は『関心度』と『満足度』に大きな差はみられない。 ・その他の項目については『関心度』が『満足度』を上回っており、特に「環境問題が日常生活に及ぼす影響」、「開発事業が周辺環境に及ぼす影響」、「温暖化など地球環境問題の情報」、「企業の事業活動に伴う環境負荷に関する情報」では30.0ポイント以上上回っている。

10 行政に期待することについて

(1) 自主的な環境配慮への取組を推進していくため、行政に期待すること

問 11 一人ひとりの自主的な環境配慮への取組を推進していくためには、行政に対してどのようなことを期待しますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。



※H19、H24 にはない選択肢

「局地的大雨など極端な気象やその影響等に関する情報提供助」

「環境関連のイベントなどの開催」、「県庁などへの相談窓口の設置」

※H19 にはない選択肢

「LED照明など省エネルギー設備導入への助成や税の軽減措置」

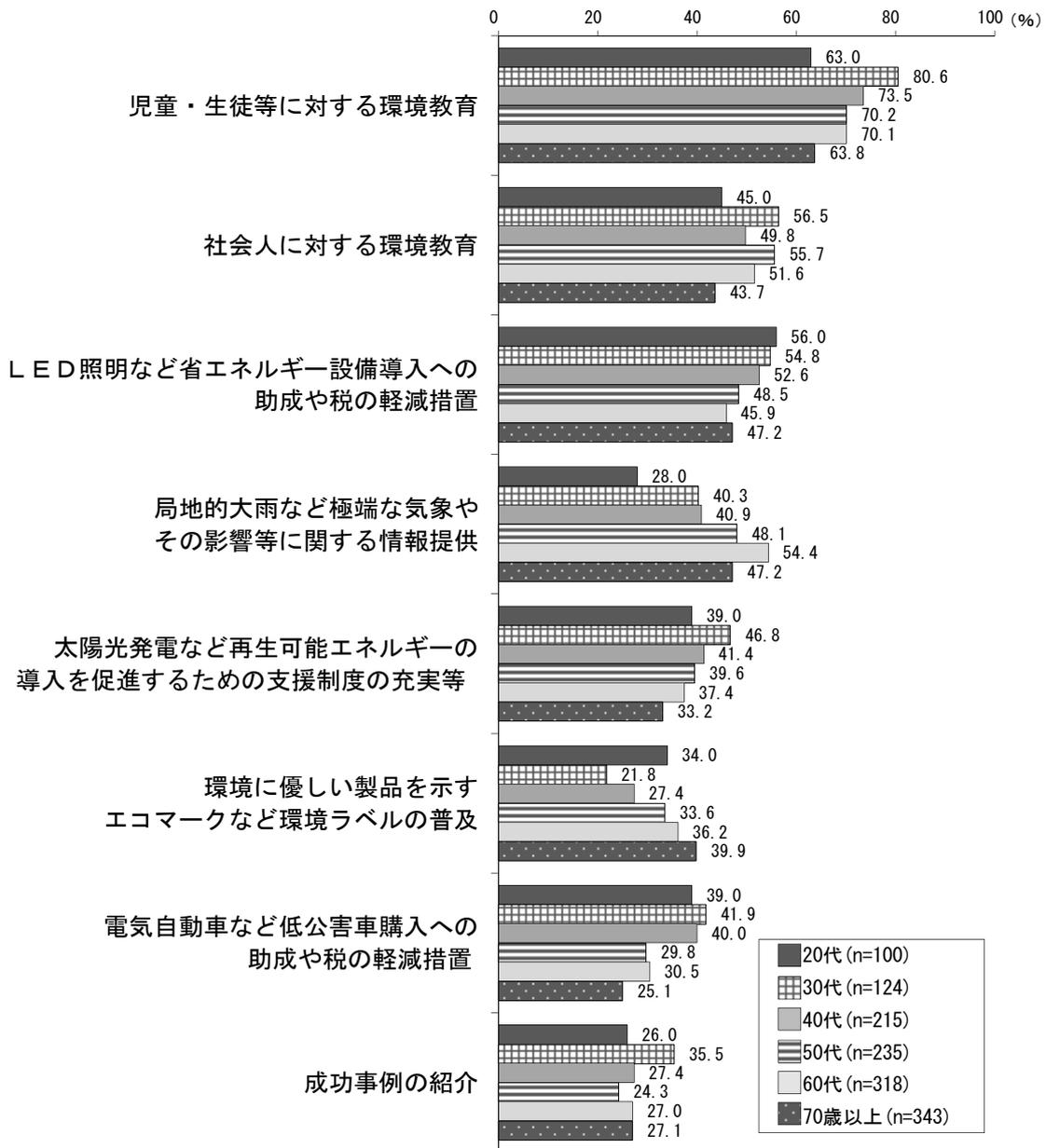
「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を促進するための支援制度の充実等」

「電気自動車など低公害車購入への助成や税の軽減措置」

「環境保全活動への助成や税の軽減措置」、「その他」

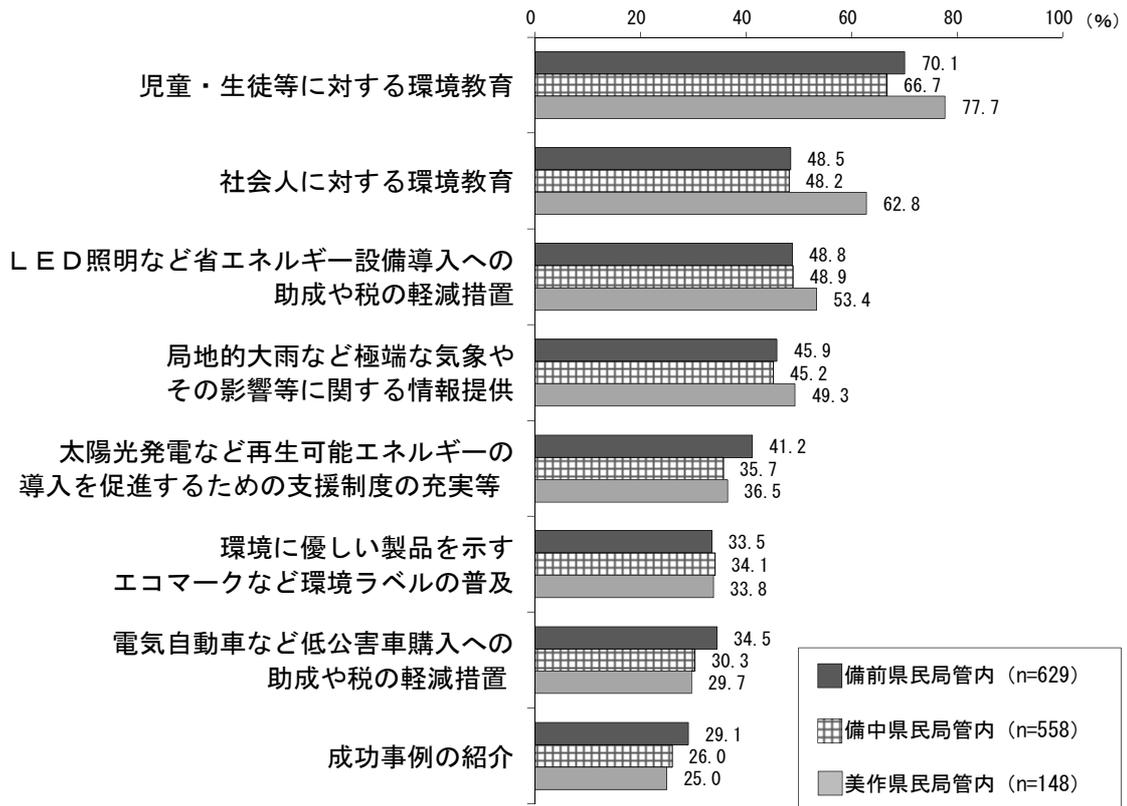
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none">・「児童・生徒に対する環境教育」との回答は 69.5%と最も高く、次いで「社会人に対する環境教育」(50.0%)、「LED照明など省エネルギー設備導入への助成や税の軽減措置」(49.4%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none">・「LED照明など省エネルギー設備導入への助成や税の軽減措置」との回答は平成 28 年度 (49.4%) が平成 24 年度 (55.8%) から 6.4 ポイント、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を促進するための支援制度の充実等」との回答は平成 28 年度 (38.4%) が平成 24 年度 (53.2%) から 14.8 ポイント、「電気自動車など低公害車購入への助成や税の軽減措置」との回答は平成 28 年度 (32.2%) が平成 24 年度 (42.5%) から 10.3 ポイント、「県民、企業、民間団体、行政などのネットワークづくり」との回答は平成 28 年度 (23.4%) が平成 24 年度 (28.4%) から 5.0 ポイント減少している。・「環境に優しい製品を示すエコマークなど環境ラベルの普及」との回答は平成 28 年度 (33.8%) が平成 19 年度 (22.1%) から 11.7 ポイント、平成 24 年度 (25.2%) から 8.6 ポイント増加している。・「児童・生徒等に対する環境教育」、「成功事例の紹介」との回答は経年比較しても大きな変化はみられない。

【図表 自主的な環境配慮への取組を推進していくため、行政に期待すること（年齢別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童・生徒等に対する環境教育」との回答は30代で約8割と高くなっている。 ・「社会人に対する環境教育」との回答は30代、50代で5割台半ばと高くなっている。 ・「LED照明など省エネルギー設備導入への助成や税の軽減措置」との回答は20代、30代で5割台半ばと高くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・「成功事例の紹介」との回答は30代が3割台半ば、それ以外の年齢は2割台半ばとなっている。 ・「局地的大雨など極端な気象やその影響等に関する情報提供」との回答は60代で5割台半ばと高くなっている。

【図表 自主的な環境配慮への取組を推進していくため、行政に期待すること（地域別）】



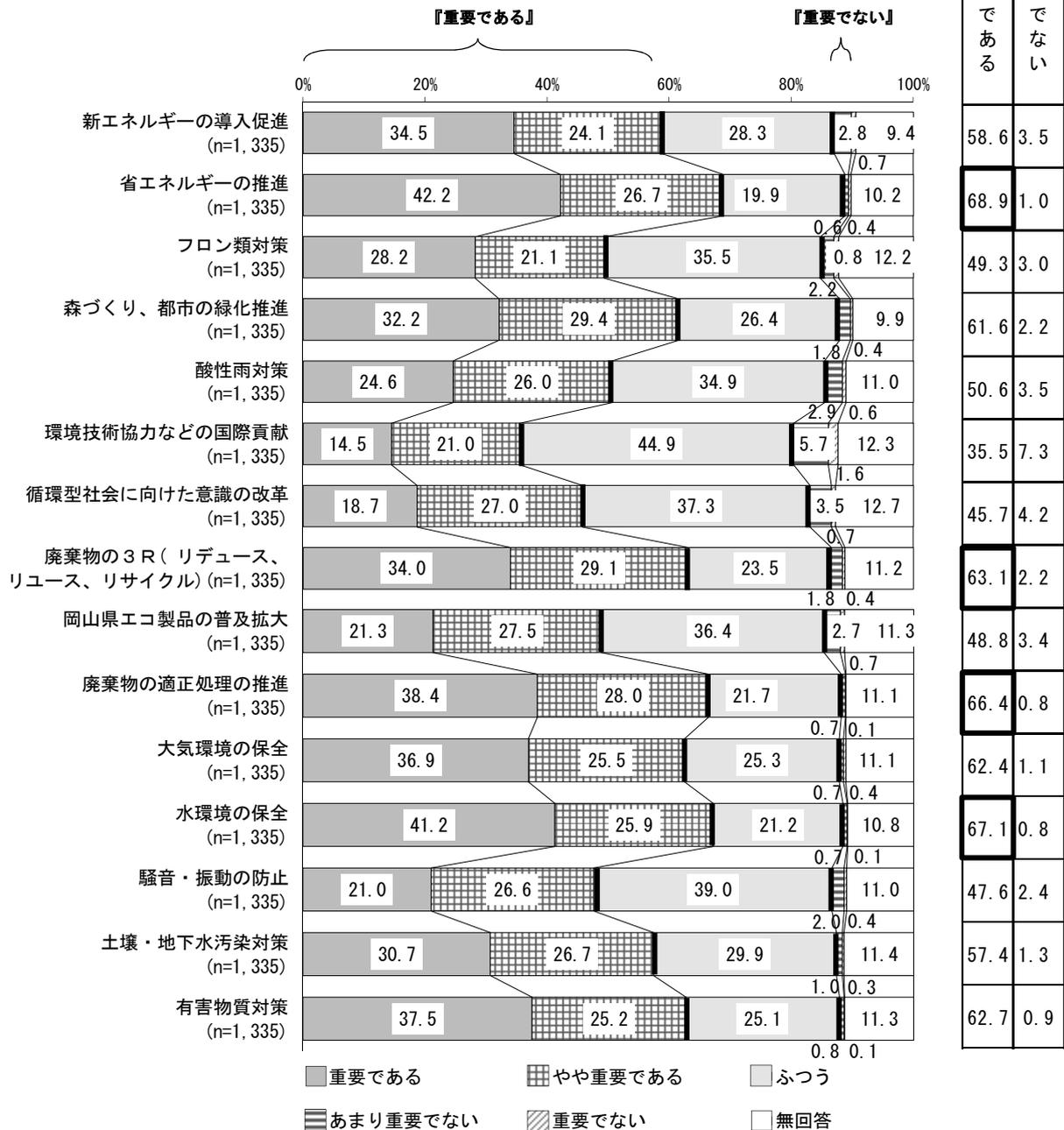
結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童・生徒等に対する環境教育」との回答は美作県民局管内で約8割と高くなっている。 ・「社会人に対する環境教育」との回答は美作県民局管内で6割超と高くなっている。

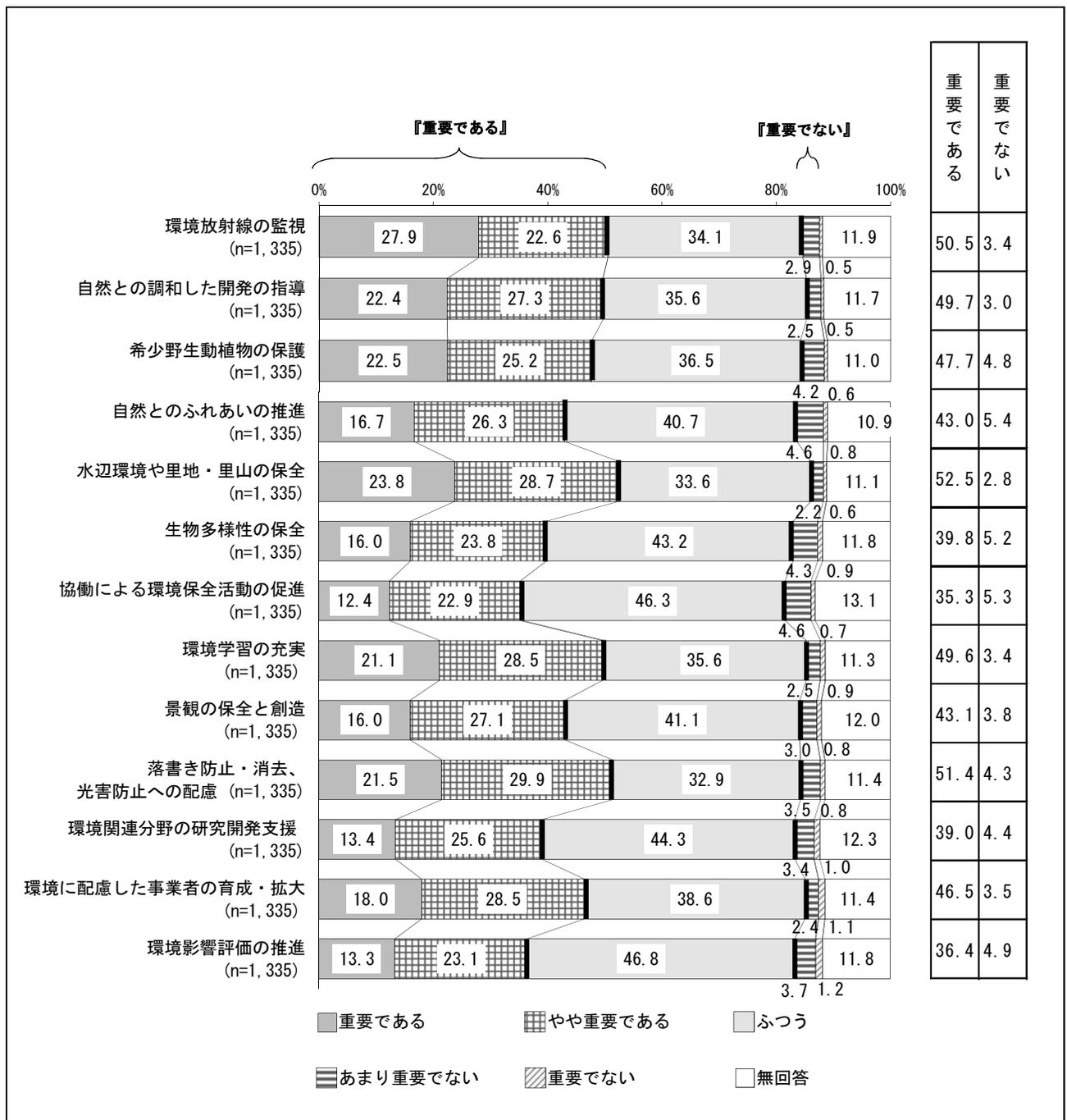
11 岡山県の取組状況について

(1) 岡山県が行う施策の重要度・満足度

問 12 岡山県が現在行っている環境に関する以下の施策についてお尋ねします。
 それぞれの施策の重要度と県の取組状況の満足度についてあなたの考えや意見に最も近いものはどれですか？
 項目ごとに、1～5のうち、重要度、満足度それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

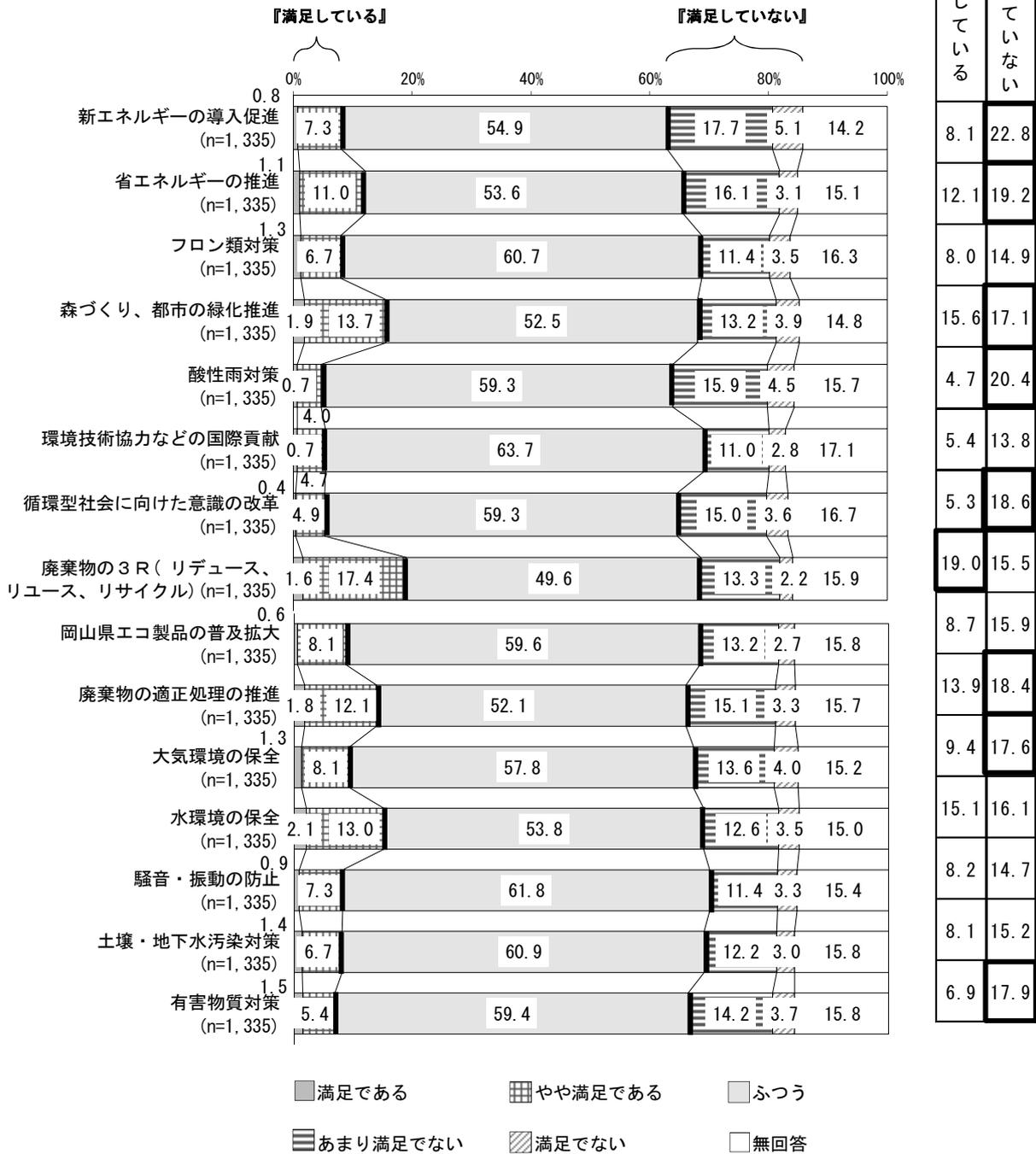
(1) 重要度

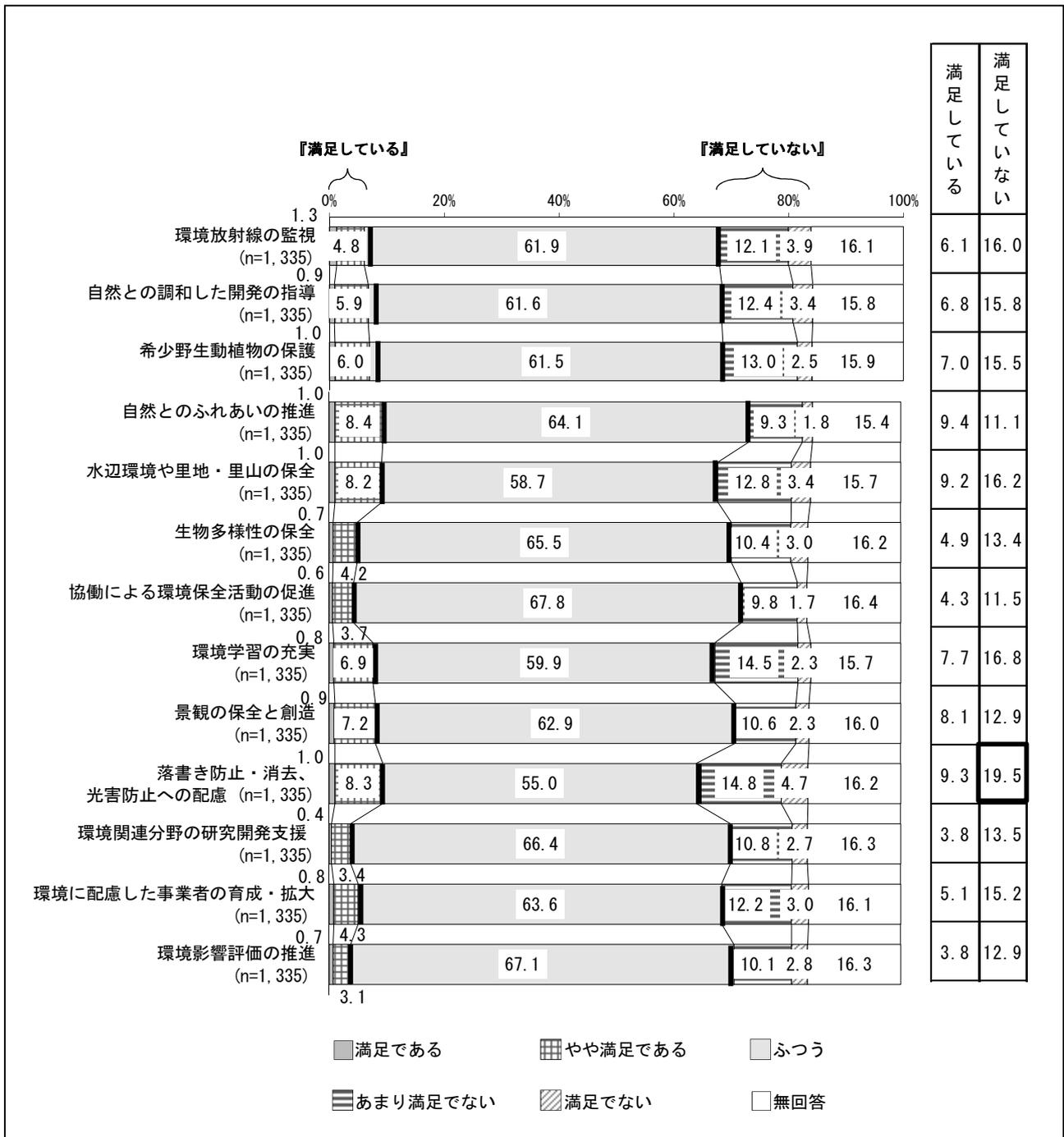




結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> 『重要である』との回答は「省エネルギーの推進」、「水環境の保全」で約7割、「廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）」、「廃棄物の適正処理の推進」で6割台半ばと高くなっている。

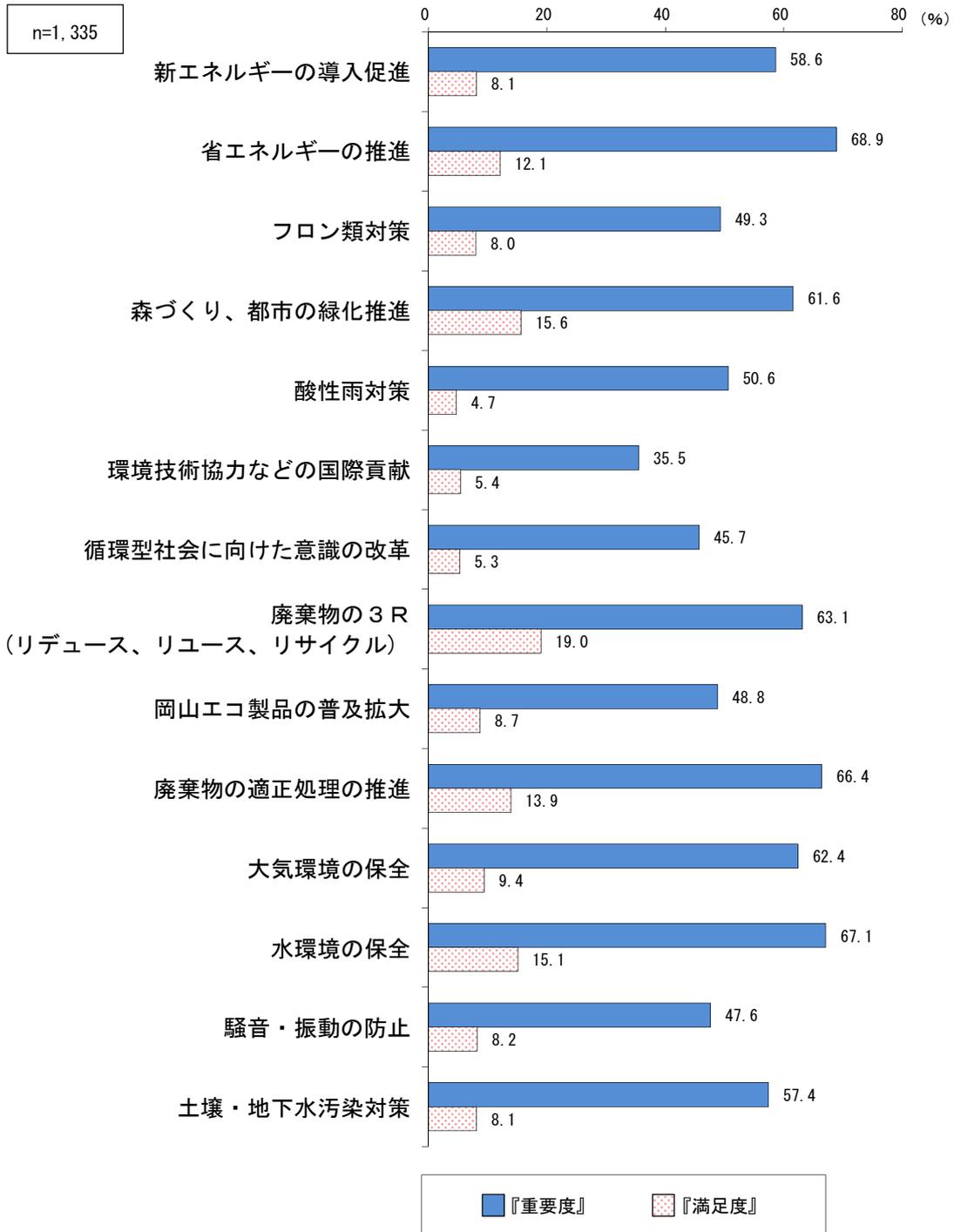
(2) 満足度



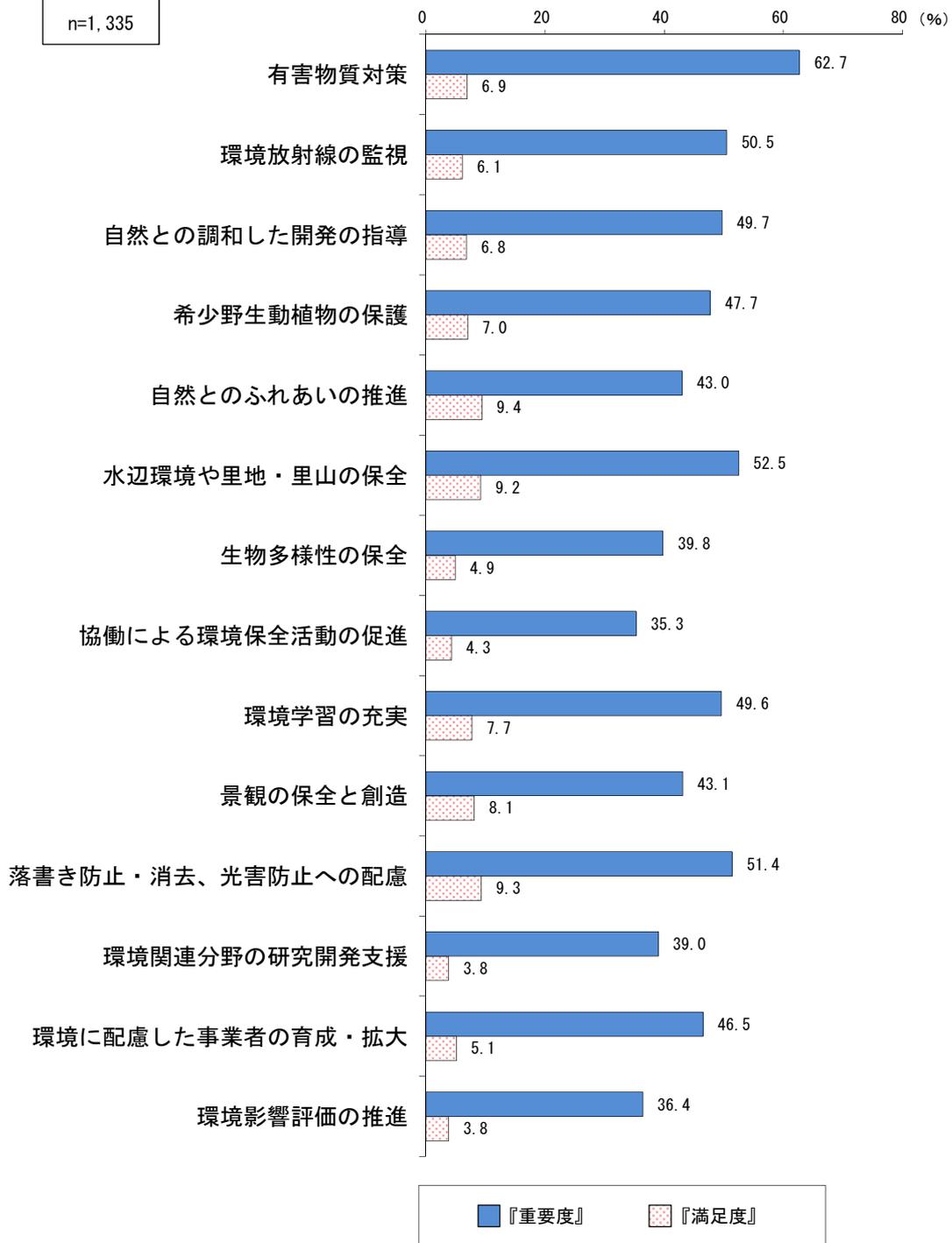


結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『満足している』（「満足である」と「やや満足である」を合わせた割合）との回答は「廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）」で約2割と高くなっている。 ・『満足していない』（「満足でない」と「あまり満足でない」を合わせた割合）との回答は「新エネルギーの導入促進」で2割超、「省エネルギーの推進」、「森づくり、都市の緑化推進」、「酸性雨対策」、「循環型社会に向けた意識の改革」、「廃棄物の適正処理の推進」、「大気環境の保全」、「有害物質対策」、「落書き防止・消去、光害防止への配慮」で2割前後と高くなっている。

【図表 岡山県が行う施策（重要度と満足度の比較）】 +



n=1,335

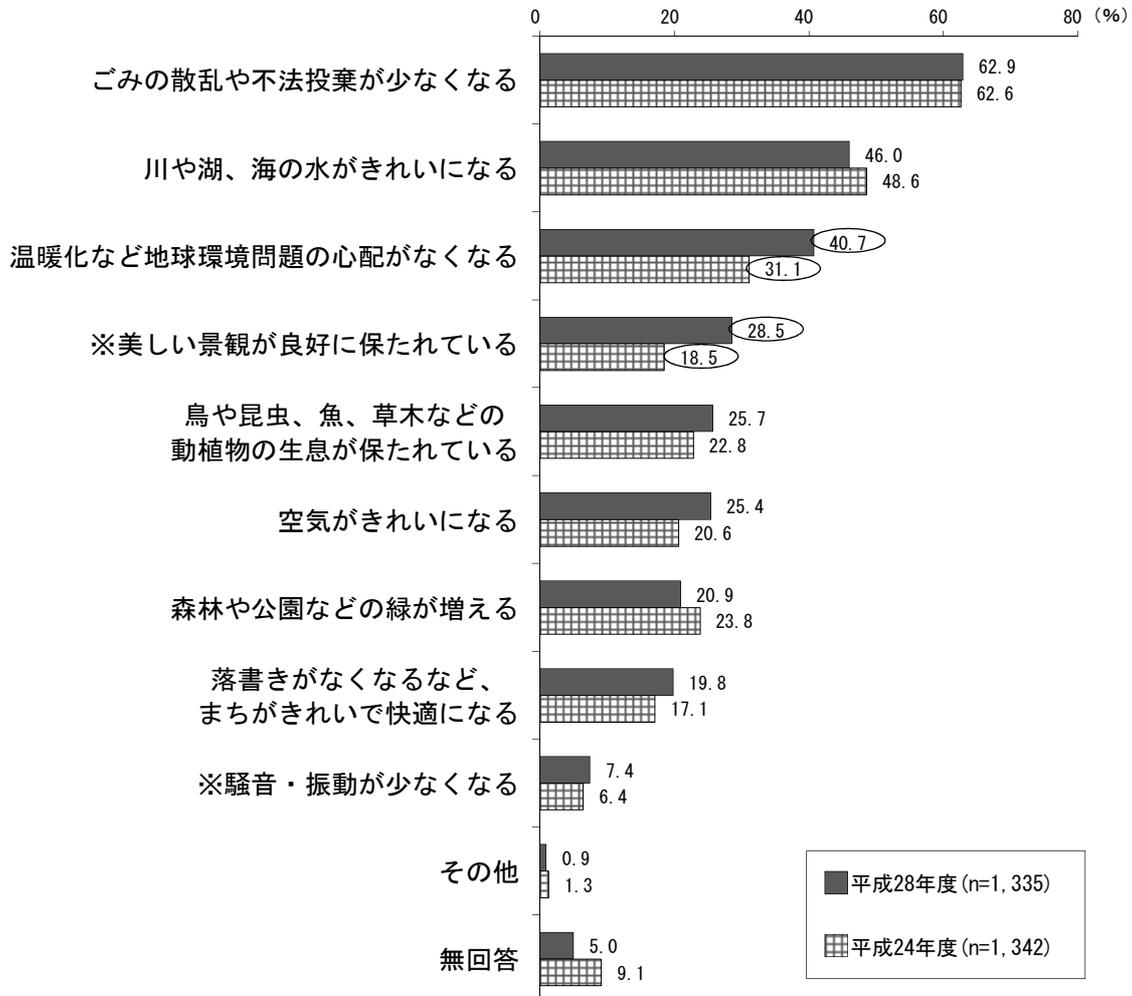


結果の要点	
重要度と満足度の比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「省エネルギーの推進」、「森づくり、都市の緑化推進」、「廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）」、「廃棄物の適正処理の推進」、「水環境の保全」は『重要度』（「重要である」と「やや重要である」を合わせた割合）が6割台と高く、『満足度』（「満足である」と「やや満足である」を合わせた割合）も1割超から約2割と比較的高くなっている。 ・「大気環境の保全」、「有害物質対策」は『重要度』が6割台と高くなっているが、『満足度』が1割未満と低くなっている。

12 岡山県の将来像について

(1) 2020年頃の環境はどのようにあるべきか

問 13 岡山県では、2020年度を目標に環境基本計画を策定し、各種施策に取り組んでいますが、あなたは、2020年頃の県の環境はどのようにあるべきだとお考えですか？重要と思われる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



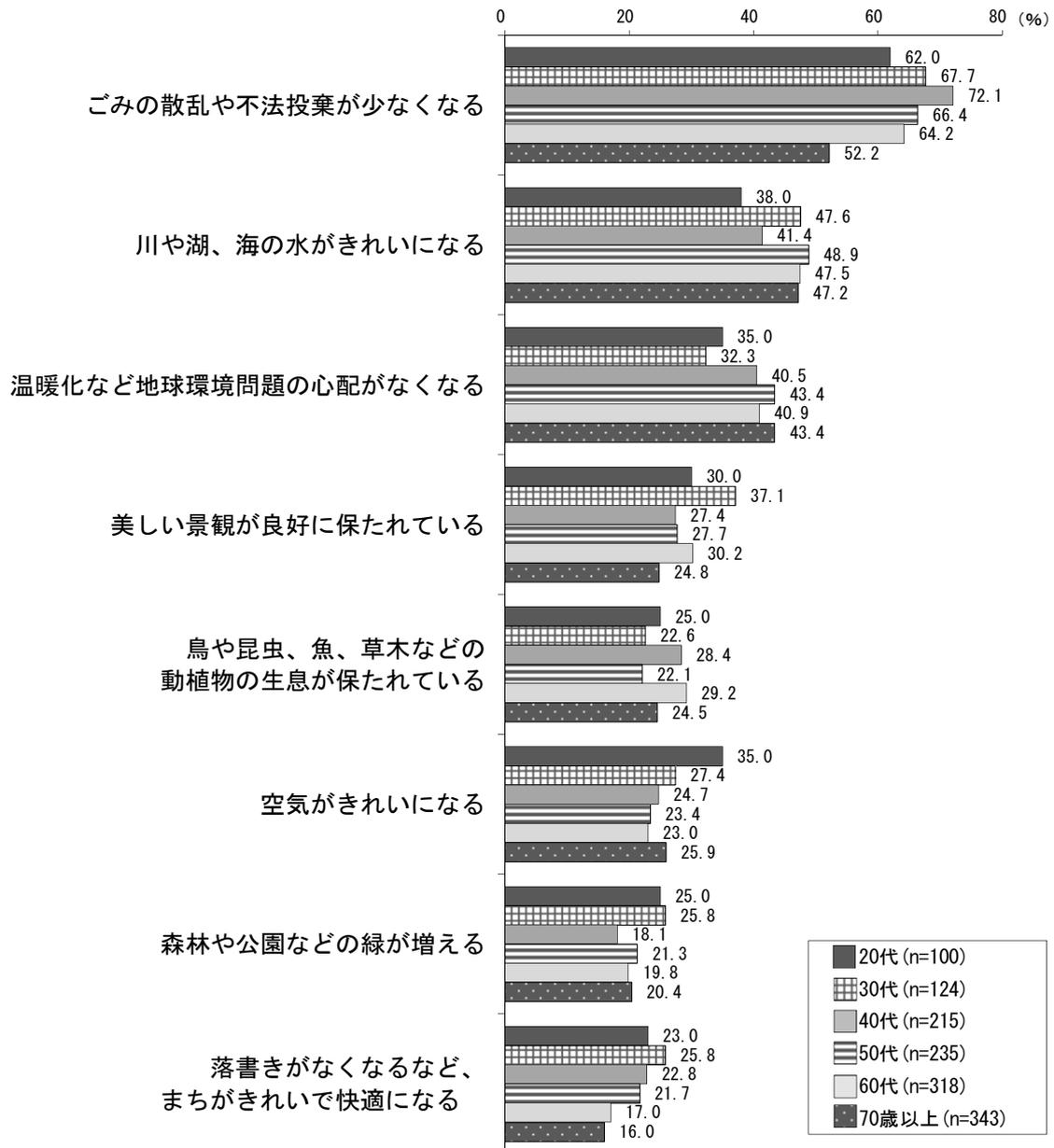
※選択肢の表現方法について

H28「美しい景観が良好に保たれている」→H24「まち並みなどの景観が適切に保全される」

H28「騒音・振動が少なくなる」→H24「騒音が少なくなる」

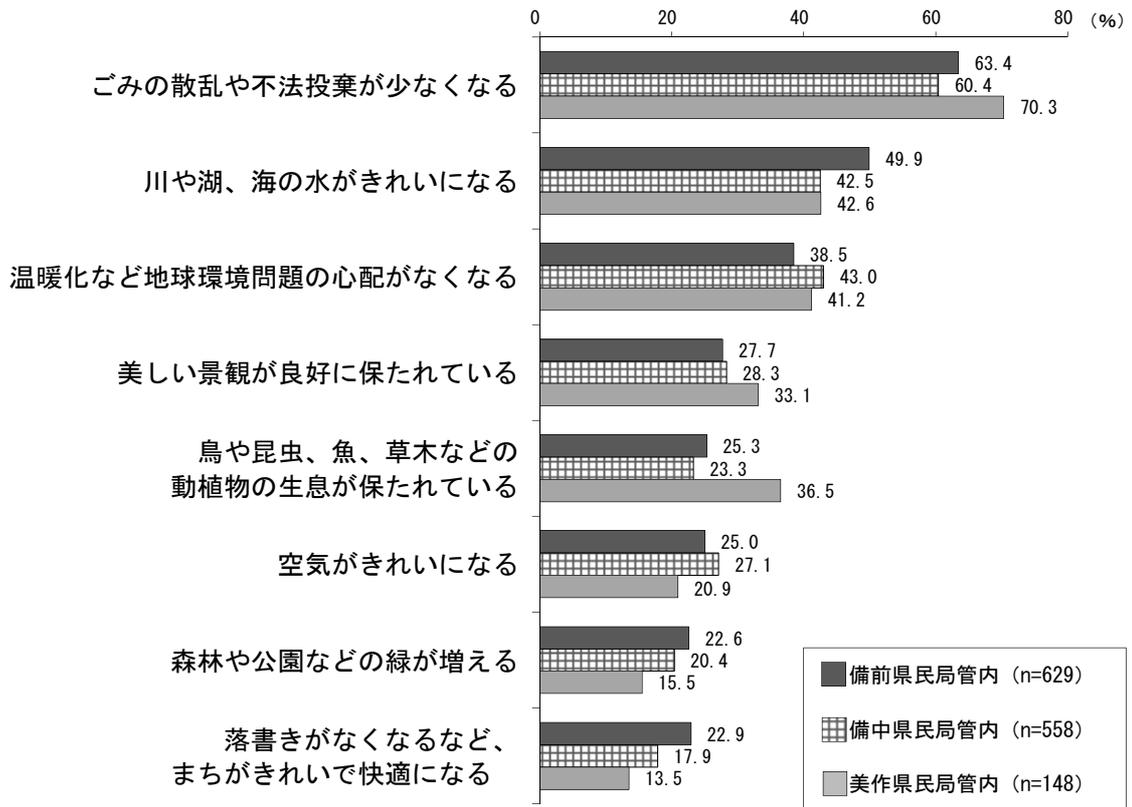
結果の要点	
全体	・「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」が62.9%と最も高く、次いで「川や湖、海の水がきれいになる」(46.0%)、「温暖化など地球環境問題の心配がなくなる」(40.7%)などの順となっている。
経年比較	・「温暖化など地球環境問題の心配がなくなる」との回答は平成28年度(40.7%)が平成24年度(31.1%)から9.6ポイント、「美しい景観が良好に保たれている」との回答は平成28年度(28.5%)が平成24年度(18.5%)から10.0ポイント増加している。

【図表 2020年頃の環境はどのようにあるべきか（年齢別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」との回答は40代で7割超と高くなっている。 ・「川や湖、海の水がきれいになる」との回答は20代、40代で4割前後と低くなっている。 ・「美しい景観が良好に保たれている」との回答は30代で約4割と高くなっている。 ・「空気がきれいになる」との回答は20代で3割台半ばと高くなっている。

【図表 2020年頃の環境はどのようにあるべきか（地域別）】



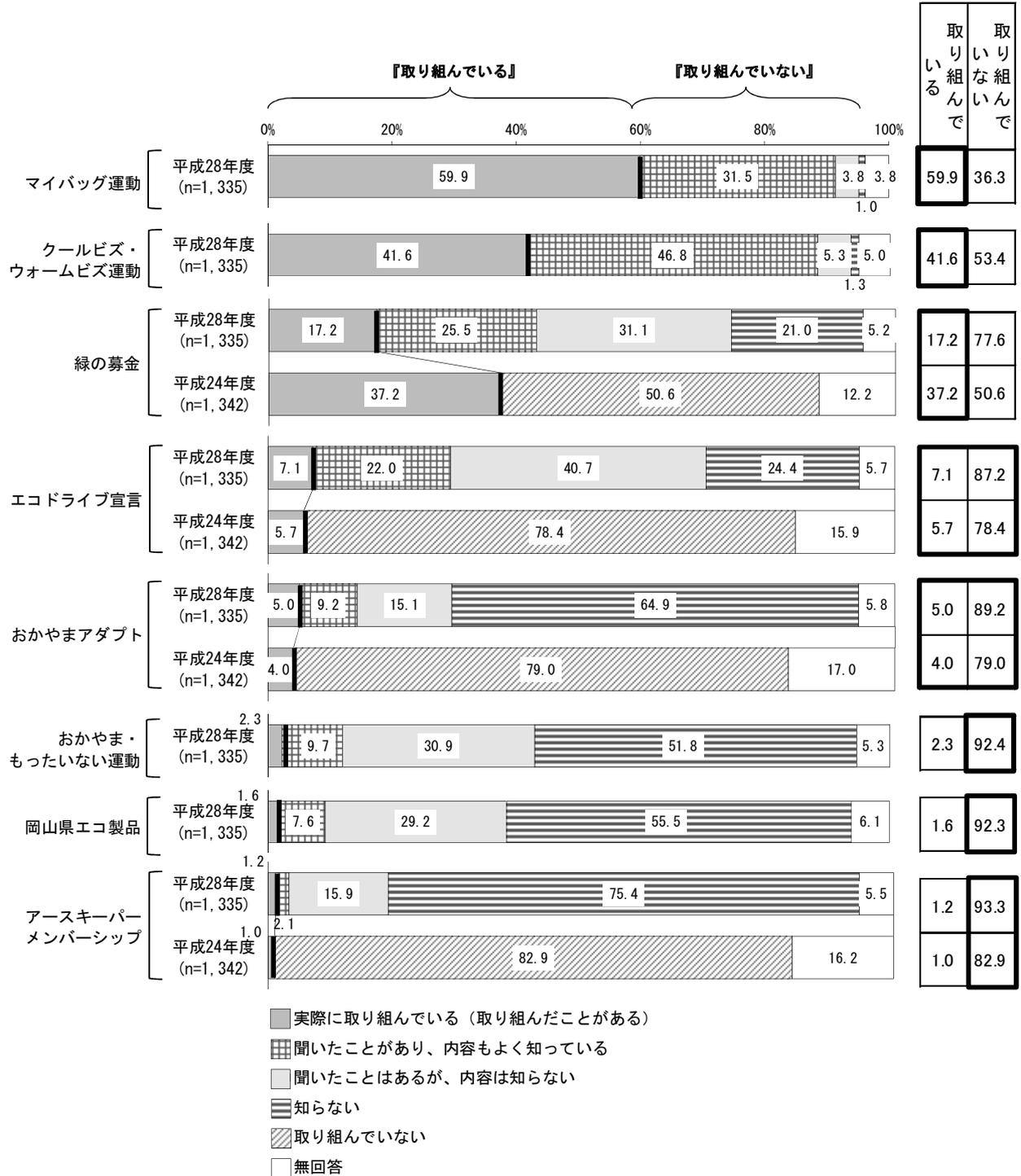
結果の要点	
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」との回答は美作県民局管内で約7割と高くなっている。 ・「川や湖、海の水がきれいになる」との回答は備前県民局管内で約5割と高くなっている。 ・「鳥や昆虫、魚、草木などの動植物の生息が保たれている」との回答は美作県民局管内で3割台半ばと高くなっている。

13 環境に関する言葉の認知度

(1) 環境に関する言葉の認知度

問 14 あなたは、次の環境に関する言葉についてご存知ですか？

各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。



※H24 にはない選択肢

「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」、「知らない」

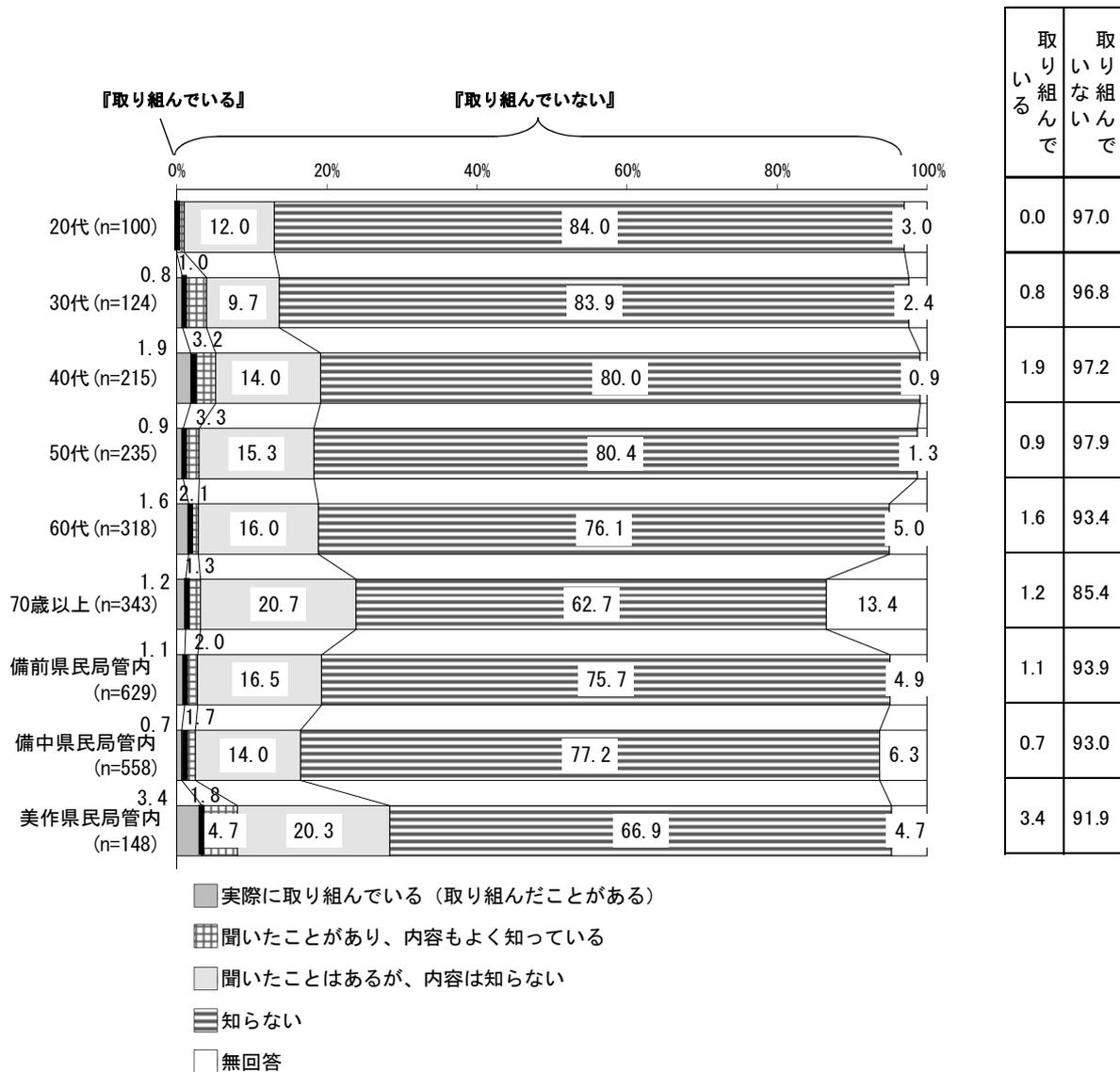
※H28 にはない選択肢

「取り組んでいない」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』（「実際に取り組んでいる（取り組んだことがある）」）との回答は「マイバッグ運動」で約6割、「クールビズ・ウォームビズ運動」で4割超と高くなっている。 ・『取り組んでいない』（「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「知らない」を合わせた割合）との回答は「おかやま・もったいない運動」、「岡山県エコ製品」、「アースキーパーメンバーシップ」で9割台と高くなっている。 ・「知らない」との回答は「アースキーパーメンバーシップ」で9割超、「おかやまアダプト」、「おかやま・もったいない運動」、「岡山県エコ製品」で8割台と高くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は「緑の募金」で平成28年度（17.2%）が平成24年度（37.2%）から20.0ポイント減少している。 ・『取り組んでいない』との回答は「アースキーパーメンバーシップ」で平成28年度（93.3%）が平成24年度（82.9%）から10.4ポイント増加している。 ・「エコドライブ宣言」、「おかやまアダプト」は経年比較してもほとんど差はみられない。

(1) アースキーパーメンバーシップ

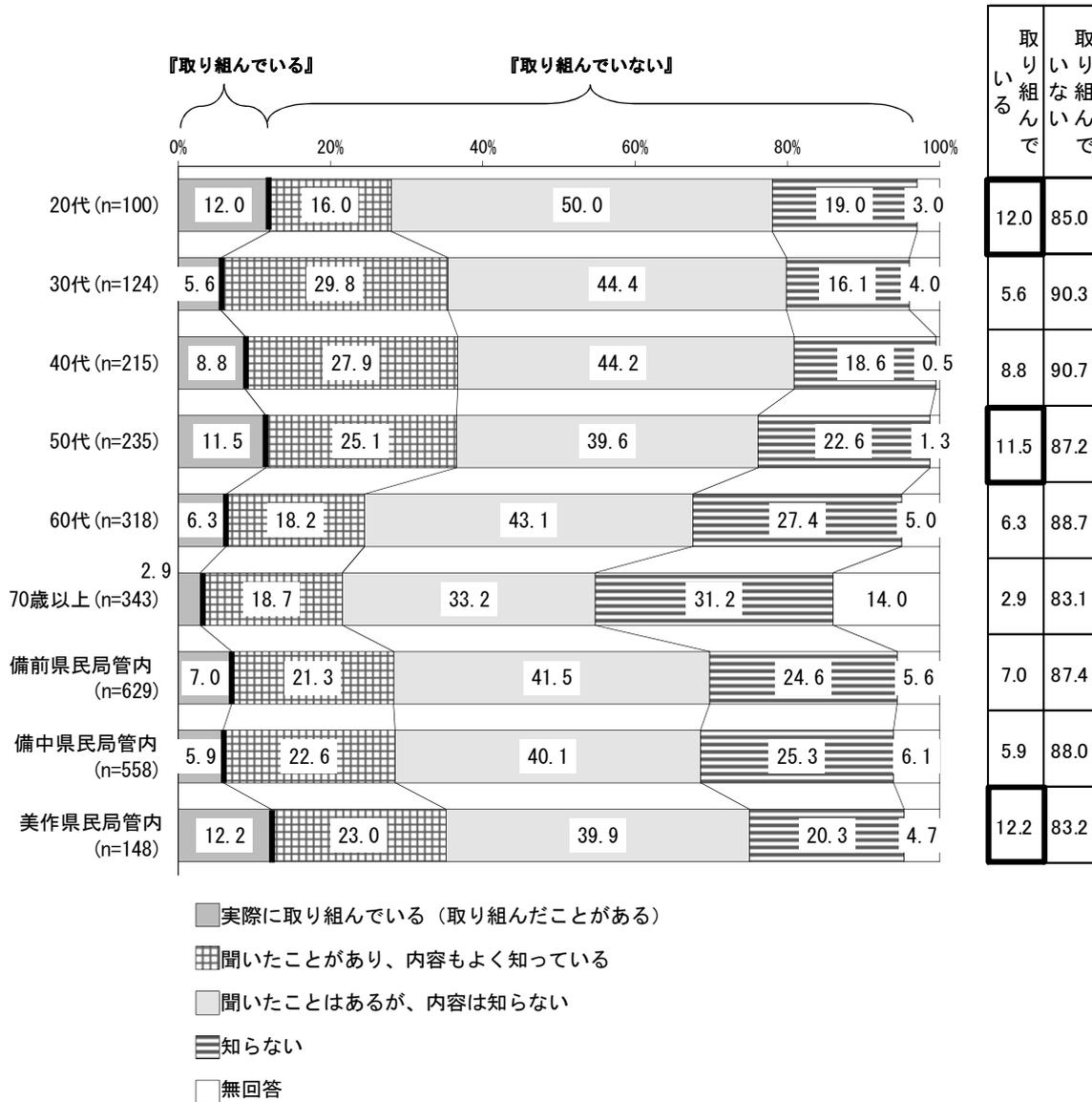
【図表 アースキーパーメンバーシップの認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は年齢によって大きな差はみられない。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は70歳以上で約2割と高くなっている。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は美作県民局管内で約2割と高くなっている。

(2) エコドライブ宣言

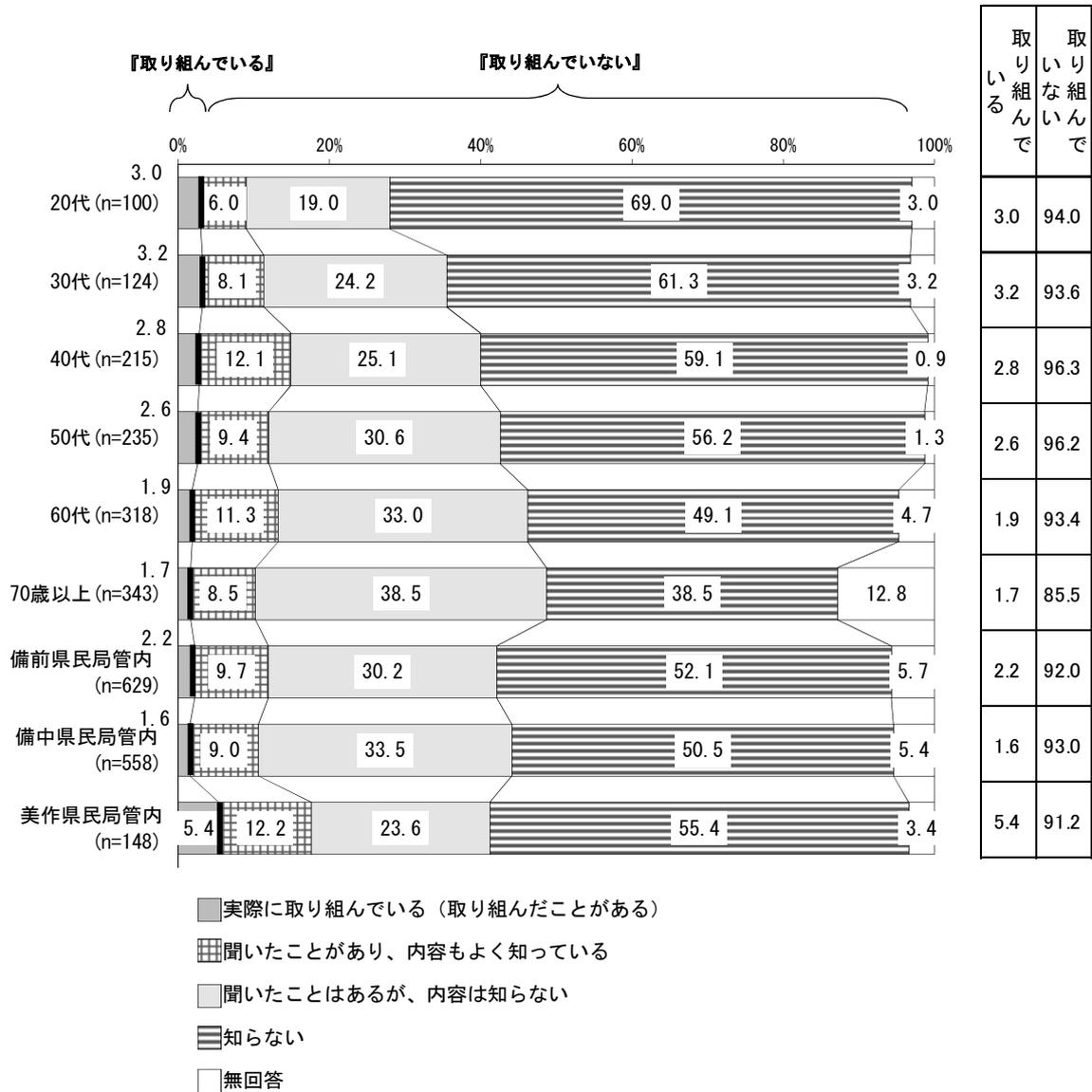
【図表 エコドライブ宣言の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は20代、50代で1割超と高くなっている。 「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は70歳以上で3割台半ばと低くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。 「知らない」との回答は70歳以上で3割超と高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は美作県民局管内で1割超と高くなっている。 「聞いたことがあり、内容もよく知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は地域によって大きな差はみられない。

(3) おかやま・もったいない運動

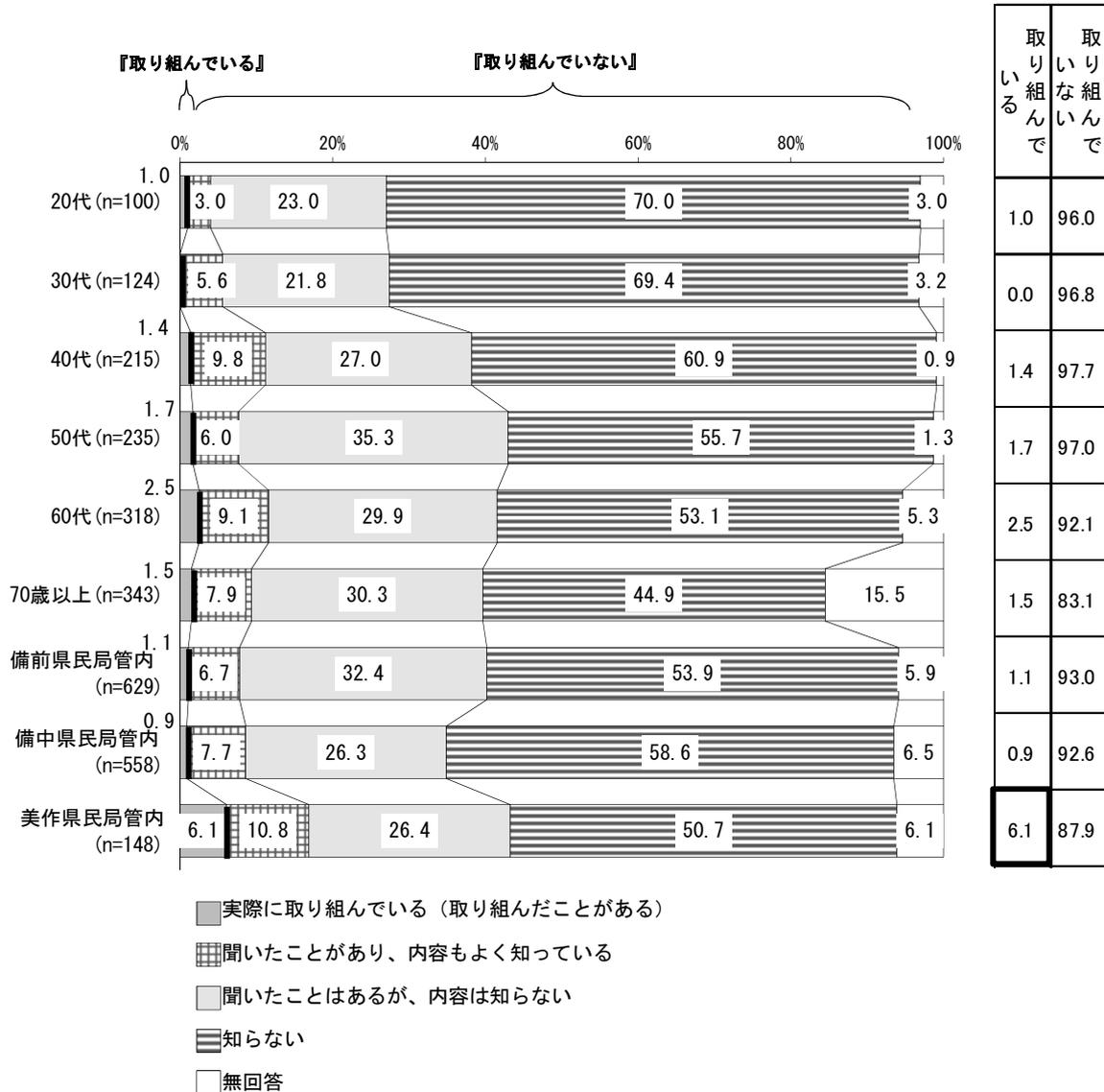
【図表 おかやま・もったいない運動の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は年齢によって大きな差はみられない。 「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は70歳以上で約4割と高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。 「知らない」との回答は70歳以上で約4割と低くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は地域によって大きな差はみられない。 「聞いたことがあるが、内容は知らない」との回答は美作県民局管内で2割台半ばと低くなっている。

(4) 岡山県エコ製品

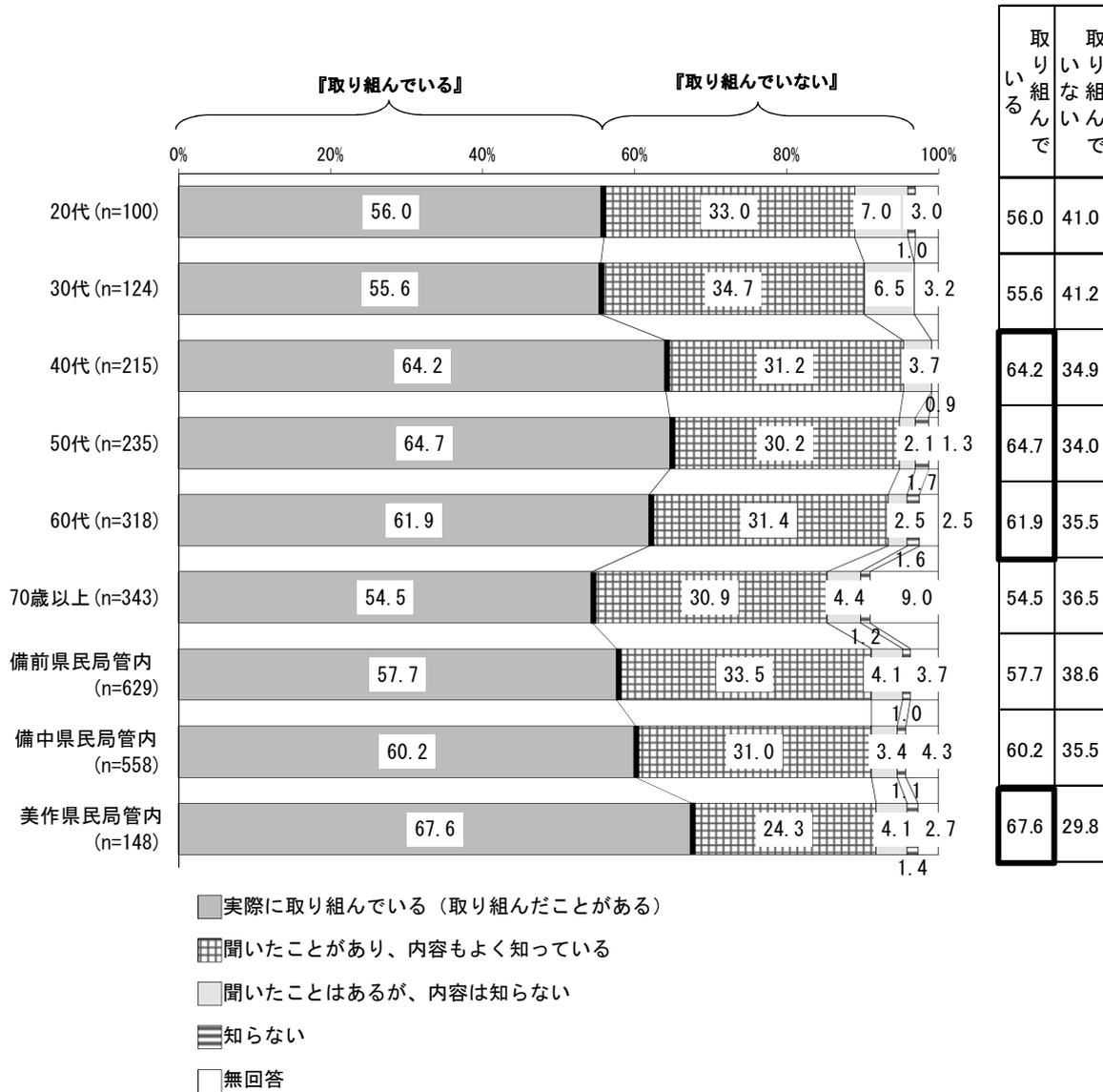
【図表 岡山県エコ製品の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は年齢によって大きな差はみられない。 「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は50代で3割台半ばと高くなっている。 「知らない」との回答は70歳以上で4割台半ばと低くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は美作県民局管内でやや高くなっている。 「聞いたことがあるが、内容は知らない」との回答は備前県民局管内で3割超と高くなっている。

(5) マイバッグ運動

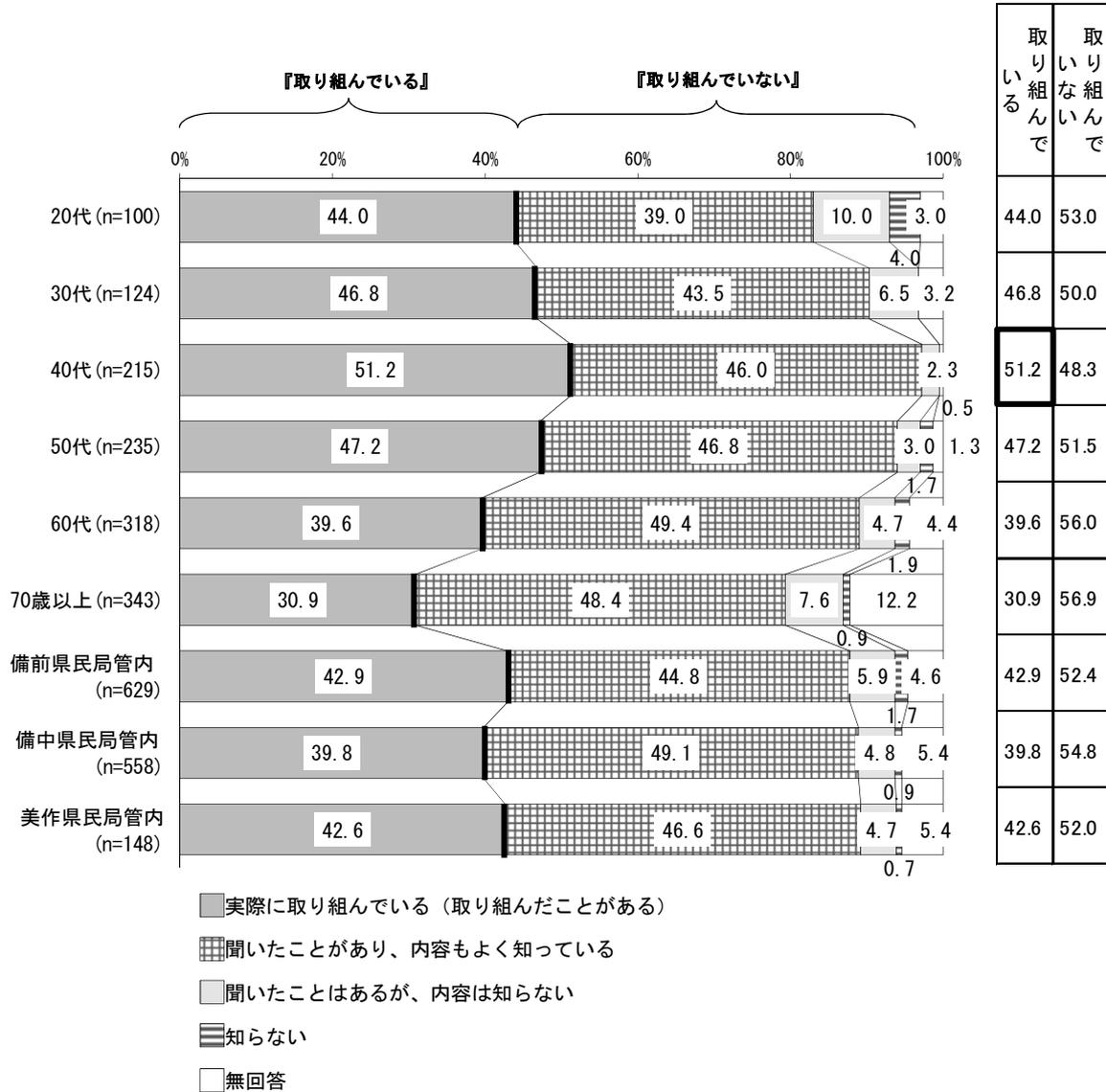
【図表 マイバッグ運動の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	・『取り組んでいる』との回答は40代、50代、60代で6割台と高くなっている。
地域別	・『取り組んでいる』との回答は美作県民局管内で約7割と高くなっている。

(6) クールビズ・ウォームビズ運動

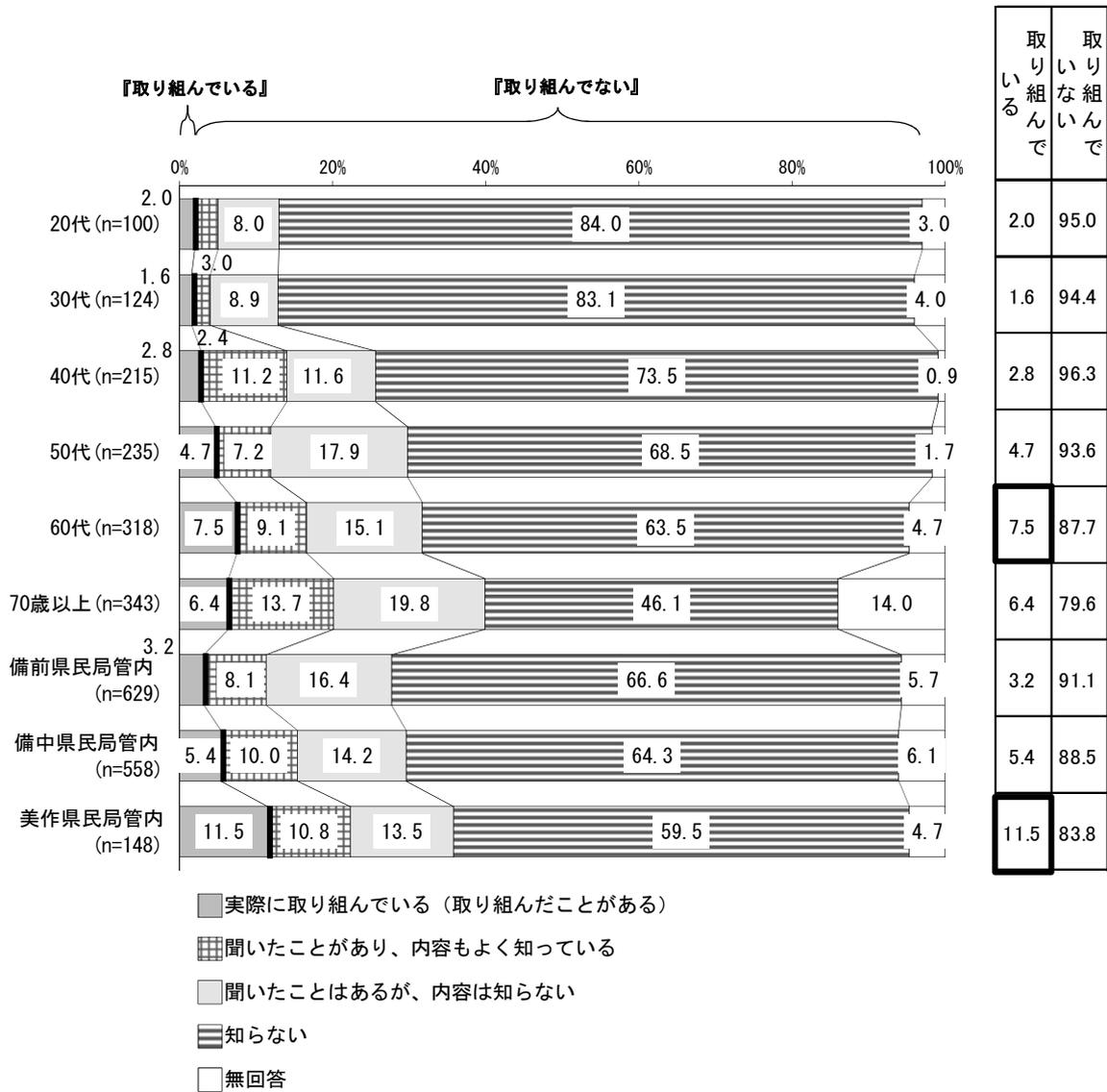
【図表 クールビズ・ウォームビズ運動の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は40代で5割超と高くなっている。 ・「聞いたことはあり、内容もよく知っている」との回答は60代以上で約5割と高くなっており、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』、『取り組んでいない』との回答は地域によって大きな差はみられない。

(7) おかやまアダプト

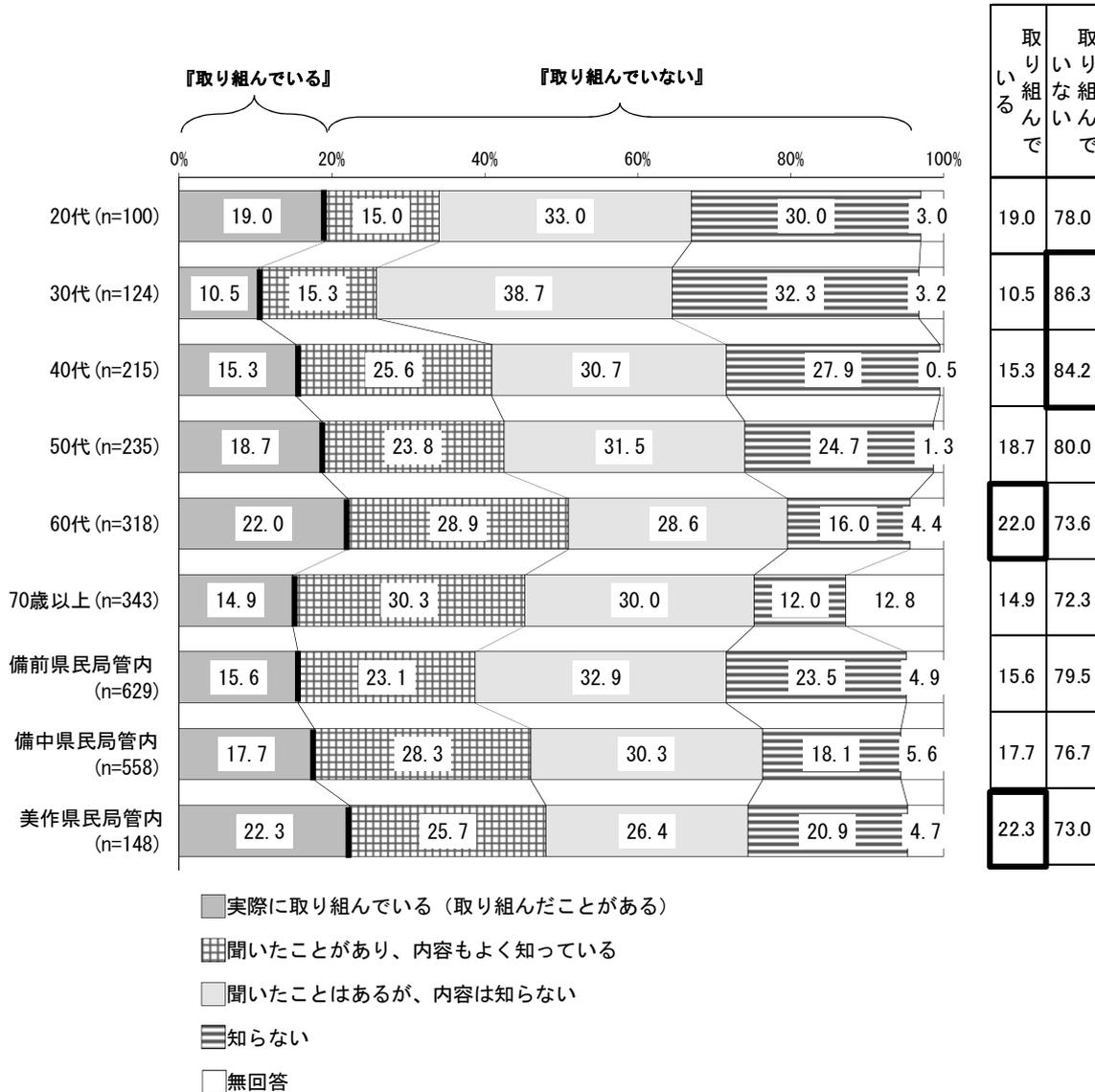
【図表 おかやまアダプトの認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は60代で約1割と高くなっており、わずかではあるが、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「知らない」との回答は70歳以上で4割台半ばと低くなっており、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は美作県民局管内で1割超と高くなっている。 ・「知らない」との回答は美作県民局管内で約6割と低くなっている。

(8) 緑の募金

【図表 緑の募金の認知度（年齢・地域別）】



結果の要点	
年齢別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は60代で2割超と高くなっている。 『取り組んでいない』との回答は30代、40代で8割台半ばと高くなっている。
地域別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は美作県民局管内で2割超と高くなっている。 「知らない」との回答は備前県民局管内で2割台半ばと高くなっている。

14 自由意見（総意見数331件より抜粋）

問 15 環境問題や県の環境施策に関する、ご意見・ご要望などありましたら、自由にお書きください。

※複数の内容を含む意見があるため、総意見数と内容別意見数は一致しない。

（１）自由意見

① アンケート調査に関する意見・要望(46件)

自由意見	件数
質問の項目が多すぎる。	7
調査が突然のことで知識もなく、簡単に記入できない。	7
アンケートの内容の意味が分からない。	7
知識を得られる講演会の実施や、気軽に情報収集できるシステムを作ってほしい。	2
問 12 の意味が分からない。	2
環境アンケートに紙を使うことが、そもそも環境負荷を高めている。	2
わからないことも、たくさんあり勉強不足でした。	2
アンケートを集めるだけでなく、実践するべき。	2
環境用語が理解できない。	1
分かりやすい情報提供や、個人が知れる機会が継続的にあれば良い。	1
環境の枠が大きすぎて、地球環境と地域の環境が一緒になっている。	1
改めて環境問題の広さと重要さを実感しました。	1
県は様々な施策を実施していると思うが、民間に伝わっていない。	1
アンケートは安直だと思う。	1
毎日県民の安心安全な日常生活のためにご尽力賜り感謝します。	1
封筒にテープをつける等の配慮するべき。	1
〇を3つまで限定するのは、いかがなものか。	1
代筆のため、アンケート内容が不十分。	1
年寄りで一人暮らしでインターネット・スマートフォンも使ってないし、年金生活で新聞も取ってないので、情報源はテレビと市報のみで解答は適当になった。	1
無駄使いが本当にないのか。「不足しそうだから新税制導入」今少し考えてほしい。	1
このアンケート結果に基づいて具体的に事業化されたものが出てきた時には、広く周知するなどアンケートの成果をPRしてほしい。	1
テーマが大きいので、〇〇百選など暮らしに分かりやすく、身近に思える目標値があれば、楽しく面白く、推進できるかなと思う。アンケートに参加できて良かった。	1
時間的に忙しいので、アンケートを送らないでほしい。	1

② 広報・啓発活動と教育に関する意見・要望(42件)

自由意見	件数
小さい頃からの教育に力をいれてほしいです。	9
もっと県民に取組状況を提供してもらいたい。	6
県として広報活動の工夫が必要。	6
地区ごとに細かくわかりやすい情報提供をしてほしい。知らない人にもわかりやすい緊急情報を提供してほしい（TV・新聞折込・電話受付など）。	4
個人ができる活動を教えてほしい。	2
一人ひとりが、身近な環境整備に関わり、美しい環境保全を心掛ける習慣が自然と身につく事が理想である。	2
環境に関するイベントやポスターを見るがそれを県が行っているのか、国の事業なのか市の取り組みなのか市民レベルではわからない。	1
PC、子ども携帯、スマートフォン、タブレット使用等か、市町村の広場等にかなり大型ビジョンを置き（各施設）特に環境問題が何でも検索できるよう願う。	1
県が行っている事業について見学してみたい。	1
税金の無駄遣いは控えてほしい（シールやステッカー等の広報活動など）。	1
県の環境施策についてもっと広報していただきたい。	1
企業が環境施策を実施しているアピール。企業アピールを兼ねて、子ども達が楽しく参加できるイベントなどしてみてもどうか？	1
環境問題に限らず他の施策においても、単なる宣言、条例、教育だけでなく「守らせる」方策が必要ではないか。	1
民間の保護団体について具体的にどのような団体があるのかをまったく知らない。	1
住みやすく美しい安全な場所であってほしいです。	1
個々人の環境への意識が高まるような施策を期待します。	1
教育・文化の発展に税金や人材を使ってほしい。	1
ごみの分別・出し方がわからない。	1
将来の“スピーカー”となる推進員の育成。単に専門知識があるというだけでなく、人に聞かせる技術、（ユーモアや感情をゆさぶったり、感動させたりする）も含めて育成すべき。	1

③ ごみ問題に関する意見・要望(30件)

自由意見	件数
ごみのポイ捨てが多い。	10
コンビニのごみ回収BOXがなく、ポイ捨ての要因にもなるのでBOXを置いてほしい。	2
ごみ捨てのマナーの向上を望む。	2
不法投棄に対処すべき(川・道路など)。	2
リサイクルや廃棄場所の明瞭化。安く引き取ってほしい。	2
ごみ出し方法・回収に工夫が必要。	2
清掃活動を、義務教育の中で教えてほしい。	2
ごみの分別が細かすぎる。	1
粗大ごみや電化製品など捨てる時に費用がかかるのではなく、新しいのを購入する時にリサイクル税を取る様にする(不法投棄がなくなるのでは)。	1
ごみを減らす取り組みとして、使用済み紙おむつを回収し資源としてリサイクルする。	1
ごみのポイ捨てが見られ用水路の流れが悪いので、水の流れるような対策を講じてもらいたい。	1
タバコのポイ捨ては罰金制度にしてほしい。	1
大切な自然や資源を守っていく施策を希望します(過疎化、高齢化の進む山村集落)。	1
一人ひとりが努力すべき。	1
ペットの糞を持って帰らない人がいるので困る。	1

④ 自己意識・取組姿勢に関する意見・要望(69件)

自由意見	件数
自然豊かな環境を大事な大切な子や孫へ残す自分のできる事はしていきたいですし、社会も環境問題に取り組んでいただきたい。	10
一人ひとりが努力すべき(老若男女)。	6
わからないことも、たくさんあり勉強不足でした。	4
もっともっと啓もう活動や情報提供に努めていただきたい。	4
できることは協力したい。	4
意識を高めるための広報活動をより多く取り組んでほしい。	4
住みやすい町になればいいと思います。	3
子ども達に、環境問題について教育の場でどんどん教えていただけると子どもから親へ教えてくれると思います。	3
今回のアンケートで早急に県民全員の理解と協力の必要性を痛感した。幼児から大人まで学校・職場・地域・家庭へ浸透する情報発信等をしてほしい。	3
地球温暖化についても、真剣に考えていかなければと思う。	3
粗大ごみを出す際に、電話をして取りに来てもらっているが、電話の受付時間をもう少し長くしてほしい(町の活性化)。	2
個人として、何もしていない。	2

自由意見	件数
じっくり考えたことがなかったので、“よくわからない”というのが本音。	2
日々の生活の中、表立って活動ができていません。改めて身の周りの小さなことから実践していかなくてはと反省している。	2
言うは易し、行い難し。	2
正しく税金を使ってほしい。	2
地球を汚してはいけないと思うので、何かしらの対策や取組を地球上で住んでいる人で行っていかねばいけない。	1
エコについてはできるだけことは実践しています。「もったいない」を生きています。	1
PM2.5とか中国などの公害等をもっと政治が問題化する必要があると思います。	1
エコもごみ仕分けもできることはしていますが、消エネ対策など太陽光、電気自動車など低所得者としては難しい事。	1
環境問題に取り組んだ場合、市町村独自のクーポンを発行するなどの提案をする。	1
実際には身体が不自由なので色々な行事に参加はできないけれど話はよく分かり、できれば協力したい。	1
一般人は無関心無自覚、大きなニュースにならないと目が向かないと思う。答えはあいまい、適当な場合が多い、申し訳ないと思う。	1
これからの子ども達に期待している。	1
川をきれいにする取り組みをしているが、若者との隔たりは埋まらない。	1
ごみの分別の時間・仕方がわからない。	1
ごみ袋を高くして、不法投棄を厳しく取り締まる。	1
駅前ばかりでなく、土地を使ってない所に様々な施設を作り、人が流れるようにしてほしい。	1
家庭でできる最低限なことは心掛けています。	1

⑤ 生活環境整備等に関する意見・要望(81件)

自由意見	件数
野獣対策を考えてほしい(犬・猫・鳩・アリ含む)。	10
災害対策(川の増水防止・川辺の草抜き・土砂など)。	8
個人・企業の排気・排水対策を考えてほしい。	8
畑などを焼く煙がひどいので、畑や田んぼはOKとなっているが禁止もしくはたい肥に変えてほしい。	4
環境としては、住みやすい。	4
不法投棄、落書きする者には、もっと厳しく罰する。	4
混雑する中心部へは、交通公共機関を使用。交通網の整備(ハイブリッド車種使用、排ガス低減)。	4
地域問題の相談受付を作してほしい。	4
上下水道の整備をするべき。	3
環境の問題点の公表や、関心をもつようPR活動をしてほしい。	3
子ども達からお年寄りの方まで過ごせる場所作りをしてほしい。	2
一人ひとりが努力すべき。	2
汚水を流さない。	2
街灯・街路樹の整備を行うべき。	2
山間部・過疎地の景観整備をしてほしい(草刈・木々の伐採)。	2
緑を増やしてほしい。	2
住みやすい環境に改革し、住みたい人を増やす。	2
県には「エコ・環境活動で得する制度」(税制など含む)を充実し、日常の社会生活に影響する取組を期待する。	1
現在を維持したい。	1
興味のない人にどう伝えるかを考えることが必要。	1
知識を得られる講演会の実施や、気軽に情報収集できるシステムを作してほしい。	1
高齢者向けに、タクシーの利用料金を、月にいくらかで数ヶ所(病院・スーパーなど)の限定で使い放題できる制度や企業に対しての援助をしてほしい。	1
身近に思える目標値があれば、楽しく面白く、推進できると思う。	1
埋立てごみの回収日を増やしてほしい。	1
環境保護のため、監視システムの確立や、活動に対しての助成や支援をしてほしい。	1
バイパスのより良い防音壁設置(空気もきれいにしてほしい)。	1
地域の特性を生かす。	1
地域全体で、町内の川や溝掃除する(子どもから大人まで)。	1
コンビニにごみ箱を設置してほしい。	1
バランスの良い環境作りをしてほしい。	1
道路情報の表示に「マイカー自粛を」とあるが、あまりにも一方向な施策に感じる。	1
国道などのごみの収集をトラック協会などの団体に依頼するとかもう少しボランティアを増やし収集する回数を増やす等したらどうかと思う。	1

⑥ 生産・消費・リサイクル活動に関する意見・要望（15件）

自由意見	件数
包装紙や食品トレーなどの廃止・回収・簡素化をしてほしい。	3
子どもの時から環境問題に意識を持つ取り組みが必要である。	3
リサイクルしたら、クオカードなどがもらえる場所を増やしてほしい。	1
自分の周りで小さな範囲でも出来る環境への活動などがあればよい。	1
環境に配慮した製品開発をしてほしい。	1
生産品の向上をして、省エネ製品の開発をしてほしい。	1
人や物があまり長距離移動しないで済む街作り、仕事があり、欲しい物が手に入りやすい田舎の街作りを行政に最も期待する。	1
不法投棄を厳しく取り締まるなど直接的な方法をとる方が効果があると思う。	1
ごみ袋の有料化の徹底。	1
ごみ回収業者は、きちんと分別して排気しているか疑問に思う。	1
立ち枯れ倒木の有効活用。	1

⑦ 個人のモラル・マナーと活動に関する意見・要望（18件）

自由意見	件数
一人ひとりが気を付けてやっていくことだと思う。	7
ごみの出し方に気を付けてほしい。	2
住民のマナー・モラル・人としての考え方のため、子ども達の教育が大事。	2
落書きが多い。	2
タバコなどのごみのポイ捨て等が多い。	2
個人のモラルを高めることが大切だと思う。	1
不法投棄をやめてほしい。	1
大人がだらしない。	1

⑧ 税金・公的支援等に関する意見・要望（18件）

自由意見	件数
税金を正しく使ってほしい。	5
不法投棄や無許可開発、乱獲など監視カメラの設置や、ドローンなどによるパトロールと記録で、海岸部、河川、湖、池、森林、山間部、土砂崩れなど広域的な閑居保全や、保護活動などの監視システムの確立が必要であり急がれます。またこの様な真の活動に対しての助成や支援も必要と思う。	2
岡山県北部は、生活排水などの整備ができていないので、公共工事のできない所への補助金を出してほしい。	2
企業がごみ処理への負担をするなど、新しい税制の導入などを考える。	1
高齢者向けに、タクシーの利用料金を、月にいくらか数ヶ所（病院・スーパーなど）の限定で使い放題できる制度や企業に対しての援助をしてほしい。	1
電化製品を新しく購入する時にリサイクル税を取る様にすれば不法投棄がなくなる。	1
車で家具などの不法投棄をしていく人を何度か目にする。個人で撤去するのは大変なので支援してほしい。	1
補助金の使い方を考え直す必要がある。	1
県外からの客や雇用人数などの税収も視野に入れてバランスの良い環境対策をしてほしい。近年の車は排ガスも減り皆と同じ感覚で車社会を否定するべきではないと思う。	1
もっと大型ごみを回収してくれる支援をしてほしい。	1
教育に税金や人材を投入すべき。	1
県には「エコ・環境活動で得する制度」（税制など含む）を充実し、日常の社会生活に影響する取組を期待する。	1

⑨ エネルギー・森林保全等に関する意見・要望(10件)

自由意見	件数
里山の整備をしてほしい。	1
混雑する中心部へは、交通公共機関を使用。交通網の整備（ハイブリッド車種使用、排ガス低減）。	1
税金の無駄使いは控えてほしい。	1
環境アンケートに紙を使うことがそもそも環境負荷を高めている。	1
環境問題の実行底辺層に対する周知徹底、教育、PR等の手段や機会が少ない様に思う。県北では、省エネをうたいバイオ発電事業を進めていますが間伐、森林整備のための燃料木材確保が実態は手間効率のため森林まるごと伐採されているので行政当局はぜひ実際に足を運んで見てほしい。（報告書や話を聞くだけでなく現場、現状、現実を）	1
学ぶ機会がない。	1
岡山北部では生活排水などの整備ができていないので、公共工事のできない所への補助金を出してほしい。	1
地方全体で、太陽光発電の補助をしてほしい。	1
生產品の向上をして、省エネ製品の開発をしてほしい。	1
教育機関が普段から環境教育に取り組むことが効果があると思う。	1

⑩ 農山村地域の環境に関する意見・要望（9件）

自由意見	件数
過疎化地域の景観や環境の保全維持を考えてほしい。	5
地方の環境整備（有害生物の除去等）をしてほしい。	1
町内会活動で田植えのための排水口の掃除に参加しないと、罰金をとられることを疑問に思う。	1
岡山県北部の生活排水などの整備ができていないため、公共工事のできない所への補助金を出してほしい。	1
地方全体で、太陽光発電の補助をしてほしい。	1

⑪ 行政の取組に関する意見・要望（53件）

自由意見	件数
一人ひとりが気を付けてやっていくことだと思う。	9
県民が安心して生活していける環境造りを希望する。	4
タバコなどのごみのポイ捨て、落書きが多い。	4
地区ごとに細かくわかりやすい情報提供をしてほしい。知らない人にもわかりやすい緊急情報を提供してほしい（TV・新聞折込・電話受付など）。	3
野獣対策を考えてほしい（犬・猫・鳩・アリ含む）。	2
地域問題の相談受付を作してほしい。	2
教育機関が普段から環境教育に取り組むことに効果があると思う。	2
行政の環境への取組に自覚をもってしっかり職責を果たすべき。	2
シンポジウムの開催。	1
大量生産よりも長距離流通の方が課題だと思う。人や物があまり長距離移動しないですむ街作り、仕事があり、欲しい物が手に入りやすい田舎の街作りを行政に最も期待する。	1
ももちゃり（レンタサイクル）が、良い取り組みだと思う。	1
禁止条例等につき違反について見回りを積極的に活動してほしい。	1
排気ガスを出すバスなど、環境対策ができていない企業・自治体の環境への取り組みについて本気度を疑う。	1
運行表示は地域住民の便利を考慮してほしい。	1
ごみを減らすためにごみの袋を高額にしているのは、違うのではないかと思う。	1
企業の責任・自覚、行政の姿勢、個人の行動。	1
松枯れ対策（枯死材の伐採、焼却処理を含む）・不法投棄対策（車内からの家庭ごみのポイ捨てなども目立つ。不心得者に対する厳罰化）・不在地主に対する対策。山林、原野、宅地等長期間放置している土地の強制収用（県有化）できる法制化。	1
興味のない人に、どのように伝えるかが必要だと思う。	1
環境問題の実行底辺層に対する周知徹底、教育、PR等の手段や機会が少ない様と思う。県北では、省エネをうたいバイオ発電事業を進めているが間伐、森林整備のための燃料木材確保が実態は手間効率のため、森林まるごと伐採されているので行政当局はぜひ実際に足を運んで見てほしい。（報告書や話を聞くだけでなく現場、現状、現実を）	1
駅前ばかりでなく、土地を使ってない所に様々な施設を作り、人が流れるようにしてほしい。	1
県の環境、教育、災害に関して等の施策が伝わらずわかりにくい。	1
以前と比べ県・市町村・行政指導により環境問題に関し、市民の関心も高まり実践もなされているように感じる。	1
環境に関する取組みが地域によって温度差がある。	1
自然豊かな環境を子や孫へ残していくため、自分のできることはしていきたいですし、社会も環境問題に取り組んでもらいたい。	1

自由意見	件数
個人・企業の排気・排水対策を考えてほしい。	1
税金を正しく使用してほしい。	1
環境問題に取り組んだ場合、市町村独自のクーポンの発行などの提案をする。	1
環境問題に限らず他の施策においても、単なる宣言、条例、教育だけでなく「守らせる」方策が必要ではないか。	1
里山の整備をしてほしい。	1
原子力（発電）に対する安全性・排気物に対する県として、市町村としての考え方、方向性が全然抜けている。	1
ごみ袋を高くする。	1
個人・企業の排気・排水対策を考えてほしい。	1
県として広報活動の工夫が必要。	1

⑫ その他（11件）

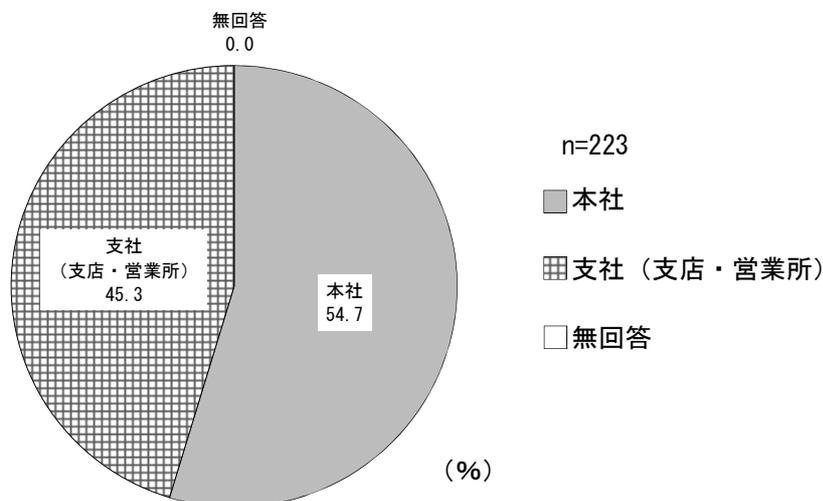
自由意見	件数
国際的問題、例えば中国からのPM2.5や黄砂などどうにかならないものかと思う。	2
商品包装の簡素化。	1
環境は、65才以上で仕事をされていない方・ボランティアもしくはお金を払ってでも元気な方に協力してもらおう。	1
環境基本計画の知識がないため、回答できない。	1
岡山県の将来についてとりあえず2020年を目標としていると思うが、今後も継続してほしい。	1
古い部品がなくなるのはおかしい。	1
水道水が数日後に水切りができてないと食器類・風呂・便所などに付いた水がピンク色に変わるので、水道水をそのまま飲む事ができない。有害でないとしてもその原因を知りたい。	1
引っ越したばかりで、回答できない。	1
各地域にて美化運動（清掃運動）を計画するべきである。	1
県（市）の上に立つ人の日常の姿勢・態度が大きく影響していると思う。	1

第 3 章 事業所調査結果

第3章 事業所調査結果

1 回答者の属性

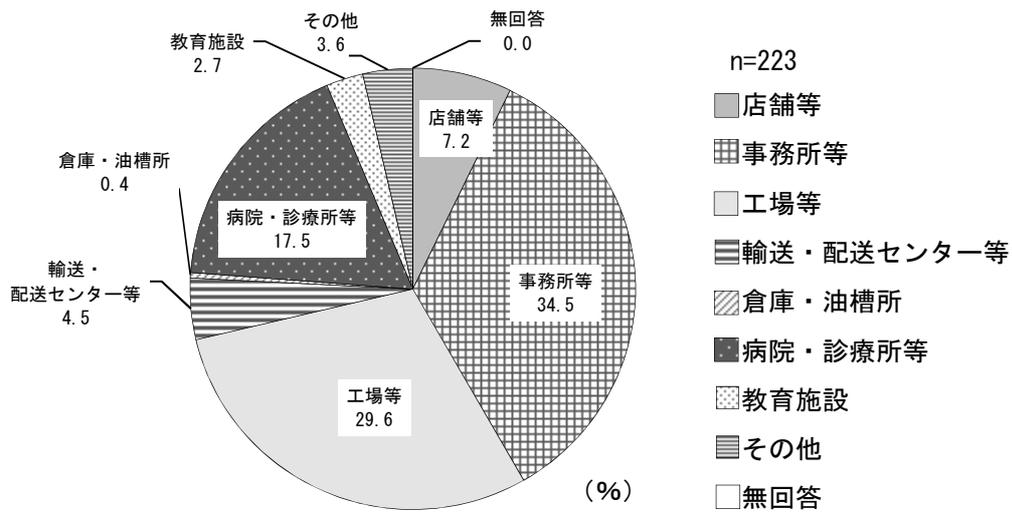
(1) 本社／支社（支店・営業所）区分



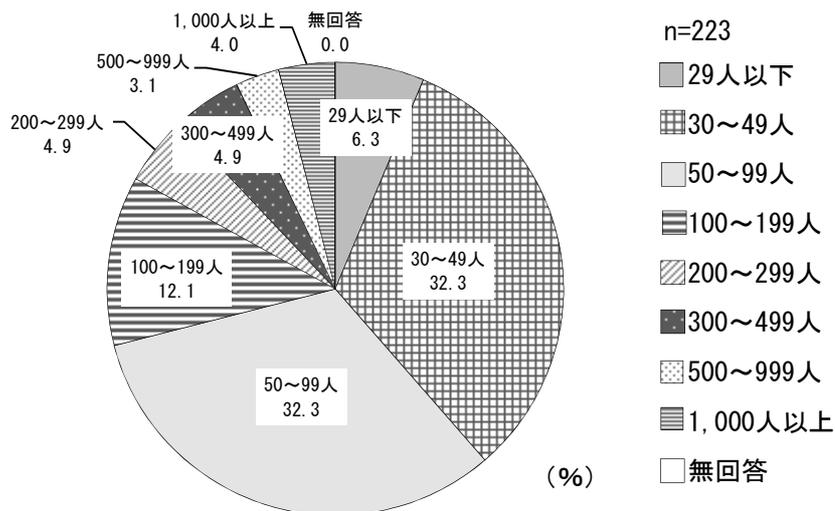
(2) 業種

区分	回答数	構成割合 (%)
農林水産業	1	0.4
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0.0
建設業	11	4.9
製造業	66	29.6
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.9
情報通信業	4	1.8
運輸業、郵便業	21	9.4
卸売業、小売業	21	9.4
金融業、保険業	9	4.0
不動産業、物品賃貸業	1	0.4
学術研究、専門・技術サービス業	4	1.8
宿泊業、飲食サービス業	5	2.2
生活関連サービス業、娯楽業	1	0.4
教育・学習支援業	6	2.7
医療、福祉	44	19.7
サービス業	23	10.3
その他	4	1.8
無回答	0	0.0
計	223	100.0

(3) 事業所の主な形態



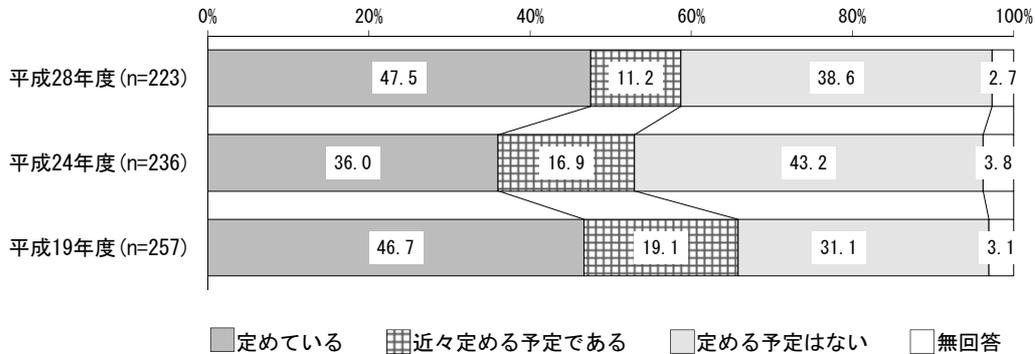
(4) 従業員数 (パートの人数を含む)



2 環境保全への取組等について

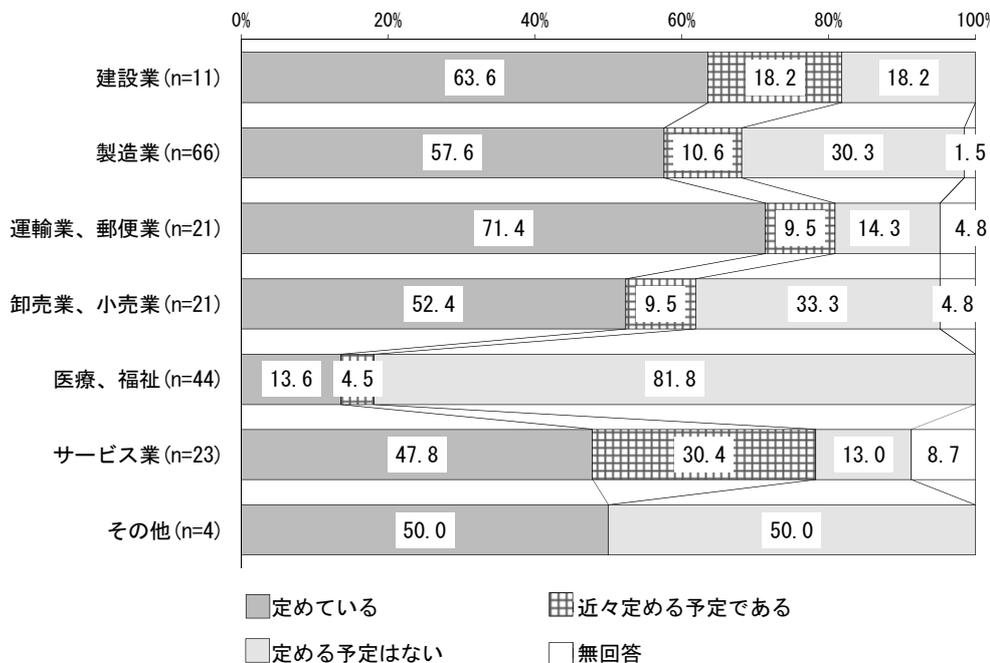
(1) 経営方針における環境保全に関する項目の設定の有無

問1 貴事業所では、経営方針の中に環境保全に関する項目を定めていますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。



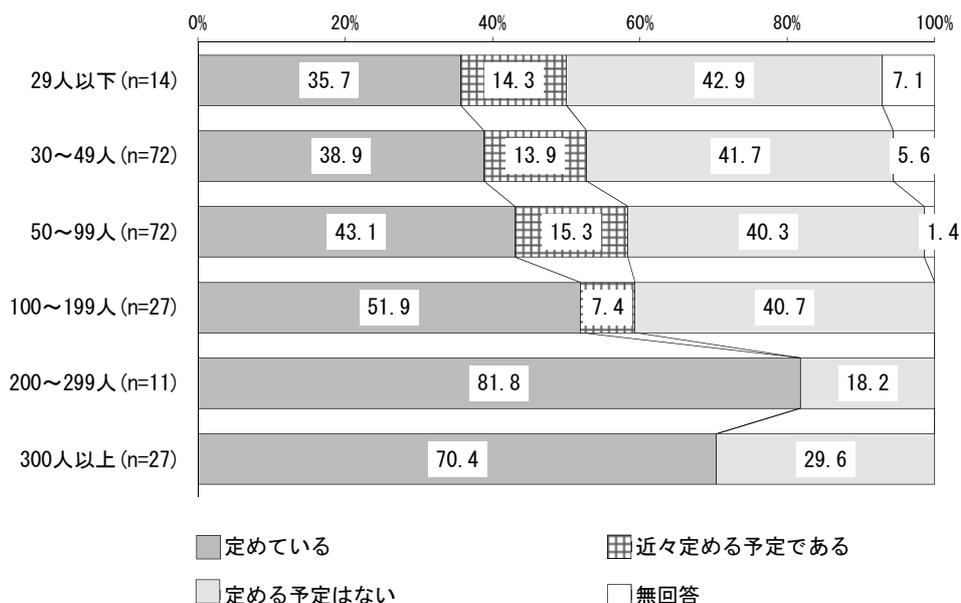
結果の要点	
全体	・「定めている」との回答が47.5%と最も高く、次いで「定める予定はない」(38.6%)、「近々定める予定である」(11.2%)の順となっている。
経年比較	・「定めている」との回答は平成28年度(47.5%)が平成19年度(46.7%)から0.8ポイント、平成24年度(36.0%)から11.5ポイント増加している。

【図表 経営方針における環境保全に関する項目の設定の有無（業種別）】



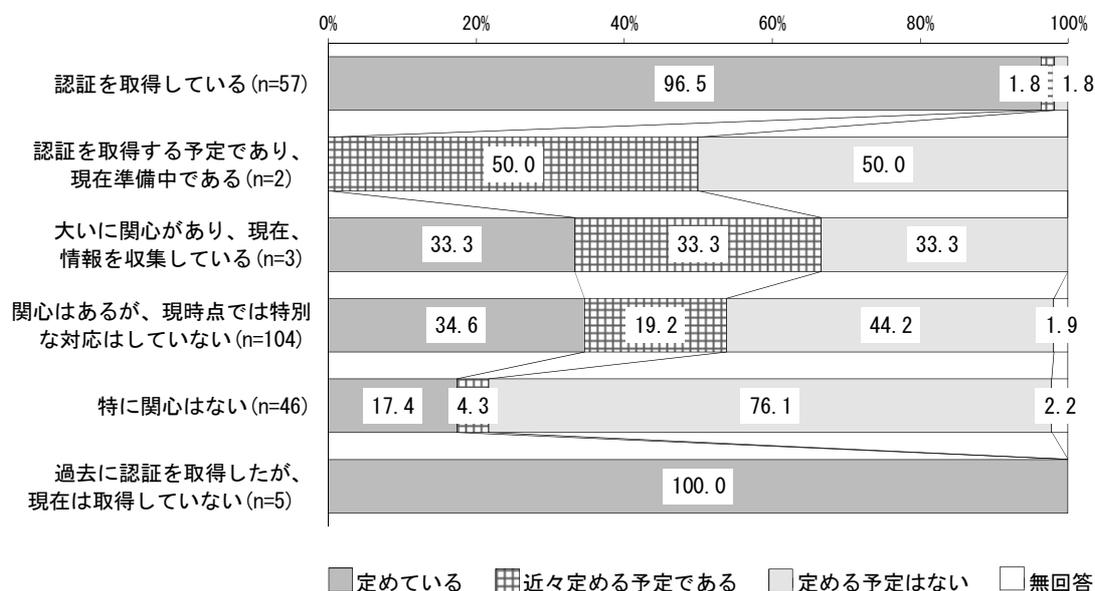
結果の要点	
業種別	・「定めている」との回答は運輸業、郵便業で7割超と高くなっている。 ・「定める予定はない」との回答は医療、福祉で8割超と高くなっている。

【図表 経営方針における環境保全に関する項目の設定の有無（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	・「定めている」との回答は300人以上で約7割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。

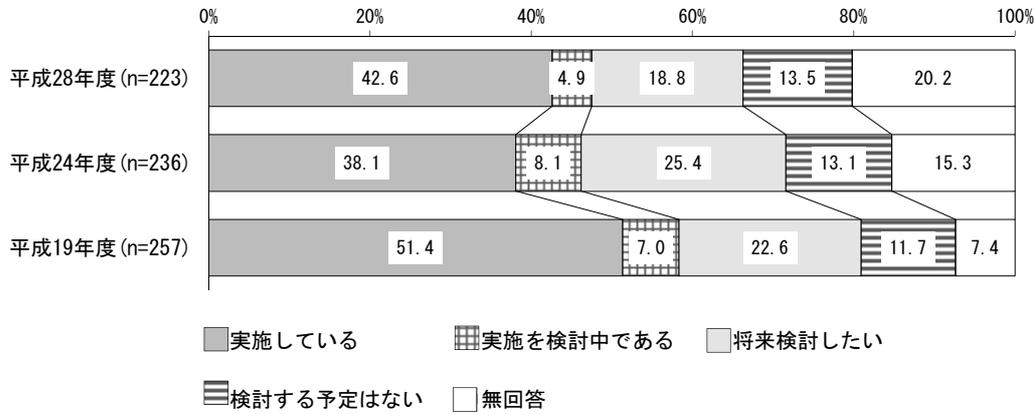
【図表 経営方針における環境保全に関する項目の設定の有無（環境マネジメントシステムの取組状況別）】



結果の要点	
環境マネジメントシステムの取組状況別	<ul style="list-style-type: none"> ・「定めている」との回答は認証を取得している事業所で9割台半ばと高くなっている。 ・「定める予定はない」との回答は特に関心はない事業所で7割台半ばと高くなっている。

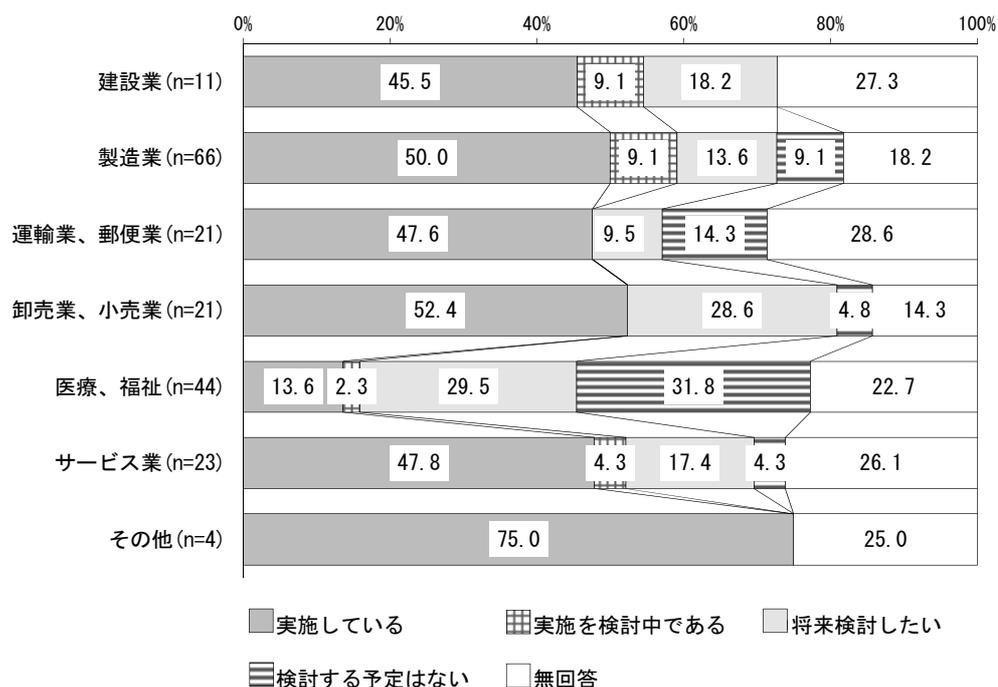
(2) 環境保全に関する具体的な行動方針の設定と対策の実施

問2 貴事業所では、環境保全に関する具体的な行動方針を定め、何らかの対策を実施していますか？あてはまる番号1つに○をつけてください。



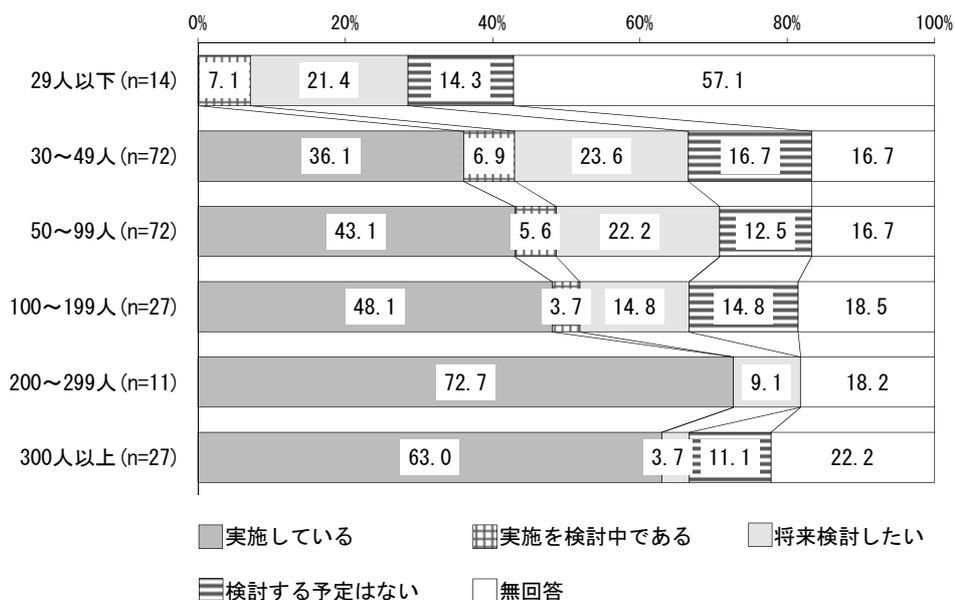
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施している」との回答が42.6%と最も高く、次いで「将来検討したい」(18.8%)、「検討する予定はない」(13.5%)、「実施を検討中である」(4.9%)の順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施している」との回答は平成28年度(42.6%)が平成19年度(51.4%)から8.8ポイント減少し、平成24年度(38.1%)から4.5ポイント増加している。 ・「実施を検討中である」との回答は平成28年度(4.9%)が平成19年度(7.0%)から2.1ポイント、平成24年度(8.1%)から3.2ポイント減少している。 ・「将来検討したい」との回答は平成28年度(18.8%)が平成19年度(22.6%)から3.8ポイント、平成24年度(25.4%)から6.6ポイント減少している。

【図表 環境保全に関する具体的な行動方針の設定と対策の実施（業種別）】



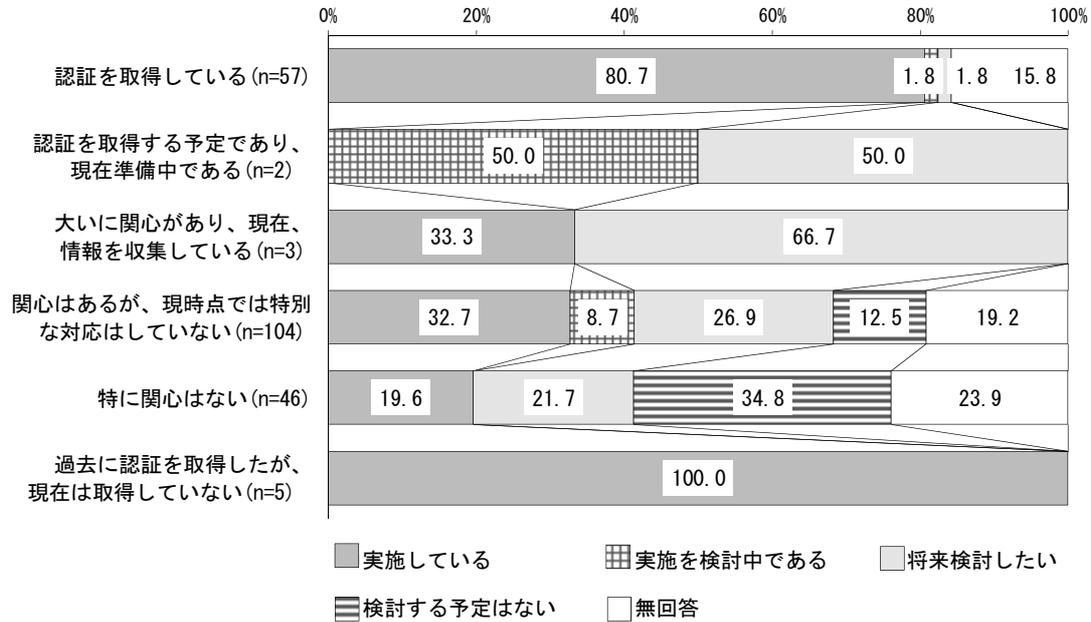
結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施している」との回答は医療、福祉で1割台半ばと低くなっている。 ・「将来検討したい」との回答は卸売業、小売業、医療、福祉で約3割と高くなっている。

【図表 環境保全に関する具体的な行動方針の設定と対策の実施（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施している」との回答は300人以上で6割台半ばと高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「将来検討したい」との回答は30~49人、50~99人で2割台と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

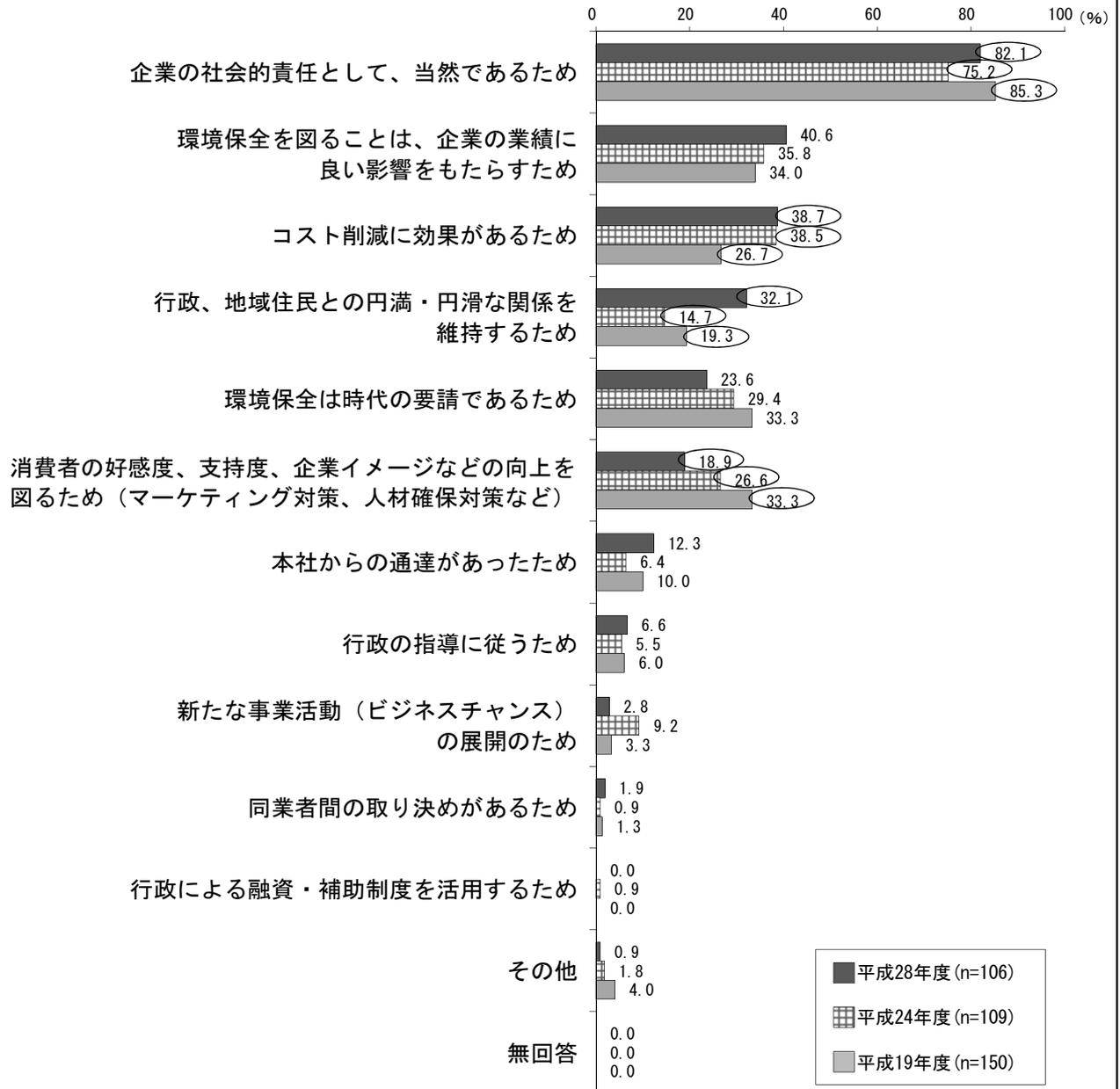
【図表 環境保全に関する具体的な行動方針の設定と対策の実施
(環境マネジメントシステムの取組状況別)】



結果の要点	
環境マネジメントシステムの取組状況別	<ul style="list-style-type: none"> ・「実施している」との回答は認証を取得している事業所で約8割と高くなっている。 ・「検討する予定はない」との回答は特に関心はない事業所で3割台半ばと高くなっている。

(3) 環境保全対策の目的や動機

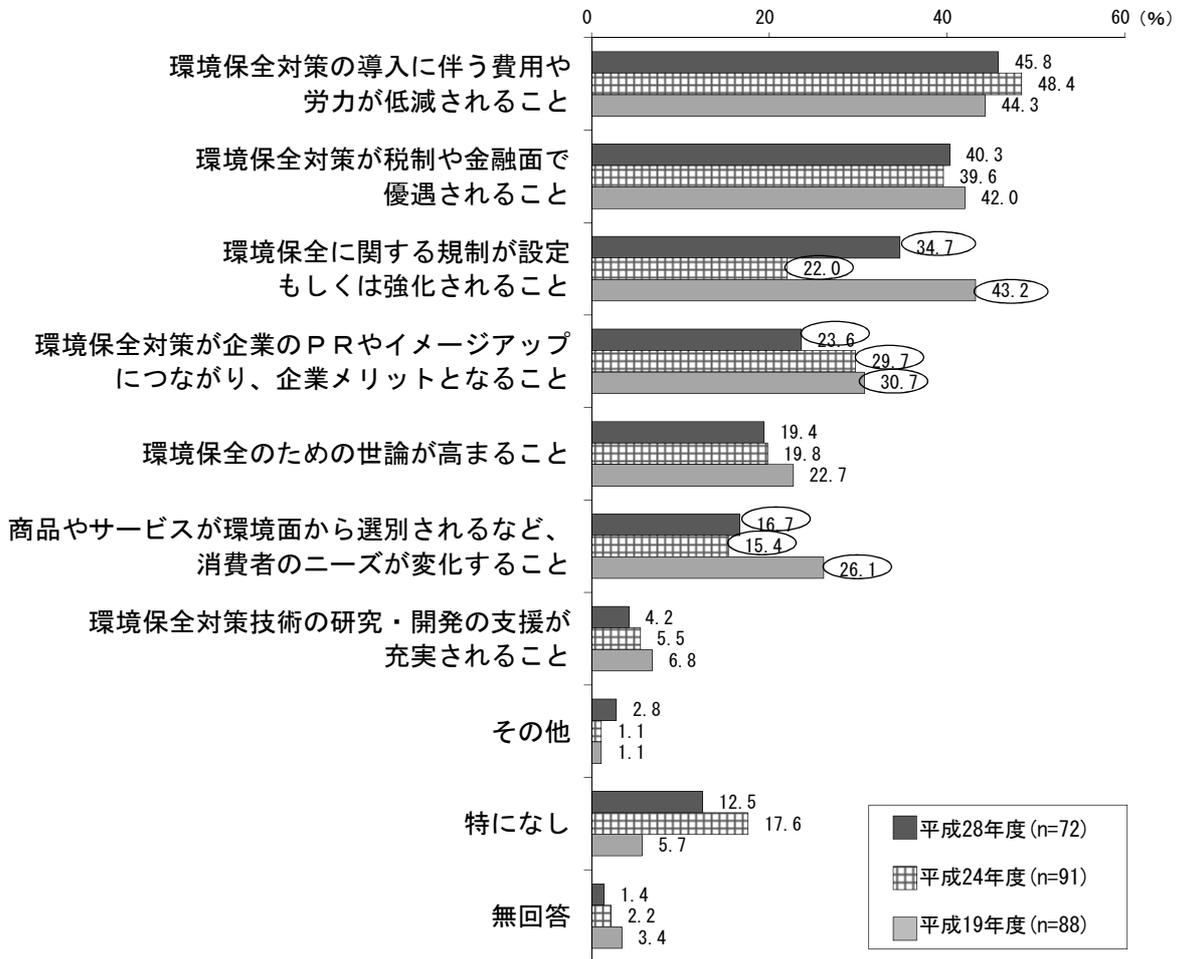
問3 問2で、「1. 実施している」または「2. 実施を検討中である」とお答えの方にお聞きします。環境保全対策などの目的や動機について、貴事業所のお考えに近いものはどれですか？あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業の社会的責任として、当然であるため」との回答が82.1%と最も高く、次いで「環境保全を図ることは、企業の業績に良い影響をもたらすため」(40.6%)、「コスト削減に効果があるため」(38.7%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業の社会的責任として、当然であるため」との回答は平成28年度(82.1%)が平成19年度(85.3%)から3.2ポイント減少し、平成24年度(75.2%)から6.9ポイント増加している。 ・「コスト削減に効果があるため」との回答は平成28年度(38.7%)が平成19年度(26.7%)から12.0ポイント、平成24年度(38.5%)から0.2ポイント増加している。 ・「行政、地域住民との円満・円滑な関係を維持するため」との回答は平成28年度(32.1%)が平成19年度(19.3%)から12.8ポイント、平成24年度(14.7%)から17.4ポイント増加している。 ・「消費者の好感度、支持度、企業イメージなどの向上を図るため(マーケティング対策、人材確保対策など)」との回答は平成28年度(18.9%)が平成19年度(33.3%)から14.4ポイント、平成24年度(26.6%)から7.7ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。

(4) 積極的に環境保全対策を進めるための条件

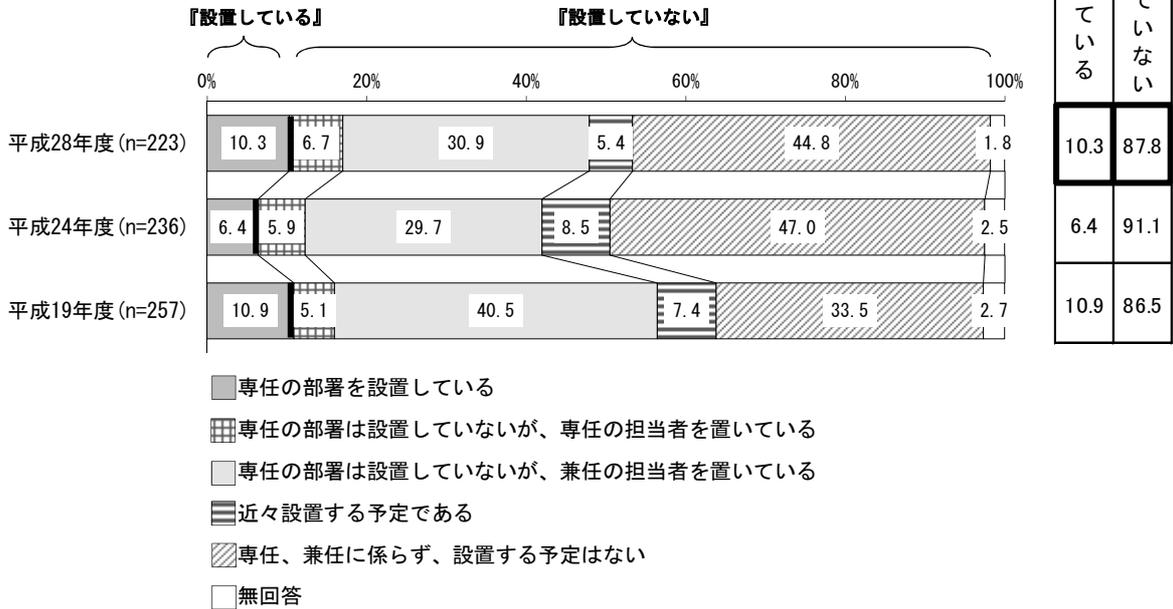
問4 問2で、「3. 将来検討したい」または「4. 検討する予定はない」とお答えの方にお聞きします。貴事業所にとって、どのような条件が整えば、現在より積極的に環境保全対策を進めることができますか？あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「環境保全対策の導入に伴う費用や労力が低減されること」との回答が45.8%と最も高く、次いで「環境保全対策が税制や金融面で優遇されること」(40.3%)、「環境保全に関する規制が設定もしくは強化されること」(34.7%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> 「環境保全に関する規制が設定もしくは強化されること」との回答は平成28年度(34.7%)が平成19年度(43.2%)から8.5ポイント減少し、平成24年度(22.0%)から12.7ポイント増加している。 「環境保全対策が企業のPRやイメージアップにつながり、企業メリットとなること」との回答は平成28年度(23.6%)が平成19年度(30.7%)から7.1ポイント、平成24年度(29.7%)から6.1ポイント減少している。 「商品やサービスが環境面から選別されるなど、消費者のニーズが変化すること」との回答は平成28年度(16.7%)が平成19年度(26.1%)から9.4ポイント減少し、平成24年度(15.4%)から1.3ポイント増加している。

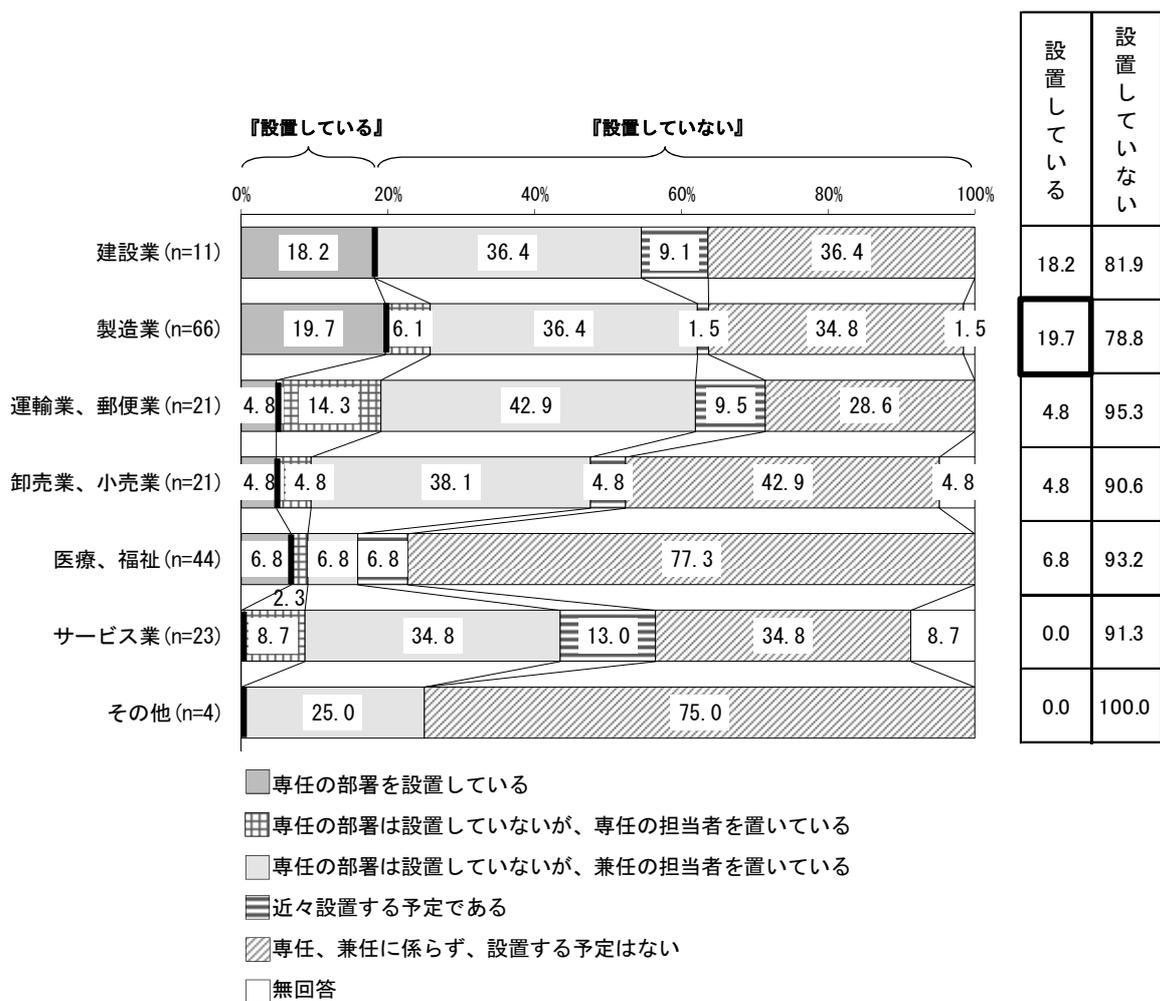
(5) 環境保全に配慮するための部署等の有無

問5 貴事業所では、環境保全に配慮するための部署などがありますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。



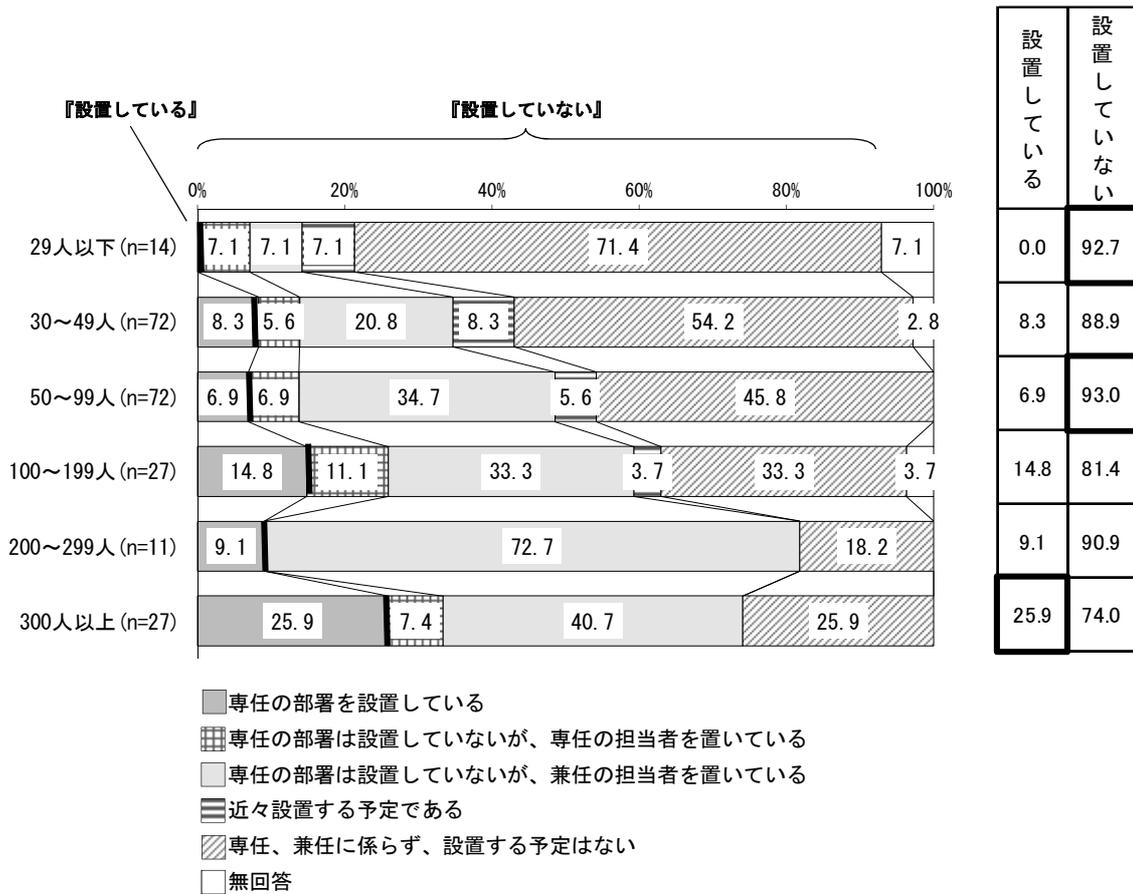
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置している』（「専任の部署を設置している」）との回答が10.3%、『設置していない』（「専任の部署は設置していないが、専任の担当者を置いている」と「専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている」と「近々設置する予定である」と「専任、兼任に関わらず、設置する予定はない」を合わせた割合）が87.8%となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている」との回答は平成28年度(30.9%)が平成19年度(40.5%)から9.6ポイント減少し、平成24年度(29.7%)から1.2ポイント増加している。 ・「専任、兼任に係らず、設置する予定はない」との回答は平成28年度(44.8%)が平成19年度(33.5%)から11.3ポイント増加し、平成24年度(47.0%)から2.2ポイント減少している。

【図表 環境保全に配慮するための部署等の有無（業種別）】



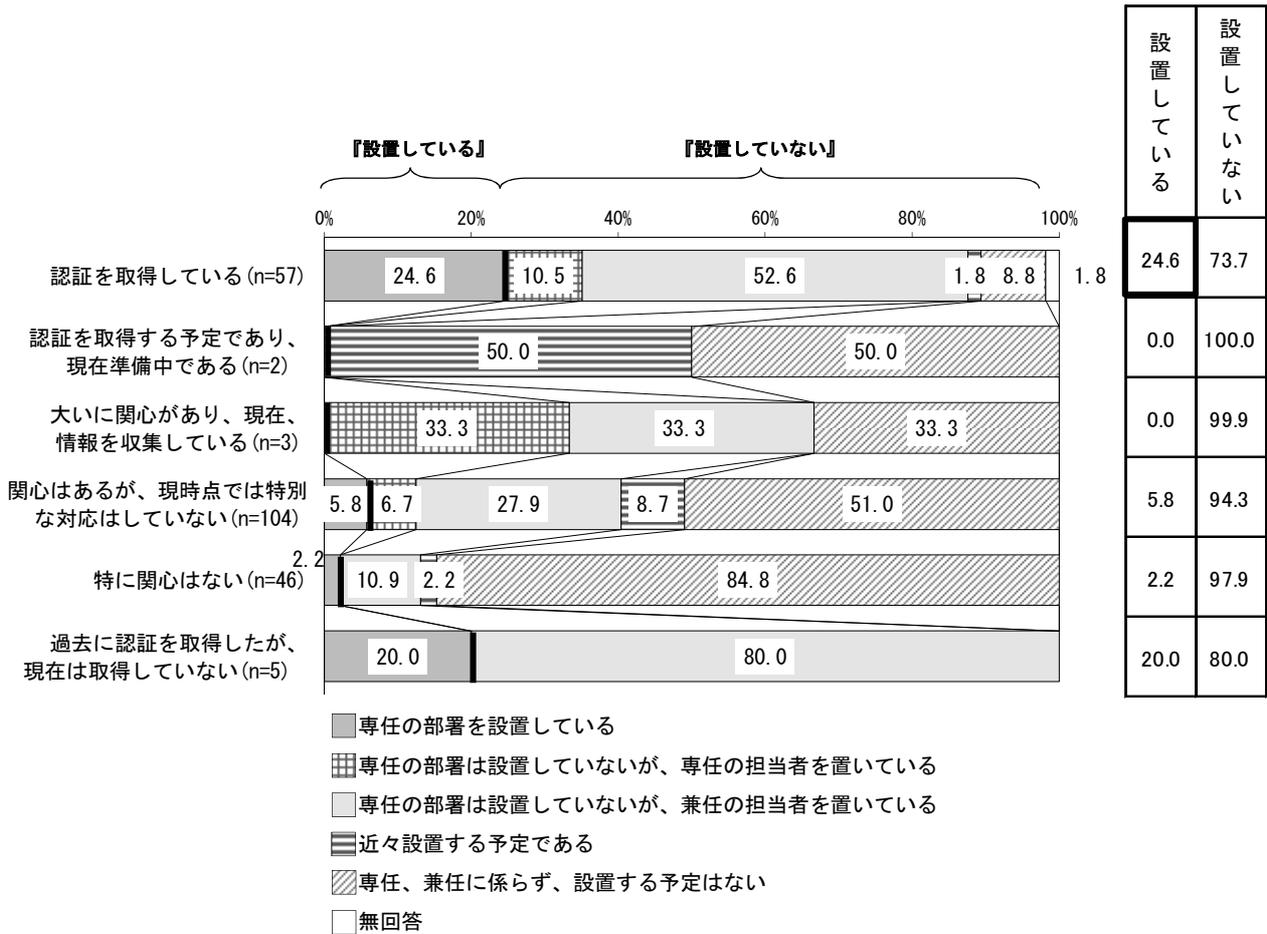
結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置している』との回答は製造業で約2割と高くなっている。 ・「専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている」との回答は運輸業、郵便業で4割超と高くなっている。 ・「専任、兼任に係らず、設置する予定はない」との回答は医療、福祉で約8割と高くなっている。

【図表 環境保全に配慮するための部署等の有無（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置している』との回答は300人以上で2割台半ばと高くなっている。 ・「専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている」との回答は300人以上で約4割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「専任、兼任に係らず、設置する予定はない」との回答は29人以下で7割超と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・『設置していない』との回答は29人以下、50~99人で9割台と高くなっている。

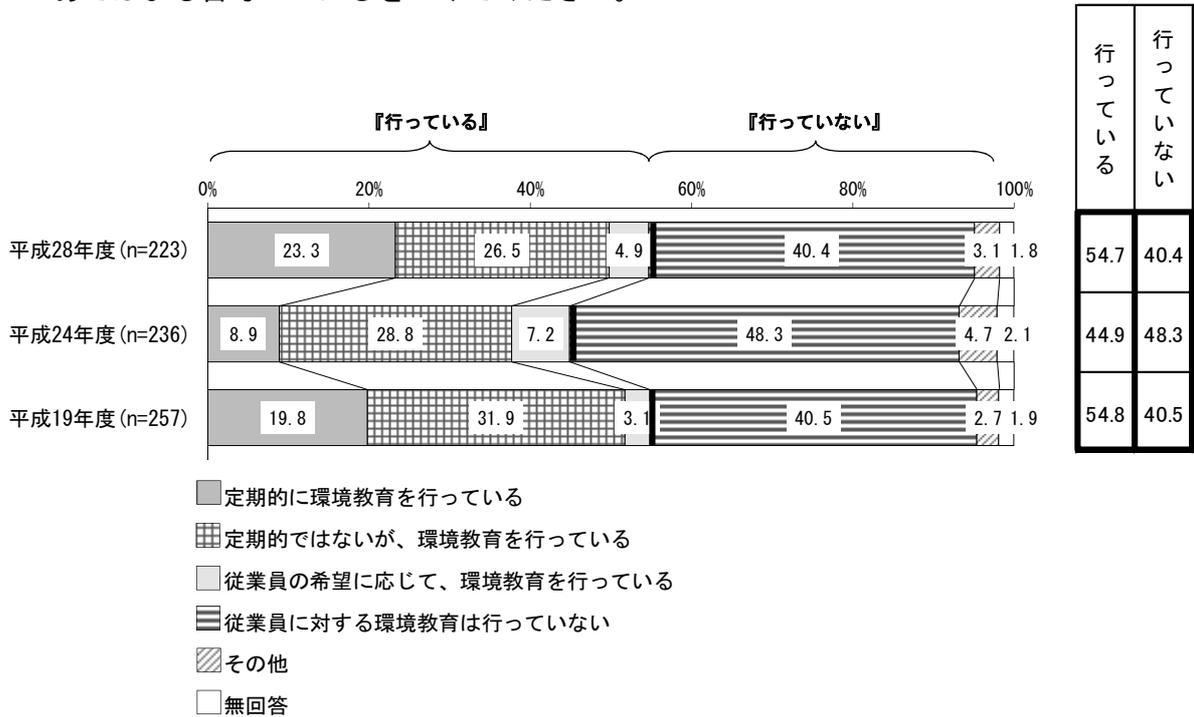
【図表 環境保全に配慮するための部署等の有無（環境マネジメントシステムの取組状況別）】



結果の要点	
環境マネジメントシステムの取組状況別	<ul style="list-style-type: none"> ・『設置している』との回答は認証を取得している事業所で2割台半ばと高くなっている。 ・「専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている」との回答は認証を取得している事業所で5割超と高くなっている。 ・「専任、兼任に係らず、設置する予定はない」との回答は特に関心はない事業所で8割台半ばと高くなっている。

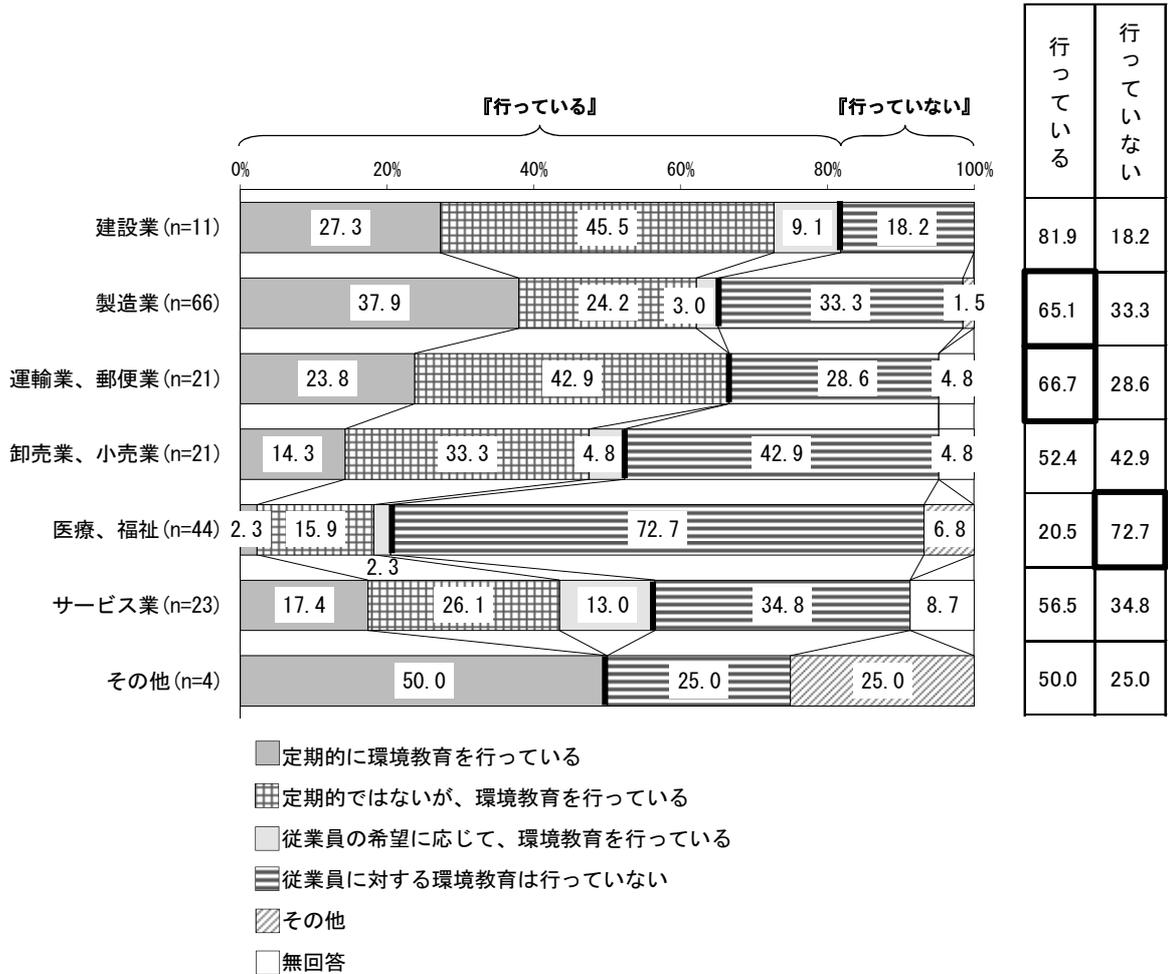
(6) 従業員に対する環境教育の形態

問6 貴事業所では、従業員に対してどのような形で環境教育を行っていますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。



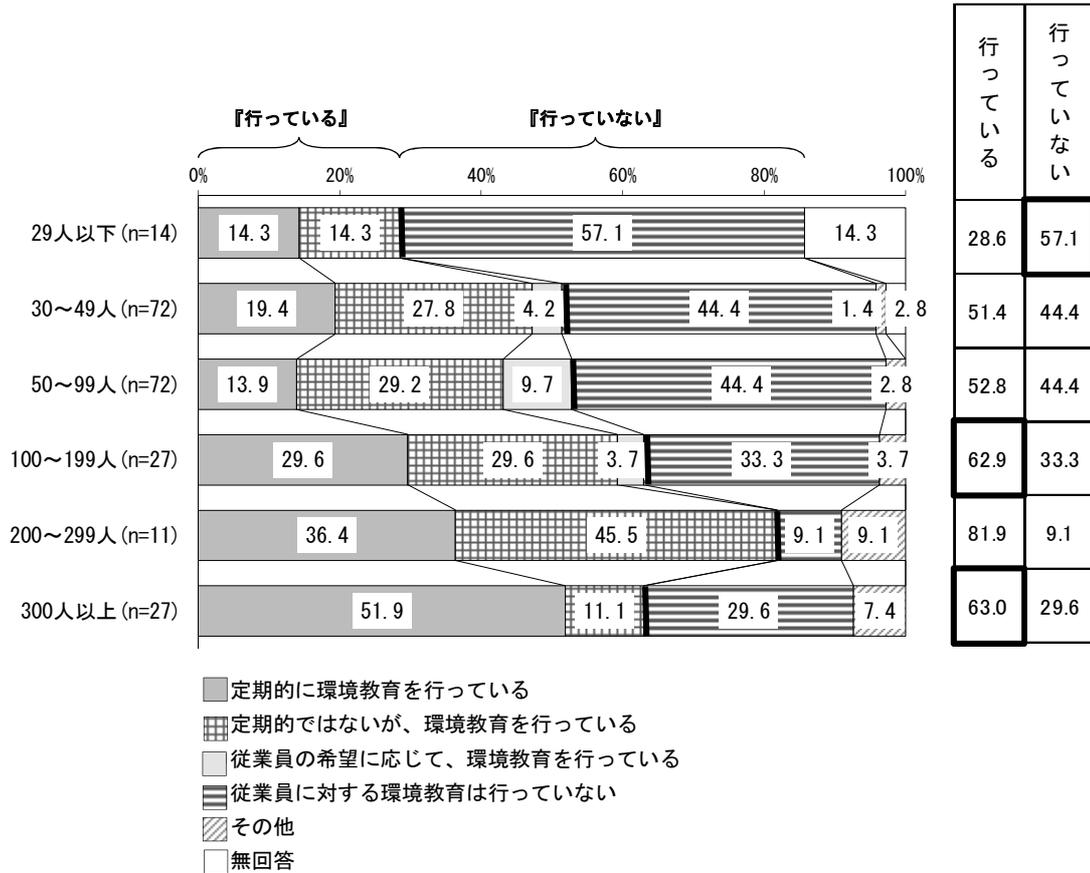
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』（「定期的に行っている」と「定期的ではないが、環境教育を行っている」と「従業員の希望に応じて、環境教育を行っている」を合わせた割合）との回答は54.7%、『行っていない』（「従業員に対する環境教育は行っていない」）との回答が40.4%となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』との回答は平成28年度（54.7%）が平成19年度（54.8%）から0.1ポイント減少し、平成24年度（44.9%）から9.8ポイント増加している。 ・「定期的に行っている」との回答は平成28年度（23.3%）が平成19年度（19.8%）から3.5ポイント、平成24年度（8.9%）から14.4ポイント増加している。 ・「定期的ではないが、環境教育を行っている」との回答は平成28年度（26.5%）が平成19年度（31.9%）から5.4ポイント、平成24年度（28.8%）から2.3ポイント減少している。 ・『行っていない』との回答は平成28年度（40.4%）が平成19年度（40.5%）から0.1ポイント、平成24年度（48.3%）から7.9ポイント減少している。

【図表 従業員に対する環境教育の形態（業種別）】



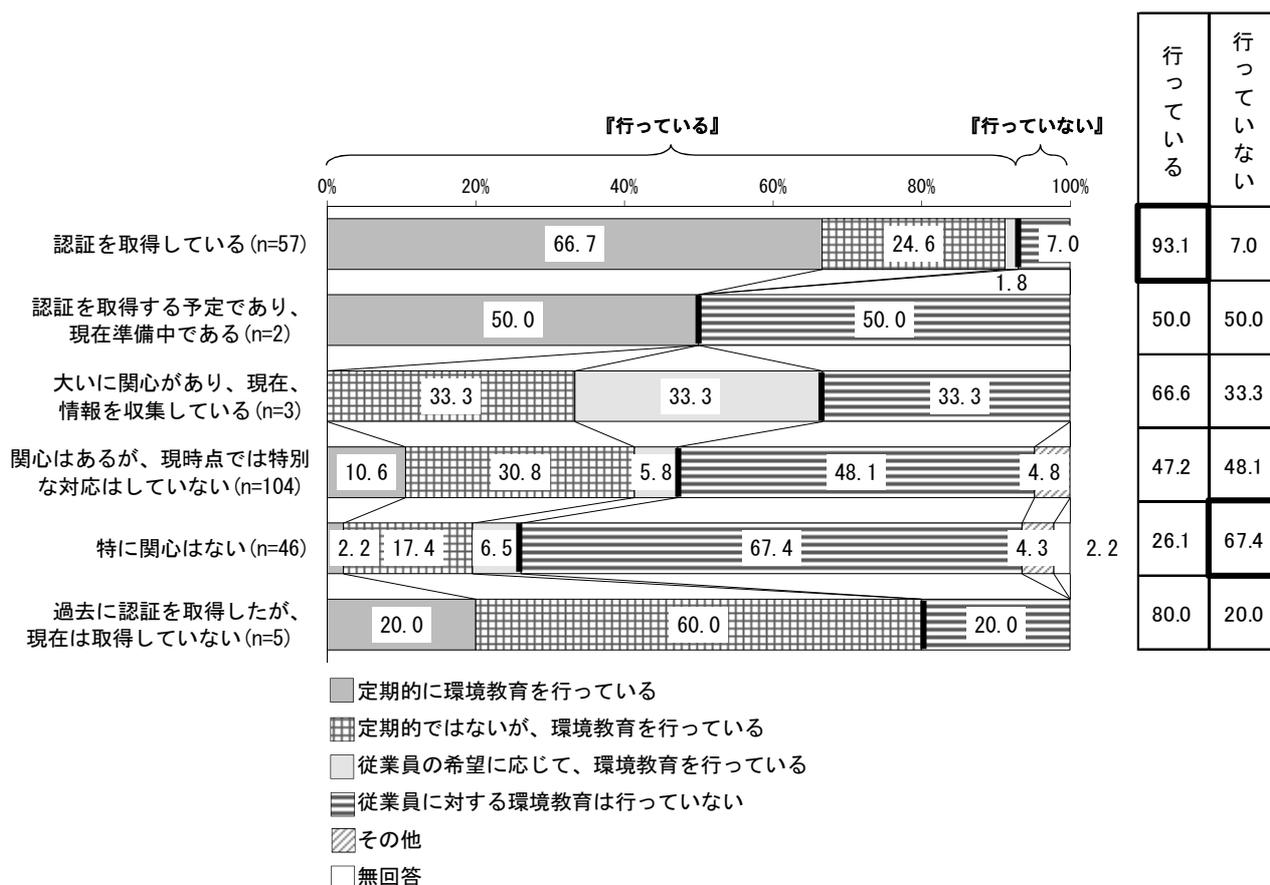
結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』との回答は製造業、運輸業、郵便業で6割台半ばと高くなっている。 ・「定期的に環境教育を行っている」との回答は製造業で約4割と高くなっている。 ・「定期的ではないが、環境教育を行っている」との回答は運輸業、郵便業で4割超と高くなっている。 ・『行っていない』との回答は医療、福祉で7割超と高くなっている。

【図表 従業員に対する環境教育の形態（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』との回答は100~199人、300人以上で6割台と高くなっている。 ・「定期的に環境教育を行っている」との回答は300人以上で5割超と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・『行っていない』との回答は29人以下で約6割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

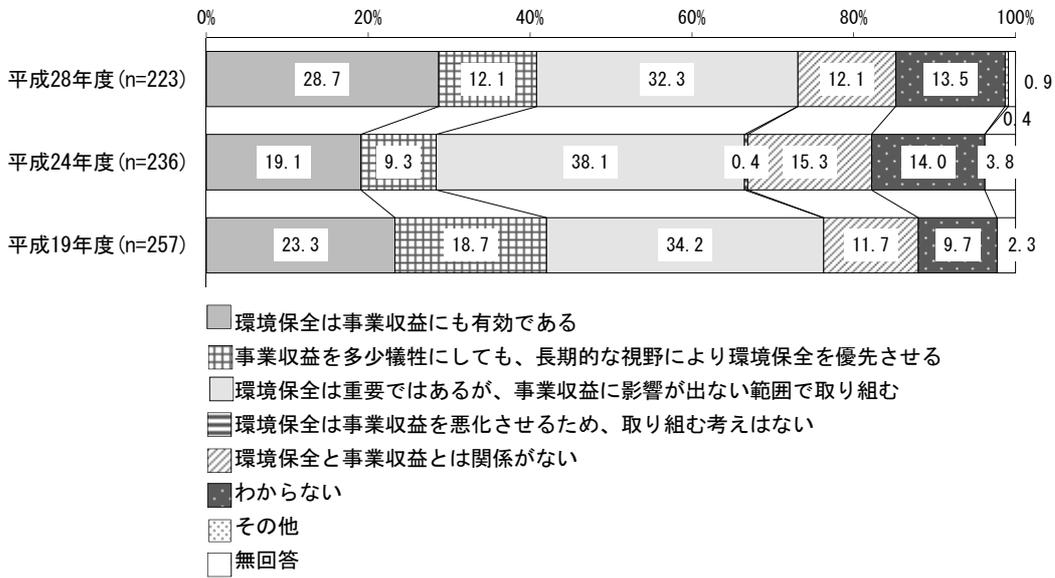
【図表 従業員に対する環境教育の形態（環境マネジメントシステムの取組状況別）】



結果の要点	
環境マネジメントシステムの取組状況別	<ul style="list-style-type: none"> ・『行っている』との回答は認証を取得している事業所で9割台半ばと高くなっている。 ・「定期的に環境教育を行っている」との回答は認証を取得している事業所で6割台半ばと高くなっている。 ・『行っていない』との回答は特に関心はない事業所で約7割と高くなっている。

(7) 環境保全への取組と事業収益との関係

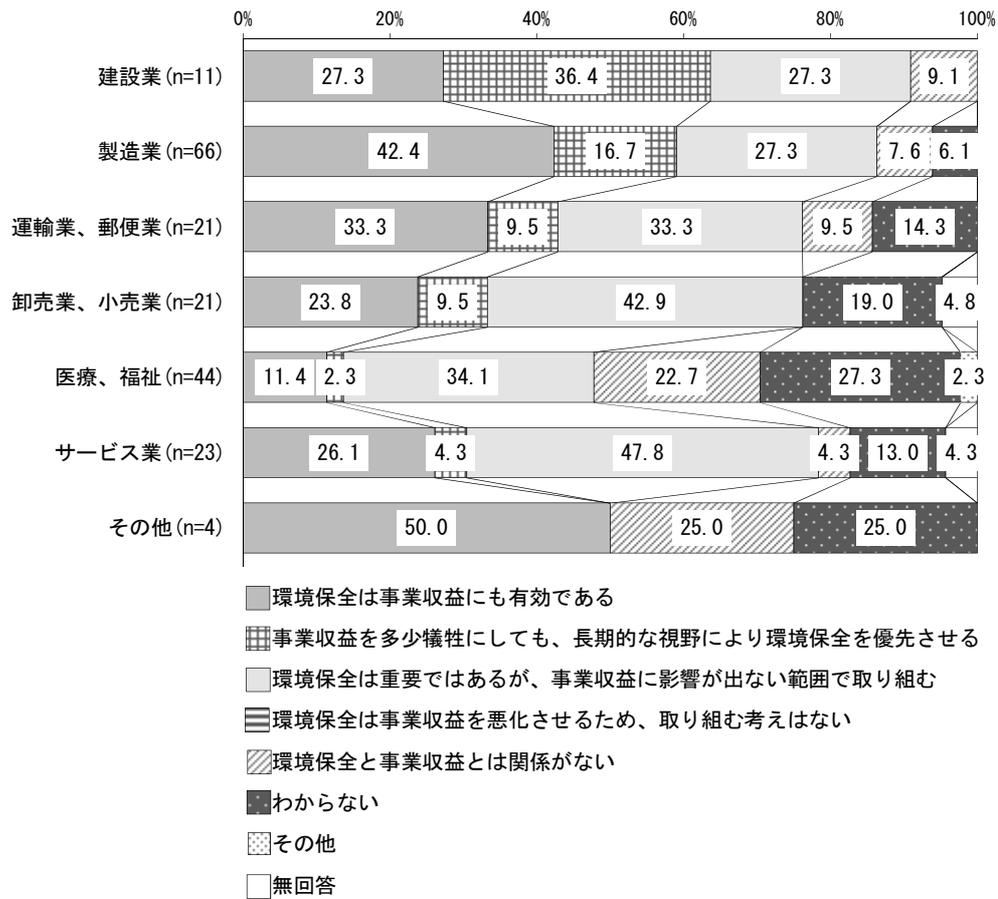
問7 環境保全への取組と事業収益との関係について、どのようにお考えですか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。



※「その他」はH19にはない選択肢

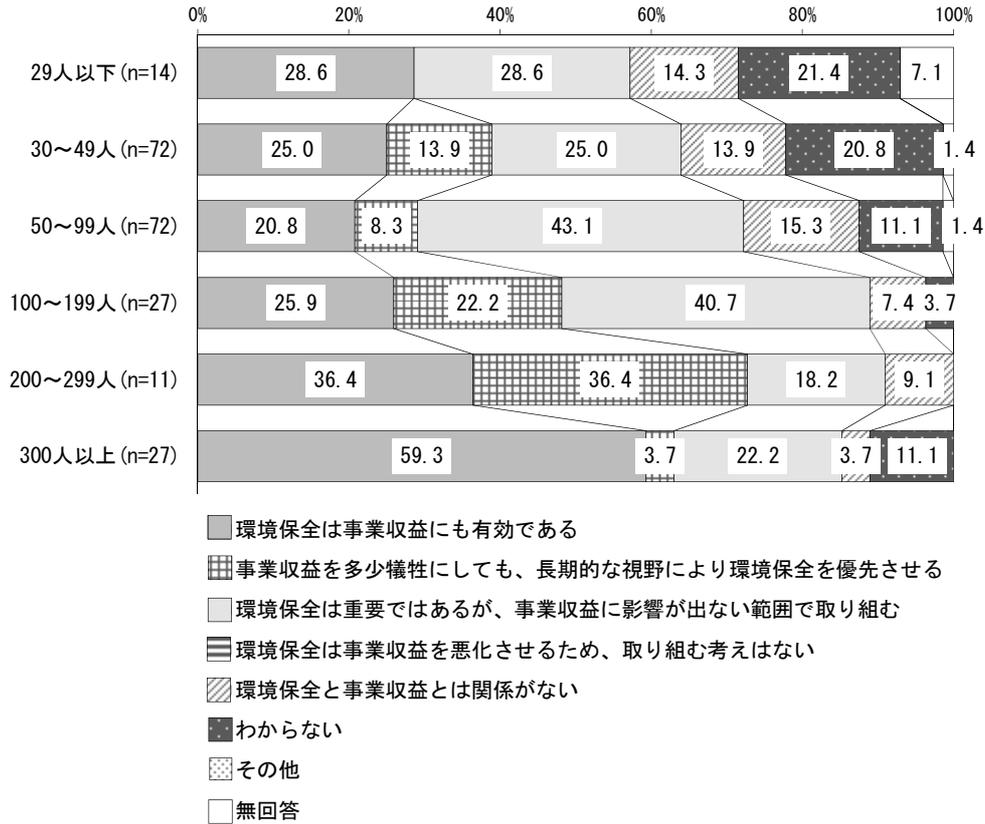
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「環境保全は重要ではあるが、事業収益に影響が出ない範囲で取り組む」との回答が32.3%と最も高く、次いで「環境保全は事業収益にも有効である」(28.7%)、「わからない」(13.5%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> 「環境保全は事業収益にも有効である」との回答は平成28年度(28.7%)が平成19年度(23.3%)から5.4ポイント、平成24年度(19.1%)から9.6ポイント増加している。 「事業収益を多少犠牲にしても、長期的な視野により環境保全を優先させる」との回答は平成28年度(12.1%)が平成19年度(18.7%)から6.6ポイント減少し、平成24年度(9.3%)から2.8ポイント増加している。 「環境保全は重要ではあるが、事業収益に影響が出ない範囲で取り組む」との回答は平成28年度(32.3%)が平成19年度(34.2%)から1.9ポイント、平成24年度(38.1%)から5.8ポイント減少している。

【図表 環境保全への取組と事業収益との関係（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境保全は事業収益にも有効である」との回答は製造業で4割超と高くなっている。 ・「環境保全は重要ではあるが、事業収益に影響が出ない範囲で取り組む」との回答は卸売業、小売業、サービス業で4割台と高くなっている。 ・「環境保全と事業収益とは関係がない」との回答は医療、福祉で2割超と高くなっている。

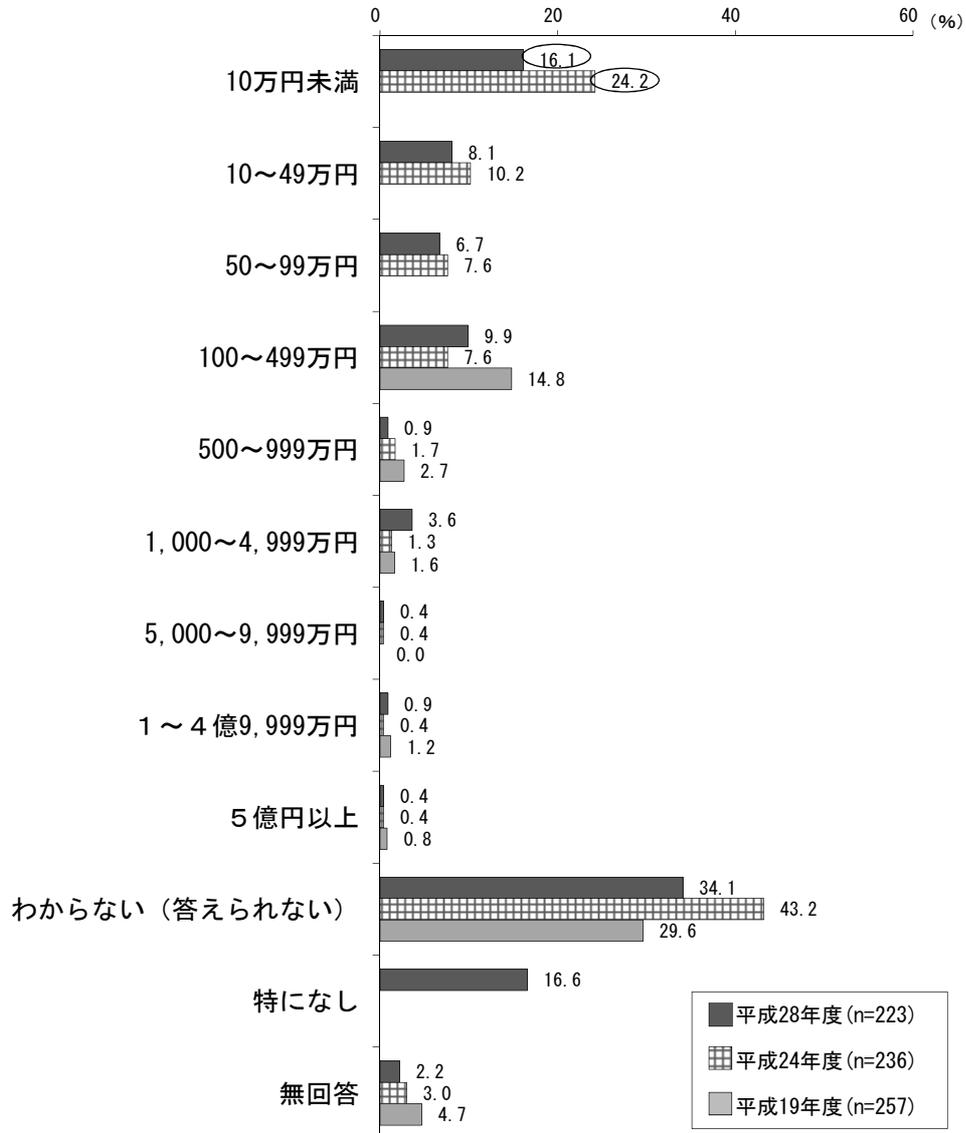
【図表 環境保全への取組と事業収益との関係（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境保全は事業収益にも有効である」との回答は300人以上で約6割と高くなっている。 ・「事業収益を多少犠牲にしても、長期的な視野により環境保全を優先させる」との回答は100~199人で2割超と高くなっている。 ・「環境保全は重要ではあるが、事業収益に影響が出ない範囲で取り組む」との回答は50~99人、100~199人で4割超と高くなっている。 ・「環境保全と事業収益とは関係がない」との回答は99人以下の事業所で1割台半ばと高くなっている。

(8) 年間の環境保全対策費

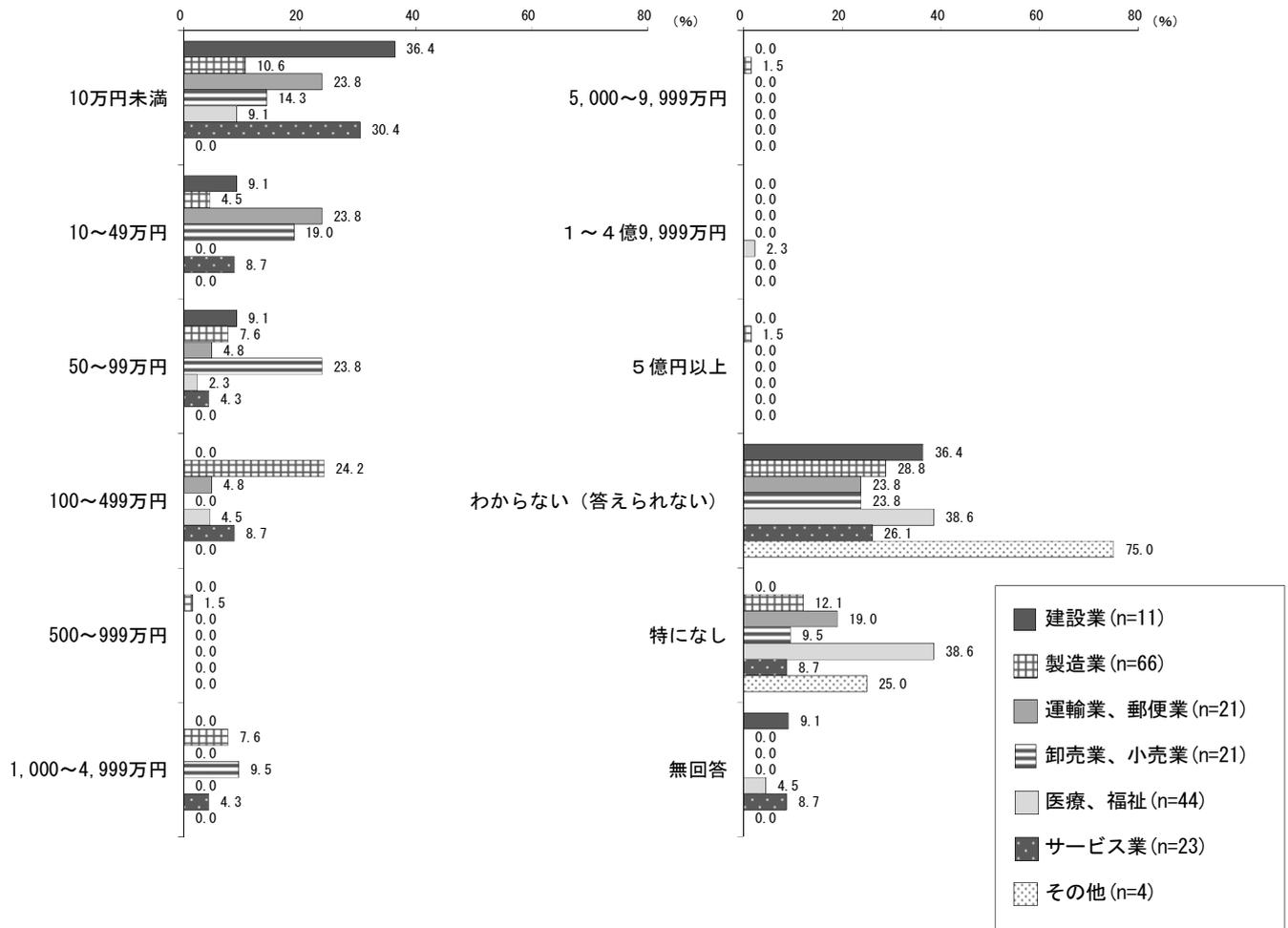
問8 貴事業所の現在の環境保全対策費（廃棄物の処理費用を除く）は年間でおよそどの程度ですか？あてはまる番号1つに○をつけてください。



※H19、H24にはない選択肢
「特になし」
※H19にはない選択肢
「10万円未満」、「10～49万円」、「50～99万円」

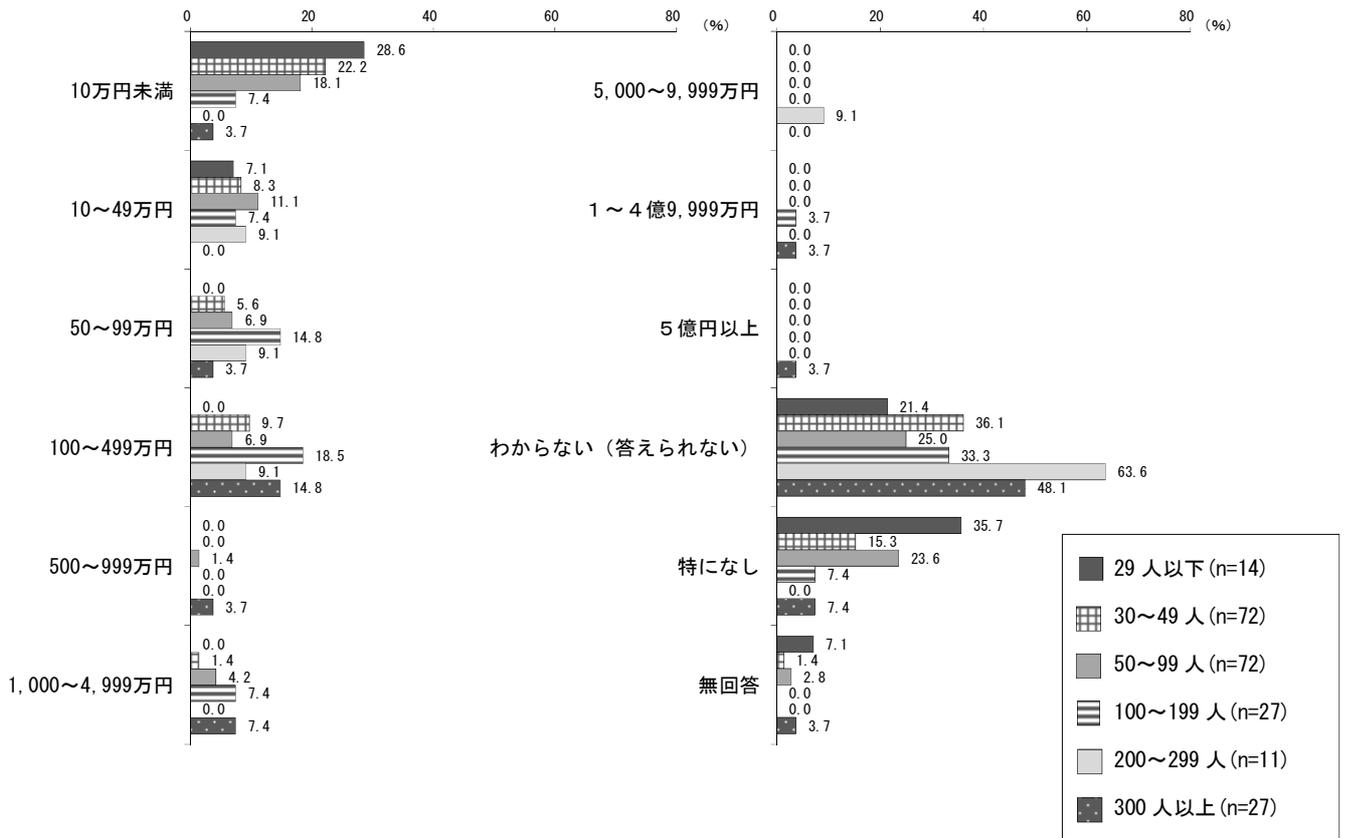
	結果の要点
全体	・「わからない (答えられない)」との回答が34.1%と最も高く、次いで「特になし」(16.6%)、「10万円未満」(16.1%)などの順となっている。
経年比較	・「10万円未満」との回答は平成28年度(16.1%)が平成24年度(24.2%)から8.1ポイント減少している。

【図表 年間の環境保全対策費（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「10万円未満」との回答はサービス業で約3割と高くなっている。 ・「10～49万円」との回答は運輸業、郵便業で2割台半ばと高くなっている。 ・「50～99万円」との回答は卸売業、小売業で2割台半ばと高くなっている。 ・「100～499万円」との回答は製造業で2割台半ばと高くなっている。

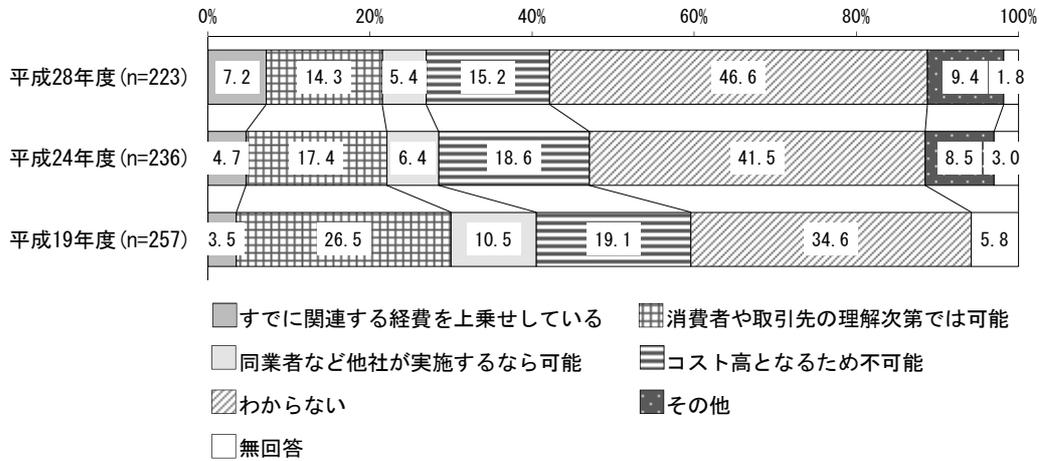
【図表 年間の環境保全対策費（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「10万円未満」との回答は29人以下で約3割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・「50~99万円」との回答は100~199人で1割台半ばと高くなっている。 ・「100~499万円」との回答は100~199人で約2割と高くなっている。

(9) 製品やサービスの価格に、環境保全対策上の経費等を含めた販売の可否

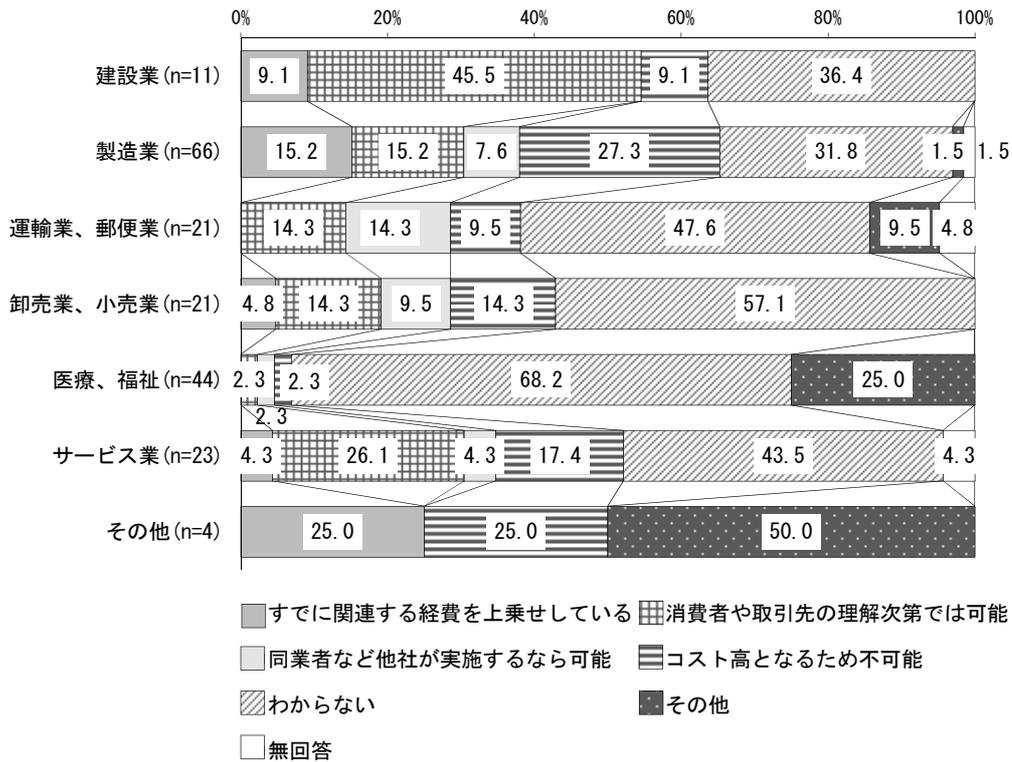
問9 貴事業所の製品やサービスの価格に、環境保全対策上の経費やリサイクルに要する経費などを含めて販売することは可能ですか？あてはまる番号1つに○をつけてください。



※「その他」は H19 にはない選択肢

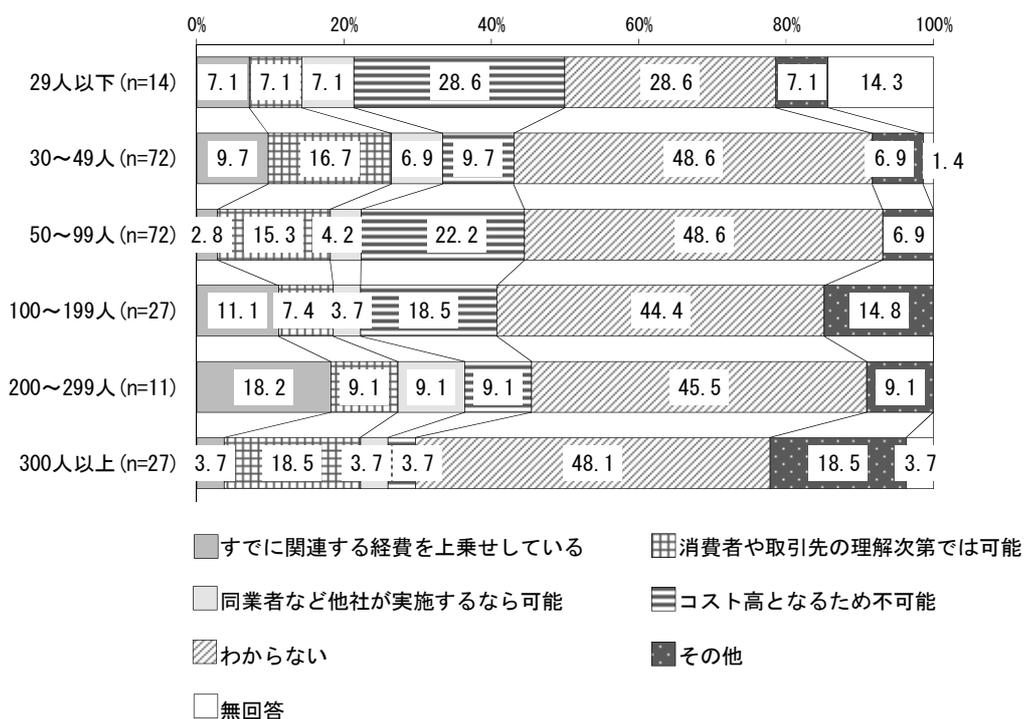
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「わからない」との回答が 46.6%と最も高く、次いで「コスト高となるため不可能」(15.2%)、「消費者や取引先の理解次第では可能」(14.3%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「すでに関連する経費を上乗せしている」との回答は経年ごとに高くなっている。 ・「消費者や取引先の理解次第では可能」との回答は平成 28 年度 (14.3%) が平成 19 年度 (26.5%) から 12.2 ポイント、平成 24 年度 (17.4%) から 3.1 ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「同業者など他社が実施するなら可能」との回答は平成 28 年度 (5.4%) が平成 19 年度 (10.5%) から 5.1 ポイント、平成 24 年度 (6.4%) から 1.0 ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「コスト高となるため不可能」との回答は平成 28 年度 (15.2%) が平成 19 年度 (19.1%) から 3.9 ポイント、平成 24 年度 (18.6%) から 3.4 ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。

【図表 製品やサービスの価格に、環境保全対策上の経費等を含めた販売の可否（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「すでに関連する経費を上乗せしている」との回答は製造業で1割台半ばと高くなっている。 ・「消費者や取引先の理解次第では可能」との回答はサービス業で2割台半ばと高く、医療、福祉で1割未満と低くなっている。 ・「同業者など他社が実施するなら可能」との回答は運輸業、郵便業で1割台半ばと高くなっている。 ・「コスト高となるため不可能」との回答は製造業で約3割と高くなっている。

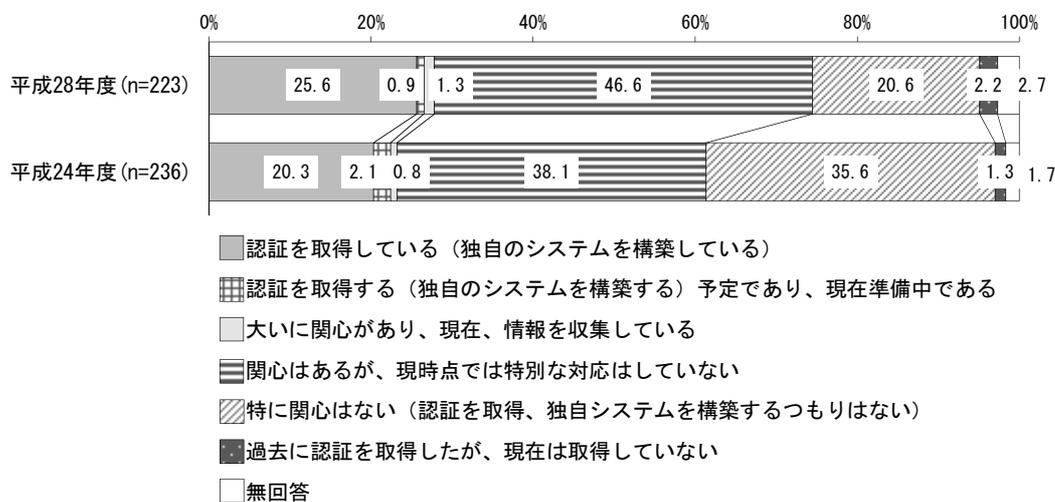
【図表 製品やサービスの価格に、環境保全対策上の経費等を含めた販売の可否（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「すでに関連する経費を上乗せしている」との回答は30~49人、100~199人で1割前後と高くなっている。 ・「消費者や取引先の理解次第では可能」との回答は300人以上で約2割と高くなっている。 ・「コスト高となるため不可能」との回答は29人以下で約3割と高くなっており、30~49人、300人以上で1割未満と低くなっている。

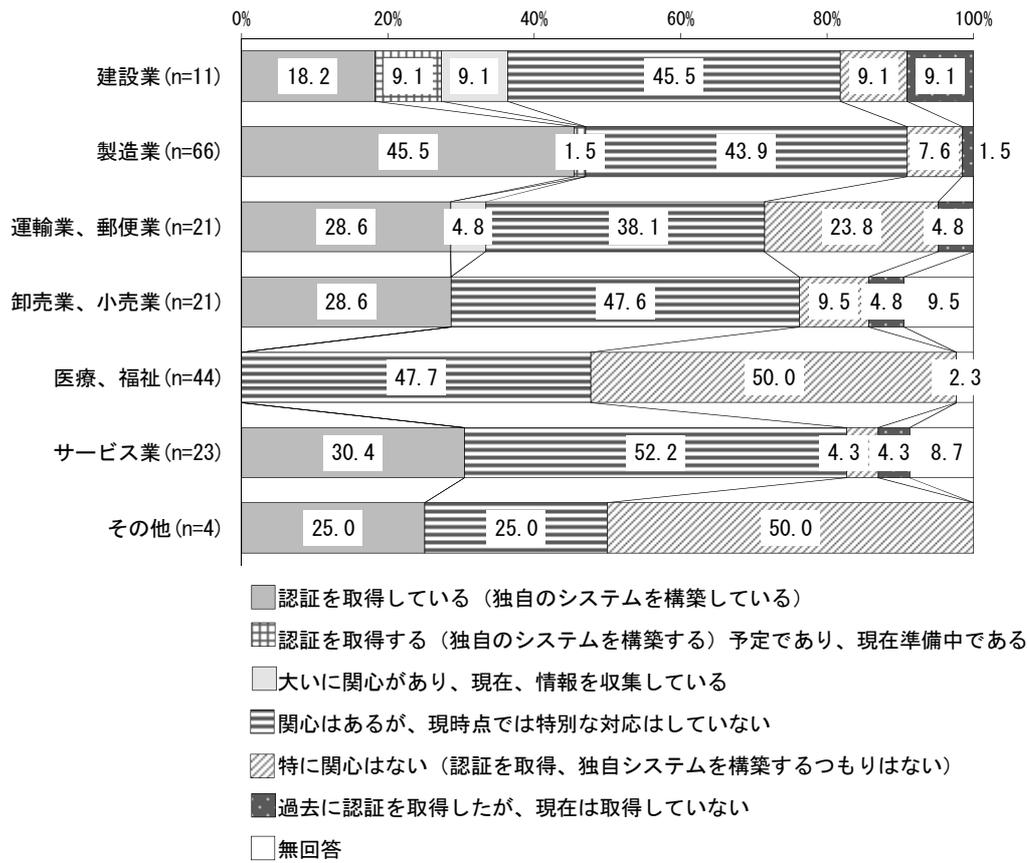
(10) 環境マネジメントシステムの取組状況

問 10 環境マネジメントシステム（ISO14001やエコアクション21、岡山エコ事業所など）について、貴事業所はどのように取り組まれていますか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。



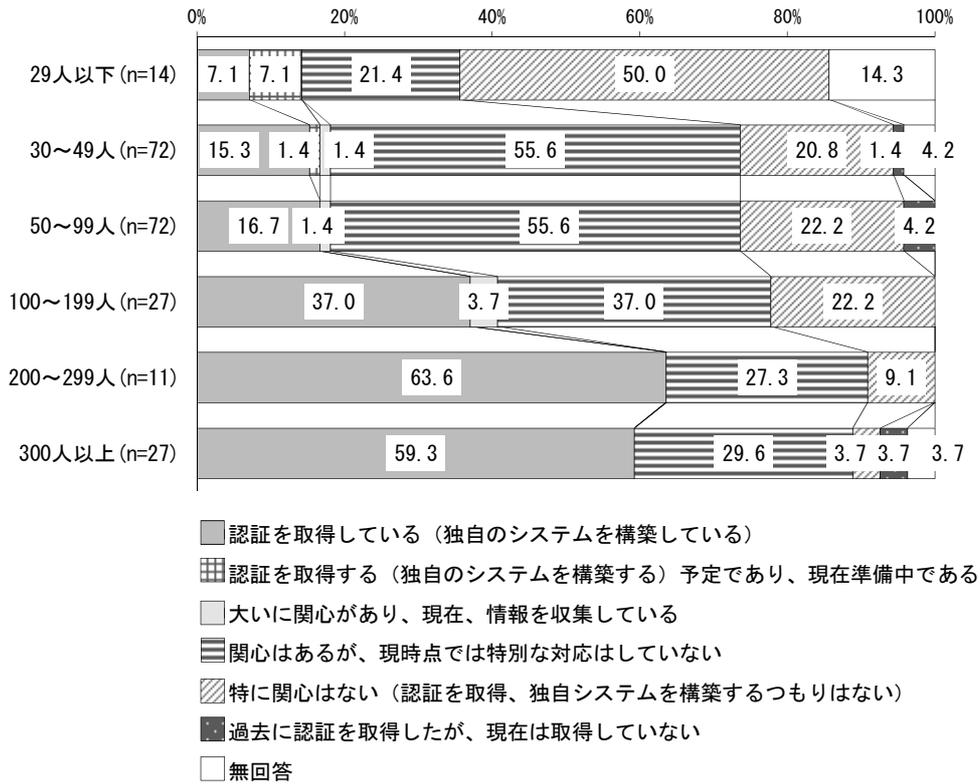
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない」との回答が46.6%と最も高く、次いで「認証を取得している（独自のシステムを構築している）」(25.6%)、「特に関心はない（認証を取得、独自システムを構築するつもりはない）」(20.6%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> 「認証を取得している（独自のシステムを構築している）」との回答は平成28年度(25.6%)が平成24年度(20.3%)から5.3ポイント増加している。 「関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない」との回答は平成28年度(46.6%)が平成24年度(38.1%)から8.5ポイント増加している。 「特に関心はない（認証を取得、独自システムを構築するつもりはない）」との回答は平成28年度(20.6%)が平成24年度(35.6%)から15.0ポイント減少している。

【図表 環境マネジメントシステムの取組状況（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証を取得している（独自のシステムを構築している）」との回答は製造業で4割台半ばと高くなっている。 ・「特に興味はない（認証を取得、独自システムを構築するつもりはない）」との回答は医療、福祉で5割と高くなっている。

【図表 環境マネジメントシステムの取組状況（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証を取得している（独自のシステムを構築している）」との回答は300人以上で約6割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない」との回答は30~49人、50~99人で5割台半ばと高くなっている。 ・「特に関心はない（認証を取得、独自システムを構築するつもりはない）」との回答は29人以下で5割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

問 10-1 問 10 で、「5. 特に関心はない」または「6. 過去に認証を取得したが、現在は取得していない」とお答えの方にお聞きします。その理由を教えてください。

① 費用がかかる（5件）

本社支社	業種	自由意見
本社	サービス業	更新のためのコンサル費用が多額のため。
本社	卸売業・小売業	工数・費用に見合った効果がなかった。

② 事業内容に関係ない（6件）

本社支社	業種	自由意見
本社	医療・福祉	医業で環境やエコがどれほど実施できるのか。
本社	金融業・保険業	ゴミの分別等、一般的な対応はしている。事業内容から特別な対応をする必要性を感じていない。

③知らない。わからない（7件）

本社支社	業種	自由意見
支社	医療・福祉	環境マネジメントシステムについて知識不足である。
本社	金融業・保険業	環境保全が何をさすのか、よくわからない。
支社	製造業	取組そのものが理解できていないため。

④必要ない。メリットがない（13件）

本社支社	業種	自由意見
本社	医療・福祉	医療、福祉の現場で、なかなかメリットが見出せない。
本社	製造業	費用対効果が少なそうだから。
本社	医療・福祉	現状で特に問題を感じない。

⑤自分たちで十分やっているから（5件）

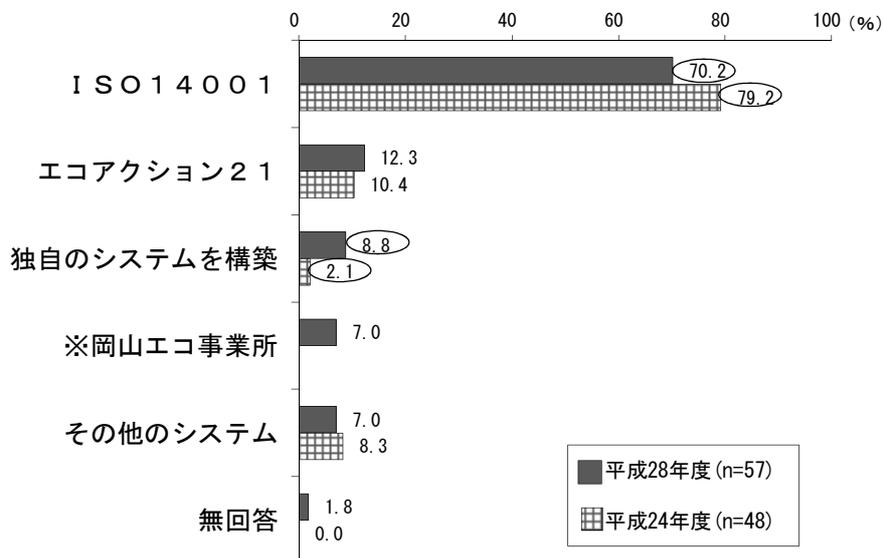
本社支社	業種	自由意見
支社	建設業	エコアクション21のレベルでは認証を受ける必要なく十分実施できる為。
本社	教育・学習支援業	平成27年、平成26年とエコキャンパス工事をして省エネ対策している。

⑥その他（8件）

本社支社	業種	自由意見
支社	医療・福祉	経営に関しては本社で一括して行っているため、事業所単位で取組をすることができないから。
本社	建設業	グループ間取引が多いため。
支社	金融業、保険業	支店で単独に考えることではないため。
支社	宿泊業、飲食サービス業	環境保全自体に関心がない。
支社	医療・福祉	取得意志がないため。
本社	サービス業	特に関心がないため。
支社	金融業、保険業	本社でのみ決定することが出来る。事業所では取り組みを決定することは不可。
支社	運輸業、郵便業	本社で取得し、本社の指示に従って対応している。

(11) 環境マネジメントシステムの形態

問 11 問 10 で「1. 認証を取得している（独自のシステムを構築している）」に○をつけた事業所の方にお聞きします。貴事業所での、環境マネジメントシステムはどのような形態ですか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

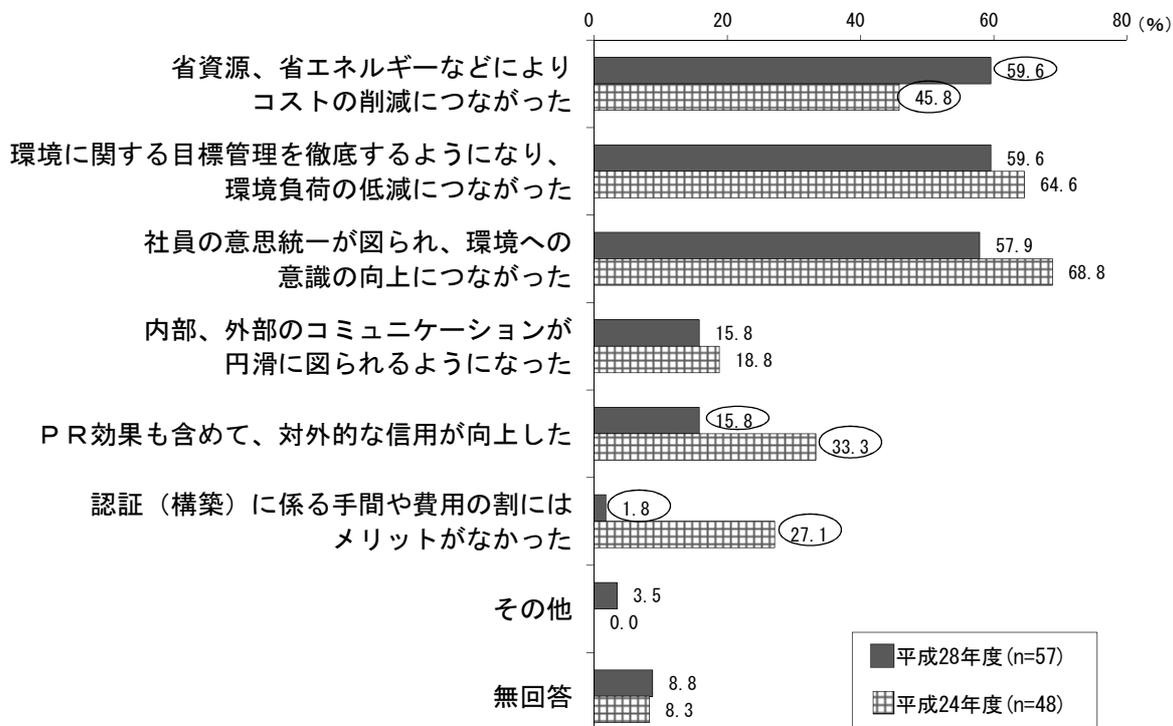


※「岡山エコ事業所」は H24 にはない選択肢

結果の要点	
全体	・「ISO 14001」との回答が 70.2%と最も高く、次いで「エコアクション21」(12.3%)、「独自のシステムを構築」(8.8%)などの順となっている。
経年比較	・「ISO 14001」との回答は平成 28 年度 (70.2%) が平成 24 年度 (79.2%) から 9.0 ポイント減少している。 ・「独自のシステムを構築」との回答は平成 28 年度 (8.8%) が平成 24 年度 (2.1%) から 6.7 ポイント増加している。

(12) 環境マネジメントシステム認証取得による効果

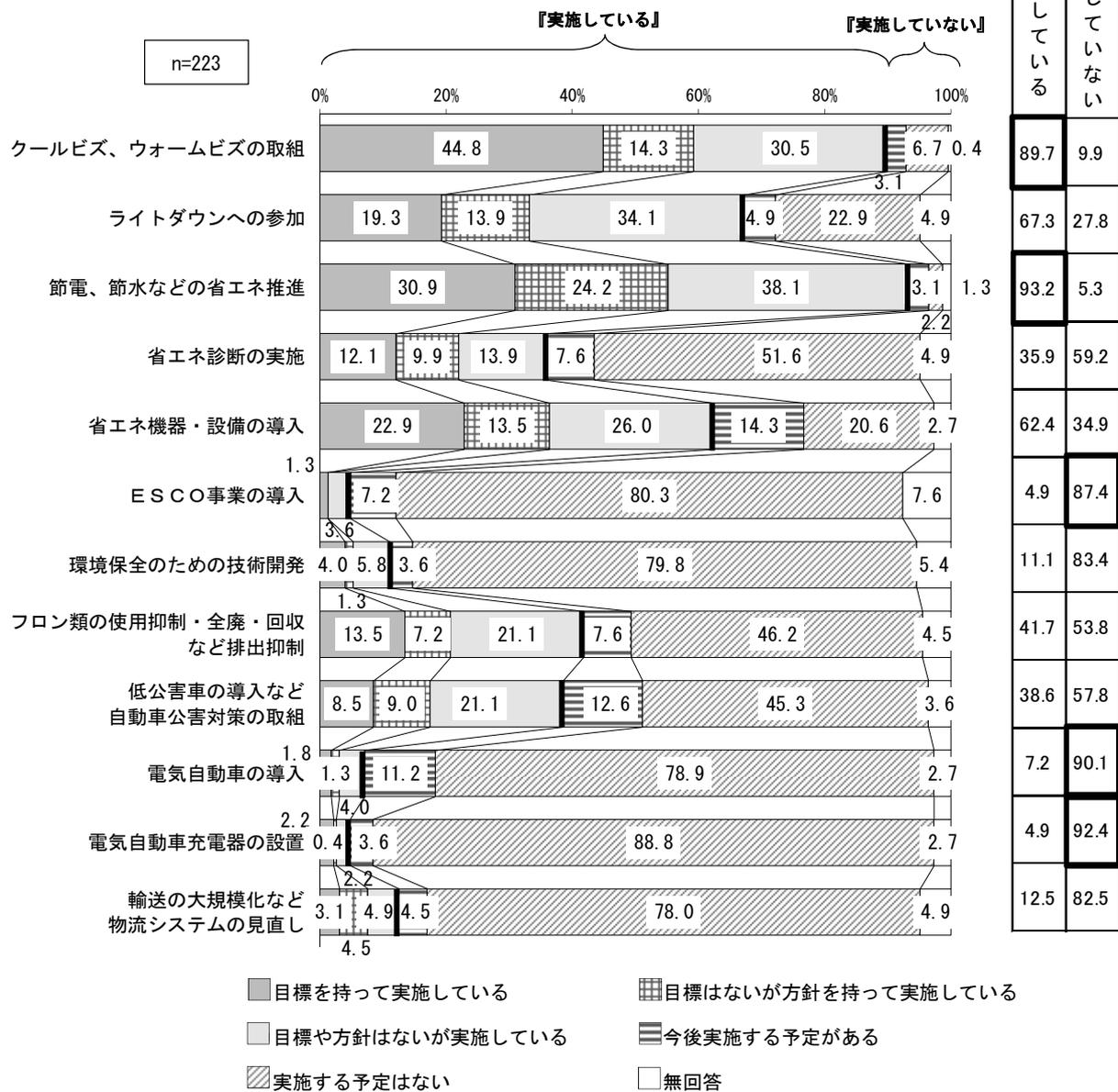
問 12 問 10 で「1. 認証を取得している（独自のシステムを構築している）」に○をつけた事業所の方にお聞きします。貴事業所では、認証の取得（独自システムの構築）によりどのような効果がありましたか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

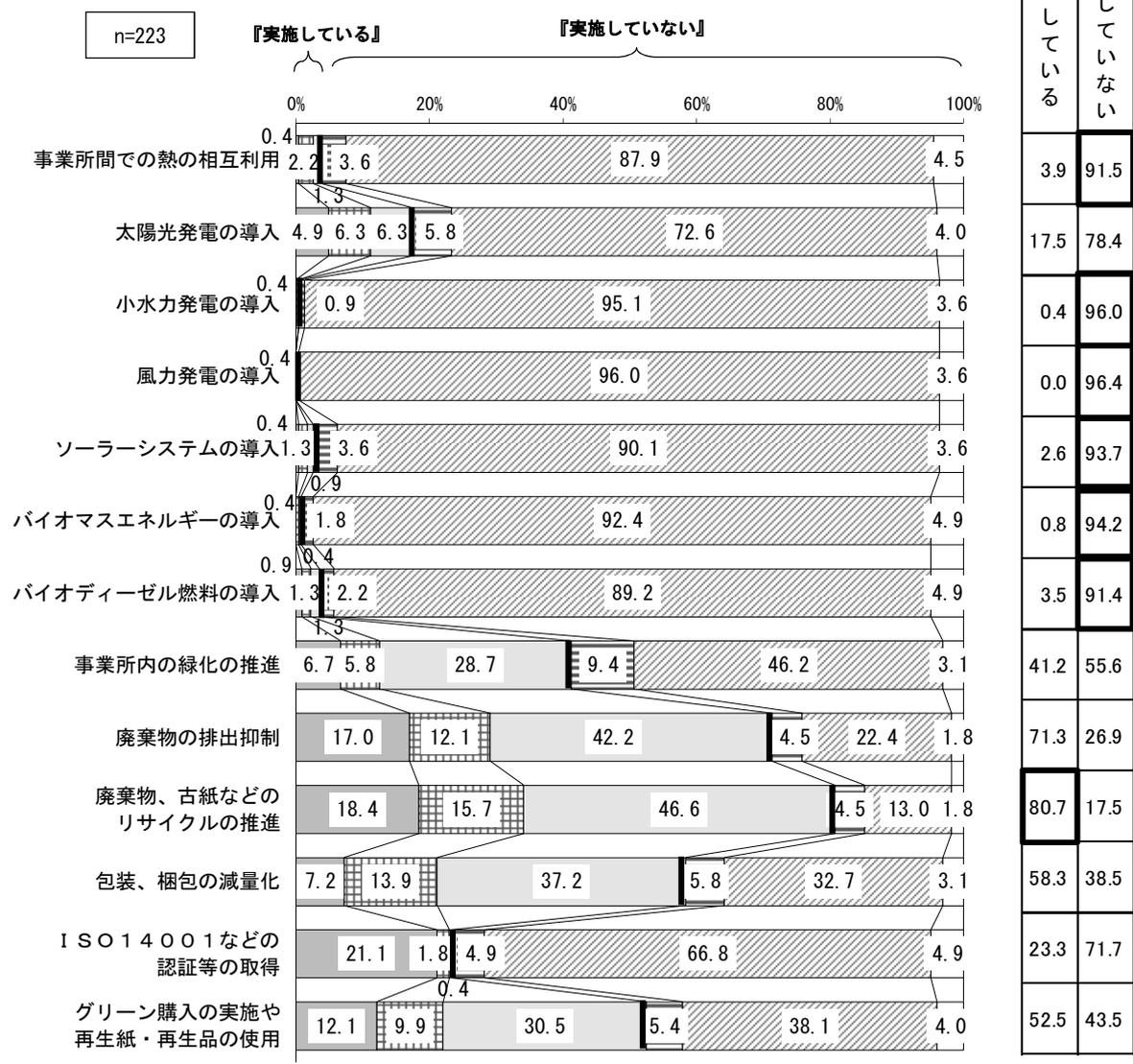


結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「省資源、省エネルギーなどによりコストの削減につながった」、「環境に関する目標管理を徹底するようになり、環境負荷の低減につながった」との回答が59.6%と高く、次いで「社員の意思統一が図られ、環境への意識の向上につながった」(57.9%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「省資源、省エネルギーなどによりコストの削減につながった」との回答は平成28年度(59.6%)が平成24年度(45.8%)から13.8ポイント増加している。 ・「PR効果も含めて、対外的な信用が向上した」との回答は平成28年度(15.8%)が平成24年度(33.3%)から17.5ポイント減少している。 ・「認証（構築）に係る手間や費用の割にはメリットがなかった」との回答は平成28年度(1.8%)が平成24年度(27.1%)から25.3ポイント減少している。

(13) 環境に配慮した取組の実施状況

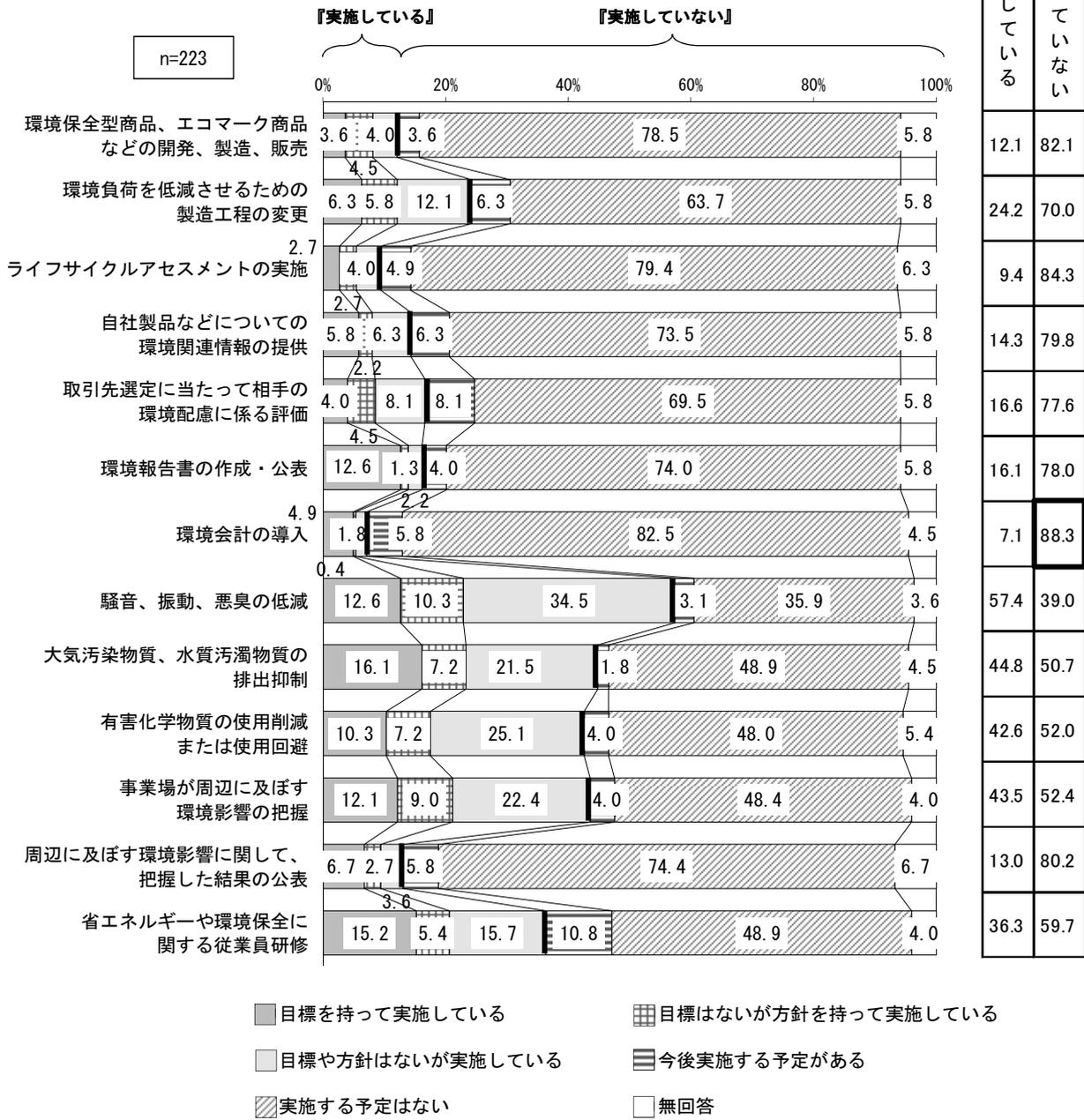
問 13 貴事業所では、次にあげる環境への配慮に関する項目について、1～5のどれにあてはまりますか？1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。





- 目標を持って実施している
- 目標はないが方針を持って実施している
- 目標や方針はないが実施している
- 今後実施する予定がある
- 実施する予定はない
- 無回答

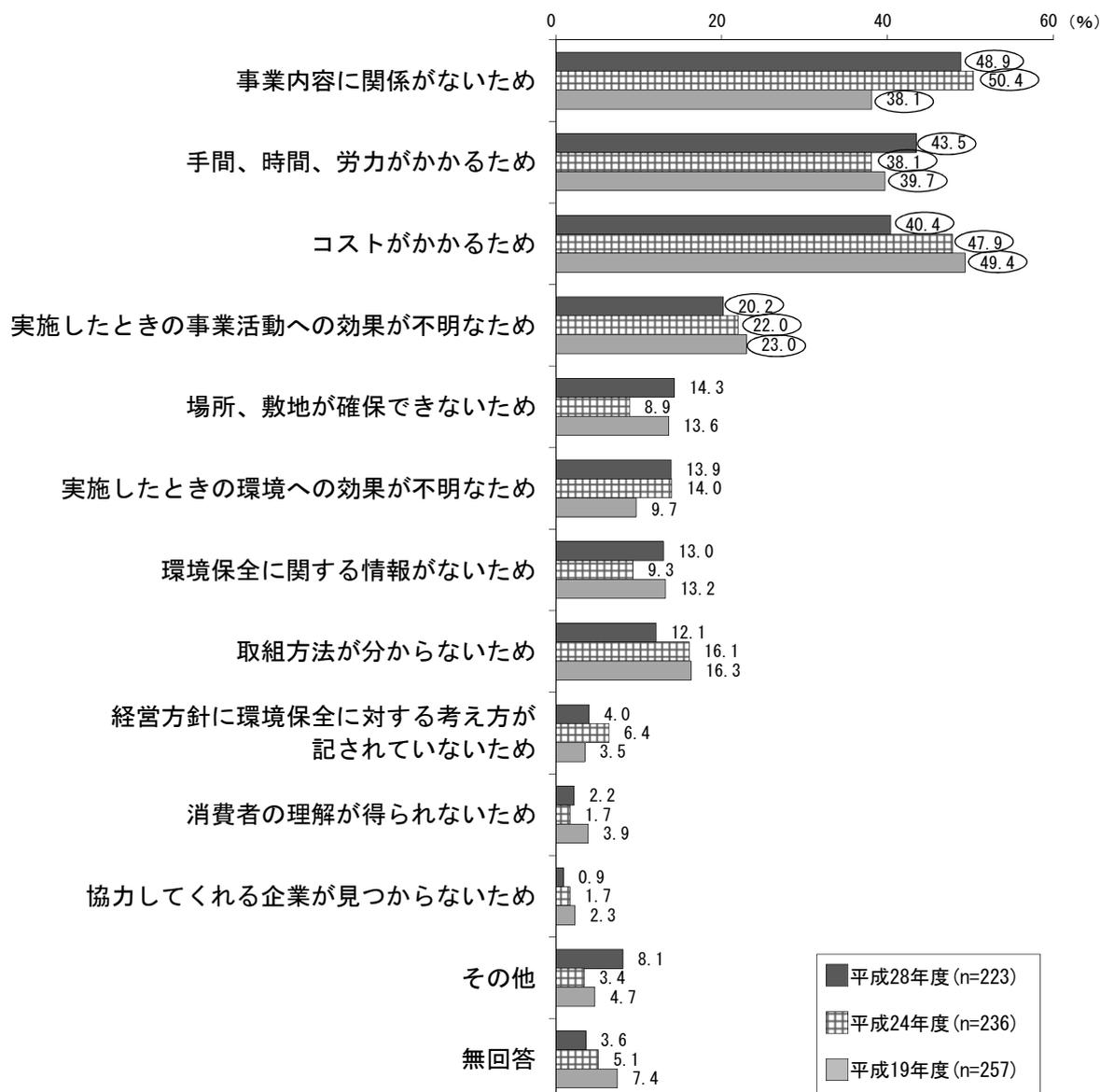
n=223



	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『実施している』（「目標を持って実施している」と「目標はないが方針を持って実施している」と「目標や方針はないが実施している」を合わせた割合）との回答は「節電、節水などの省エネ推進」で9割台半ば、「クールビズ、ウォームビズの取組」、で約9割、「廃棄物、古紙などのリサイクルの推進」で約8割と高くなっている。 ・『実施していない』（「今後実施する予定がある」と「実施する予定はない」を合わせた割合）との回答は「小水力発電の導入」、「風力発電の導入」、「ソーラーシステムの導入」、「バイオマスエネルギーの導入」で9割台半ば、「電気自動車充電器の設置」、「事業所間での熱の相互利用」、「バイオディーゼル燃料の導入」で9割超、「ESCO事業の導入」、「電気自動車の導入」、「環境会計の導入」で約9割と高くなっている。

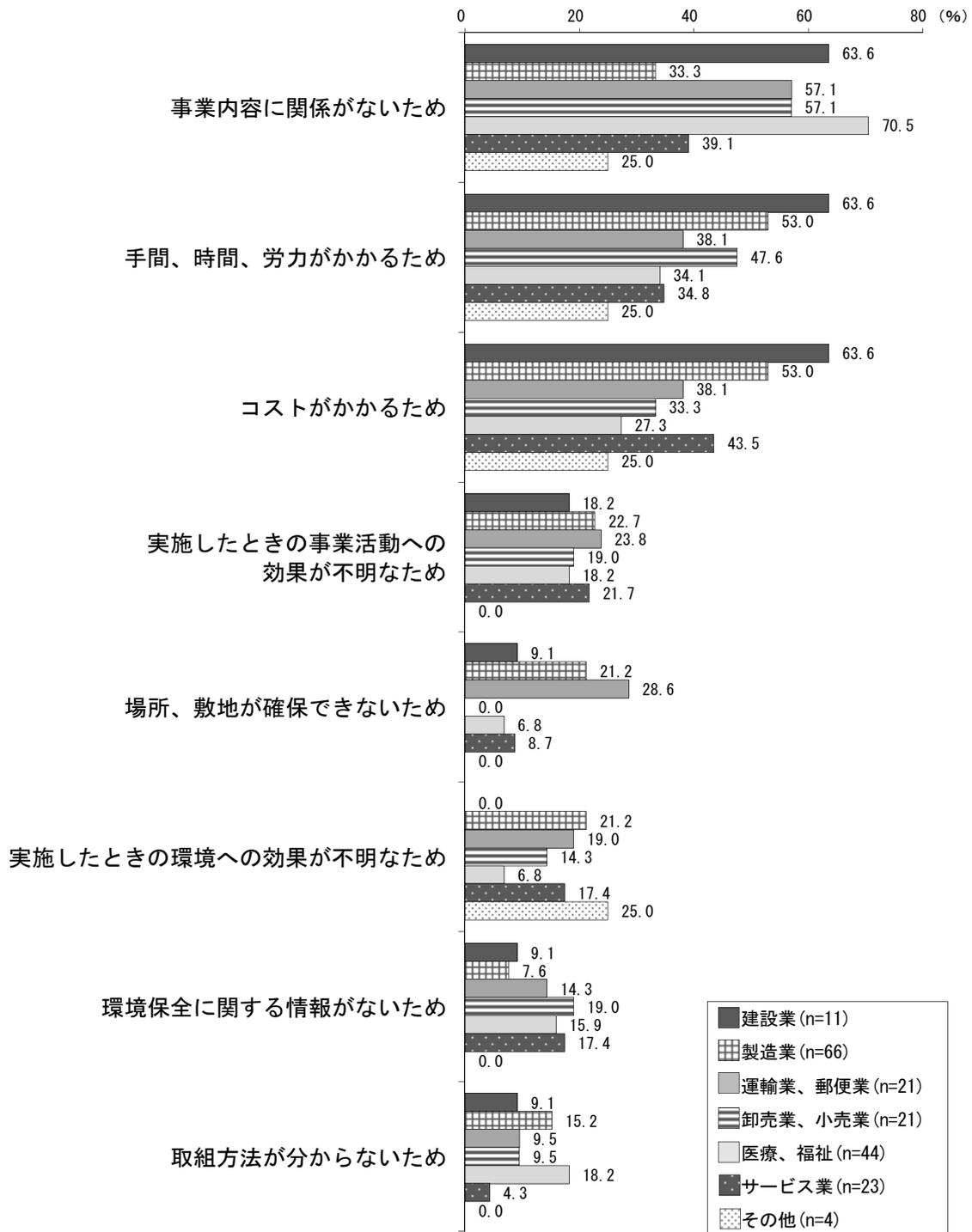
(14) 環境に配慮した取組を実施していない要因

問 14 問 13 にあげた項目のうち、現在実施していない項目について、実施していない主な要因は何だと思えますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。



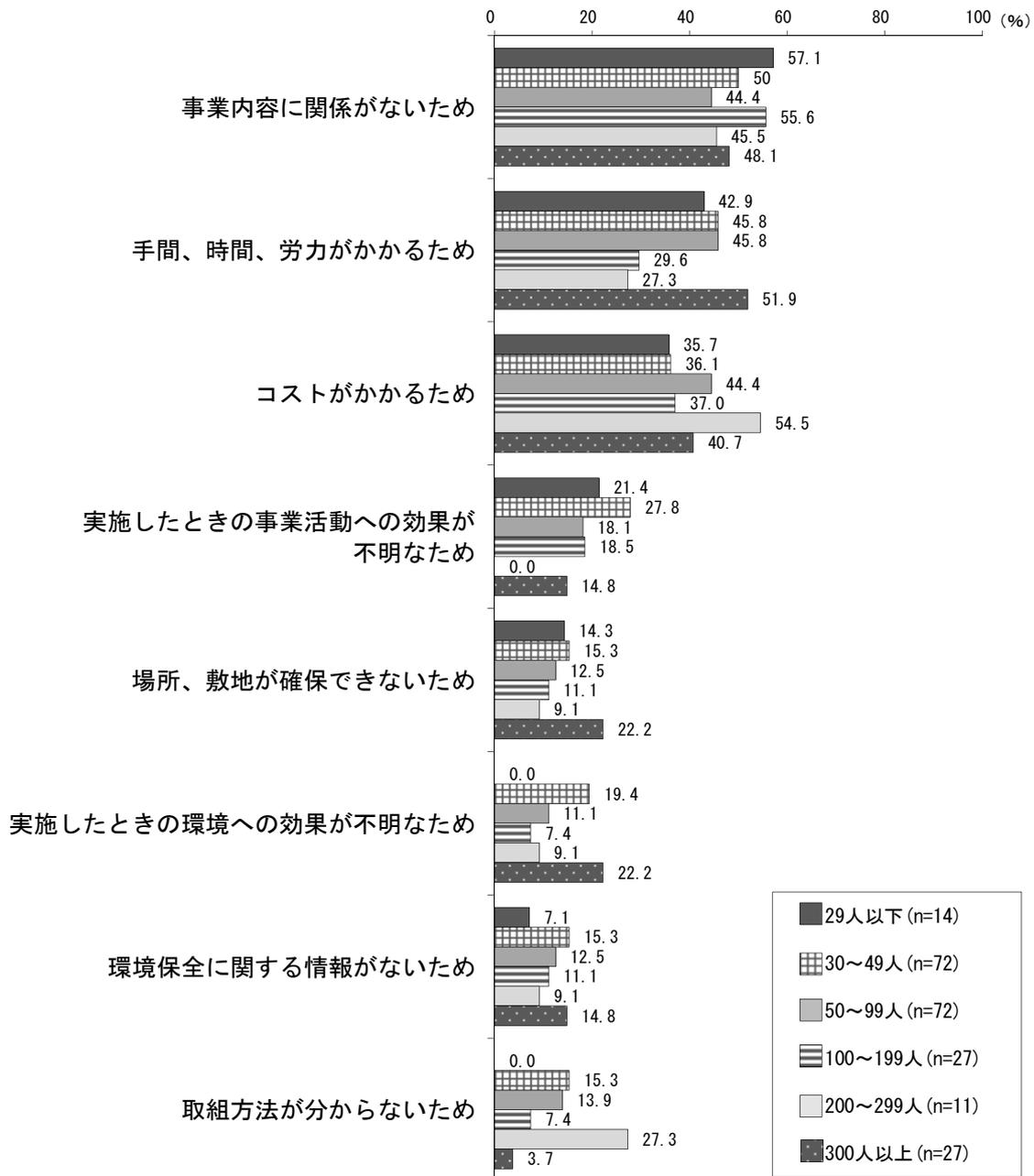
	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業内容に関係がないため」との回答が48.9%と最も高く、次いで「手間、時間、労力がかかるため」(43.5%)、「コストがかかるため」(40.4%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業内容に関係がないため」との回答は平成28年度(48.9%)が平成19年度(38.1%)から10.8ポイント増加し、平成24年度(50.4%)から1.5ポイント減少している。 ・「手間、時間、労力がかかるため」との回答は平成28年度(43.5%)が平成19年度(39.7%)から3.8ポイント、平成24年度(38.1%)から5.4ポイント増加している。 ・「コストがかかるため」との回答は平成28年度(40.4%)が平成19年度(49.4%)から9.0ポイント、平成24年度(47.9%)から7.5ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「実施したときの事業活動への効果が不明なため」との回答は経年比較しても大きな差はみられない。

【図表 実施していない要因（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業内容に関係がないため」との回答は医療、福祉で約7割と高くなっている。 ・「手間、時間、労力がかかるため」との回答は製造業、卸売業、小売業で5割前後と高くなっている。 ・「場所、敷地が確保できないため」との回答は運輸業、郵便業で約3割と高くなっている。

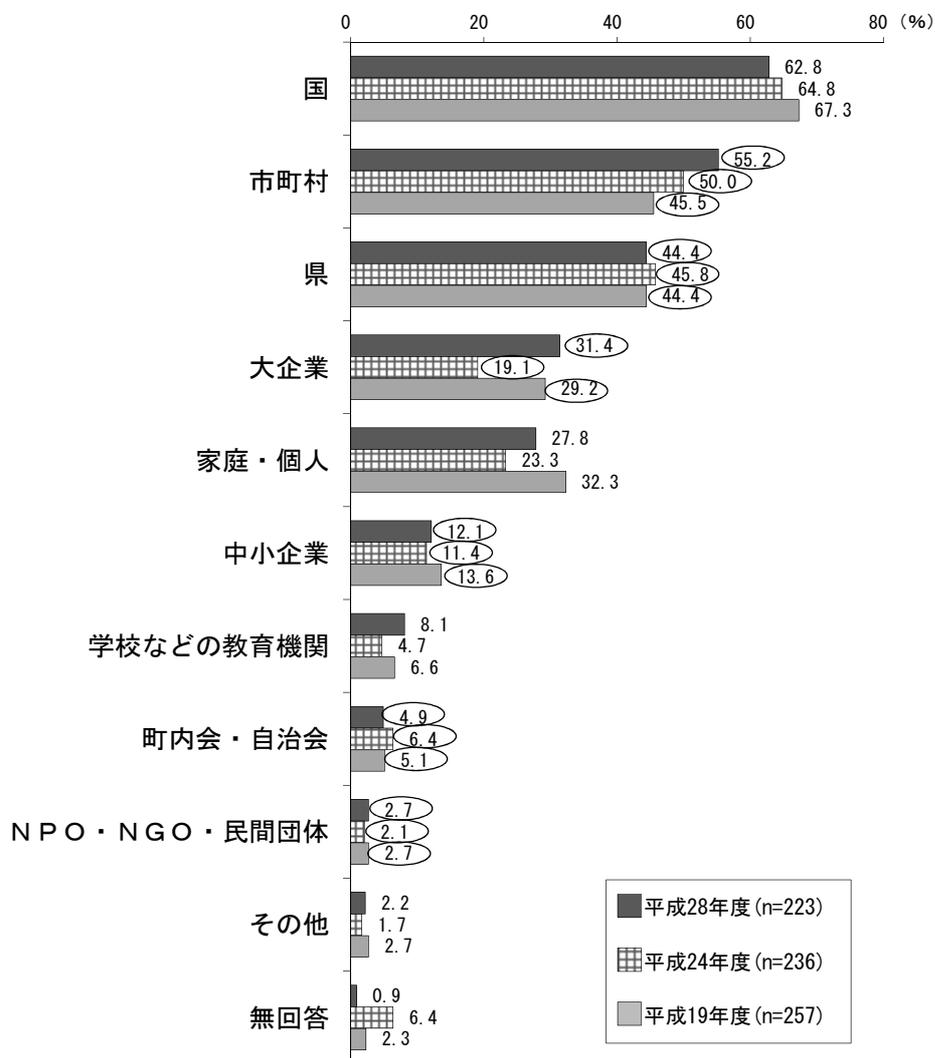
【図表 実施していない要因（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「手間、時間、労力がかかるため」との回答は300人以上で5割超と高くなっている。 ・「場所、敷地が確保できないため」との回答は300人以上で2割超と高くなっている。 ・「実施したときの環境への効果が不明なため」との回答は30~49人、300人以上で2割前後と高くなっている。

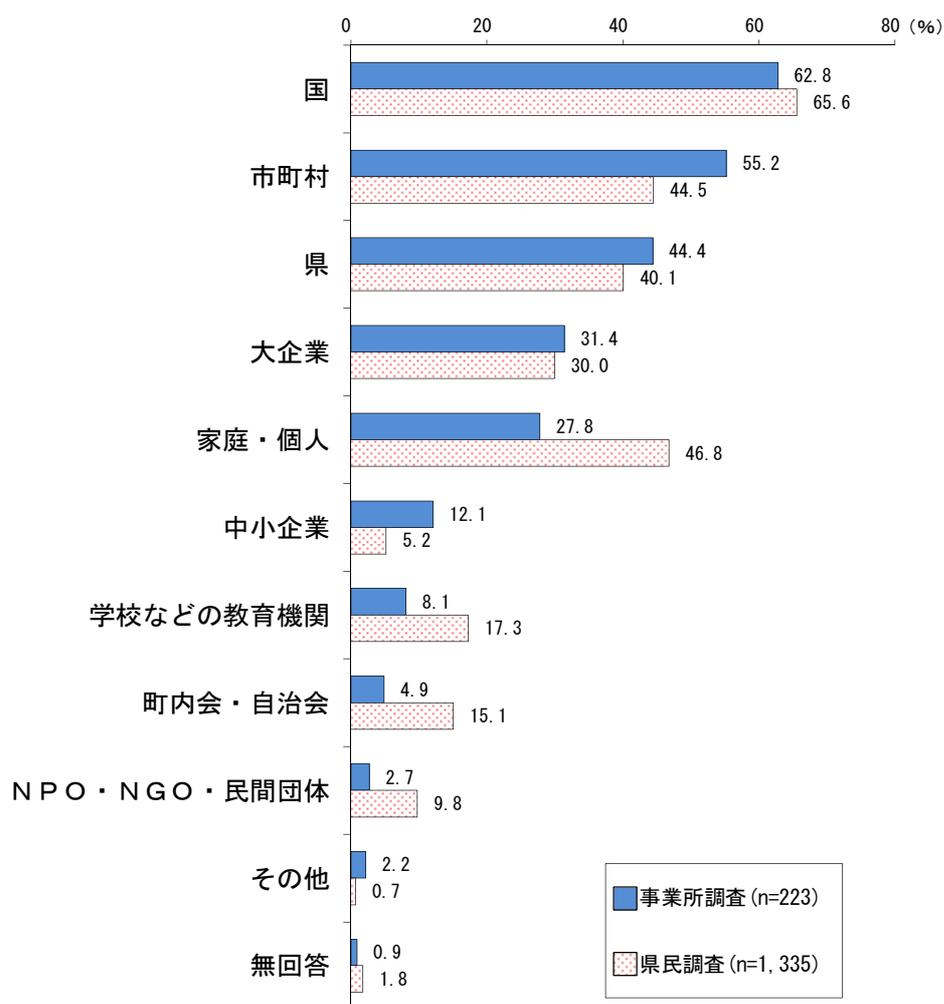
(15) 環境保全を進めるために活動すべき主体

問 15 環境保全を進めるためには、だれが主に活動すべきと思いますか？
 あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



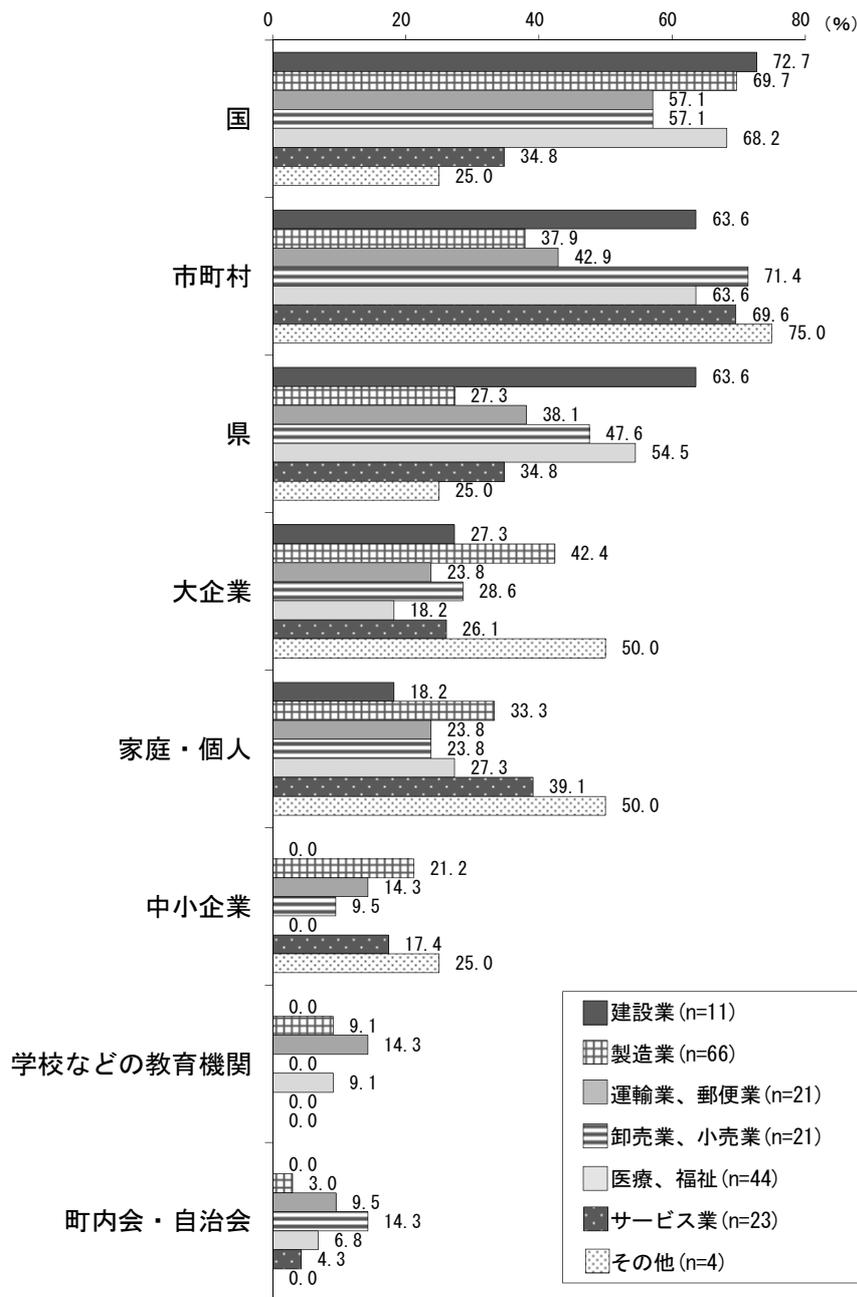
結果の要点	
全体	・「国」との回答が62.8%と最も高く、次いで「市町村」(55.2%)、「県」(44.4%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「市町村」との回答は平成28年度(55.2%)が平成19年度(45.5%)から9.7ポイント、平成24年度(50.0%)から5.2ポイント増加しており、経年ごとに高くなっている。 ・「大企業」との回答は平成28年度(31.4%)が平成19年度(29.2%)から2.2ポイント、平成24年度(19.1%)から12.3ポイント増加している。 ・「県」、「中小企業」、「町内会・自治会」、「NPO・NGO・民間団体」との回答は経年比較しても大きな差はみられない。

【図表 環境保全を進めるために活動すべき主体（県民調査との比較）】



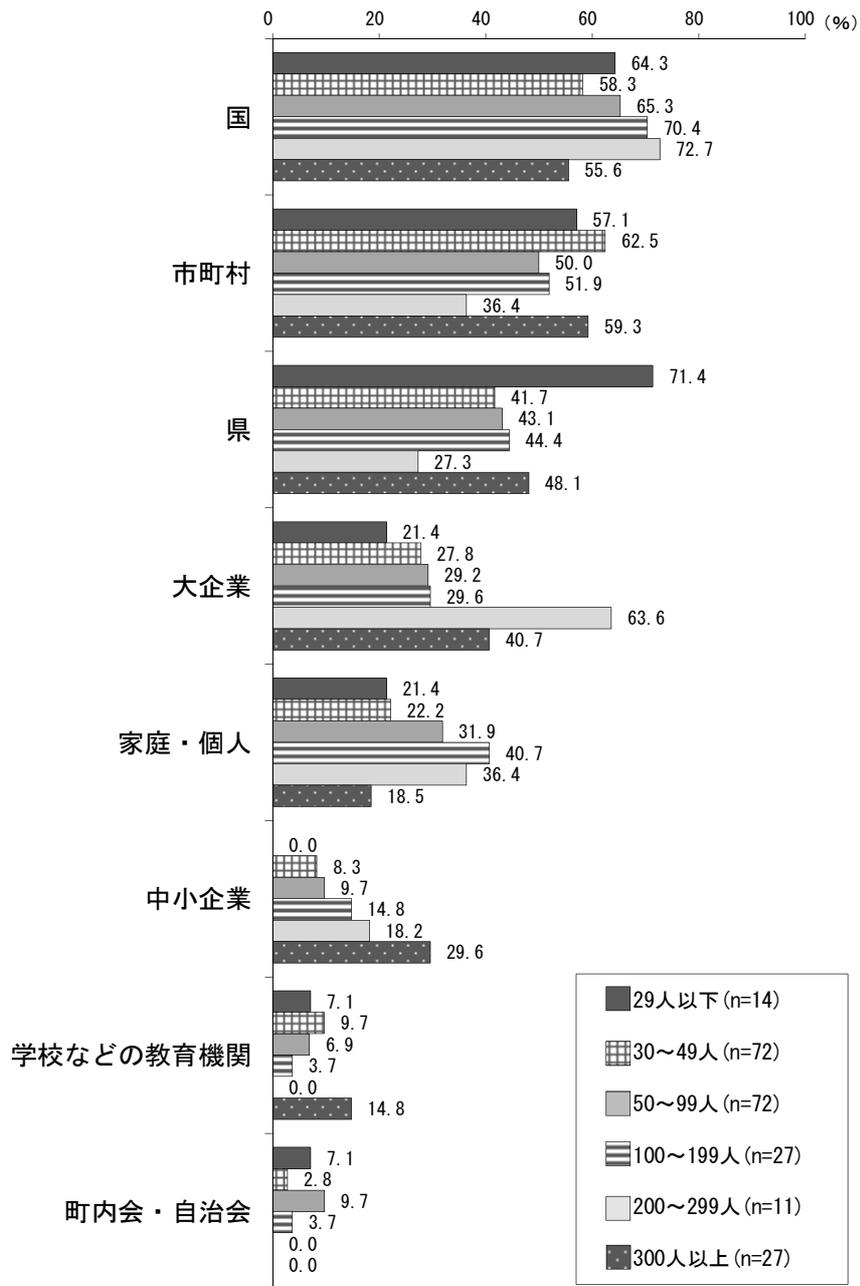
結果の要点	
県民調査との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「市町村」との回答は事業所調査（55.2%）が県民調査（44.5%）を10.7ポイント、「中小企業」との回答は事業所調査（12.1%）が県民調査（5.2%）を6.9ポイント上回っている。 ・「家庭・個人」との回答は県民調査（46.8%）が事業所調査（27.8%）を19.0ポイント、「学校などの教育機関」との回答は県民調査（17.3%）が事業所調査（8.1%）を9.2ポイント、「町内会・自治体」との回答は県民調査（15.1%）が事業所調査（4.9%）を10.2ポイント上回っている。 ・「国」、「大企業」との回答は調査によって大きな差はみられない。

【図表 環境保全を進めるために活動すべき主体（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「市町村」との回答は製造業、運輸業、郵便業で4割前後と低くなっている。 ・「県」との回答は医療、福祉で5割台半ばと高くなっている。 ・「大企業」との回答は製造業で4割超と高くなっている。

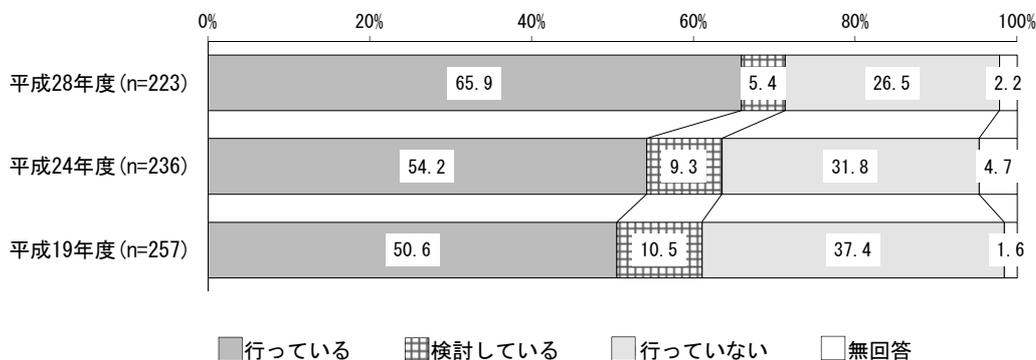
【図表 環境保全を進めるために活動すべき主体（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「県」との回答は29人以下で7割超と高くなっている。 ・「大企業」との回答は300人以上で約4割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「中小企業」との回答は300人以上で約3割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。

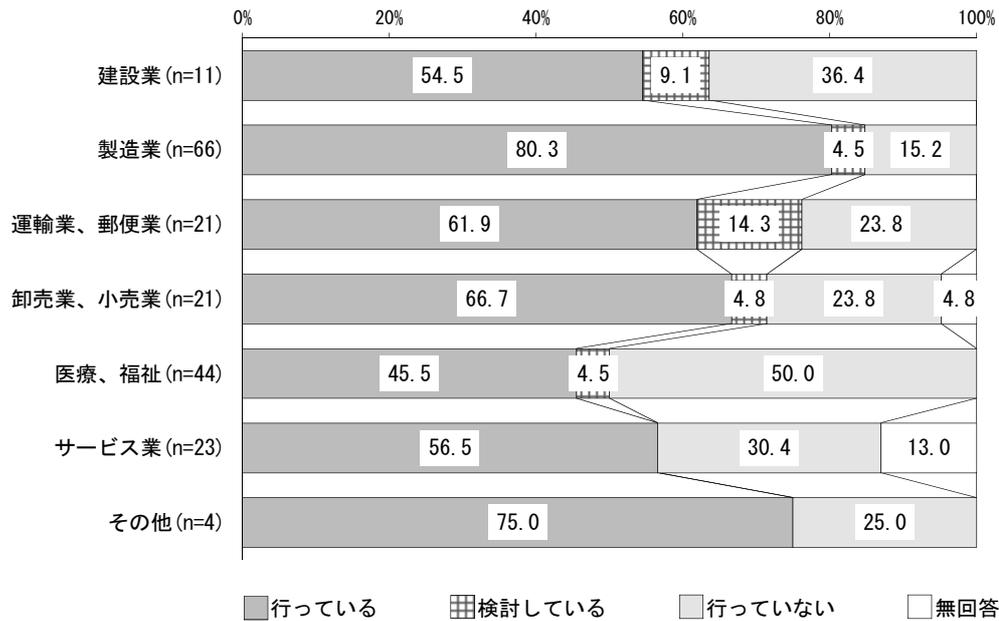
(16) 環境に関する社会貢献活動の実施の有無

問 16 貴事業所では、事業所の立地地域周辺で次の問 17 にあがるような環境に関する社会貢献活動を行っていますか？あてはまる番号 1 つに○をつけてください。



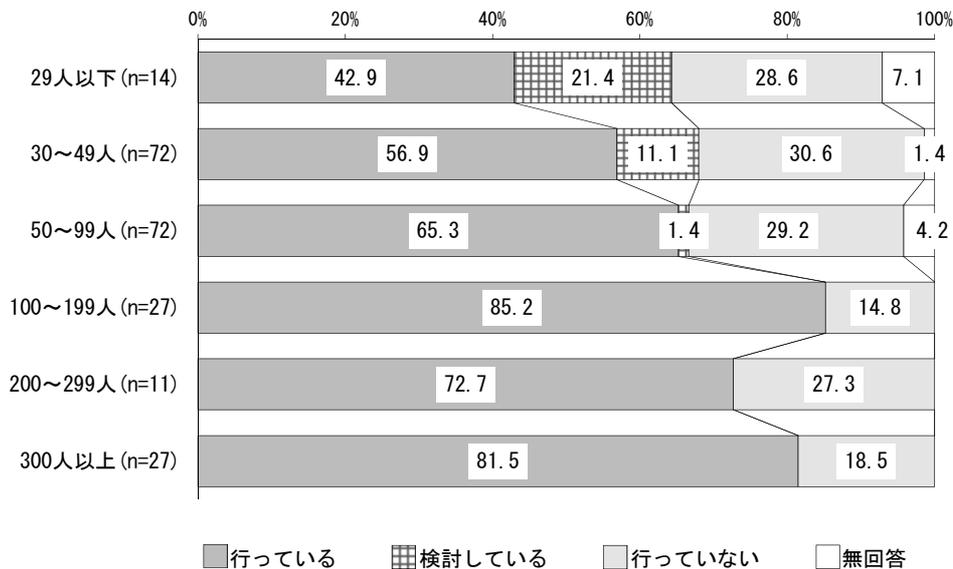
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「行っている」との回答が 65.9% と最も高く、次いで「行っていない」(26.5%)、「検討している」(5.4%) の順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「行っている」との回答は平成 28 年度 (65.9%) が平成 19 年度 (50.6%) から 15.3 ポイント、平成 24 年度 (54.2%) から 11.7 ポイント増加しており、経年ごとに高くなっている。 ・「検討している」との回答は平成 28 年度 (5.4%) が平成 19 年度 (10.5%) から 5.1 ポイント、平成 24 年度 (9.3%) から 3.9 ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。

【図表 環境に関する社会貢献活動の実施の有無（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「行っている」との回答は製造業で約8割と高くなっている。 ・「検討している」との回答は運輸業、郵便業で1割台半ばと高くなっている。 ・「行っていない」との回答は医療、福祉で5割と高くなっている。

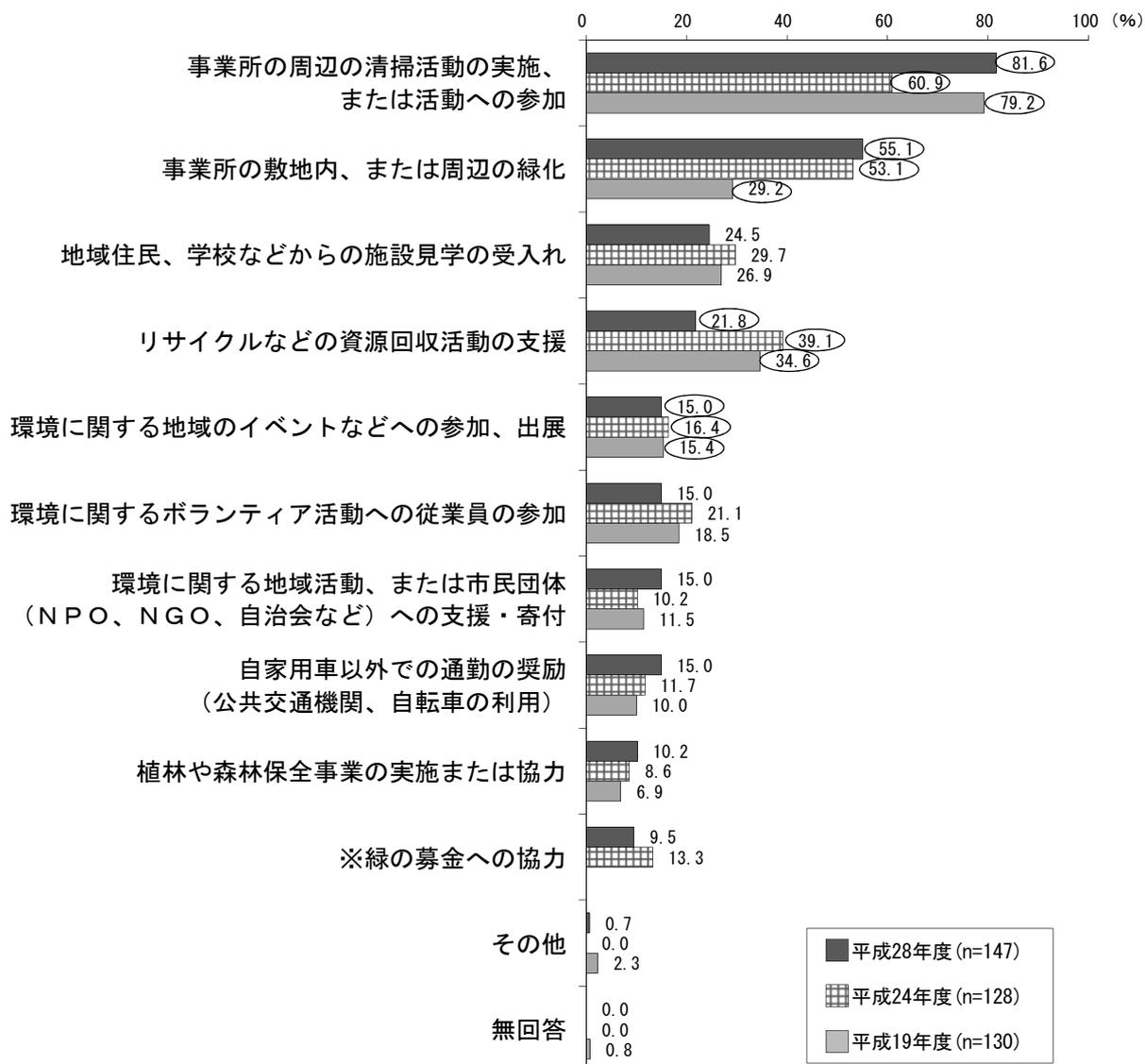
【図表 環境に関する社会貢献活動の実施の有無（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「行っている」との回答は100~199人、300人以上で8割台と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「検討している」との回答は29人以下で2割超と高くなっている。

(17) 実施している社会貢献活動

問17 問16において「1. 行っている」とお答えの事業所の方にお聞きします。
 貴事業所はどのような社会貢献活動を実施していますか？
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。

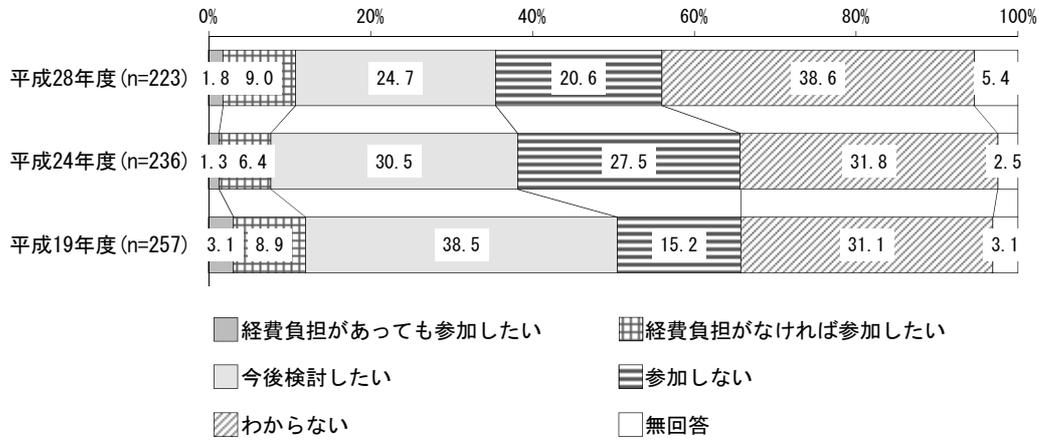


※「緑の募金への協力」はH19にはない選択肢

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加」との回答が81.6%と最も高く、次いで「事業所の敷地内、または周辺の緑化」(55.1%)、「地域住民、学校などからの施設見学の受入れ」(24.5%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加」との回答は平成28年度(81.6%)が平成19年度(79.2%)から2.4ポイント、平成24年度(60.9%)から20.7ポイント増加している。 ・「事業所の敷地内、または周辺の緑化」との回答は平成28年度(55.1%)が平成19年度(29.2%)から25.9ポイント、平成24年度(53.1%)から2.0ポイント増加している。 ・「リサイクルなどの資源回収活動の支援」との回答は平成28年度(21.8%)が平成19年度(34.6%)から12.8ポイント、平成24年度(39.1%)から17.3ポイント減少している。 ・「環境に関する地域のイベントなどへの参加、出展」との回答は経年比較しても大きな差はみられない。

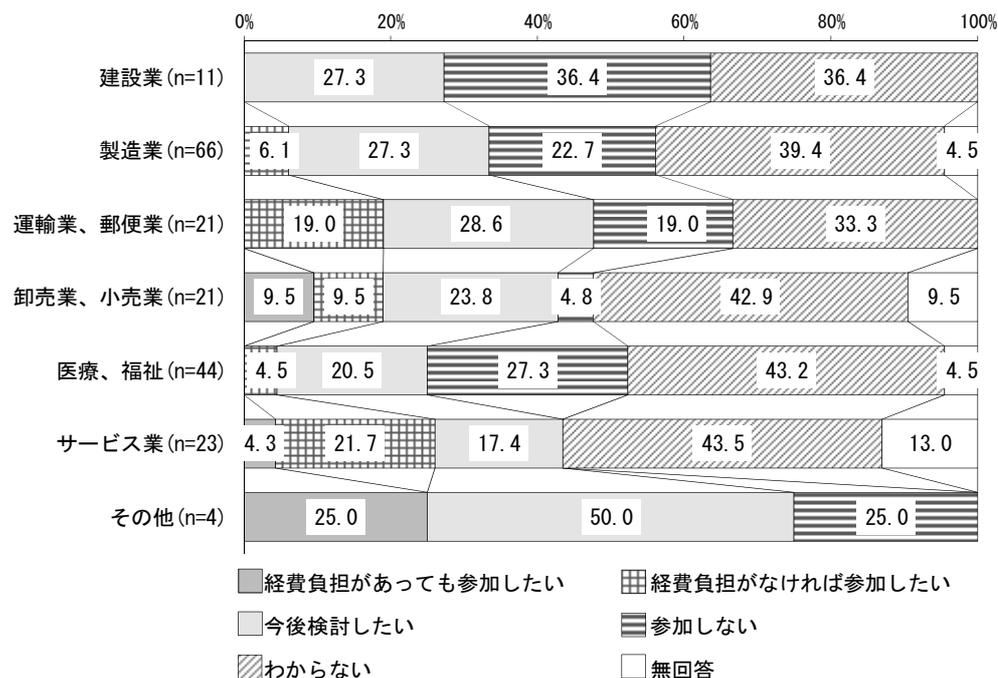
(18) 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場への参加意向

問 18 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場があれば参加したいですか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。



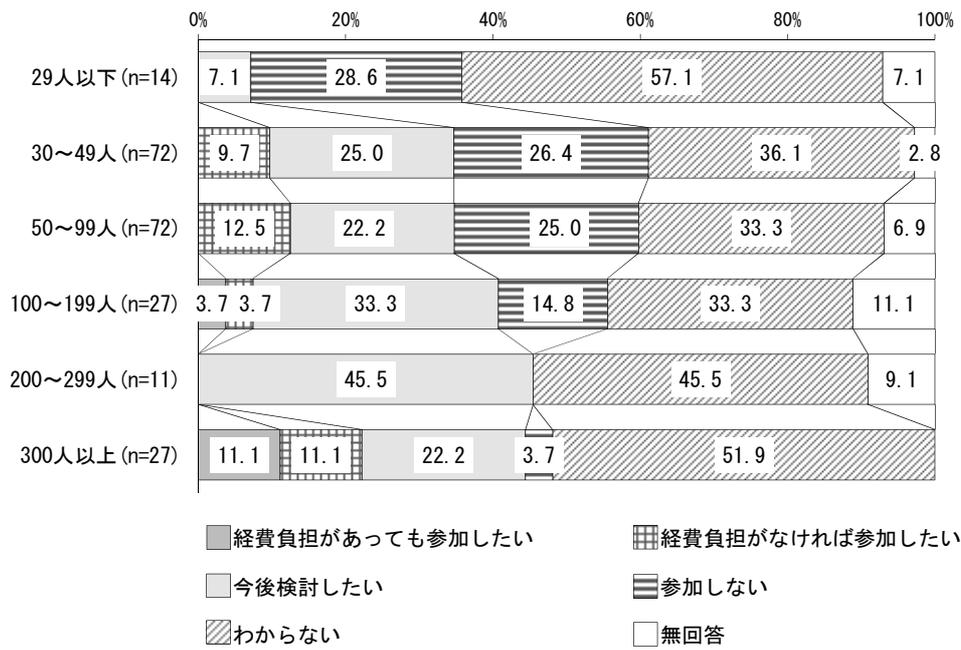
結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「わからない」との回答が38.6%と最も高く、次いで「今後検討したい」(24.7%)、「参加しない」(20.6%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「今後検討したい」との回答は平成28年度(24.7%)が平成19年度(38.5%)から13.8ポイント、平成24年度(30.5%)から5.8ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「参加しない」との回答は平成28年度(20.6%)が平成19年度(15.2%)から5.4ポイント増加し、平成24年度(27.5%)から6.9ポイント減少している。

【図表 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場への参加意向（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「経費負担があっても参加したい」との回答は卸売業、小売業で約1割と高くなっている。 ・「経費負担がなければ参加したい」との回答はサービス業で2割超と高くなっている。 ・「参加しない」との回答は医療、福祉で約3割と高くなっており、卸売業、小売業、サービス業で1割未満と低くなっている。

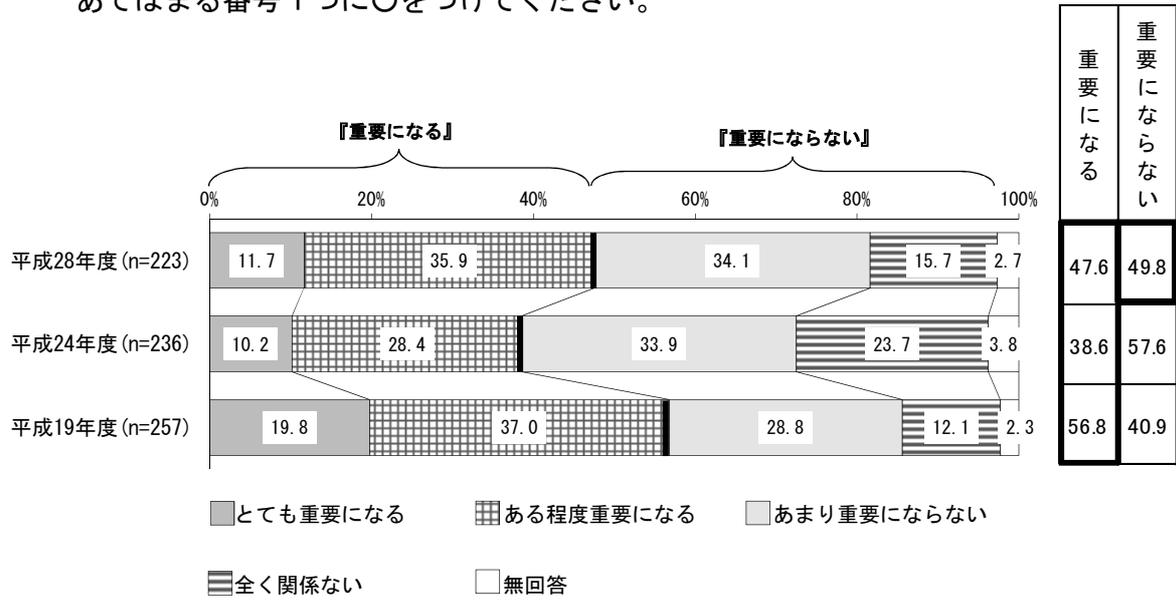
【図表 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場への参加意向（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数	<ul style="list-style-type: none"> ・「経費負担があっても参加したい」との回答は300人以上で1割超と高くなっている。 ・「今後検討したい」との回答は29人以下で1割未満と低くなっている。 ・「参加しない」との回答は29人以下で約3割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

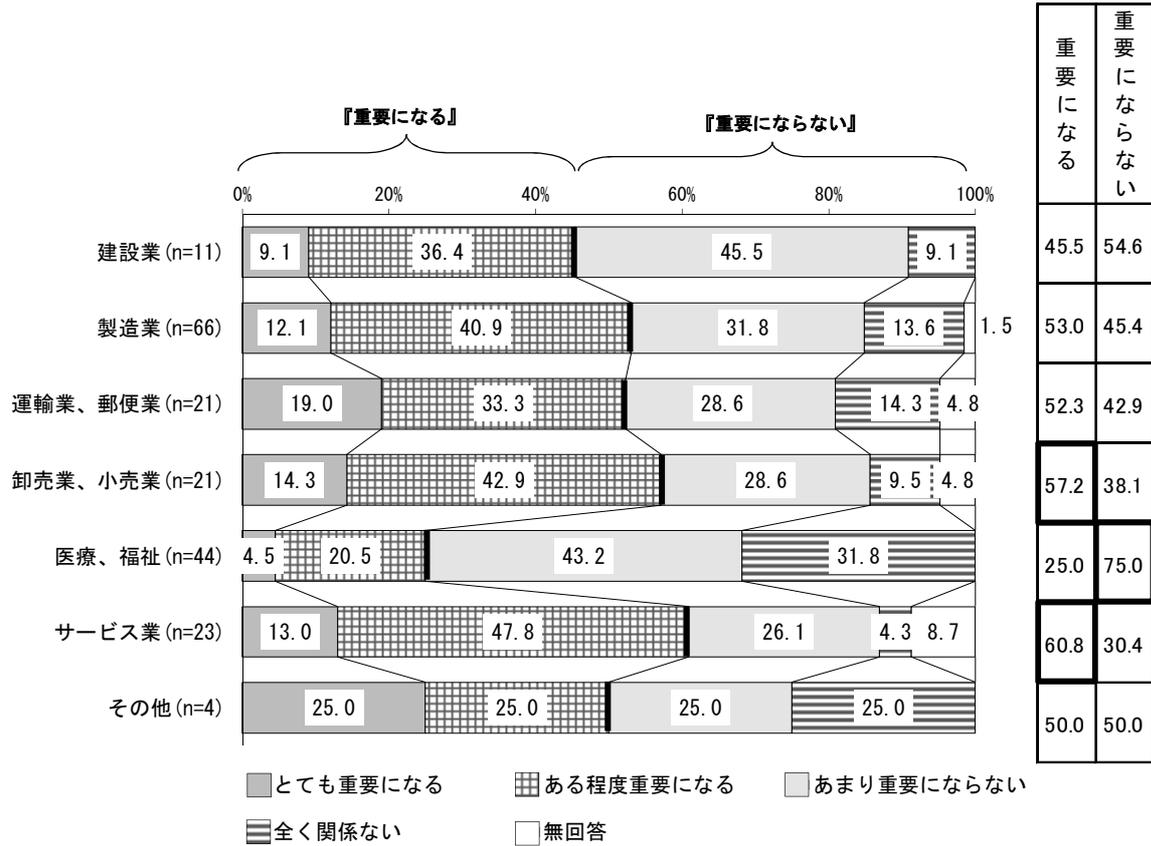
(19) 環境ビジネスの重要性

問 19 環境ビジネスは、貴事業所の今後の経営にとって重要なものになるとお考えですか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。



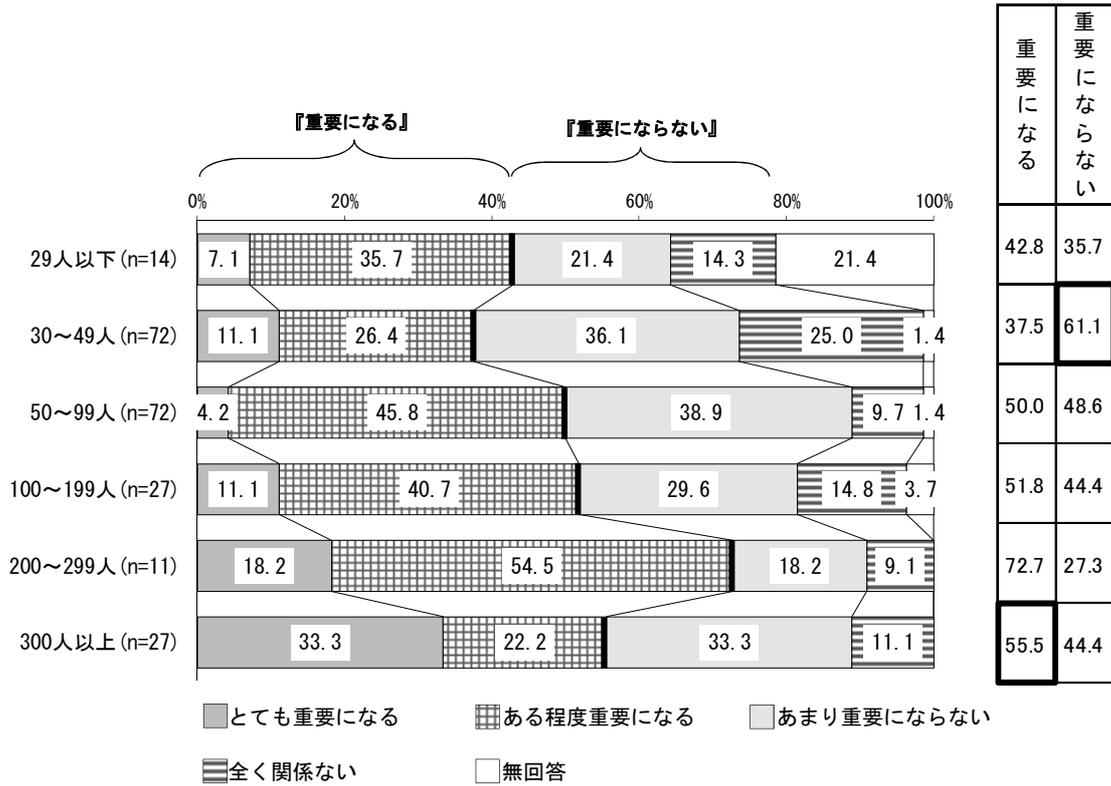
結果の要点	
全体	・『重要になる』（「とても重要になる」と「ある程度重要になる」を合わせた割合）との回答が47.6%、『重要にならない』（「全く関係ない」と「あまり重要にならない」を合わせた割合）との回答が49.8%となっている。
経年比較	・『重要になる』との回答は平成28年度（47.6%）が平成19年度（56.8%）から9.2ポイント減少し、平成24年度（38.6%）から9.0ポイント増加している。

【図表 環境ビジネスの重要性（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『重要になる』との回答は卸売業、小売業、サービス業で約6割と高くなっている。 ・『重要にならない』との回答は医療、福祉で7割台半ばと高くなっている。

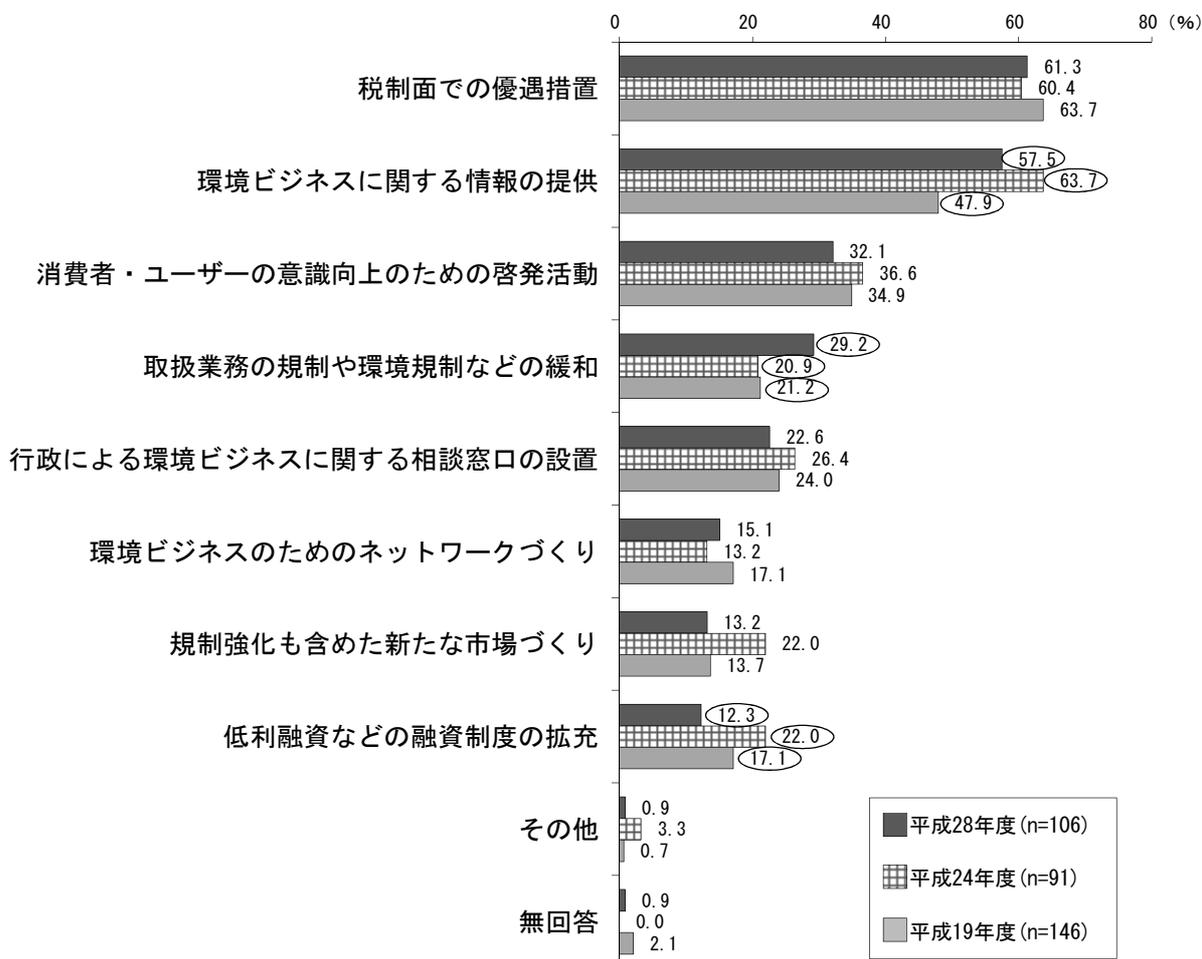
【図表 環境ビジネスの重要性（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『重要になる』との回答は300人以上で5割台半ばと高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・『重要にならない』との回答は30~49人で6割超と高くなっている。

(20) 環境ビジネスの進展のために行政に望むこと

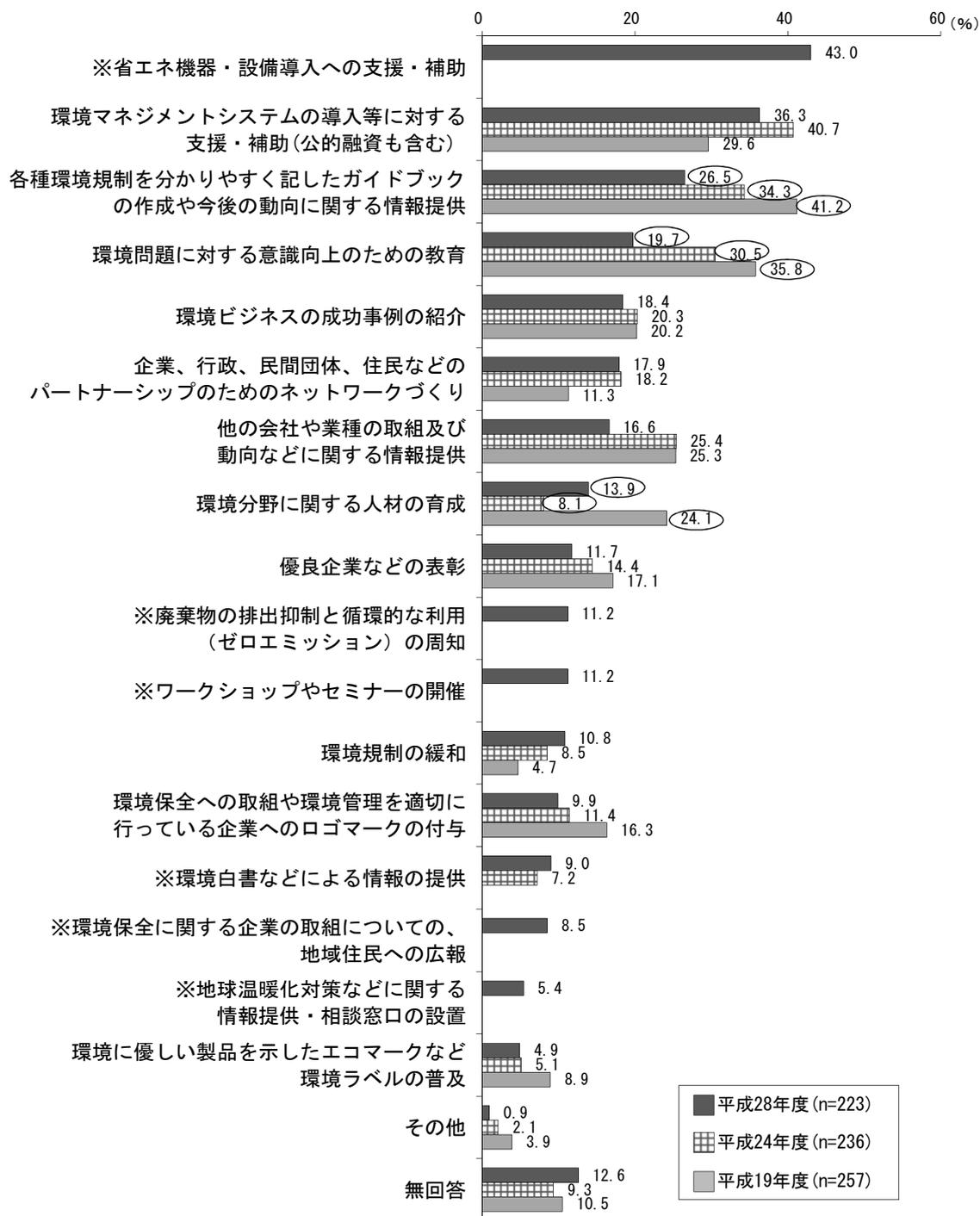
問 20 問 19 で「1. とても重要になる」または「2. ある程度重要になる」とお答えの事業所の方にお聞きします。
 今後、貴事業所での環境ビジネスの進展のために行政にどのようなことを望みますか？
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。



結果の要点	
全体	<ul style="list-style-type: none"> 「税制面での優遇措置」との回答が61.3%と最も高く、次いで「環境ビジネスに関する情報の提供」(57.5%)、「消費者・ユーザーの意識向上のための啓発活動」(32.1%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> 「環境ビジネスに関する情報の提供」との回答は平成28年度(57.5%)が平成19年度(47.9%)から9.6ポイント増加し、平成24年度(63.7%)から6.2ポイント減少している。 「取扱業務の規制や環境規制などの緩和」との回答は平成28年度(29.2%)が平成19年度(21.2%)から8.0ポイント、平成24年度(20.9%)から8.3ポイント増加している。 「低利融資などの融資制度の拡充」との回答は平成28年度(12.3%)が平成19年度(17.1%)から4.8ポイント、平成24年度(22.0%)から9.7ポイント減少している。

(21) 環境保全への取組を推進していくために行政に期待すること

問 21 貴事業所の自主的な環境保全への取組を推進していくために、行政にどのようなことを期待しますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。



※H19、H24にはない選択肢

「省エネ機器・設備導入への支援・補助」

「廃棄物の排出抑制と循環的な利用(ゼロエミッション)の周知」

「ワークショップやセミナーの開催」

「環境保全に関する企業の取組についての、地域住民への広報」

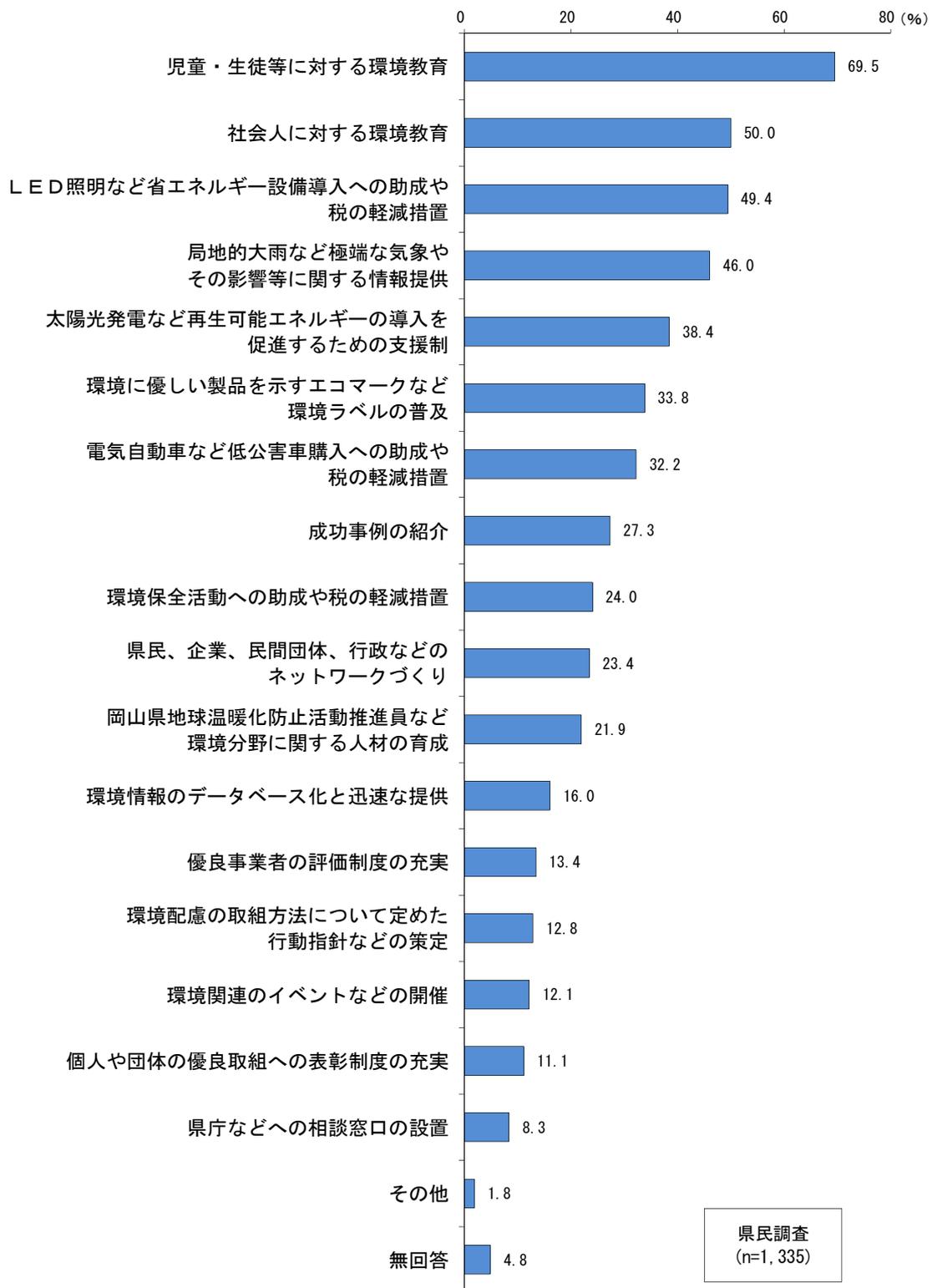
「地球温暖化対策などに関する情報提供・相談窓口の設置」

※H19にはない選択肢

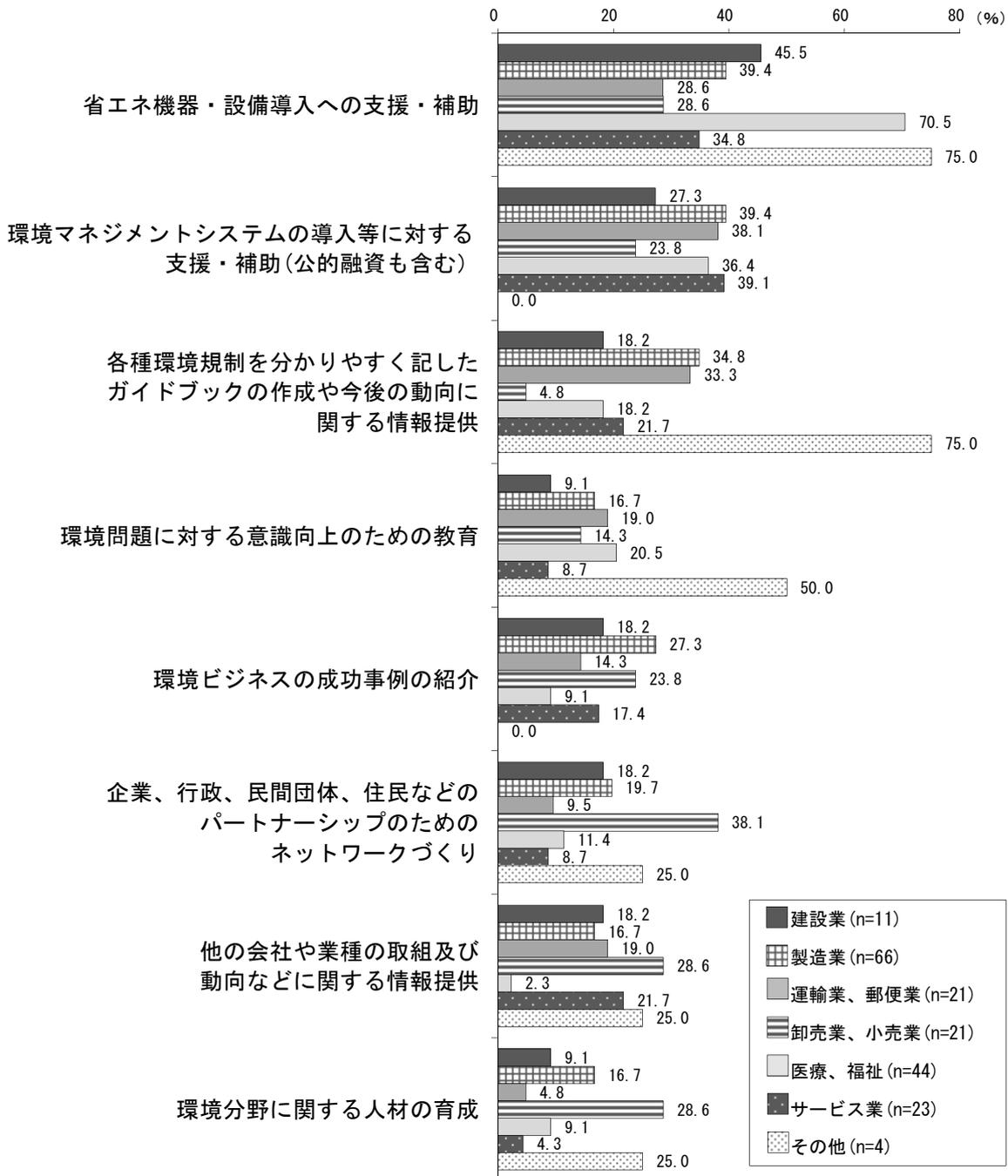
「環境白書などによる情報の提供」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・「省エネ機器・設備導入への支援・補助」との回答が43.0%と最も高く、次いで「環境マネジメントシステムの導入等に対する支援・補助(公的融資も含む)」(36.3%)、「各種環境規制を分かりやすく記したガイドブックの作成や今後の動向に関する情報提供」(26.5%)などの順となっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「各種環境規制を分かりやすく記したガイドブックの作成や今後の動向に関する情報提供」との回答は平成28年度(26.5%)が平成19年度(41.2%)から14.7ポイント、平成24年度(34.3%)から7.8ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「環境問題に対する意識向上のための教育」との回答は平成28年度(19.7%)が平成19年度(35.8%)から16.1ポイント、平成24年度(30.5%)から10.8ポイント減少しており、経年ごとに低くなっている。 ・「環境分野に関する人材の育成」との回答は平成28年度(13.9%)が平成19年度(24.1%)から10.2ポイント減少し、平成24年度(8.1%)から5.8ポイント増加している。

【参考：図表 環境保全への取組を推進していくために行政に期待すること（県民調査）】

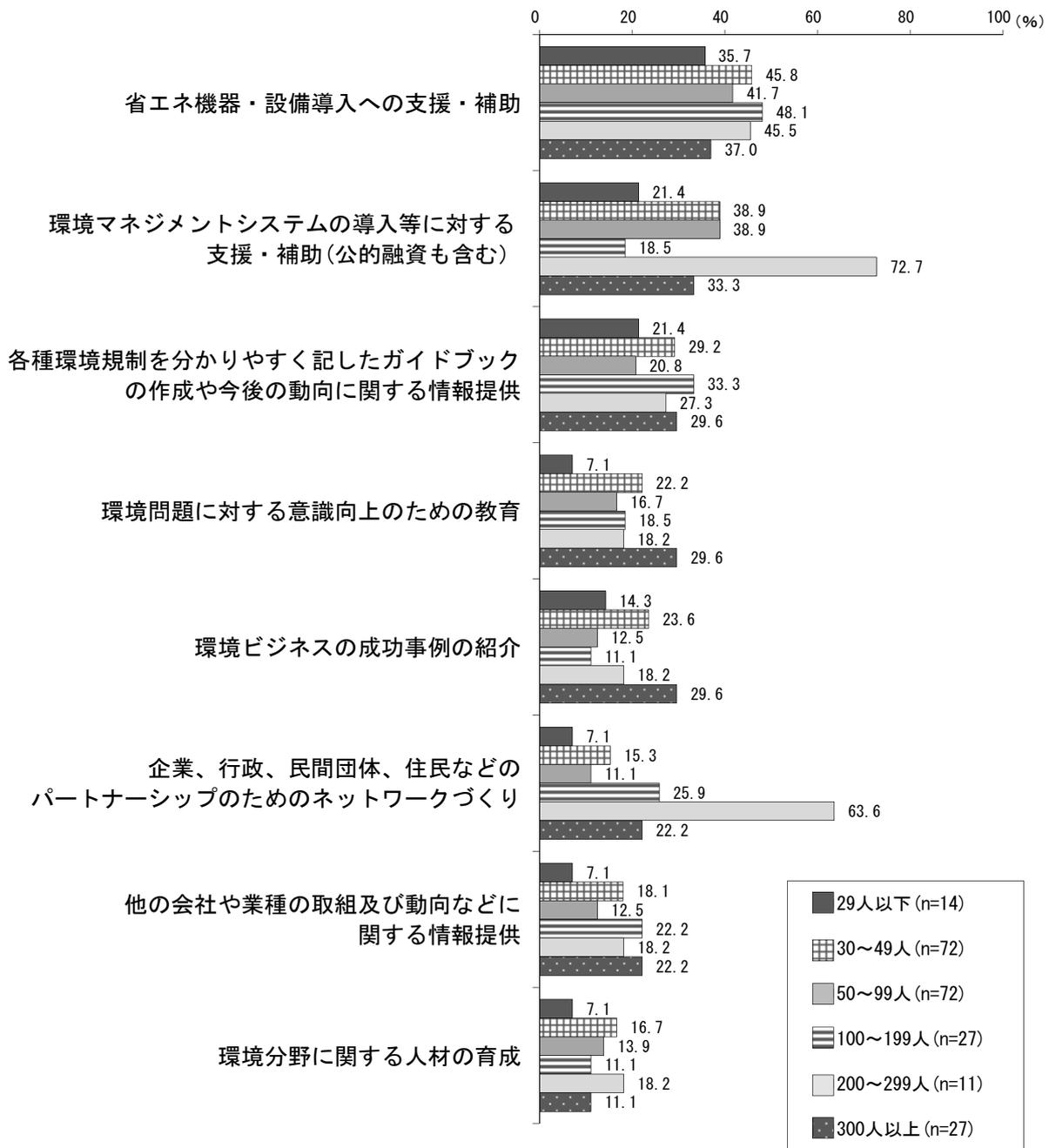


【図表 環境保全への取組を推進していくために行政に期待すること（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「省エネ機器・設備導入への支援・補助」との回答は運輸業、郵便業で約7割と高くなっている。 ・「企業、行政、民間団体、住民などのパートナーシップのためのネットワークづくり」との回答は卸売業、小売業で約4割と高くなっている。

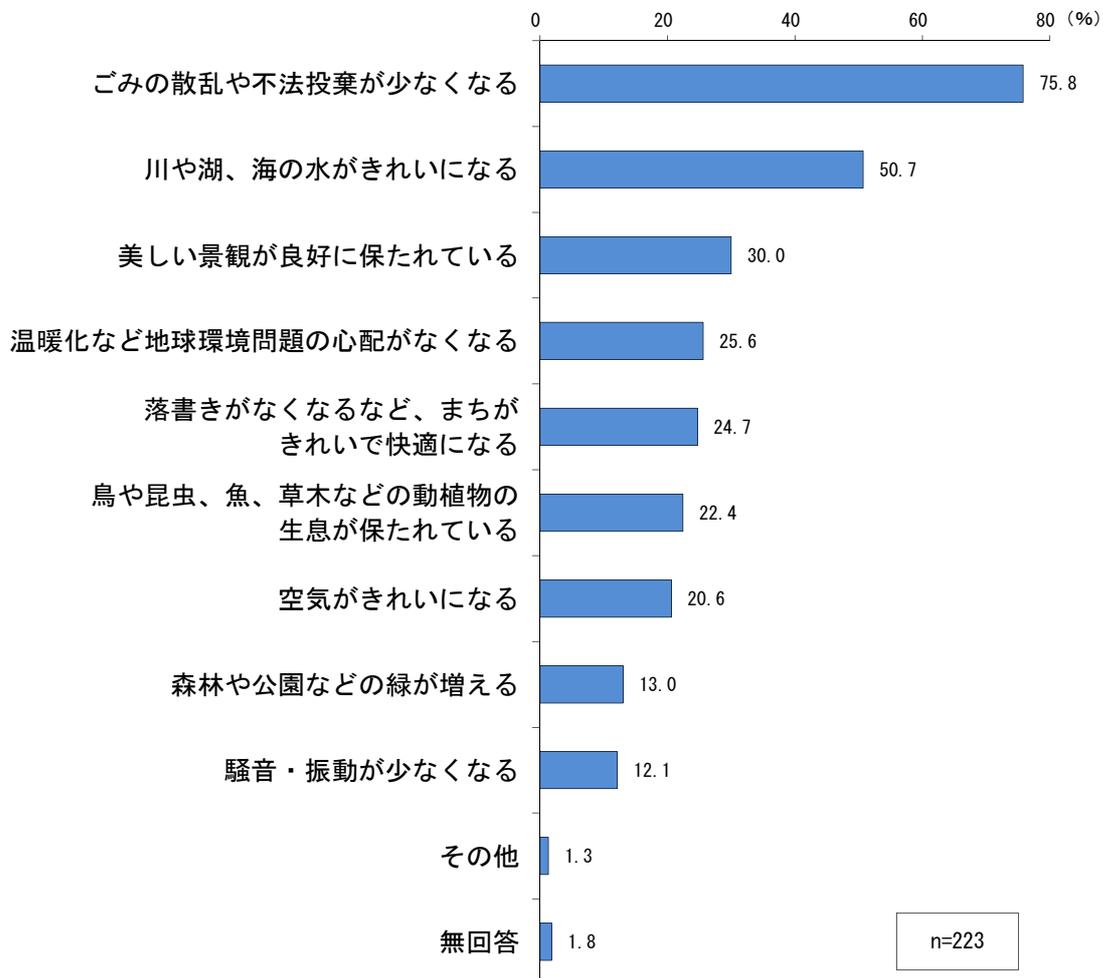
【図表 環境保全への取組を推進していくために行政に期待すること（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	・「環境マネジメントシステムの導入等に対する支援・補助（公的融資も含む）」との回答は30~49人、50~99人で約4割と高くなっている。

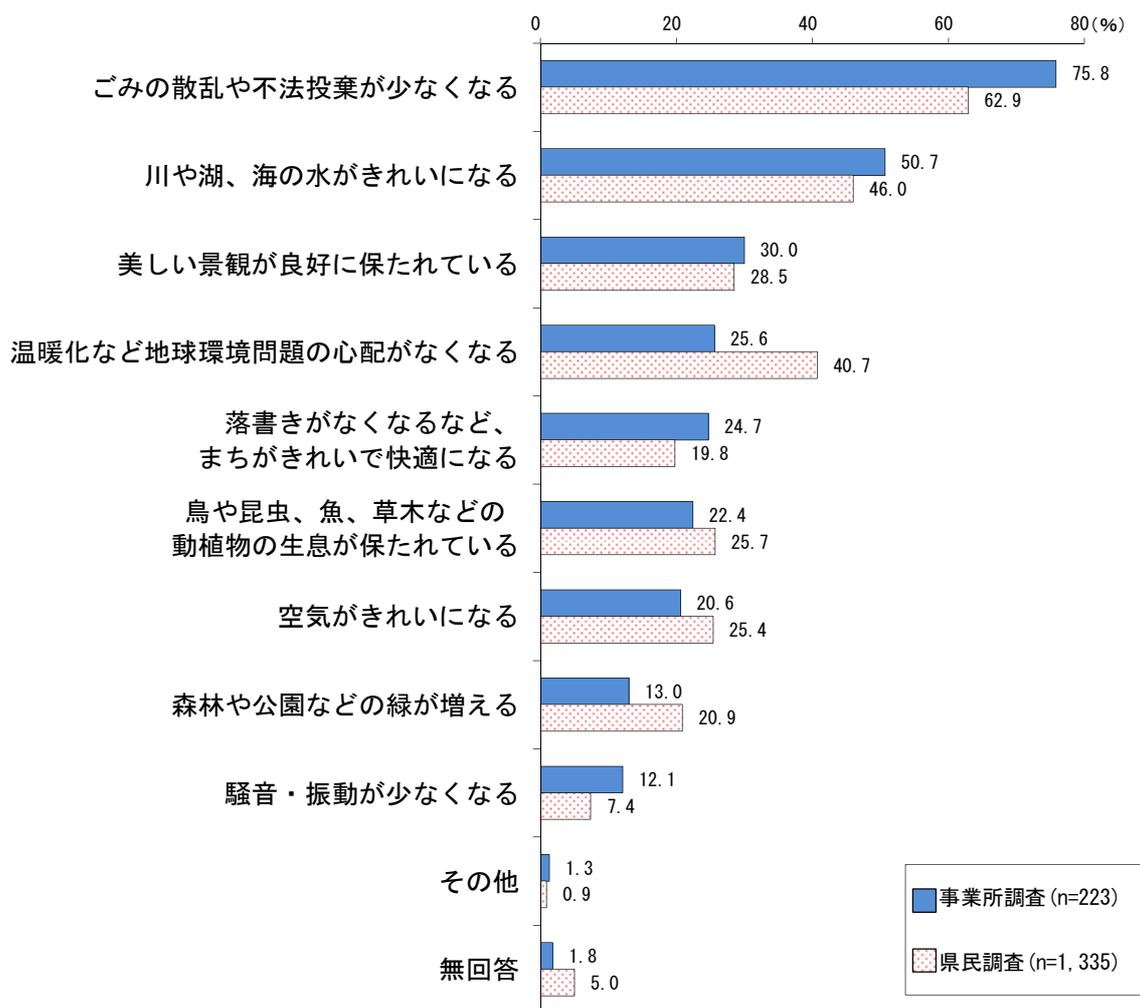
(22) 2020年頃の環境はどのようにあるべきか

問 22 岡山県では環境基本計画を策定し、2020年度を目途に各種施策に取り組んでいます。2020年頃の県の環境はどのようにあるべきだとお考えですか？重要と思われる番号に○をつけてください。(○は3つまで)



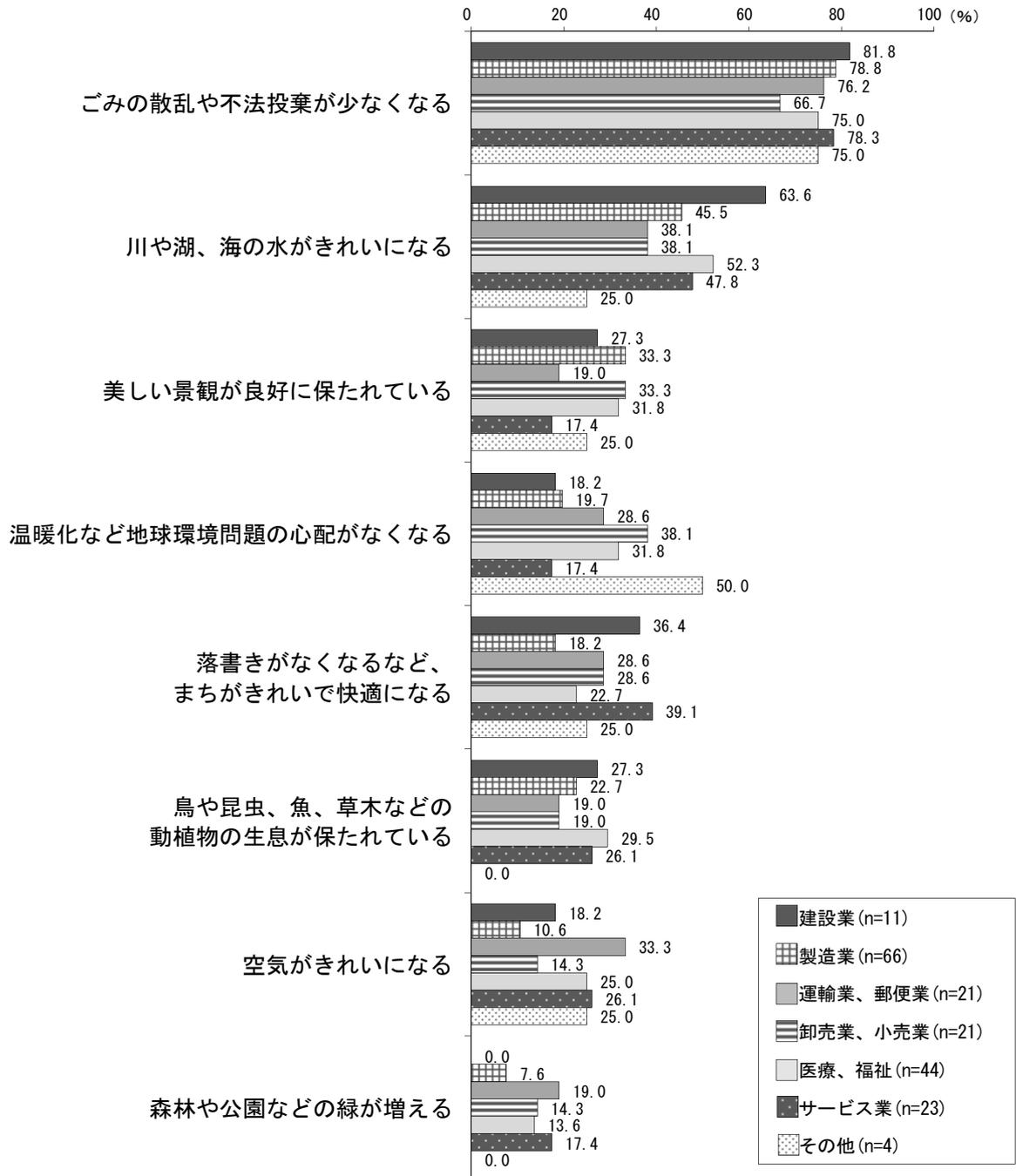
結果の要点	
全体	・「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」との回答が75.8%と最も高く、次いで「川や湖、海の水がきれいになる」(50.7%)、「美しい景観が良好に保たれている」(30.0%)などの順となっている。

【図表 2020年頃の環境はどのようにあるべきか（県民調査との比較）】



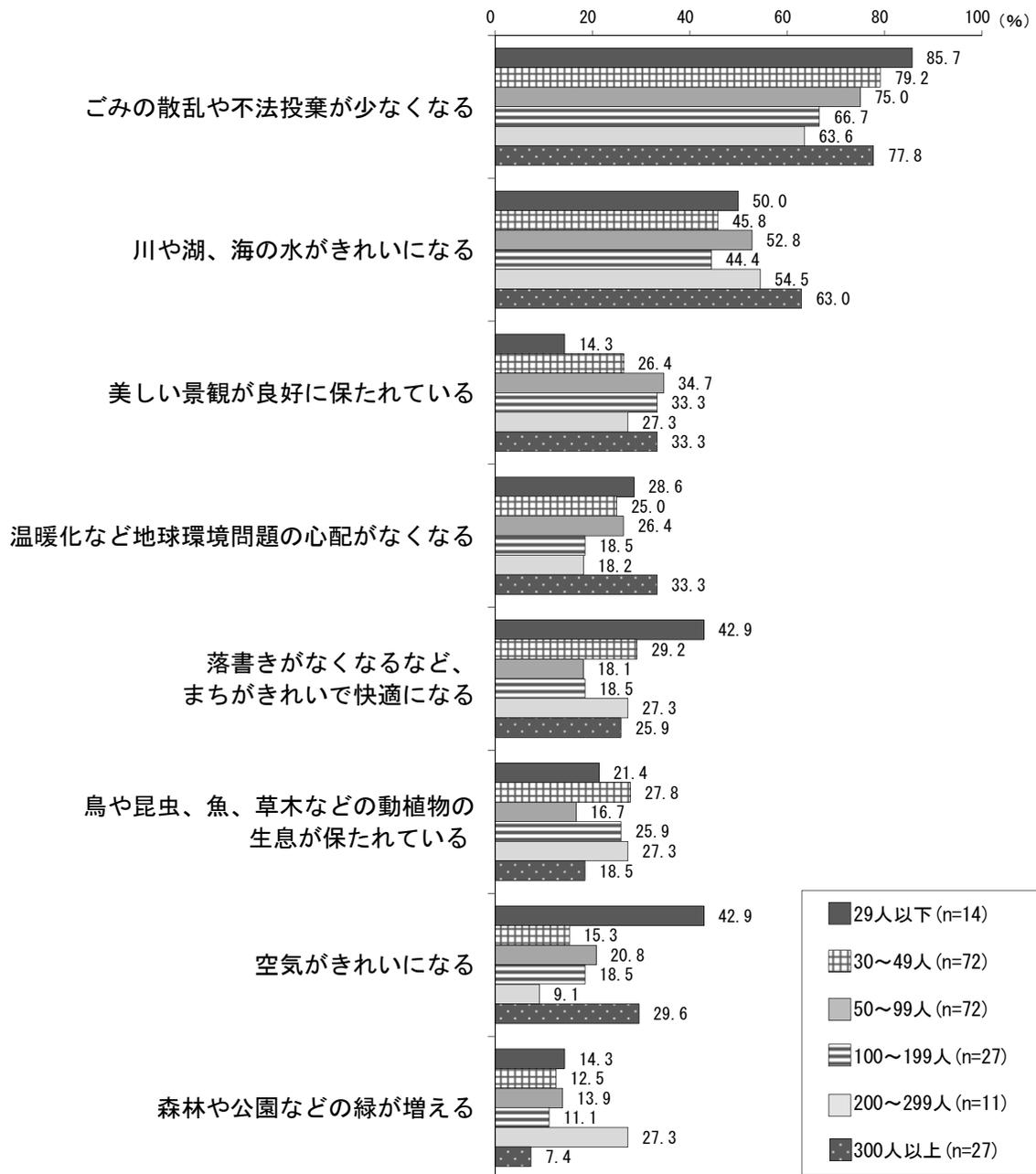
結果の要点	
県民調査との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの散乱や不法投棄が少なくなる」との回答は事業所調査（75.8%）が県民調査（62.9%）を12.9ポイント上回っている。 ・「温暖化など地球環境問題の心配がなくなる」との回答は県民調査（40.7%）が事業所調査（25.6%）を15.1ポイント、 「森林や公園などの緑が増える」との回答は県民調査（20.9%）が事業所調査（13.0%）を7.9ポイント上回っている。 ・「美しい景観が良好に保たれている」との回答は調査によって大きな差はみられない。

【図表 2020年頃の環境はどのようにあるべきか（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「温暖化など地球環境問題の心配がなくなる」との回答は卸売業、小売業で約4割と高くなっている。 ・「落書きがなくなるなど、まちがきれいで快適になる」との回答はサービス業で約4割と高くなっている。 ・「空気がきれいになる」との回答は運輸業、郵便業で3割台半ばと高くなっている。

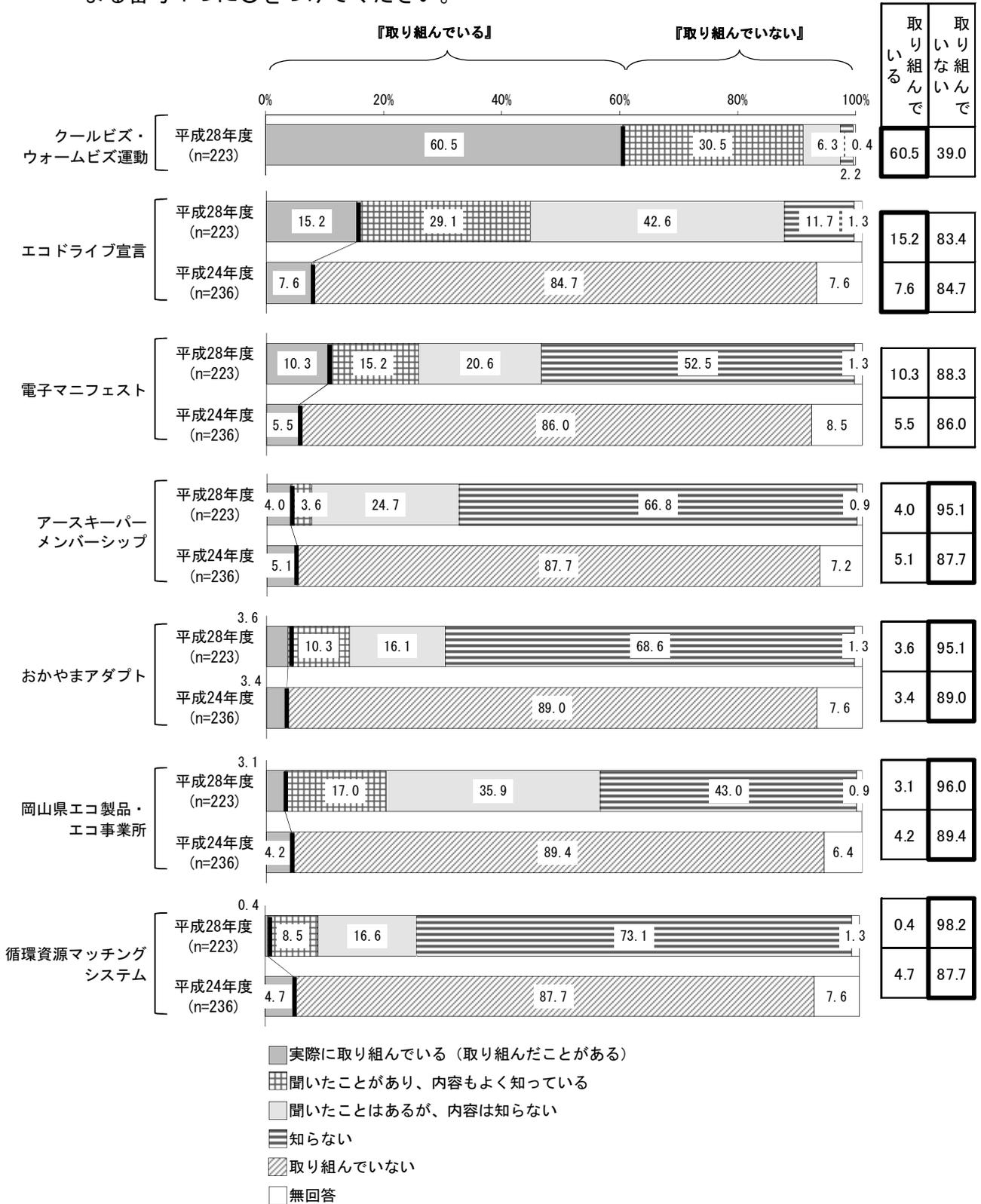
【図表 2020年頃の環境はどのようにあるべきか（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「川や湖、海の水がきれいになる」との回答は300人以上で6割台半ばと高くなっている。 ・「落書きがなくなるなど、まちがきれいで快適になる」、「空気がきれいになる」との回答は29人以下で4割超と高くなっている。

(23) 岡山県が進めている取組の認知度

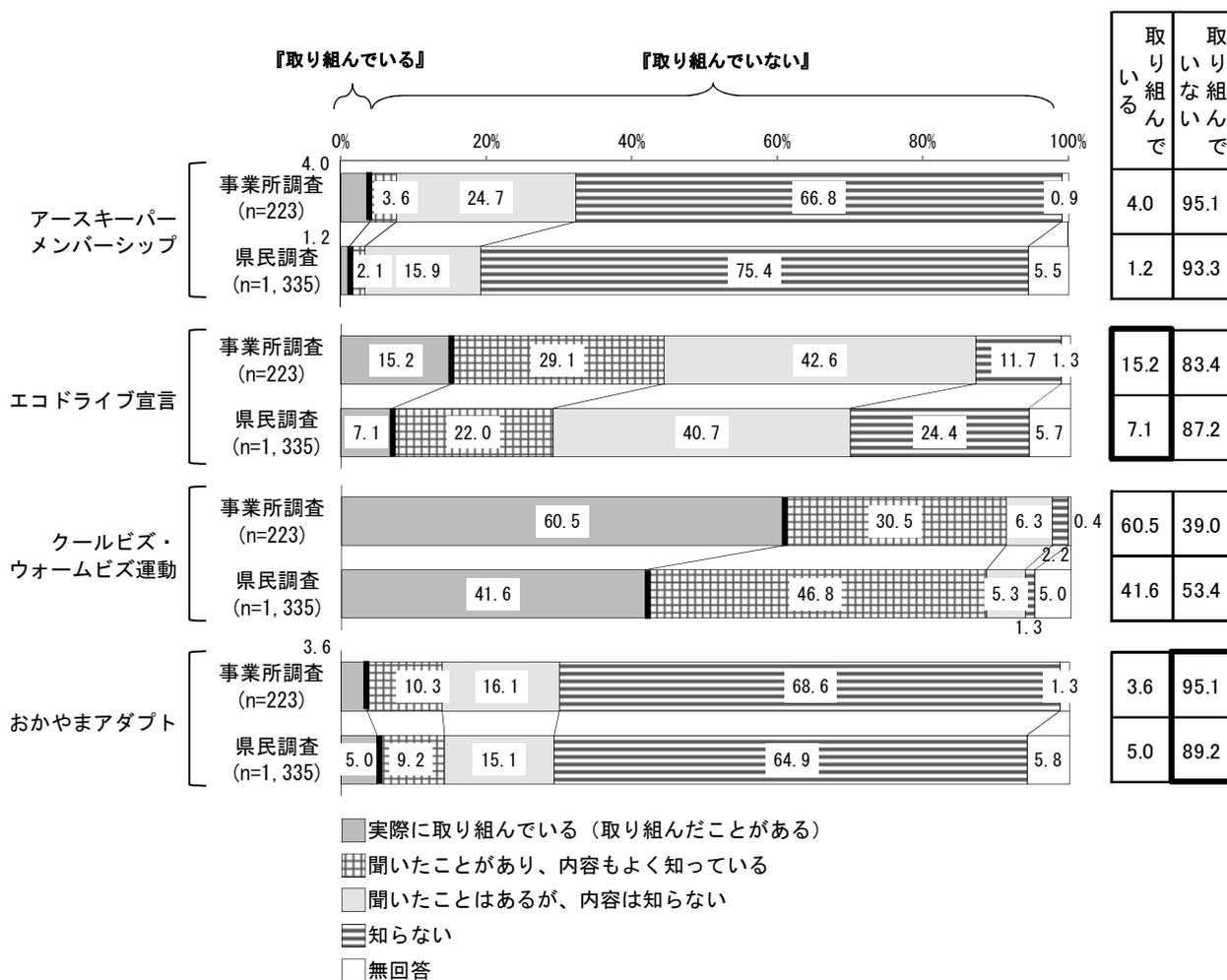
問 23 岡山県が進めている様々な取組のうち、次にあげる項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。



※H24にはない選択肢
「聞いたことがあり、内容もよく知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」、「知らない」
※H28にはない選択肢
「取り組んでいない」

	結果の要点
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』（「実際に取り組んでいる（取り組んだことがある）」）との回答は「クールビズ・ウォームビズ運動」で約6割と高くなっている。 ・「聞いたことがあり、内容もよく知っている」との回答は「エコドライブ宣言」、「クールビズ・ウォームビズ運動」で約3割と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は「エコドライブ宣言」で4割超と高くなっている。 ・「知らない」との回答は「おかやまアダプト」、「循環資源マッチングシステム」で7割前後と高く、「クールビズ・ウォームビズ運動」で1割未満、「エコドライブ宣言」で1割超と低くなっている。
経年比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は「エコドライブ宣言」で平成28年度（15.2%）が平成24年度（7.6%）から7.6ポイント増加している。 ・『取り組んでいない』との回答は「アースキーパーメンバーシップ」で平成28年度（95.1%）が平成24年度（87.7%）から7.4ポイント、「おかやまアダプト」で平成28年度（95.1%）が平成24年度（89.0%）から6.1ポイント、「岡山県エコ製品・エコ事業所」で平成28年度（96.0%）が平成24年度（89.4%）から6.6ポイント、「循環資源マッチングシステム」で平成28年度（98.2%）が平成24年度（87.7%）から10.5ポイント増加している。

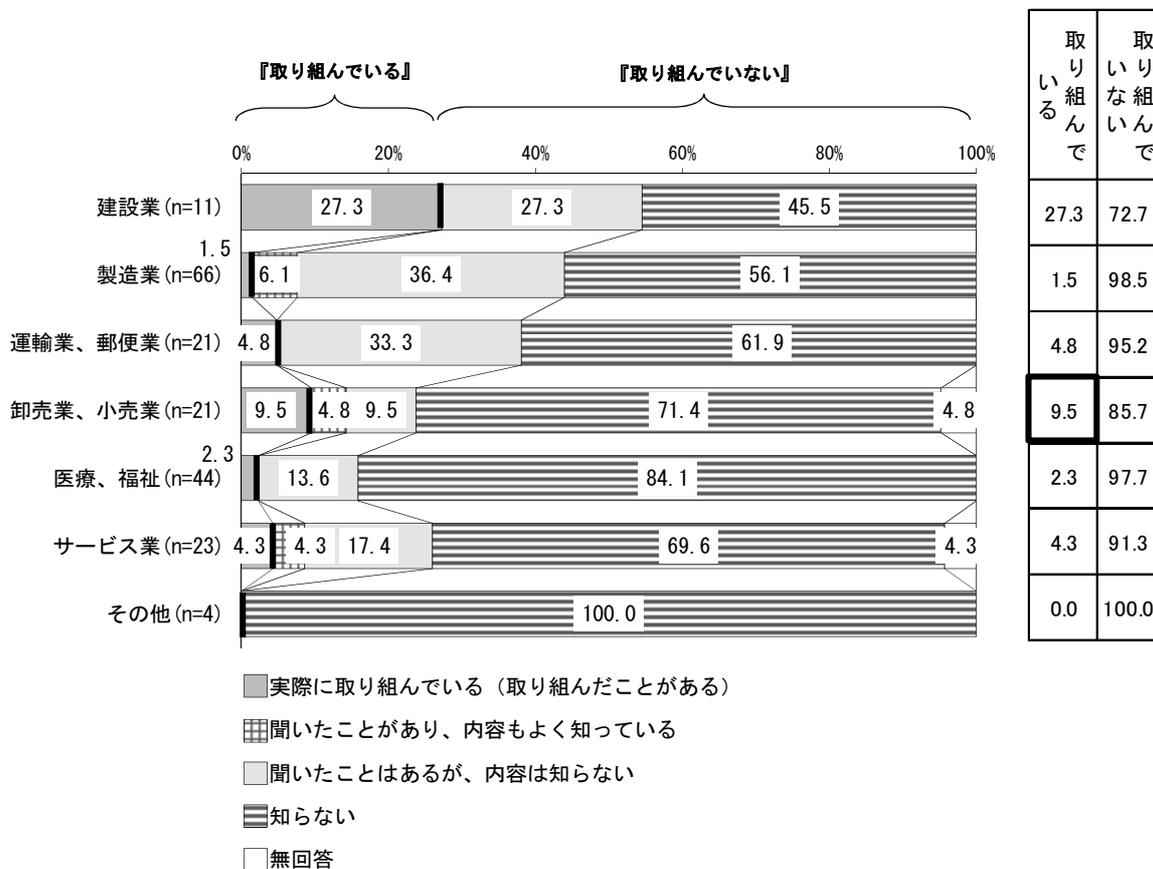
【図表 岡山県が進めている取組の認知度（県民調査との比較）】



結果の要点	
県民調査との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は「エコドライブ宣言」で事業所調査（15.2%）が県民調査（7.1%）を8.1ポイント、「クールビズ・ウォームビズ運動」で事業所調査（60.5%）が県民調査（41.6%）を18.9ポイント上回っている。 ・『取り組んでいない』との回答は「おかやまアダプト」で事業所調査（95.1%）が県民調査（89.2%）を5.9ポイント上回っている。 ・「アースキーパーメンバーシップ」は調査によって大きな差はみられない。

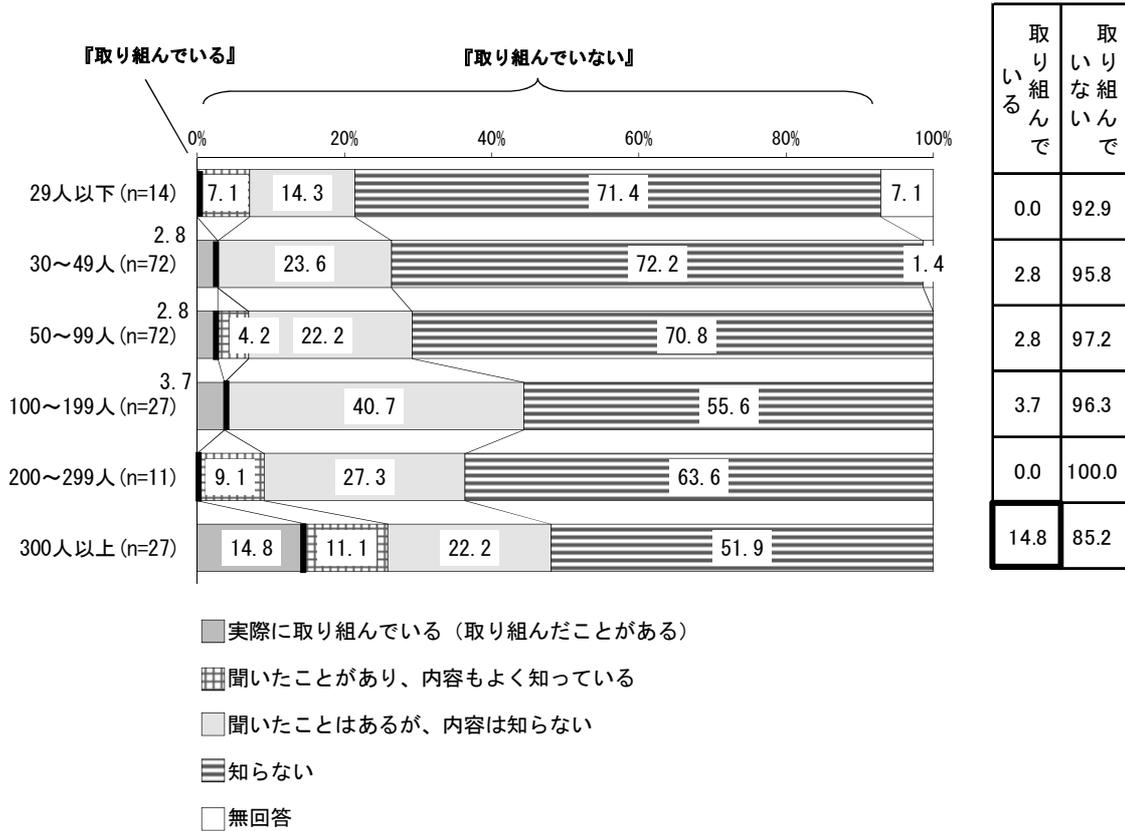
(1) アースキーパーメンバーシップ

【図表 アースキーパーメンバーシップの認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『実際に取り組んでいる』との回答は卸売業、小売業で約1割と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は製造業、運輸業、郵便業で3割台半ばと高くなっている。 ・「知らない」との回答は医療、福祉で8割台半ばと高くなっている。

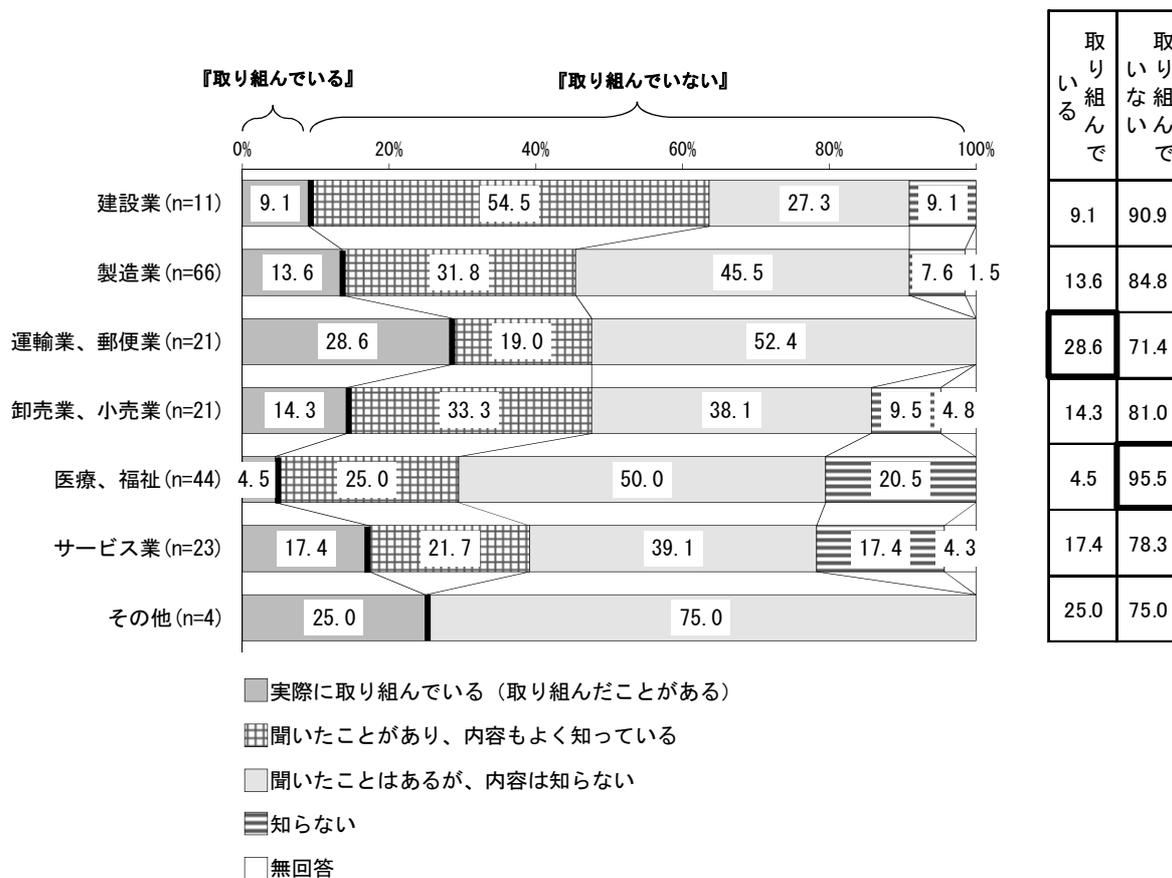
【図表 アースキーパーメンバーシップの認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『取り組んでいる』との回答は300人以上で1割台半ばと高くなっている。 ・ 「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は100~199人で約4割と高くなっている。 ・ 「知らない」との回答は99人以下の事業所で7割台と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

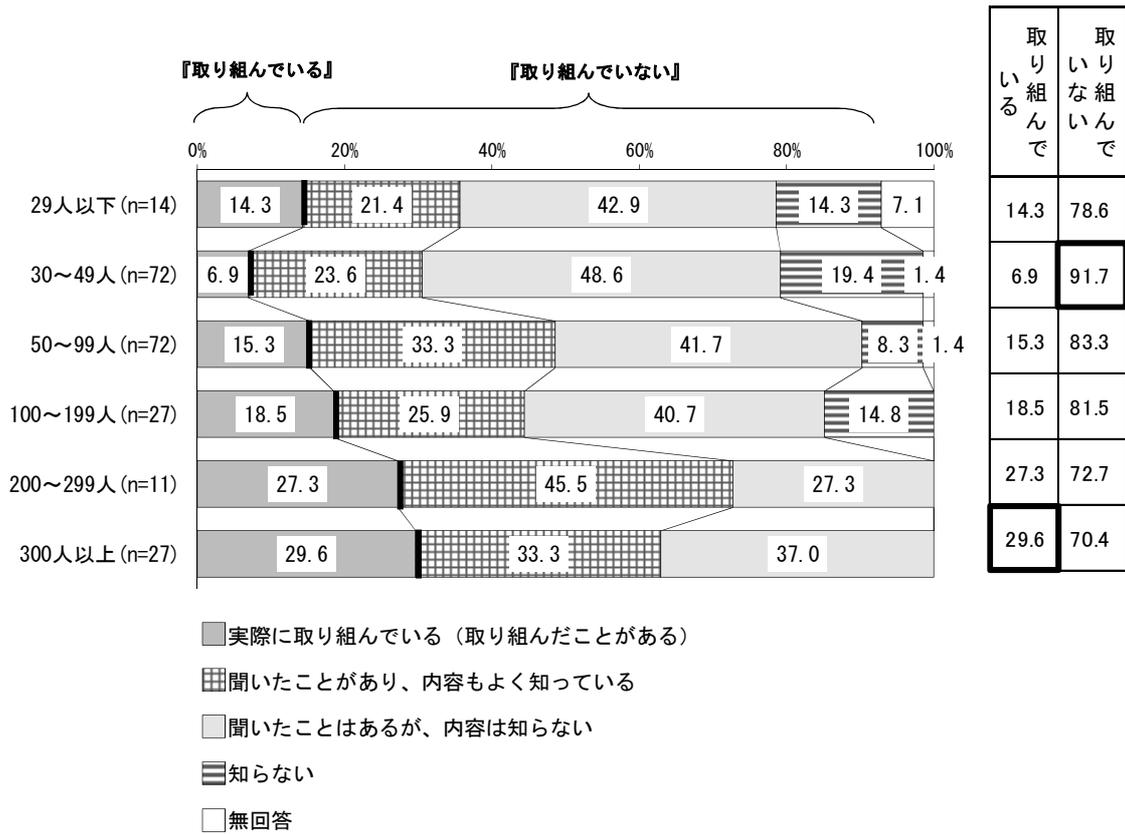
(2) エコドライブ宣言

【図表 エコドライブ宣言の認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は運輸業、郵便業で約3割と高くなっている。 ・「聞いたことがある、内容もよく知っている」との回答は製造業、卸売業、小売業で3割台と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は運輸業、郵便業、医療、福祉で5割台と高くなっている。 ・『取り組んでいない』との回答は医療、福祉で9割台半ばと高くなっている。

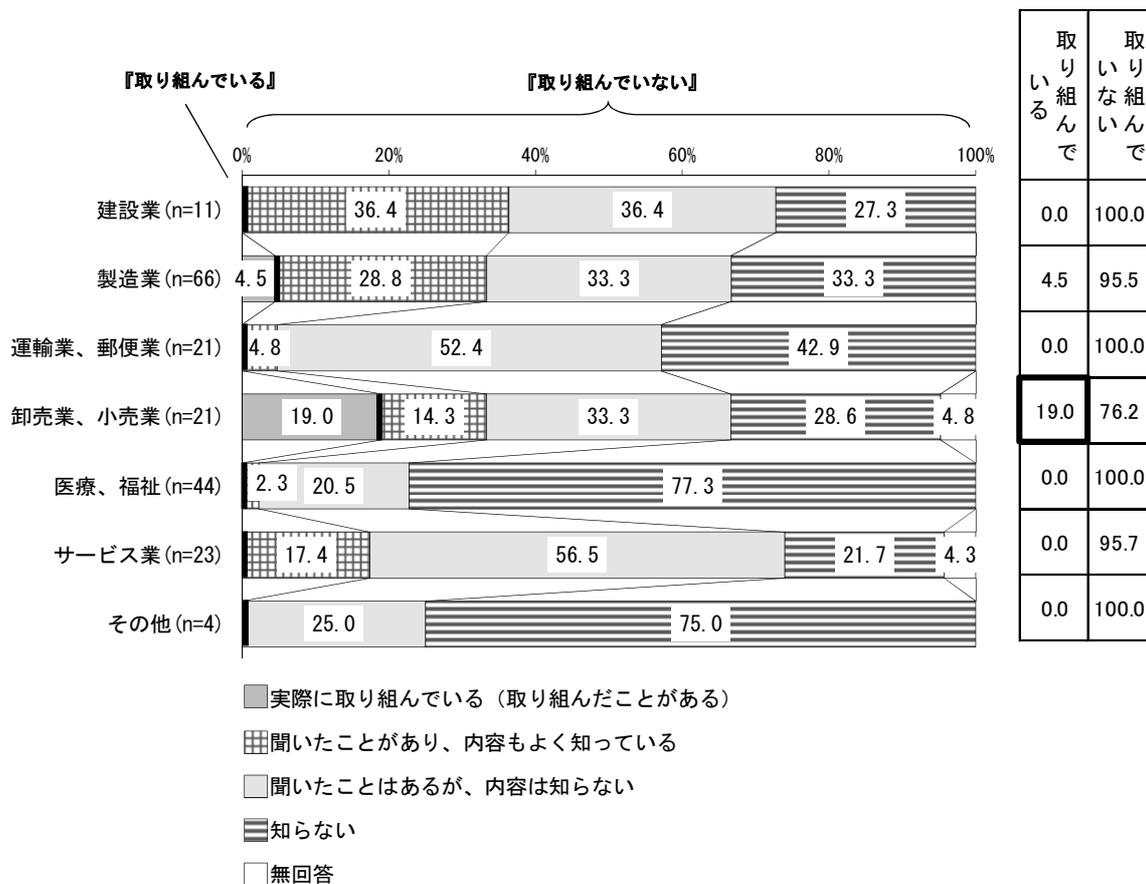
【図表 エコドライブ宣言の認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は300人以上で約3割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は30~49人で約5割と高くなっている。 ・『取り組んでいない』との回答は30~49人で9割超と高くなっている。

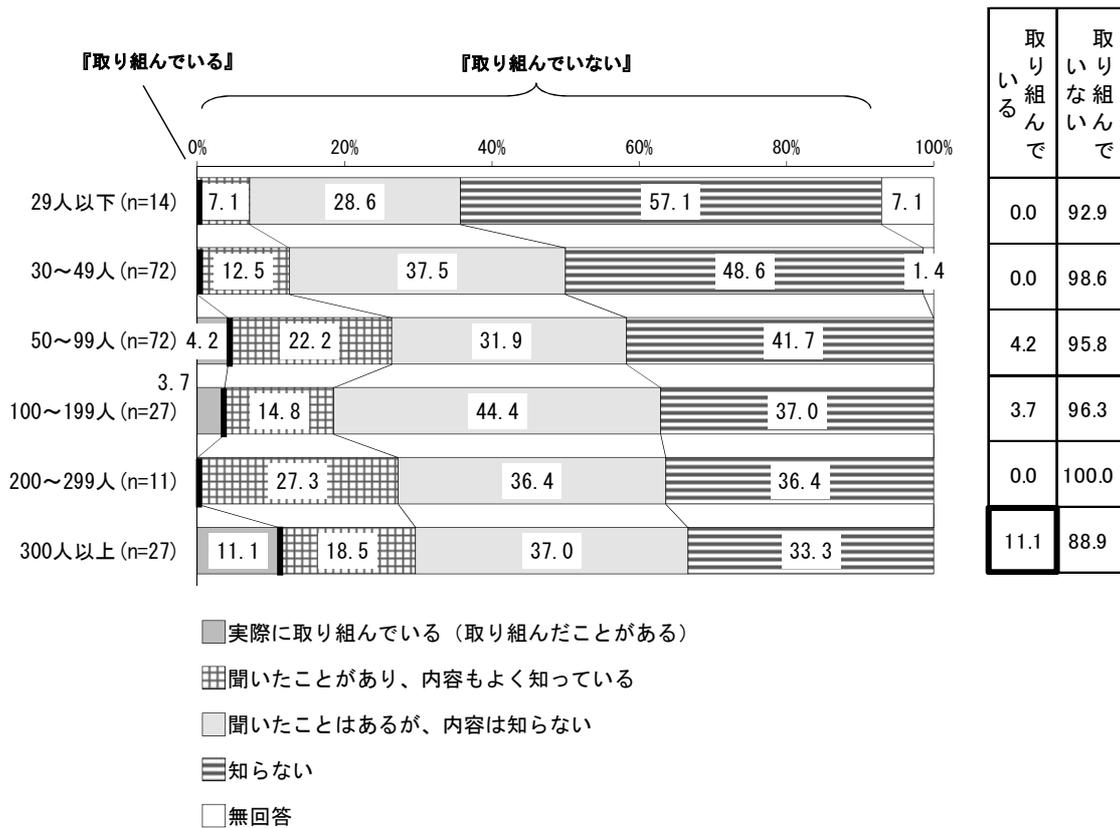
(3) 岡山県エコ製品・エコ事業所

【図表 岡山県エコ製品・エコ事業所の認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は卸売業、小売業で約2割と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は運輸業、郵便業で5割超と高くなっている。 ・「知らない」との回答は医療、福祉で約8割と高くなっている。

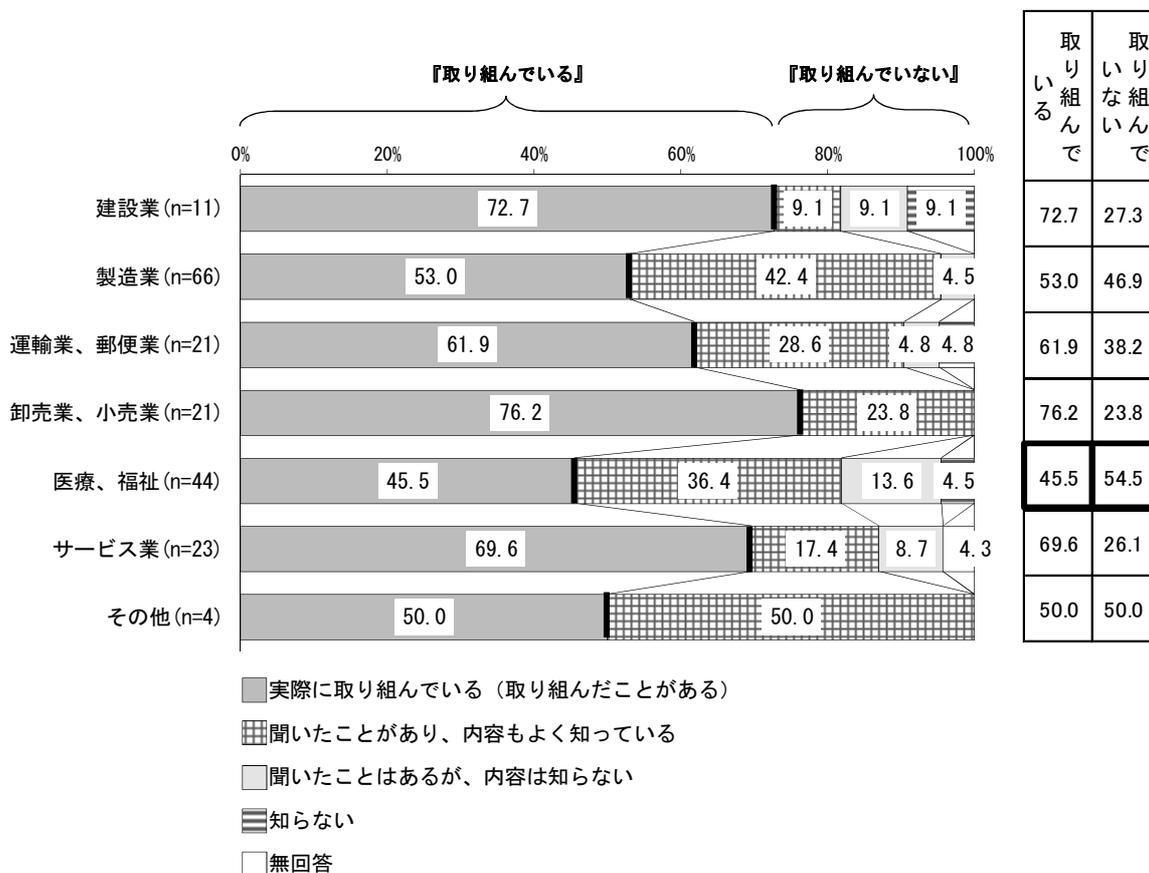
【図表 岡山県エコ製品・エコ事業所の認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』は300人以上で1割超と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は100~199人で4割台半ばと高くなっている。 ・「知らない」との回答は29人以下で約6割と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

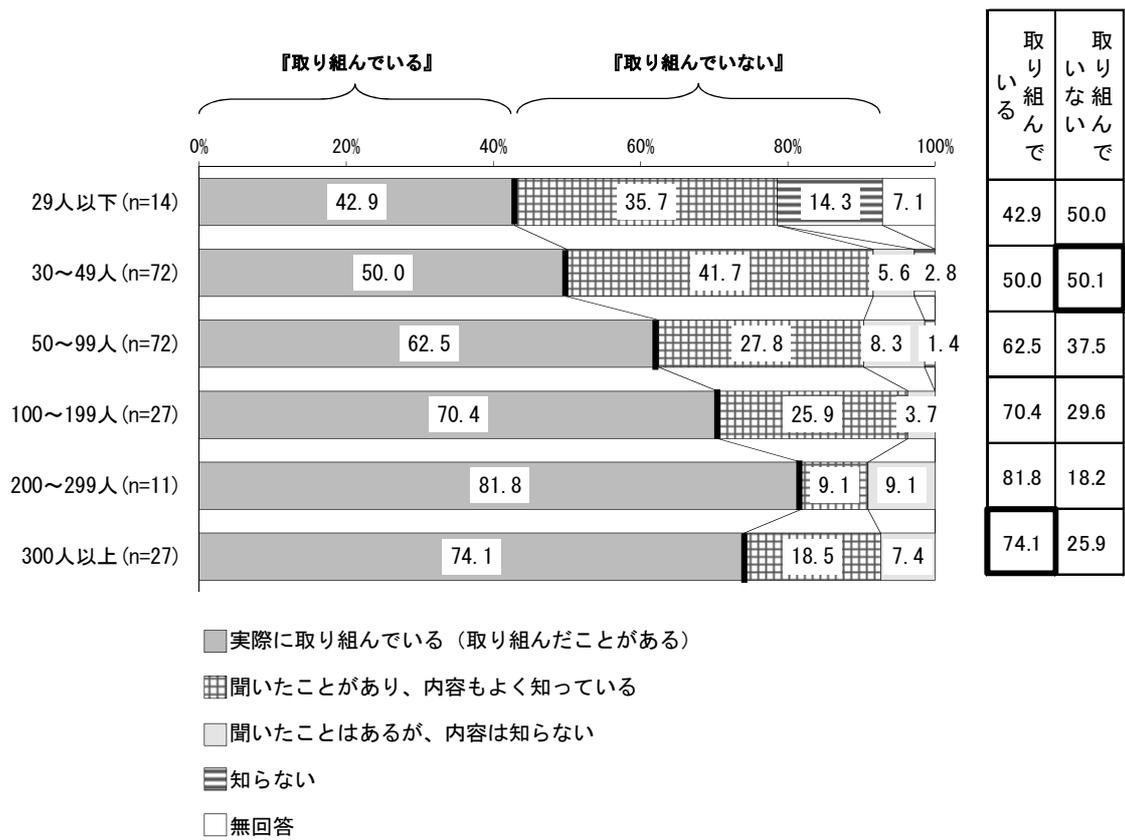
(4) クールビズ・ウォームビズ運動

【図表 クールビズ・ウォームビズ運動の認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は医療、福祉で4割台半ばと低くなっている。 ・「聞いたことがあり、内容もよく知っている」との回答は製造業で4割超と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は医療、福祉で1割台半ばと高くなっている。 ・『取り組んでいない』との回答は医療、福祉で5割台半ばと高くなっている。

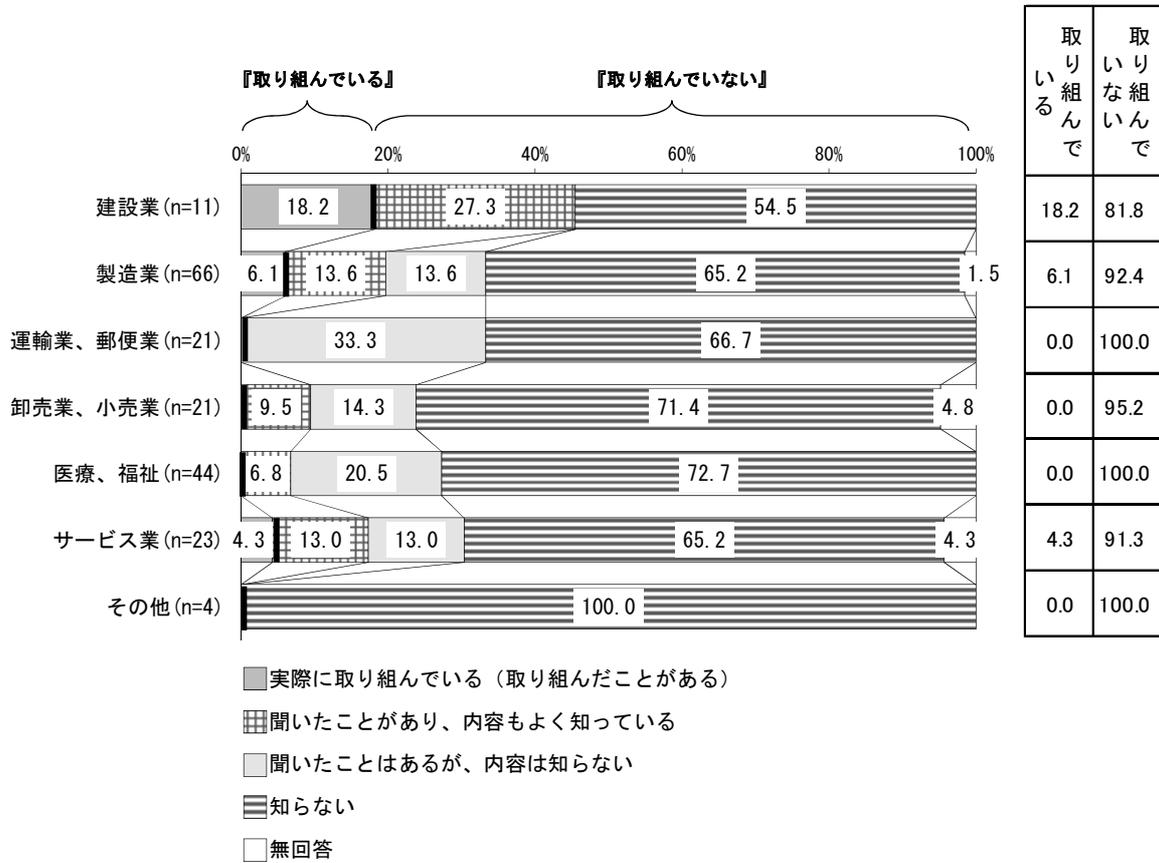
【図表 クールビズ・ウォームビズ運動の認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は300人以上で7割台半ばと高くなっており、従業員数が増えるにつれて高くなる傾向がみられる。 ・「聞いたことがあり、内容もよく知っている」との回答は30~49人で4割超と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・『取り組んだことはない』との回答は30~49人で約5割と高くなっている。

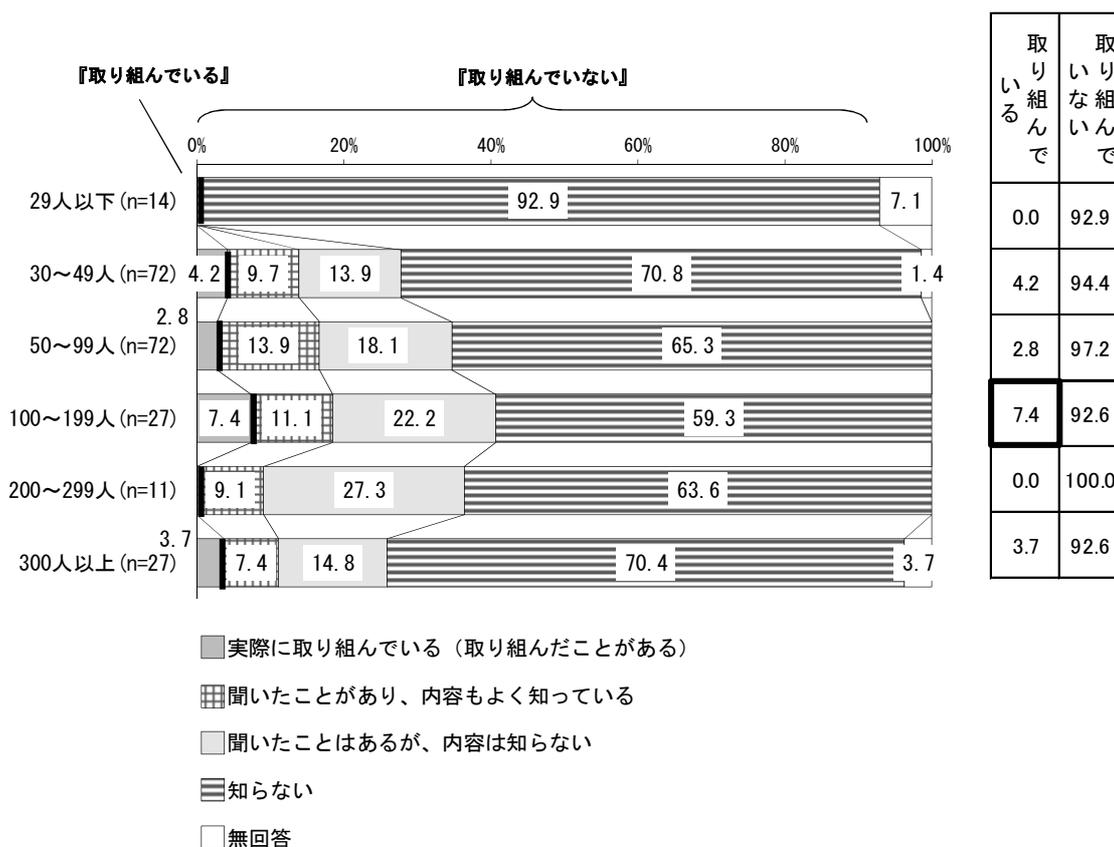
(5) おかやまアダプト

【図表 おかやまアダプトの認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は業種によって大きな差は見られない。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は運輸業、郵便業で3割台半ばと高くなっている。

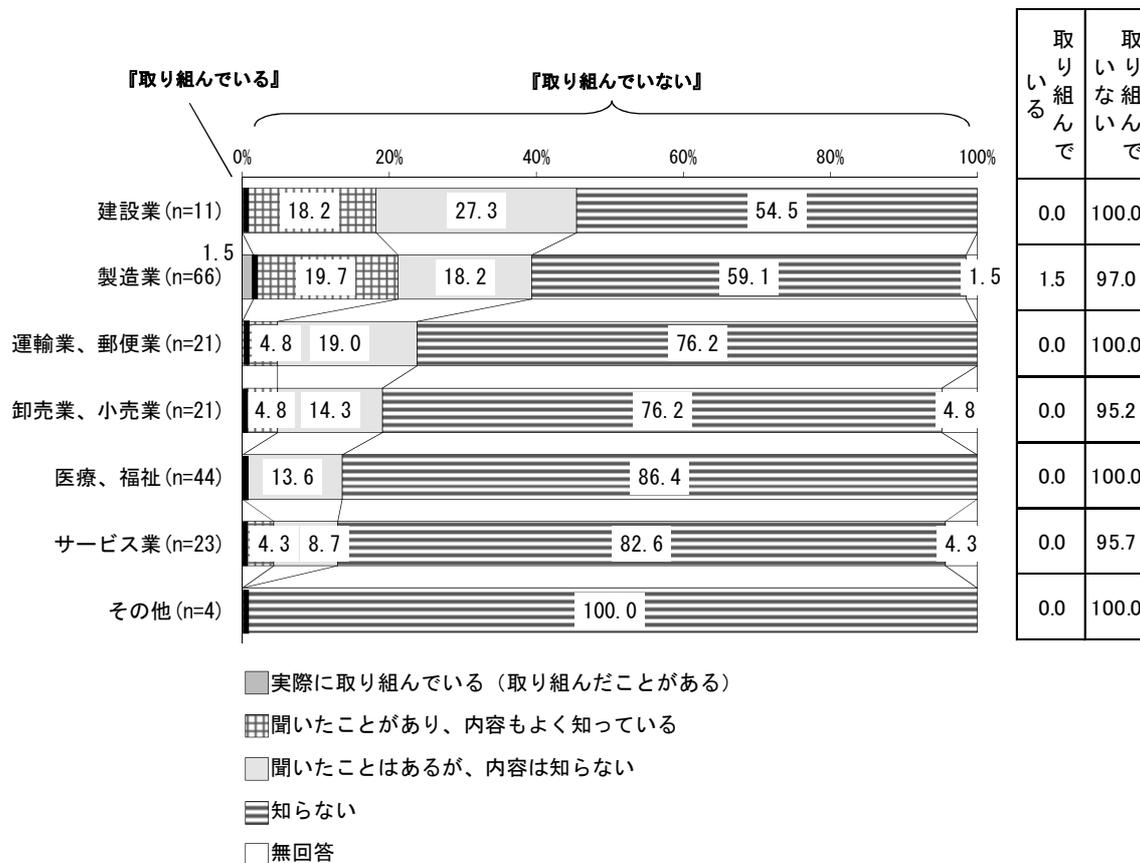
【図表 おかやまアダプトの認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は100~199人で約1割と高くなっている。 「知らない」との回答は29人以下で9割超と高くなっている。

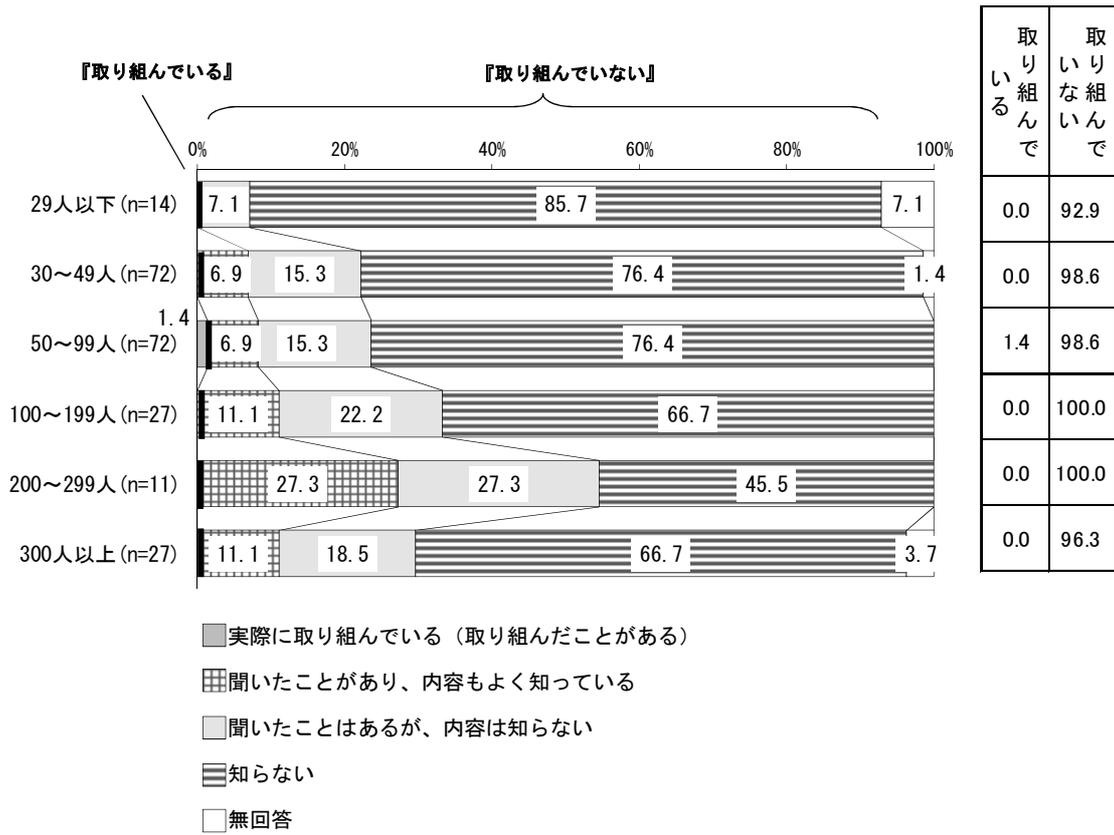
(6) 循環資源マッチングシステム

【図表 循環資源マッチングシステムの認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は業種によって大きな差はみられない。 ・「聞いたことがある、内容もよく知っている」との回答は製造業で約2割と高くなっている。 ・「知らない」との回答は医療、福祉、サービス業で8割台と高くなっている。

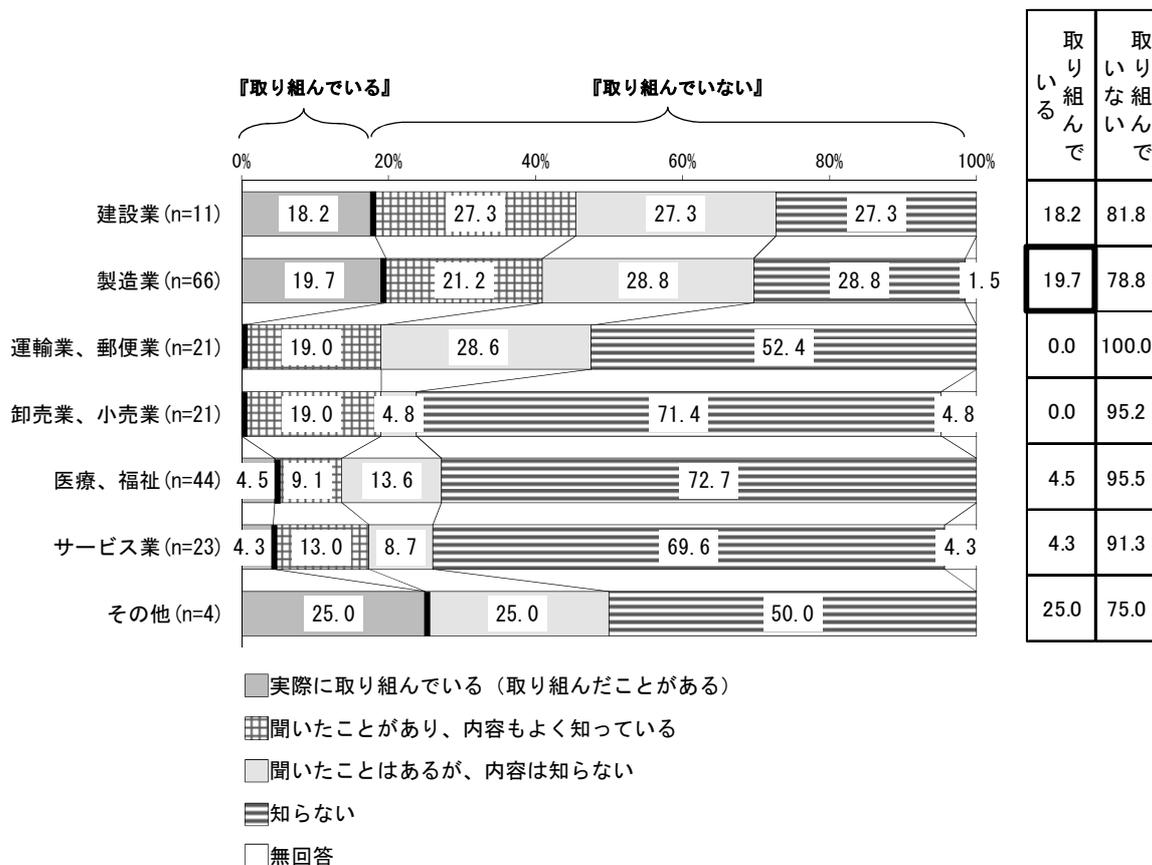
【図表 循環資源マッチングシステムの認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> 『取り組んでいる』との回答は業種によって大きな差はみられない。 「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は100~199人で2割超と高くなっている。 「知らない」との回答は29人以下で8割台半ばと高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。

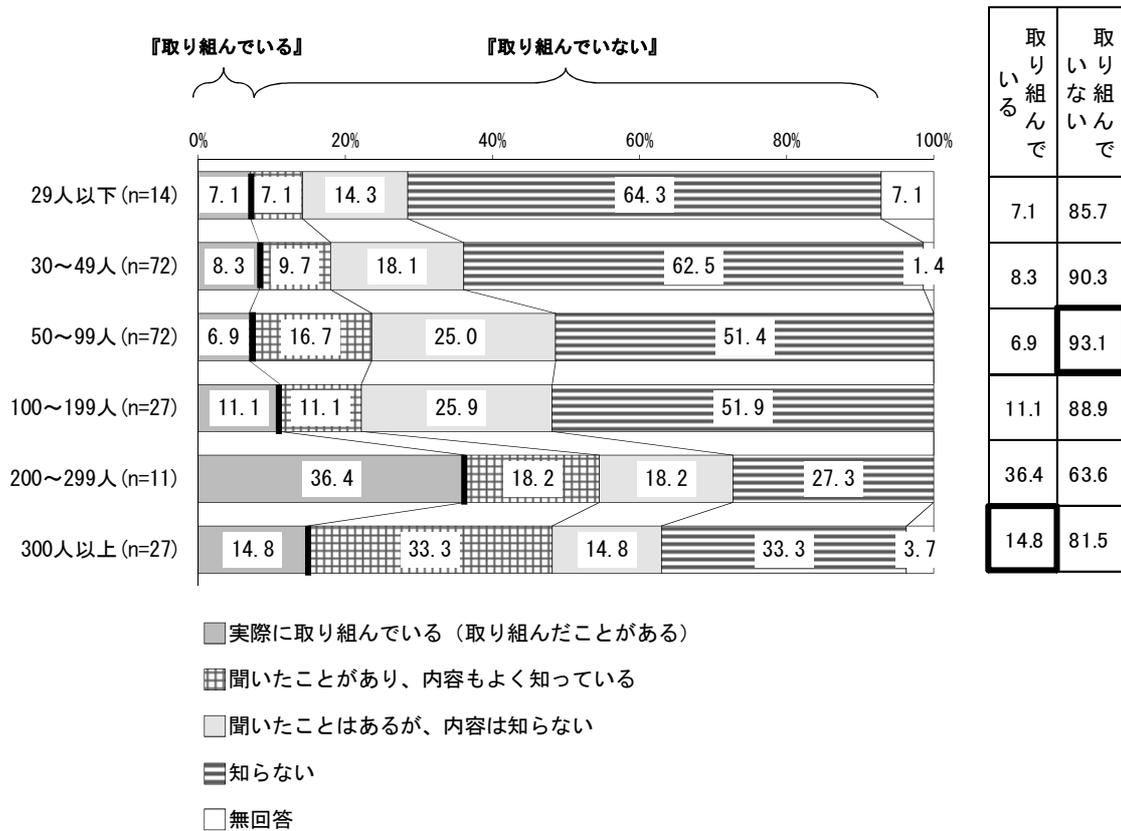
(7) 電子マニフェスト

【図表 電子マニフェストの認知度（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は製造業で約2割と高くなっている。 ・「聞いたことはあるが、内容は知らない」との回答は製造業、運輸業、郵便業で約3割と高くなっている。 ・「知らない」との回答は卸売業、小売業、医療、福祉、サービス業で7割前後と高くなっている。

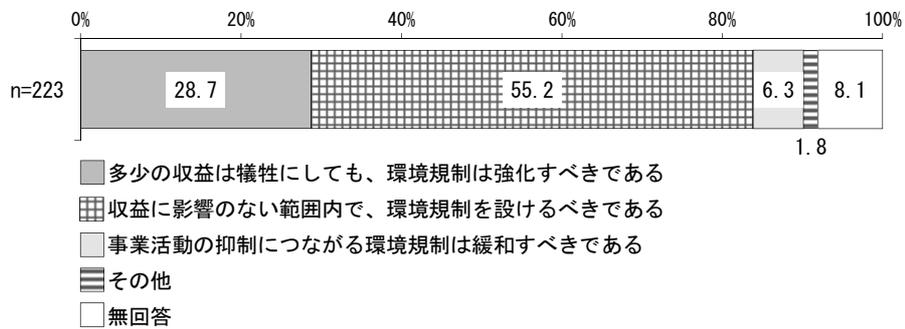
【図表 電子マニフェストの認知度（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・『取り組んでいる』との回答は300人以上で1割台半ばと高くなっている。 ・「聞いたことがあり、内容もよく知っている」との回答は300人以上で3割台半ばと高くなっている。 ・「知らない」との回答は29人以下、30~49人で6割台と高くなっており、従業員数が増えるにつれて低くなる傾向がみられる。 ・『取り組んでいない』との回答は50~99人で9割台半ばと高くなっている。

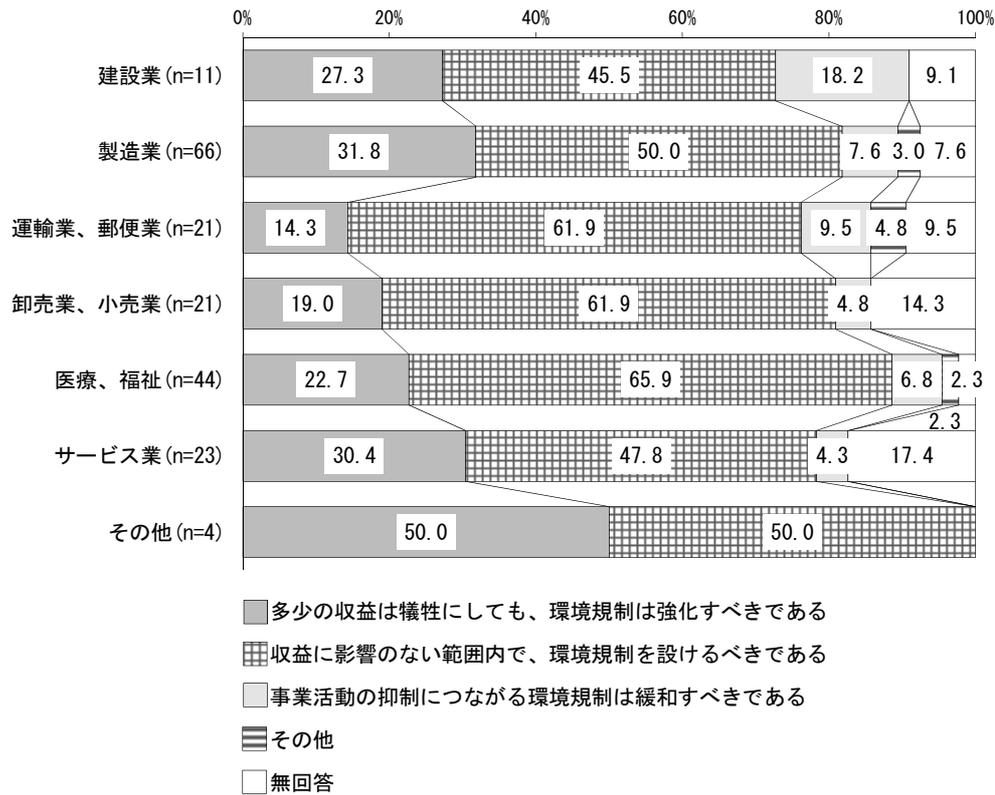
(24) 法律や条例による環境規制についての考え方

問 24 事業活動を行う上で、法律や条例による環境規制についてどのようにお考えですか？
 あてはまる番号1つに○をつけてください。



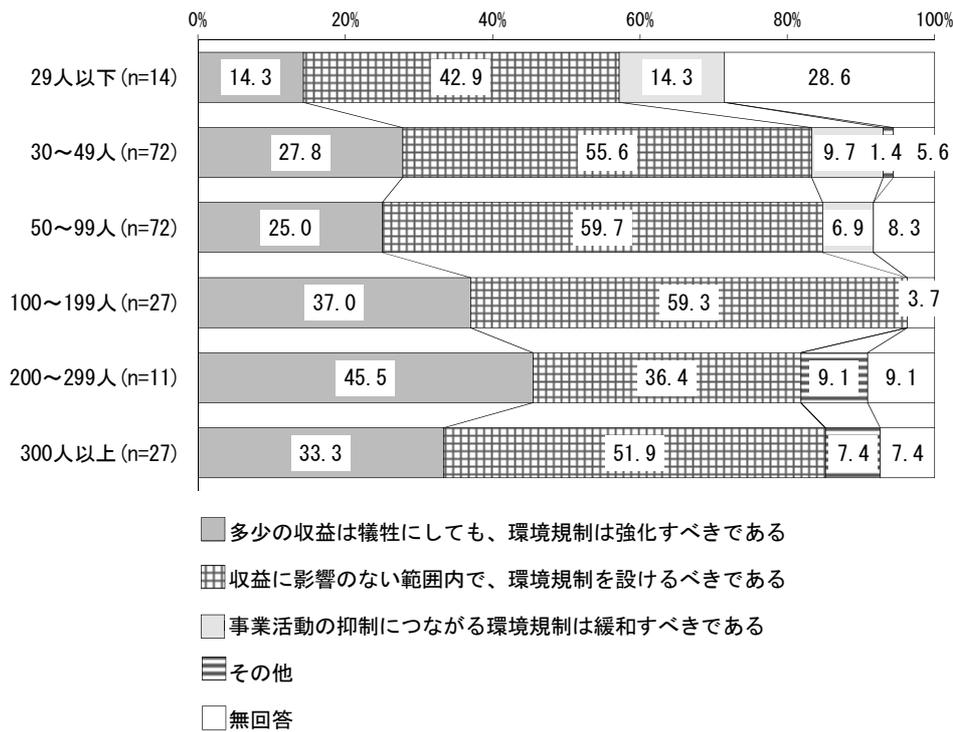
結果の要点	
全体	・「収益に影響のない範囲内で、環境規制を設けるべきである」との回答が55.2%と最も高く、次いで「多少の収益は犠牲にしても、環境規制は強化すべきである」(28.7%)、「事業活動の抑制につながる環境規制は緩和すべきである」(6.3%)の順となっている。

【図表 法律や条例による環境規制についての考え方（業種別）】



結果の要点	
業種別	<ul style="list-style-type: none"> ・「多少の収益は犠牲にしても、環境規制は強化すべきである」との回答は製造業、サービス業で3割台と高くなっている。 ・「収益に影響のない範囲内で、環境規制を設けるべきである」との回答は医療、福祉で6割台半ばと高くなっている。

【図表 法律や条例による環境規制についての考え方（従業員数別）】



結果の要点	
従業員数別	<ul style="list-style-type: none"> ・「多少の収益は犠牲にしても、環境規制は強化すべきである」との回答は29人以下で1割台半ばと低くなっている。 ・「収益に影響のない範囲内で、環境規制を設けるべきである」との回答は50~99人、100~199人で約6割と高くなっている。 ・「事業活動の抑制につながる環境規制は緩和すべきである」との回答は29人以下で1割台半ばと高くなっている。

3 自由意見

(1) 自由意見

① 行政の取組に関する意見・要望（6件）

自由意見	件数
電気使用量の多い飲料系自販機は、県条例等で設置を規制してほしい。	1
生ごみの受け入れ先の情報など、実際に環境対策を推進していく上での具体的な行動のガイドラインとなるような情報を開示してほしい。	1
岡山県環境への負荷低減に関する条例での有害ガス発生施設の種類について、規模要件が「すべてのもの」と規定されているが、生産設備と試験用施設等、また作業方法によっては有害ガス発生量も大きく変化するので、何らかの基準・対象を明確化してほしい。	1
1次産業、2次産業の製造の川上工程において、廃棄物を特に減らせるような設備、技術への補助金、製販一体となった廃棄物削減の取組の紹介をしてほしい。	1
法規制はあるが、適用がルーズである。	1
ごみの散乱や不法投棄が岡山県はひどいので、意識向上や美化活動が強く求められる。	1

② 意識の向上等に関する意見・要望（4件）

自由意見	件数
家庭・学校で「もったいない、節約など」を教育する必要がある。小さな会社ほど、節約に関しては無意識にしていると思う。	1
ごみの散乱や不法投棄が岡山県はひどいので、意識向上や美化活動が強く求められる。	1
事業で使う自動車の排ガス、介護で廃出されるごみ類、老人介護で出る生活ごみ等に気をつけ、できるだけ環境に優しくなるように事業を行う事と思う。	1
環境について県の役割よりも、環境に対する教育をもっとした方が良いと思う。	1

③ 環境保全上の必要経費等に関する意見・要望（1件）

自由意見	件数
1次産業、2次産業の製造の川上工程において、廃棄物を特に減らせるような設備、技術への補助金、製販一体となった廃棄物削減の取組の紹介などがあれば、1次・2次・3次も環境問題への具体的なアクションが見えてくるかもしれない。	1

④ アンケート調査に関する意見・要望（４件）

自由意見	件数
アンケートを毎回送って来られても無駄。対象を考慮してアンケートする事を希望する。	1
質問が企業向けが多く、保育所には当てはまらない質問が何点か感じられた。	1
事前依頼葉書は不要。お金を大切に有効に使って頂きたい。	1
環境問題は事業内容で対応・内容が大きく異なる。横並びのアンケートはいかがなものか。	1

⑤ その他（１件）

自由意見	件数
更新に多大は経費が必要な資格は今の時代ナンセンスだと思う。	1

第4章 主要施策別の調査結果

第4章 主要施策別の調査結果

第4章では、意識調査の結果をエコビジョンの見直しに役立てることを目的として、基本目標と推進目標の主要施策ごとに、関連している意識調査の結果を整理し、主要施策が県民や事業所にどのように思われているのか(【認識】)、主要施策にある取組がどの程度進捗しているのか(【取組状況】)を調べている。また平成19年度、平成24年度に同じ問いがある場合、両年の結果を比較してどのように変わったのかについても記載している。さらに回答者の傾向をより詳細に把握するため、属性とのクロス集計を行った。

クロス集計に用いる属性として、県民調査では「年齢」と「地域」、事業所調査では「業種」と「従業員数」を選定した。選定した理由は、以下のとおりである。

＜県民調査において属性を選択した理由＞

- ◆年齢は各設問との間に高い相関関係がみられる場合があり、また他事例のクロス集計でも多用されているため、選択することとした。
- ◆地域は、エコビジョンで社会のイメージを「中国山地エリア」、「吉備高原里山エリア」など地域ごとに分けているため、地域ごとの分析が必要と考え、選択することとした。

＜事業所調査において属性を選択した理由＞

- ◆業種は、その種類により公害規制の対象となるものも存在するため、選択することとした。
- ◆従業員数からは、事業所の規模が推察できる。事業所の規模による傾向を把握するために、選択することとした。

1 地域から取り組む地球環境の保全

「1 地域から取り組む地球環境の保全」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号	
地球温暖化対策	認識	県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入量を増やしていくべきだ ・(関心のある環境問題について)地球の温暖化 	問3(17) 問4(1)	
		県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビや照明をこまめに消す ・長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く ・クールビズ、ウォームビズの取組により、空調の温度設定を暖房は 20℃以下、冷房は 28℃以上にする ・ゴーヤなどの緑のカーテンを育てる ・マイカーよりも公共交通機関や自転車を利用する ・県内や地元でとれた農林水産物を選んで購入する ・アイドリングストップなどエコドライブに心がける ・アースキーパーメンバーシップに登録している ・おかやまエコドライブ宣言をしている 	問2(1) 問2(2) 問2(3) 問2(4) 問2(5) 問2(14) 問2(15) 問14(1) 問14(2)	
	取組状況	事業所調査	事業所調査	<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ、ウォームビズの取組(暖房 20℃以下、冷房は 28℃以上に設定など) ・ESCO 事業の導入 ・フロン類の使用抑制・全廃・回収など排出抑制 ・低公害車の導入など自動車公害対策の取組 ・電気自動車の導入 ・電気自動車充電器(一般開放用)の設置 ・事業所の敷地内、または周辺の緑化 ・自家用車以外での通勤の奨励(公共交通機関、自転車の利用) ・植林や森林保全事業の実施または協力 ・アースキーパーメンバーシップに登録している ・おかやまエコドライブ宣言をしている 	問13(1) 問13(6) 問13(8) 問13(9) 問13(10) 問13(11) 問17(1) 問17(7) 問17(9) 問23(1) 問23(2)

《地球温暖化対策》

県民調査結果

【図表 再生可能エネルギーの導入量を増やしていくべきだ(属性別)】

項目		思う			思わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		92.3	90.8	-1.5 ↓	4.2	6.2	2.0 ↑
年齢	20～29歳	90.3	91.0	0.7 ↑	2.8	9.0	6.2 ↑
	30～39歳	93.7	92.7	-1.0 ↓	4.9	7.3	2.4 ↑
	40～49歳	92.5	93.5	1.0 ↑	3.7	6.0	2.3 ↑
	50～59歳	95.7	93.2	-2.5 ↓	3.6	6.4	2.8 ↑
	60～69歳	91.1	92.8	1.7 ↑	5.3	5.0	-0.3 ↓
	70歳以上	89.2	84.8	-4.4 ↓	4.1	6.1	2.0 ↑
	地域	備前県民局	93.4	92.7	-0.7 ↓	3.7	4.8
東備地域事務所		90.7	85.9	-4.8 ↓	5.3	11.3	6.0 ↑
備中県民局		97.9	90.9	-7.0 ↓	0.0	5.7	5.7 ↑
井笠地域事務所		95.5	88.2	-7.3 ↓	0.9	8.7	7.8 ↑
高梁地域事務所		82.8	87.0	4.2 ↑	13.8	4.3	-9.5 ↓
新見地域事務所		100.0	87.0	-13.0 ↓	0.0	4.3	4.3 ↑
美作県民局		90.0	88.5	-1.5 ↓	6.7	9.2	2.5 ↑
真庭地域事務所		78.9	80.8	1.9 ↑	7.9	19.2	11.3 ↑
勝央地域事務所		97.4	97.1	-0.3 ↓	2.6	0.0	-2.6 ↓

最大値: 最小値:

【図表 (関心のある環境問題について)地球の温暖化(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		62.4	64.3	1.9 ↑
年齢	20～29歳	68.1	65.0	-3.1 ↓
	30～39歳	73.7	61.3	-12.4 ↓
	40～49歳	68.9	63.7	-5.2 ↓
	50～59歳	60.6	65.5	4.9 ↑
	60～69歳	58.6	66.7	8.1 ↑
	70歳以上	51.9	62.4	10.5 ↑
地域	備前県民局	62.2	65.1	2.9 ↑
	東備地域事務所	62.8	59.2	-3.6 ↓
	備中県民局	64.6	64.4	-0.2 ↓
	井笠地域事務所	58.9	61.4	2.5 ↑
	高梁地域事務所	58.6	60.9	2.3 ↑
	新見地域事務所	69.2	73.9	4.7 ↑
	美作県民局	61.1	64.4	3.3 ↑
	真庭地域事務所	68.4	65.4	-3.0 ↓
	勝央地域事務所	63.2	65.7	2.5 ↑

最大値: 最小値:

【図表 テレビや照明をこまめに消す(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		94.3	92.8	-1.5 ↓	3.6	5.7	2.1 ↑
年齢	20～29歳	90.3	86.0	-4.3 ↓	1.4	13.0	11.6 ↑
	30～39歳	97.6	96.8	-0.8 ↓	2.0	3.2	1.2 ↑
	40～49歳	92.5	92.6	0.1 ↑	4.1	7.0	2.9 ↑
	50～59歳	94.6	93.6	-1.0 ↓	4.7	6.0	1.3 ↑
	60～69歳	94.0	93.7	-0.3 ↓	4.0	4.7	0.7 ↑
	70歳以上	94.6	92.1	-2.5 ↓	3.3	4.4	1.1 ↑
地域	備前県民局	94.8	93.0	-1.8 ↓	3.4	5.7	2.3 ↑
	東備地域事務所	95.0	93.0	-2.0 ↓	2.5	7.0	4.5 ↑
	備中県民局	93.8	91.7	-2.1 ↓	6.3	5.7	-0.6 ↓
	井笠地域事務所	95.5	92.9	-2.6 ↓	2.7	6.3	3.6 ↑
	高梁地域事務所	89.7	91.3	1.6 ↑	10.3	4.3	-6.0 ↓
	新見地域事務所	96.2	91.3	-4.9 ↓	3.8	8.7	4.9 ↑
	美作県民局	92.2	95.4	3.2 ↑	5.6	3.4	-2.2 ↓
	真庭地域事務所	84.2	96.2	12.0 ↑	5.3	3.8	-1.5 ↓
	勝央地域事務所	94.7	94.3	-0.4 ↓	5.3	5.7	0.4 ↑

最大値: 最小値:

【図表 長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		71.2	66.1	-5.1 ↓	26.2	31.5	5.3 ↑
年齢	20～29歳	73.6	58.0	-15.6 ↓	19.4	42.0	22.6 ↑
	30～39歳	69.3	64.5	-4.8 ↓	29.8	35.5	5.7 ↑
	40～49歳	73.0	67.0	-6.0 ↓	23.7	32.1	8.4 ↑
	50～59歳	67.4	64.7	-2.7 ↓	31.9	34.5	2.6 ↑
	60～69歳	69.2	66.7	-2.5 ↓	28.5	30.8	2.3 ↑
	70歳以上	76.8	69.1	-7.7 ↓	18.7	25.4	6.7 ↑
地域	備前県民局	71.4	64.5	-6.9 ↓	26.3	32.8	6.5 ↑
	東備地域事務所	72.9	71.8	-1.1 ↓	24.1	25.4	1.3 ↑
	備中県民局	66.7	65.5	-1.2 ↓	31.3	31.9	0.6 ↑
	井笠地域事務所	72.3	62.2	-10.1 ↓	25.9	37.0	11.1 ↑
	高梁地域事務所	72.4	56.5	-15.9 ↓	24.1	34.8	10.7 ↑
	新見地域事務所	76.9	73.9	-3.0 ↓	23.1	26.1	3.0 ↑
	美作県民局	73.3	75.9	2.6 ↑	24.4	23.0	-1.4 ↓
	真庭地域事務所	57.9	69.2	11.3 ↑	31.6	30.8	-0.8 ↓
	勝央地域事務所	55.3	77.1	21.8 ↑	44.7	22.9	-21.8 ↓

最大値: 最小値:

【図表 クールビズ、ウォームビズの実施により、空調の温度設定を暖房は 20℃以下、冷房は 28℃以上にする(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		79.9	70.9	-9.0 ↓	16.4	26.2	9.8 ↑
年齢	20～29歳	75.0	63.0	-12.0 ↓	18.1	37.0	18.9 ↑
	30～39歳	79.5	72.6	-6.9 ↓	19.0	27.4	8.4 ↑
	40～49歳	80.9	66.0	-14.9 ↓	15.8	33.5	17.7 ↑
	50～59歳	77.4	72.3	-5.1 ↓	20.1	26.8	6.7 ↑
	60～69歳	82.1	72.3	-9.8 ↓	14.6	24.8	10.2 ↑
	70歳以上	80.5	73.2	-7.3 ↓	12.4	19.0	6.6 ↑
地域	備前県民局	82.1	71.9	-10.2 ↓	15.3	25.8	10.5 ↑
	東備地域事務所	79.1	70.4	-8.7 ↓	16.6	25.4	8.8 ↑
	備中県民局	81.3	69.9	-11.4 ↓	16.7	27.0	10.3 ↑
	井笠地域事務所	82.1	72.4	-9.7 ↓	15.2	26.0	10.8 ↑
	高梁地域事務所	72.4	69.6	-2.8 ↓	24.1	26.1	2.0 ↑
	新見地域事務所	76.9	73.9	-3.0 ↓	19.2	21.7	2.5 ↑
	美作県民局	74.4	71.3	-3.1 ↓	20.0	24.1	4.1 ↑
	真庭地域事務所	68.4	53.8	-14.6 ↓	15.8	38.5	22.7 ↑
勝央地域事務所	78.9	71.4	-7.5 ↓	18.4	25.7	7.3 ↑	

最大値: 最小値:

【図表 ゴーヤなどの緑のカーテンを育てる(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		36.9	33.2	-3.7 ↓	59.2	64.3	5.1 ↑
年齢	20～29歳	20.8	15.0	-5.8 ↓	72.2	85.0	12.8 ↑
	30～39歳	28.3	21.0	-7.3 ↓	70.7	78.2	7.5 ↑
	40～49歳	33.6	23.7	-9.9 ↓	61.8	74.4	12.6 ↑
	50～59歳	33.7	31.1	-2.6 ↓	63.4	68.1	4.7 ↑
	60～69歳	48.3	39.6	-8.7 ↓	48.0	58.2	10.2 ↑
	70歳以上	41.5	44.3	2.8 ↑	51.9	49.9	-2.0 ↓
地域	備前県民局	32.9	31.4	-1.5 ↓	63.6	66.3	2.7 ↑
	東備地域事務所	40.2	31.0	-9.2 ↓	56.0	66.2	10.2 ↑
	備中県民局	39.6	36.9	-2.7 ↓	58.3	60.5	2.2 ↑
	井笠地域事務所	36.6	33.9	-2.7 ↓	60.7	63.8	3.1 ↑
	高梁地域事務所	31.0	21.7	-9.3 ↓	58.6	73.9	15.3 ↑
	新見地域事務所	57.7	17.4	-40.3 ↓	42.3	78.3	36.0 ↑
	美作県民局	43.3	32.2	-11.1 ↓	53.3	66.7	13.4 ↑
	真庭地域事務所	28.9	42.3	13.4 ↑	52.6	53.8	1.2 ↑
勝央地域事務所	42.1	37.1	-5.0 ↓	55.3	57.1	1.8 ↑	

最大値: 最小値:

【図表 マイカーよりも公共交通機関や自転車を利用する(属性別)】

項目		行う				行わない			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		46.1	39.6	-6.5	↓	50.7	58.4	7.7	↑
年齢	20～29歳	33.3	41.0	7.7	↑	58.3	59.0	0.7	↑
	30～39歳	44.4	33.1	-11.3	↓	54.6	66.9	12.3	↑
	40～49歳	40.2	29.8	-10.4	↓	56.0	69.8	13.8	↑
	50～59歳	37.3	35.7	-1.6	↓	60.9	63.8	2.9	↑
	60～69歳	49.0	41.5	-7.5	↓	48.3	56.3	8.0	↑
	70歳以上	63.9	48.4	-15.5	↓	30.7	46.1	15.4	↑
地域	備前県民局	54.2	49.8	-4.4	↓	43.0	48.4	5.4	↑
	東備地域事務所	48.2	25.4	-22.8	↓	48.5	73.2	24.7	↑
	備中県民局	50.0	41.8	-8.2	↓	50.0	55.3	5.3	↑
	井笠地域事務所	42.0	26.0	-16.0	↓	55.4	73.2	17.8	↑
	高梁地域事務所	34.5	17.4	-17.1	↓	62.1	78.3	16.2	↑
	新見地域事務所	23.1	21.7	-1.4	↓	76.9	73.9	-3.0	↓
	美作県民局	22.2	14.9	-7.3	↓	72.2	83.9	11.7	↑
	真庭地域事務所	13.2	26.9	13.7	↑	73.7	69.2	-4.5	↓
	勝央地域事務所	26.3	25.7	-0.6	↓	73.7	71.4	-2.3	↓

最大値: 最小値:

【図表 県内や地元でとれた農林水産物を選んで購入する(属性別)】

項目		行う				行わない			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		82.6	79.4	-3.2	↓	14.5	18.5	4.0	↑
年齢	20～29歳	69.4	62.0	-7.4	↓	23.6	38.0	14.4	↑
	30～39歳	80.0	74.2	-5.8	↓	19.0	25.0	6.0	↑
	40～49歳	82.2	75.8	-6.4	↓	14.5	23.3	8.8	↑
	50～59歳	83.9	75.7	-8.2	↓	15.1	24.3	9.2	↑
	60～69歳	87.4	89.3	1.9	↑	9.3	8.8	-0.5	↓
	70歳以上	82.2	81.9	-0.3	↓	13.3	12.5	-0.8	↓
地域	備前県民局	83.3	79.2	-4.1	↓	13.7	19.2	5.5	↑
	東備地域事務所	83.4	81.7	-1.7	↓	13.8	16.9	3.1	↑
	備中県民局	87.5	81.8	-5.7	↓	10.4	15.1	4.7	↑
	井笠地域事務所	76.8	76.4	-0.4	↓	22.3	22.0	-0.3	↓
	高梁地域事務所	82.8	73.9	-8.9	↓	13.8	21.7	7.9	↑
	新見地域事務所	92.3	78.3	-14.0	↓	7.7	21.7	14.0	↑
	美作県民局	81.1	78.2	-2.9	↓	15.6	19.5	3.9	↑
	真庭地域事務所	73.7	61.5	-12.2	↓	15.8	38.5	22.7	↑
	勝央地域事務所	81.6	82.9	1.3	↑	15.8	14.3	-1.5	↓

最大値: 最小値:

【図表 アイドリングストップなどエコドライブに心がける(属性別)】

項目		行う				行わない			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		66.8	73.0	6.2	↑	26.0	21.1	-4.9	↓
年齢	20～29歳	58.3	74.0	15.7	↑	34.7	24.0	-10.7	↓
	30～39歳	67.3	71.0	3.7	↑	30.7	28.2	-2.5	↓
	40～49歳	74.3	74.9	0.6	↑	21.6	23.7	2.1	↑
	50～59歳	67.0	76.6	9.6	↑	30.5	21.7	-8.8	↓
	60～69歳	67.9	78.0	10.1	↑	25.2	17.6	-7.6	↓
	70歳以上	60.2	65.3	5.1	↑	19.5	19.0	-0.5	↓
地域	備前県民局	65.4	70.6	5.2	↑	27.0	23.7	-3.3	↓
	東備地域事務所	66.6	73.2	6.6	↑	26.4	19.7	-6.7	↓
	備中県民局	68.8	73.0	4.3	↑	25.0	20.8	-4.2	↓
	井笠地域事務所	70.5	78.7	8.2	↑	24.1	15.0	-9.1	↓
	高梁地域事務所	58.6	69.6	11.0	↑	34.5	17.4	-17.1	↓
	新見地域事務所	76.9	65.2	-11.7	↓	11.5	26.1	14.6	↑
	美作県民局	70.0	81.6	11.6	↑	23.3	17.2	-6.1	↓
	真庭地域事務所	57.9	76.9	19.0	↑	28.9	19.2	-9.7	↓
	勝央地域事務所	78.9	74.3	-4.6	↓	21.1	20.0	-1.1	↓

最大値: 最小値:

【図表 アースキーパーメンバーシップに登録している(属性別)】

項目		はい				いいえ			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		1.0	1.2	0.2	↑	82.9	93.3	10.4	↑
年齢	20～29歳	1.4	0.0	-1.4	↓	87.5	97.0	9.5	↑
	30～39歳	1.0	0.8	-0.2	↓	92.7	96.8	4.1	↑
	40～49歳	0.8	1.9	1.1	↑	91.7	97.2	5.5	↑
	50～59歳	0.4	0.9	0.5	↑	88.2	97.9	9.7	↑
	60～69歳	2.3	1.6	-0.7	↓	77.5	93.4	15.9	↑
	70歳以上	0.0	1.2	1.2	↑	65.1	85.4	20.3	↑
地域	備前県民局	0.4	1.3	0.9	↑	83.7	93.9	10.2	↑
	東備地域事務所	0.8	0.0	-0.8	↓	83.7	94.4	10.7	↑
	備中県民局	6.3	0.3	-6.0	↓	79.2	94.3	15.1	↑
	井笠地域事務所	0.9	1.6	0.7	↑	83.0	89.8	6.8	↑
	高梁地域事務所	0.0	0.0	0.0	→	69.0	95.7	26.7	↑
	新見地域事務所	0.0	4.3	4.3	↑	84.6	87.0	2.4	↑
	美作県民局	2.2	3.4	1.2	↑	81.1	92.0	10.9	↑
	真庭地域事務所	2.6	3.8	1.2	↑	78.9	88.5	9.6	↑
	勝央地域事務所	2.6	2.9	0.3	↑	84.2	94.3	10.1	↑

最大値: 最小値:

【図表 おかやまエコドライブ宣言をしている(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		5.7	7.1	1.4 ↑	78.4	87.2	8.8 ↑
年齢	20～29歳	6.9	12.0	5.1 ↑	83.3	85.0	1.7 ↑
	30～39歳	6.3	5.6	-0.7 ↓	87.3	90.3	3.0 ↑
	40～49歳	6.2	8.8	2.6 ↑	87.1	90.7	3.6 ↑
	50～59歳	3.6	11.5	7.9 ↑	85.7	87.2	1.5 ↑
	60～69歳	7.6	6.3	-1.3 ↓	72.8	88.7	15.9 ↑
	70歳以上	4.6	2.9	-1.7 ↓	59.3	83.1	23.8 ↑
地域	備前県民局	6.2	6.5	0.3 ↑	78.2	88.0	9.8 ↑
	東備地域事務所	5.5	11.3	5.8 ↑	79.1	83.1	4.0 ↑
	備中県民局	2.1	6.2	4.1 ↑	83.3	88.6	5.3 ↑
	井笠地域事務所	4.5	5.5	1.0 ↑	78.6	86.6	8.0 ↑
	高梁地域事務所	0.0	0.0	0.0 →	69.0	95.7	26.7 ↑
	新見地域事務所	11.5	8.7	-2.8 ↓	76.9	78.3	1.4 ↑
	美作県民局	8.9	12.6	3.7 ↑	77.8	82.8	5.0 ↑
	真庭地域事務所	0.0	15.4	15.4 ↑	76.3	76.9	0.6 ↑
	勝央地域事務所	7.9	8.6	0.7 ↑	78.9	88.6	9.7 ↑

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 クールビズ、ウォームビズの取組(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		80.1	89.7	9.6 ↑	11.0	9.9	-1.1 ↓
業種	建設業	88.2	90.9	2.7 ↑	11.8	9.1	-2.7 ↓
	製造業	78.9	89.4	10.5 ↑	15.8	10.6	-5.2 ↓
	運輸業、郵便業	87.5	85.7	-1.8 ↓	0.0	14.3	14.3 ↑
	卸売業、小売業	79.3	90.5	11.2 ↑	17.2	4.8	-12.4 ↓
	医療、福祉	74.5	79.5	5.0 ↑	13.7	20.5	6.8 ↑
	サービス業	77.3	95.7	18.4 ↑	9.1	4.3	-4.8 ↓
	その他	72.2	100.0	27.8 ↑	5.6	0.0	-5.6 ↓
従業員数	29人以下	61.1	85.7	24.6 ↑	22.2	14.3	-7.9 ↓
	30～49人	84.7	86.1	1.4 ↑	5.9	13.9	8.0 ↑
	50～99人	73.6	87.5	13.9 ↑	16.7	11.1	-5.6 ↓
	100～199人	83.3	92.6	9.3 ↑	11.1	7.4	-3.7 ↓
	200～299人	87.5	100.0	12.5 ↑	6.3	0.0	-6.3 ↓

最大値: 最小値:

【図表 ESCO事業の導入(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		3.8	4.9	1.1 ↑	69.5	87.4	17.9 ↑
業種	建設業	0.0	0.0	0.0 →	100.0	100.0	0.0 →
	製造業	5.3	1.5	-3.8 ↓	78.9	90.9	12.0 ↑
	運輸業、郵便業	6.3	4.8	-1.5 ↓	62.5	85.7	23.2 ↑
	卸売業、小売業	10.3	4.8	-5.5 ↓	69.0	76.2	7.2 ↑
	医療、福祉	2.0	4.5	2.5 ↑	56.9	90.9	34.0 ↑
	サービス業	0.0	13.0	13.0 ↑	63.6	73.9	10.3 ↑
	その他	5.6	0.0	-5.6 ↓	55.6	100.0	44.4 ↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0 →	77.8	85.7	7.9 ↑
	30～49人	3.5	5.6	2.1 ↑	67.1	88.9	21.8 ↑
	50～99人	0.0	4.2	4.2 ↑	72.2	87.5	15.3 ↑
	100～199人	8.3	3.7	-4.6 ↓	72.2	92.6	20.4 ↑
	200～299人	12.5	9.1	-3.4 ↓	62.5	90.9	28.4 ↑

最大値: 最小値:

【図表 フロン類の使用抑制・全廃・回収など排出抑制(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		28.8	41.7	12.9 ↑	29.7	53.8	24.1 ↑
業種	建設業	47.1	18.2	-28.9 ↓	41.2	81.8	40.6 ↑
	製造業	35.1	60.6	25.5 ↑	28.1	37.9	9.8 ↑
	運輸業、郵便業	31.3	42.9	11.7 ↑	18.8	52.4	33.7 ↑
	卸売業、小売業	44.8	23.8	-21.0 ↓	27.6	66.7	39.1 ↑
	医療、福祉	23.5	15.9	-7.6 ↓	25.5	81.8	56.3 ↑
	サービス業	4.5	39.1	34.6 ↑	45.5	47.8	2.3 ↑
	その他	27.8	100.0	72.2 ↑	22.2	0.0	-22.2 ↓
従業員数	29人以下	16.7	35.7	19.0 ↑	44.4	50.0	5.6 ↑
	30～49人	24.7	34.7	10.0 ↑	34.1	59.7	25.6 ↑
	50～99人	27.8	37.5	9.7 ↑	23.6	56.9	33.3 ↑
	100～199人	41.7	51.9	10.2 ↑	25.0	48.1	23.1 ↑
	200～299人	31.3	45.5	14.3 ↑	37.5	54.5	17.0 ↑

最大値: 最小値:

【図表 低公害車の導入など自動車公害対策の取組(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		38.6	38.6	0.0 →	45.8	57.8	12.0 ↑
業種	建設業	35.3	36.4	1.1 ↑	52.9	63.6	10.7 ↑
	製造業	36.8	51.5	14.7 ↑	45.6	48.5	2.9 ↑
	運輸業、郵便業	68.8	52.4	-16.4 ↓	25.0	38.1	13.1 ↑
	卸売業、小売業	27.6	38.1	10.5 ↑	62.1	52.4	-9.7 ↓
	医療、福祉	31.4	11.4	-20.0 ↓	49.0	84.1	35.1 ↑
	サービス業	31.8	26.1	-5.7 ↓	50.0	65.2	15.2 ↑
	その他	50.0	75.0	25.0 ↑	27.8	25.0	-2.8 ↓
従業員数	29人以下	33.3	28.6	-4.7 ↓	27.8	50.0	22.2 ↑
	30～49人	35.3	27.8	-7.5 ↓	48.2	68.1	19.9 ↑
	50～99人	34.7	44.4	9.7 ↑	52.8	54.2	1.4 ↑
	100～199人	36.1	37.0	0.9 ↑	52.8	63.0	10.2 ↑
	200～299人	50.0	9.1	-40.9 ↓	31.3	90.9	59.7 ↑

最大値: 最小値:

【図表 電気自動車の導入(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		5.1	7.2	2.1 ↑	79.2	90.1	10.9 ↑
業種	建設業	5.9	9.1	3.2 ↑	82.4	90.9	8.5 ↑
	製造業	3.5	7.6	4.1 ↑	78.9	92.4	13.5 ↑
	運輸業、郵便業	18.8	9.5	-9.3 ↓	75.0	90.5	15.5 ↑
	卸売業、小売業	0.0	14.3	14.3 ↑	93.1	76.2	-16.9 ↓
	医療、福祉	3.9	4.5	0.6 ↑	76.5	93.2	16.7 ↑
	サービス業	4.5	0.0	-4.5 ↓	77.3	91.3	14.0 ↑
	その他	0.0	0.0	0.0 →	77.8	100.0	22.2 ↑
従業員数	29人以下	0.0	14.3	14.3 ↑	61.1	78.6	17.5 ↑
	30～49人	2.4	2.8	0.4 ↑	78.8	93.1	14.3 ↑
	50～99人	4.2	4.2	0.0 →	84.7	93.1	8.4 ↑
	100～199人	2.8	7.4	4.6 ↑	86.1	92.6	6.5 ↑
	200～299人	12.5	0.0	-12.5 ↓	75.0	100.0	25.0 ↑

最大値: 最小値:

【図表 電気自動車充電器(一般開放用)の設置(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		1.7	4.9	3.2 ↑	75.8	92.4	16.6 ↑
業種	建設業	0.0	9.1	9.1 ↑	82.4	90.9	8.5 ↑
	製造業	1.8	4.5	2.7 ↑	73.7	95.5	21.8 ↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0 →	93.8	100.0	6.3 ↑
	卸売業、小売業	0.0	14.3	14.3 ↑	82.8	76.2	-6.6 ↓
	医療、福祉	2.0	2.3	0.3 ↑	72.5	95.5	23.0 ↑
	サービス業	9.1	4.3	-4.8 ↓	63.6	87.0	23.4 ↑
	その他	0.0	0.0	0.0 →	66.7	100.0	33.3 ↑
従業員数	29人以下	0.0	7.1	7.1 ↑	44.4	85.7	41.3 ↑
	30～49人	1.2	1.4	0.2 ↑	72.9	94.4	21.5 ↑
	50～99人	2.8	4.2	1.4 ↑	76.4	93.1	16.7 ↑
	100～199人	2.8	3.7	0.9 ↑	88.9	96.3	7.4 ↑
	200～299人	0.0	0.0	0.0 →	87.5	100.0	12.5 ↑

最大値: 最小値:

【図表 事業所の敷地内、または周辺の緑化(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		53.1	55.1	2.0	↑
業種	建設業	60.0	83.3	23.3	↑
	製造業	57.6	58.5	0.9	↑
	運輸業、郵便業	40.0	53.8	13.8	↑
	卸売業、小売業	50.0	50.0	0.0	→
	医療、福祉	55.2	45.0	-10.2	↓
	サービス業	70.0	76.9	6.9	↑
	その他	16.7	0.0	-16.7	↓
従業員数	29人以下	42.9	50.0	7.1	↑
	30～49人	53.5	53.7	0.2	↑
	50～99人	51.3	55.3	4.0	↑
	100～199人	59.1	52.2	-6.9	↓
	200～299人	50.0	62.5	12.5	↑

最大値:  最小値: 

【図表 自家用車以外での通勤の奨励(公共交通機関、自転車の利用)(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		11.7	15.0	3.3	↑
業種	建設業	30.0	16.7	-13.3	↓
	製造業	15.2	11.3	-3.9	↓
	運輸業、郵便業	0.0	15.4	15.4	↑
	卸売業、小売業	5.6	0.0	-5.6	↓
	医療、福祉	6.9	15.0	8.1	↑
	サービス業	10.0	30.8	20.8	↑
	その他	25.0	33.3	8.3	↑
従業員数	29人以下	0.0	16.7	16.7	↑
	30～49人	11.6	12.2	0.6	↑
	50～99人	12.8	10.6	-2.2	↓
	100～199人	13.6	17.4	3.8	↑
	200～299人	10.0	12.5	2.5	↑

最大値:  最小値: 

【図表 植林や森林保全事業の実施または協力(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		8.6	10.2	1.6	↑
業種	建設業	0.0	16.7	16.7	↑
	製造業	3.0	5.7	2.7	↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業、小売業	16.7	14.3	-2.4	↓
	医療、福祉	3.4	0.0	-3.4	↓
	サービス業	20.0	15.4	-4.6	↓
	その他	8.3	66.7	58.4	↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	4.7	7.3	2.6	↑
	50～99人	10.3	8.5	-1.8	↓
	100～199人	13.6	13.0	-0.6	↓
	200～299人	20.0	0.0	-20.0	↓

最大値: 最小値:

【図表 アースキーパーメンバーシップに登録している(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		5.1	4.0	-1.1 ↓	87.7	95.1	7.4 ↑
業種	建設業	17.6	27.3	9.7 ↑	76.5	72.7	-3.8 ↓
	製造業	3.5	1.5	-2.0 ↓	89.5	98.5	9.0 ↑
	運輸業、郵便業	0.0	4.8	4.8 ↑	100.0	95.2	-4.8 ↓
	卸売業、小売業	3.4	9.5	6.1 ↑	89.7	85.7	-4.0 ↓
	医療、福祉	3.9	2.3	-1.6 ↓	94.1	97.7	3.6 ↑
	サービス業	0.0	4.3	4.3 ↑	86.4	91.3	4.9 ↑
	その他	16.7	0.0	-16.7 ↓	72.2	100.0	27.8 ↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0 →	72.2	92.9	20.7 ↑
	30～49人	5.9	2.8	-3.1 ↓	90.6	95.8	5.2 ↑
	50～99人	4.2	2.8	-1.4 ↓	88.9	97.2	8.3 ↑
	100～199人	8.3	3.7	-4.6 ↓	80.6	96.3	15.7 ↑
	200～299人	0.0	0.0	0.0 →	100.0	100.0	0.0 →

最大値: 最小値:

【図表 おかやまエコドライブ宣言をしている(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		7.6	15.2	7.6 ↑	84.7	83.4	-1.3 ↓
業種	建設業	17.6	9.1	-8.5 ↓	76.5	90.9	14.4 ↑
	製造業	3.5	13.6	10.1 ↑	89.5	84.8	-4.7 ↓
	運輸業、郵便業	37.5	28.6	-8.9 ↓	56.3	71.4	15.2 ↑
	卸売業、小売業	3.4	14.3	10.9 ↑	89.7	81.0	-8.7 ↓
	医療、福祉	3.9	4.5	0.6 ↑	94.1	95.5	1.4 ↑
	サービス業	4.5	17.4	12.9 ↑	81.8	78.3	-3.5 ↓
	その他	5.6	25.0	19.4 ↑	83.3	75.0	-8.3 ↓
従業員数	29人以下	0.0	14.3	14.3 ↑	72.2	78.6	6.4 ↑
	30～49人	5.9	6.9	1.0 ↑	89.4	91.7	2.3 ↑
	50～99人	8.3	15.3	7.0 ↑	84.7	83.3	-1.4 ↓
	100～199人	2.8	18.5	15.7 ↑	86.1	81.5	-4.6 ↓
	200～299人	12.5	27.3	14.8 ↑	87.5	72.7	-14.8 ↓

最大値: 最小値:

2 循環型社会の形成

「2 循環型社会の形成」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号
3Rの推進	認識	県民調査	・ごみの分別やリサイクルに関する状況	問1(2)
	取組状況	県民調査	・ビン・カン・ペットボトルは分別しリサイクルに回す ・不用品はバザー、フリーマーケットなどで再使用に回す ・買い物の時にはマイバッグを持参しレジ袋をもらわない	問2(7) 問2(8) 問2(12)
		事業所調査	・循環資源マッチングシステムを利用している	問23(6)
グリーン購入等の推進	取組状況	事業所調査	・グリーン購入の実施や再生紙・再生品の使用 ・岡山エコ事業所の認定を受けている	問13(25) 問23(3)
廃棄物の適正処理の推進	認識	県民調査	・ポイ捨てなどのごみの散乱	問1(3)
	取組状況	事業所調査	・電子マニフェストを使用している	問23(7)

《3Rの推進》

県民調査結果

【図表 ごみの分別リサイクルに関する状況(属性別)】

項目		向上				後退			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		60.0	60.2	0.2	↑	9.4	4.2	-5.2	↓
年齢	20～29歳	55.6	44.0	-11.6	↓	12.5	6.0	-6.5	↓
	30～39歳	52.2	49.2	-3.0	↓	11.7	7.3	-4.4	↓
	40～49歳	56.8	69.8	13.0	↑	10.4	3.7	-6.7	↓
	50～59歳	61.3	59.1	-2.2	↓	10.0	5.1	-4.9	↓
	60～69歳	59.3	64.2	4.9	↑	9.6	3.8	-5.8	↓
	70歳以上	70.5	60.1	-10.4	↓	4.6	2.6	-2.0	↓
地域	備前県民局	60.6	59.5	-1.1	↓	10.8	3.4	-7.4	↓
	東備地域事務所	58.0	77.5	19.5	↑	7.8	1.4	-6.4	↓
	備中県民局	70.8	54.5	-16.3	↓	2.1	6.0	3.9	↑
	井笠地域事務所	67.9	68.5	0.6	↑	8.9	5.5	-3.4	↓
	高梁地域事務所	48.3	56.5	8.2	↑	3.4	0.0	-3.4	↓
	新見地域事務所	57.7	47.8	-9.9	↓	15.4	0.0	-15.4	↓
	美作県民局	57.8	67.8	10.0	↑	10.0	5.7	-4.3	↓
	真庭地域事務所	52.6	46.2	-6.4	↓	7.9	3.8	-4.1	↓
	勝央地域事務所	57.9	71.4	13.5	↑	15.8	0.0	-15.8	↓

最大値: 最小値:

【図表 ビン・カン・ペットボトルは分別しリサイクルに回す(属性別)】

項目		行う				行わない			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		96.2	96.9	0.7	↑	1.6	1.6	0.0	↓
年齢	20～29歳	88.9	93.0	4.1	↑	4.2	7.0	2.8	↑
	30～39歳	96.6	96.8	0.2	↑	2.9	3.2	0.3	↑
	40～49歳	95.0	99.1	4.1	↑	1.7	0.5	-1.2	↓
	50～59歳	97.8	98.7	0.9	↑	1.4	1.3	-0.1	↓
	60～69歳	96.4	97.8	1.4	↑	1.3	0.6	-0.7	↓
	70歳以上	97.1	94.8	-2.3	↓	0.4	1.2	0.8	↑
地域	備前県民局	96.1	97.3	1.2	↑	2.1	1.3	-0.8	↓
	東備地域事務所	96.2	97.2	1.0	↑	1.3	1.4	0.1	↑
	備中県民局	100.0	96.6	-3.4	↓	0.0	1.8	1.8	↑
	井笠地域事務所	97.3	96.9	-0.4	↓	0.9	2.4	1.5	↑
	高梁地域事務所	96.6	95.7	-0.9	↓	0.0	0.0	0.0	→
	新見地域事務所	96.2	100.0	3.8	↑	3.8	0.0	-3.8	↓
	美作県民局	96.7	95.4	-1.3	↓	1.1	2.3	1.2	↑
	真庭地域事務所	86.8	92.3	5.5	↑	2.6	3.8	1.2	↑
	勝央地域事務所	97.4	100.0	2.6	↑	2.6	0.0	-2.6	↓

最大値: 最小値:

【図表 不用品はバザー、フリーマーケットなどで再使用に回す(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		53.4	47.6	-5.8 ↓	43.8	50.0	6.2 ↑
年齢	20～29歳	41.7	43.0	1.3 ↑	51.4	57.0	5.6 ↑
	30～39歳	53.7	42.7	-11.0 ↓	45.9	57.3	11.4 ↑
	40～49歳	61.4	55.8	-5.6 ↓	34.9	43.3	8.4 ↑
	50～59歳	45.5	49.8	4.3 ↑	53.0	49.8	-3.2 ↓
	60～69歳	53.0	42.5	-10.5 ↓	44.7	55.7	11.0 ↑
	70歳以上	58.1	49.0	-9.1 ↓	36.9	44.3	7.4 ↑
	地域	備前県民局	53.8	49.5	-4.3 ↓	43.5	48.4
東備地域事務所		54.8	49.3	-5.5 ↓	42.2	47.9	5.7 ↑
備中県民局		47.9	48.8	0.9 ↑	52.1	48.1	-4.0 ↓
井笠地域事務所		54.5	42.5	-12.0 ↓	44.6	55.9	11.3 ↑
高梁地域事務所		41.4	26.1	-15.3 ↓	51.7	69.6	17.9 ↑
新見地域事務所		57.7	52.2	-5.5 ↓	42.3	47.8	5.5 ↑
美作県民局		52.2	44.8	-7.4 ↓	45.6	54.0	8.4 ↑
真庭地域事務所		44.7	34.6	-10.1 ↓	42.1	61.5	19.4 ↑
勝央地域事務所		52.6	48.6	-4.0 ↓	44.7	48.6	3.9 ↑

最大値: 最小値:

【図表 買い物の時にはマイバッグを持参しレジ袋をもらわない(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		70.6	69.8	-0.8 ↓	27.3	29.0	1.7 ↑
年齢	20～29歳	50.0	56.0	6.0 ↑	43.1	44.0	0.9 ↑
	30～39歳	71.7	69.4	-2.3 ↓	27.8	30.6	2.8 ↑
	40～49歳	70.5	69.3	-1.2 ↓	26.1	30.2	4.1 ↑
	50～59歳	67.0	72.8	5.8 ↑	32.3	27.2	-5.1 ↓
	60～69歳	73.8	73.0	-0.8 ↓	24.2	26.1	1.9 ↑
	70歳以上	76.3	69.4	-6.9 ↓	21.2	27.1	5.9 ↑
	地域	備前県民局	72.3	67.4	-4.9 ↓	25.9	31.7
東備地域事務所		68.1	77.5	9.4 ↑	29.4	21.1	-8.3 ↓
備中県民局		85.4	70.4	-15.0 ↓	14.6	27.8	13.2 ↑
井笠地域事務所		67.9	67.7	-0.2 ↓	31.3	31.5	0.3 ↑
高梁地域事務所		51.7	73.9	22.2 ↑	44.8	21.7	-23.1 ↓
新見地域事務所		80.8	52.2	-28.6 ↓	19.2	47.8	28.6 ↑
美作県民局		76.7	81.6	4.9 ↑	21.1	17.2	-3.9 ↓
真庭地域事務所		57.9	65.4	7.5 ↑	31.6	34.6	3.0 ↑
勝央地域事務所		68.4	77.1	8.7 ↑	31.6	22.9	-8.7 ↓

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 循環資源マッチングシステムを利用している(属性別)】

項目		はい				いいえ			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		4.7	0.4	-4.3	↓	87.7	98.2	10.5	↑
業種	建設業	0.0	0.0	0.0	→	94.1	100.0	5.9	↑
	製造業	8.8	1.5	-7.3	↓	84.2	97.0	12.8	↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→	93.8	100.0	6.3	↑
	卸売業、小売業	6.9	0.0	-6.9	↓	86.2	95.2	9.0	↑
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→	98.0	100.0	2.0	↑
	サービス業	4.5	0.0	-4.5	↓	81.8	95.7	13.9	↑
	その他	16.7	0.0	-16.7	↓	72.2	100.0	27.8	↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→	72.2	92.9	20.7	↑
	30～49人	4.7	0.0	-4.7	↓	90.6	98.6	8.0	↑
	50～99人	2.8	1.4	-1.4	↓	90.3	98.6	8.3	↑
	100～199人	8.3	0.0	-8.3	↓	80.6	100.0	19.4	↑
	200～299人	6.3	0.0	-6.3	↓	93.8	100.0	6.3	↑

最大値: 最小値:

《グリーン購入等の推進》

事業所調査結果

【図表 グリーン購入の実施や再生紙・再生品の使用(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		58.1	52.5	-5.6 ↓	26.3	43.5	17.2 ↑
業種	建設業	58.8	81.8	23.0 ↑	35.3	18.2	-17.1 ↓
	製造業	61.4	53.0	-8.4 ↓	28.1	43.9	15.8 ↑
	運輸業、郵便業	56.3	52.4	-3.9 ↓	25.0	42.9	17.9 ↑
	卸売業、小売業	51.7	61.9	10.2 ↑	34.5	33.3	-1.2 ↓
	医療、福祉	58.8	43.2	-15.6 ↓	21.6	54.5	32.9 ↑
	サービス業	45.5	39.1	-6.4 ↓	22.7	52.2	29.5 ↑
	その他	66.7	75.0	8.3 ↑	11.1	25.0	13.9 ↑
従業員数	29人以下	44.4	42.9	-1.5 ↓	27.8	50.0	22.2 ↑
	30～49人	60.0	45.8	-14.2 ↓	25.9	47.2	21.3 ↑
	50～99人	54.2	44.4	-9.8 ↓	29.2	51.4	22.2 ↑
	100～199人	61.1	55.6	-5.5 ↓	22.2	44.4	22.2 ↑
	200～299人	56.3	72.7	16.5 ↑	37.5	27.3	-10.2 ↓

最大値: 最小値:

【図表 岡山エコ事業所の認定を受けている(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		4.2	3.1	-1.1 ↓	89.4	96.0	6.6 ↑
業種	建設業	11.8	0.0	-11.8 ↓	82.4	100.0	17.6 ↑
	製造業	1.8	4.5	2.7 ↑	91.2	95.5	4.3 ↑
	運輸業、郵便業	6.3	0.0	-6.3 ↓	87.5	100.0	12.5 ↑
	卸売業、小売業	10.3	19.0	8.7 ↑	86.2	76.2	-10.0 ↓
	医療、福祉	2.0	0.0	-2.0 ↓	96.1	100.0	3.9 ↑
	サービス業	4.5	0.0	-4.5 ↓	86.4	95.7	9.3 ↑
	その他	5.6	0.0	-5.6 ↓	88.9	100.0	11.1 ↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0 →	72.2	92.9	20.7 ↑
	30～49人	2.4	0.0	-2.4 ↓	94.1	98.6	4.5 ↑
	50～99人	5.6	4.2	-1.4 ↓	88.9	95.8	6.9 ↑
	100～199人	2.8	3.7	0.9 ↑	88.9	96.3	7.4 ↑
	200～299人	6.3	0.0	-6.3 ↓	93.8	100.0	6.3 ↑

最大値: 最小値:

《廃棄物の適正処理の推進》

県民調査結果

【図表 ポイ捨てなどのごみの散乱(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		29.0	35.8	6.8 ↑	33.5	20.4	-13.1 ↓
年齢	20～29歳	25.0	35.0	10.0 ↑	19.4	18.0	-1.4 ↓
	30～39歳	23.9	26.6	2.7 ↑	28.3	16.9	-11.4 ↓
	40～49歳	24.5	43.7	19.2 ↑	34.9	13.5	-21.4 ↓
	50～59歳	25.1	37.4	12.3 ↑	37.3	20.0	-17.3 ↓
	60～69歳	32.1	34.6	2.5 ↑	38.1	24.5	-13.6 ↓
	70歳以上	39.8	34.4	-5.4 ↓	30.7	23.3	-7.4 ↓
地域	備前県民局	30.4	33.2	2.8 ↑	35.0	19.7	-15.3 ↓
	東備地域事務所	27.6	33.8	6.2 ↑	32.7	16.9	-15.8 ↓
	備中県民局	29.2	34.8	5.6 ↑	14.6	24.7	10.1 ↑
	井笠地域事務所	30.4	39.4	9.0 ↑	36.6	17.3	-19.3 ↓
	高梁地域事務所	34.5	47.8	13.3 ↑	27.6	13.0	-14.6 ↓
	新見地域事務所	34.6	47.8	13.2 ↑	26.9	4.3	-22.6 ↓
	美作県民局	27.8	43.7	15.9 ↑	33.3	25.3	-8.0 ↓
	真庭地域事務所	23.7	34.6	10.9 ↑	39.5	11.5	-28.0 ↓
	勝央地域事務所	18.4	45.7	27.3 ↑	39.5	14.3	-25.2 ↓

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 電子マニフェストを使用している(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		5.5	10.3	4.8 ↑	86.0	88.3	2.3 ↑
業種	建設業	11.8	18.2	6.4 ↑	82.4	81.8	-0.6 ↓
	製造業	7.0	19.7	12.7 ↑	82.5	78.8	-3.7 ↓
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0 →	93.8	100.0	6.3 ↑
	卸売業、小売業	3.4	0.0	-3.4 ↓	89.7	95.2	5.5 ↑
	医療、福祉	3.9	4.5	0.6 ↑	94.1	95.5	1.4 ↑
	サービス業	4.5	4.3	-0.2 ↓	81.8	91.3	9.5 ↑
	その他	16.7	25.0	8.3 ↑	72.2	75.0	2.8 ↑
従業員数	29人以下	0.0	7.1	7.1 ↑	72.2	85.7	13.5 ↑
	30～49人	5.9	8.3	2.4 ↑	88.2	90.3	2.1 ↑
	50～99人	4.2	6.9	2.7 ↑	88.9	93.1	4.2 ↑
	100～199人	8.3	11.1	2.8 ↑	80.6	88.9	8.3 ↑
	200～299人	6.3	36.4	30.2 ↑	87.5	63.6	-23.9 ↓

最大値: 最小値:

3 安全な生活環境の確保

「3 安全な生活環境の確保」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号
大気環境の 保全	認識	県民調査	・空気のきれいさ ・においに関する問題	問1(4) 問1(5)
	取組状況	事業所調査	・窒素酸化物などの大気汚染物質および、 有機物などの水質汚濁物質の排出抑制	問13(34)
水環境の 保全	認識	県民調査	・川や湖、海のきれいさ	問1(6)
	取組状況	県民調査	・児島湖流域などでの大規模な清掃活動、 クリーンキャンペーン	問7(6)
騒音・振動 の防止	認識	県民調査	・まわりの音や静けさ ・交通や工事、工場などによる地盤振動	問1(7) 問1(8)
	取組状況	事業所調査	・騒音、振動、悪臭の低減	問13(33)
有害物質 対策	認識	県民調査	・(関心があるもの)有害な化学物質(PCB、ダイオ キシン類など)による環境の汚染	問4(9)

《大気環境の保全》

県民調査結果

【図表 空気のきれいさ(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		11.5	14.3	2.8 ↑	25.0	27.4	2.4 ↑
年齢	20～29歳	11.1	5.0	-6.1 ↓	22.2	32.0	9.8 ↑
	30～39歳	4.4	12.1	7.7 ↑	28.3	28.2	-0.1 ↓
	40～49歳	8.3	8.4	0.1 ↑	30.3	35.3	5.0 ↑
	50～59歳	9.0	13.2	4.2 ↑	25.8	27.7	1.9 ↑
	60～69歳	14.2	15.4	1.2 ↑	22.2	29.2	7.0 ↑
	70歳以上	20.3	21.3	1.0 ↑	20.7	19.0	-1.7 ↓
地域	備前県民局	10.1	12.5	2.4 ↑	26.8	26.5	-0.3 ↓
	東備地域事務所	9.8	25.4	15.6 ↑	26.1	26.8	0.7 ↑
	備中県民局	14.6	12.5	-2.1 ↓	22.9	34.8	11.9 ↑
	井笠地域事務所	17.9	15.7	-2.2 ↓	25.9	26.0	0.1 ↑
	高梁地域事務所	13.8	21.7	7.9 ↑	13.8	4.3	-9.5 ↓
	新見地域事務所	19.2	21.7	2.5 ↑	11.5	13.0	1.5 ↑
	美作県民局	15.6	13.8	-1.8 ↓	23.3	24.1	0.8 ↑
	真庭地域事務所	13.2	7.7	-5.5 ↓	15.8	11.5	-4.3 ↓
	勝央地域事務所	7.9	31.4	23.5 ↑	18.4	11.4	-7.0 ↓

最大値: 最小値:

【図表 においに関する問題(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		13.3	17.2	3.9 ↑	18.2	13.4	-4.8 ↓
年齢	20～29歳	9.7	8.0	-1.7 ↓	25.0	13.0	-12.0 ↓
	30～39歳	10.2	11.3	1.1 ↑	19.5	12.1	-7.4 ↓
	40～49歳	9.5	12.6	3.1 ↑	20.3	15.3	-5.0 ↓
	50～59歳	10.4	16.2	5.8 ↑	15.8	15.7	-0.1 ↓
	60～69歳	16.2	18.9	2.7 ↑	16.9	13.8	-3.1 ↓
	70歳以上	20.7	23.9	3.2 ↑	17.4	10.8	-6.6 ↓
地域	備前県民局	12.1	15.4	3.3 ↑	20.1	12.5	-7.6 ↓
	東備地域事務所	12.3	15.5	3.2 ↑	18.3	14.1	-4.2 ↓
	備中県民局	18.8	15.6	-3.2 ↓	14.6	16.4	1.8 ↑
	井笠地域事務所	14.3	25.2	10.9 ↑	17.9	12.6	-5.3 ↓
	高梁地域事務所	20.7	26.1	5.4 ↑	20.7	4.3	-16.4 ↓
	新見地域事務所	7.7	26.1	18.4 ↑	11.5	8.7	-2.8 ↓
	美作県民局	14.4	14.9	0.5 ↑	15.6	13.8	-1.8 ↓
	真庭地域事務所	18.4	19.2	0.8 ↑	13.2	7.7	-5.5 ↓
	勝央地域事務所	23.7	28.6	4.9 ↑	7.9	8.6	0.7 ↑

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 窒素酸化物などの大気汚染物質および、有機物などの水質汚濁物質の排出抑制(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		27.1	44.8	17.7 ↑	22.0	50.7	28.7 ↑
業種	建設業	52.9	45.5	-7.4 ↓	23.5	54.5	31.0 ↑
	製造業	43.9	72.7	28.8 ↑	22.8	27.3	4.5 ↑
	運輸業、郵便業	50.0	38.1	-11.9 ↓	18.8	47.6	28.9 ↑
	卸売業、小売業	24.1	47.6	23.5 ↑	24.1	47.6	23.5 ↑
	医療、福祉	11.8	13.6	1.8 ↑	13.7	81.8	68.1 ↑
	サービス業	9.1	30.4	21.3 ↑	22.7	60.9	38.2 ↑
	その他	16.7	100.0	83.3 ↑	27.8	0.0	-27.8 ↓
従業員数	29人以下	22.2	35.7	13.5 ↑	38.9	50.0	11.1 ↑
	30～49人	27.1	40.3	13.2 ↑	23.5	54.2	30.7 ↑
	50～99人	25.0	37.5	12.5 ↑	22.2	58.3	36.1 ↑
	100～199人	22.2	59.3	37.1 ↑	19.4	40.7	21.3 ↑
	200～299人	43.8	72.7	29.0 ↑	12.5	27.3	14.8 ↑

最大値: 最小値:

《水環境の保全》

県民調査結果

【図表 川や湖、海のきれいさ(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		23.4	24.7	1.3 ↑	32.0	25.5	-6.5 ↓
年齢	20～29歳	11.1	13.0	1.9 ↑	37.5	32.0	-5.5 ↓
	30～39歳	16.1	17.7	1.6 ↑	35.1	31.5	-3.6 ↓
	40～49歳	16.2	21.4	5.2 ↑	37.8	27.9	-9.9 ↓
	50～59歳	20.8	23.4	2.6 ↑	29.0	27.7	-1.3 ↓
	60～69歳	31.1	30.8	-0.3 ↓	33.4	24.5	-8.9 ↓
	70歳以上	34.0	28.0	-6.0 ↓	23.7	19.5	-4.2 ↓
	地域	備前県民局	22.6	23.7	1.1 ↑	30.9	25.3
東備地域事務所		23.9	28.2	4.3 ↑	28.6	29.6	1.0 ↑
備中県民局		25.0	23.6	-1.4 ↓	37.5	28.1	-9.4 ↓
井笠地域事務所		29.5	25.2	-4.3 ↓	36.6	28.3	-8.3 ↓
高梁地域事務所		10.3	21.7	11.4 ↑	34.5	17.4	-17.1 ↓
新見地域事務所		23.1	43.5	20.4 ↑	46.2	13.0	-33.2 ↓
美作県民局		21.1	21.8	0.7 ↑	41.1	17.2	-23.9 ↓
真庭地域事務所		18.4	30.8	12.4 ↑	50.0	19.2	-30.8 ↓
勝央地域事務所		31.6	37.1	5.5 ↑	13.2	22.9	9.7 ↑

最大値: 最小値:

【図表 児島湖流域などでの大規模な清掃活動、クリーンキャンペーン(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		6.8	6.7	-0.1 ↓
年齢	20～29歳	4.2	5.0	0.8 ↑
	30～39歳	4.9	2.4	-2.5 ↓
	40～49歳	9.5	5.6	-3.9 ↓
	50～59歳	7.2	9.4	2.2 ↑
	60～69歳	6.3	7.5	1.2 ↑
	70歳以上	6.2	7.0	0.8 ↑
	地域	備前県民局	8.5	7.7
東備地域事務所		8.0	2.8	-5.2 ↓
備中県民局		6.3	8.8	2.6 ↑
井笠地域事務所		2.7	4.7	2.0 ↑
高梁地域事務所		6.9	0.0	-6.9 ↓
新見地域事務所		3.8	4.3	0.5 ↑
美作県民局		1.1	2.3	1.2 ↑
真庭地域事務所		0.0	0.0	0.0 →
勝央地域事務所		2.6	5.7	3.1 ↑

最大値: 最小値:

《騒音・振動の防止》

県民調査結果

【図表 まわりの音や静けさ(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		11.6	14.5	2.9 ↑	28.5	21.6	-6.9 ↓
年齢	20～29歳	8.3	12.0	3.7 ↑	36.1	29.0	-7.1 ↓
	30～39歳	9.8	8.9	-0.9 ↓	27.8	21.8	-6.0 ↓
	40～49歳	9.5	10.2	0.7 ↑	31.5	23.7	-7.8 ↓
	50～59歳	10.0	11.1	1.1 ↑	25.8	24.3	-1.5 ↓
	60～69歳	11.3	16.0	4.7 ↑	30.8	20.1	-10.7 ↓
	70歳以上	18.7	21.0	2.3 ↑	23.7	17.5	-6.2 ↓
地域	備前県民局	11.9	14.2	2.3 ↑	29.0	24.6	-4.4 ↓
	東備地域事務所	10.1	21.1	11.0 ↑	30.4	26.8	-3.6 ↓
	備中県民局	12.5	14.0	1.5 ↑	25.0	23.6	-1.4 ↓
	井笠地域事務所	13.4	13.4	0.0 →	31.3	15.7	-15.6 ↓
	高梁地域事務所	13.8	4.3	-9.5 ↓	24.1	4.3	-19.8 ↓
	新見地域事務所	11.5	21.7	10.2 ↑	11.5	0.0	-11.5 ↓
	美作県民局	13.3	12.6	-0.7 ↓	22.2	10.3	-11.9 ↓
	真庭地域事務所	10.5	19.2	8.7 ↑	31.6	15.4	-16.2 ↓
	勝央地域事務所	13.2	20.0	6.8 ↑	23.7	20.0	-3.7 ↓

最大値: 最小値:

【図表 交通や工事、工場などによる地盤振動(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		9.7	12.4	2.7 ↑	19.1	14.6	-4.5 ↓
年齢	20～29歳	9.7	10.0	0.3 ↑	12.5	16.0	3.5 ↑
	30～39歳	8.3	9.7	1.4 ↑	16.1	12.1	-4.0 ↓
	40～49歳	5.0	7.9	2.9 ↑	23.7	12.6	-11.1 ↓
	50～59歳	8.2	8.9	0.7 ↑	20.1	14.5	-5.6 ↓
	60～69歳	8.6	15.1	6.5 ↑	20.9	16.7	-4.2 ↓
	70歳以上	18.7	16.9	-1.8 ↓	15.8	14.6	-1.2 ↓
地域	備前県民局	9.6	12.0	2.4 ↑	21.7	17.9	-3.8 ↓
	東備地域事務所	8.5	12.7	4.2 ↑	21.1	14.1	-7.0 ↓
	備中県民局	10.4	11.7	1.3 ↑	8.3	14.8	6.5 ↑
	井笠地域事務所	11.6	16.5	4.9 ↑	20.5	13.4	-7.1 ↓
	高梁地域事務所	6.9	8.7	1.8 ↑	13.8	0.0	-13.8 ↓
	新見地域事務所	11.5	8.7	-2.8 ↓	3.8	0.0	-3.8 ↓
	美作県民局	11.1	13.8	2.7 ↑	10.0	3.4	-6.6 ↓
	真庭地域事務所	5.3	7.7	2.4 ↑	18.4	11.5	-6.9 ↓
	勝央地域事務所	18.4	17.1	-1.3 ↓	5.3	14.3	9.0 ↑

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 騒音、振動、悪臭の低減(属性別)】

項目		実施している			実施していない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		49.2	57.4	8.2 ↑	18.6	39.0	20.4 ↑
業種	建設業	76.5	54.5	-22.0 ↓	17.6	45.5	27.9 ↑
	製造業	75.4	77.3	1.9 ↑	17.5	22.7	5.2 ↑
	運輸業、郵便業	62.5	66.7	4.2 ↑	12.5	23.8	11.3 ↑
	卸売業、小売業	55.2	71.4	16.2 ↑	24.1	23.8	-0.3 ↓
	医療、福祉	23.5	27.3	3.8 ↑	13.7	70.5	56.8 ↑
	サービス業	27.3	43.5	16.2 ↑	18.2	47.8	29.6 ↑
	その他	27.8	100.0	72.2 ↑	27.8	0.0	-27.8 ↓
従業員数	29人以下	27.8	50.0	22.2 ↑	33.3	35.7	2.4 ↑
	30～49人	51.8	50.0	-1.8 ↓	18.8	44.4	25.6 ↑
	50～99人	47.2	51.4	4.2 ↑	22.2	45.8	23.6 ↑
	100～199人	47.2	70.4	23.2 ↑	13.9	29.6	15.7 ↑
	200～299人	68.8	63.6	-5.2 ↓	6.3	36.4	30.2 ↑

最大値: 最小値:

《有害物質対策》

県民調査結果

【図表 有害な化学物質(PCBダイオキシン類など)による環境の汚染(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		22.7	18.9	-3.8	↓
年齢	20～29歳	20.8	16.0	-4.8	↓
	30～39歳	19.0	13.7	-5.3	↓
	40～49歳	19.9	19.1	-0.8	↓
	50～59歳	23.7	14.9	-8.8	↓
	60～69歳	22.5	16.7	-5.8	↓
	70歳以上	27.4	26.2	-1.2	↓
地域	備前県民局	20.8	17.7	-3.1	↓
	東備地域事務所	21.9	25.4	3.5	↑
	備中県民局	29.2	20.3	-8.9	↓
	井笠地域事務所	28.6	23.6	-5.0	↓
	高梁地域事務所	24.1	34.8	10.7	↑
	新見地域事務所	26.9	13.0	-13.9	↓
	美作県民局	26.7	11.5	-15.2	↓
	真庭地域事務所	23.7	7.7	-16.0	↓
	勝央地域事務所	18.4	11.4	-7.0	↓

最大値: 最小値:

4 自然と共生した社会の形成

「4 自然と共生した社会の形成」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号
生物多様性の確保	認識	県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥や昆虫、魚などの生き物の豊富さ ・県内に生息する動植物に関する情報 ・外来生物に関する情報 	問1(11) 問10(16) 問10(17)
	取組状況	県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物を飼育する場合には、最後まで責任を持って世話をする 	問2(20)
水とみどりの潤い空間の保全と創出	認識	県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・森林や公園などの緑 	問1(12)
	取組状況	県民調査	<ul style="list-style-type: none"> ・庭やベランダに花や木を植える ・この1年間に、緑の募金に募金した 	問2(22) 問14(8)
		事業所調査	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の募金への協力 	問17(10)

《生物多様性の確保》

県民調査結果

【図表 鳥や昆虫、魚などの生き物の豊富さ(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		8.0	12.3	4.3 ↑	52.5	37.1	-15.4 ↓
年齢	20～29歳	4.2	9.0	4.8 ↑	48.6	39.0	-9.6 ↓
	30～39歳	6.8	8.9	2.1 ↑	55.1	43.5	-11.6 ↓
	40～49歳	8.3	7.9	-0.4 ↓	52.7	44.7	-8.0 ↓
	50～59歳	7.2	9.4	2.2 ↑	54.5	41.7	-12.8 ↓
	60～69歳	9.6	15.4	5.8 ↑	48.0	32.4	-15.6 ↓
	70歳以上	9.1	16.3	7.2 ↑	54.8	30.6	-24.2 ↓
地域	備前県民局	6.9	11.3	4.4 ↑	52.0	36.2	-15.8 ↓
	東備地域事務所	8.0	21.1	13.1 ↑	50.3	35.2	-15.1 ↓
	備中県民局	16.7	11.7	-5.0 ↓	47.9	37.1	-10.8 ↓
	井笠地域事務所	8.9	12.6	3.7 ↑	67.0	44.1	-22.9 ↓
	高梁地域事務所	3.4	13.0	9.6 ↑	48.3	26.1	-22.2 ↓
	新見地域事務所	19.2	17.4	-1.8 ↓	34.6	26.1	-8.5 ↓
	美作県民局	4.4	11.5	7.1 ↑	54.4	34.5	-19.9 ↓
	真庭地域事務所	5.3	11.5	6.2 ↑	55.3	46.2	-9.1 ↓
勝央地域事務所	18.4	14.3	-4.1 ↓	55.3	42.9	-12.4 ↓	

最大値: 最小値:

【図表 県内に生息する動植物に関する情報(属性別)】

項目		関心あり			関心なし		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		46.8	45.1	-1.7 ↓	44.5	47.9	3.4 ↑
年齢	20～29歳	54.2	40.0	-14.2 ↓	43.1	57.0	13.9 ↑
	30～39歳	48.3	47.6	-0.7 ↓	50.2	49.2	-1.0 ↓
	40～49歳	44.4	47.4	3.0 ↑	51.5	50.7	-0.8 ↓
	50～59歳	46.2	43.4	-2.8 ↓	49.5	53.2	3.7 ↑
	60～69歳	51.0	47.5	-3.5 ↓	38.7	46.2	7.5 ↑
	70歳以上	41.5	43.1	1.6 ↑	34.0	40.8	6.8 ↑
地域	備前県民局	47.6	47.8	0.2 ↑	44.0	46.1	2.1 ↑
	東備地域事務所	44.7	46.5	1.8 ↑	47.0	45.1	-1.9 ↓
	備中県民局	39.6	41.6	2.0 ↑	50.0	51.9	1.9 ↑
	井笠地域事務所	50.0	41.7	-8.3 ↓	40.2	48.8	8.6 ↑
	高梁地域事務所	34.5	21.7	-12.8 ↓	48.3	73.9	25.6 ↑
	新見地域事務所	57.7	30.4	-27.3 ↓	34.6	52.2	17.6 ↑
	美作県民局	45.6	54.0	8.4 ↑	47.8	39.1	-8.7 ↓
	真庭地域事務所	50.0	50.0	0.0 →	34.2	38.5	4.3 ↑
勝央地域事務所	57.9	48.6	-9.3 ↓	36.8	42.9	6.1 ↑	

最大値: 最小値:

【図表 外来生物に関する情報(属性別)】

項目		関心あり			関心なし		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		50.7	51.3	0.6 ↑	40.8	42.0	1.2 ↑
年齢	20～29歳	52.8	40.0	-12.8 ↓	44.4	58.0	13.6 ↑
	30～39歳	48.3	49.2	0.9 ↑	50.2	48.4	-1.8 ↓
	40～49歳	49.4	54.4	5.0 ↑	47.3	43.3	-4.0 ↓
	50～59歳	52.7	50.2	-2.5 ↓	43.7	46.4	2.7 ↑
	60～69歳	58.6	54.1	-4.5 ↓	31.5	39.9	8.4 ↑
	70歳以上	41.5	51.6	10.1 ↑	32.8	33.2	0.4 ↑
	地域	備前県民局	51.2	52.7	1.5 ↑	40.5	41.9
東備地域事務所		47.5	54.9	7.4 ↑	44.5	38.0	-6.5 ↓
備中県民局		50.0	48.3	-1.7 ↓	39.6	44.9	5.3 ↑
井笠地域事務所		50.0	51.2	1.2 ↑	39.3	38.6	-0.7 ↓
高梁地域事務所		41.4	30.4	-11.0 ↓	44.8	65.2	20.4 ↑
新見地域事務所		73.1	39.1	-34.0 ↓	23.1	43.5	20.4 ↑
美作県民局		54.4	62.1	7.7 ↑	38.9	32.2	-6.7 ↓
真庭地域事務所		57.9	50.0	-7.9 ↓	26.3	38.5	12.2 ↑
勝央地域事務所		55.3	51.4	-3.9 ↓	39.5	42.9	3.4 ↑

最大値: 最小値:

【図表 動植物を飼育する場合には、最後まで責任を持って世話をする(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		89.7	89.0	-0.7 ↓	2.9	4.1	1.2 ↑
年齢	20～29歳	84.7	97.0	12.3 ↑	8.3	2.0	-6.3 ↓
	30～39歳	92.2	89.5	-2.7 ↓	4.4	8.9	4.5 ↑
	40～49歳	90.5	91.6	1.1 ↑	1.7	6.5	4.8 ↑
	50～59歳	95.0	92.8	-2.2 ↓	1.4	3.4	2.0 ↑
	60～69歳	90.4	87.7	-2.7 ↓	2.6	3.1	0.5 ↑
	70歳以上	81.3	83.4	2.1 ↑	3.3	2.9	-0.4 ↓
	地域	備前県民局	90.2	89.6	-0.6 ↓	2.7	4.8
東備地域事務所		89.7	90.1	0.4 ↑	1.8	0.0	-1.8 ↓
備中県民局		85.4	87.0	1.6 ↑	4.2	4.4	0.2 ↑
井笠地域事務所		92.0	89.8	-2.2 ↓	3.6	3.1	-0.5 ↓
高梁地域事務所		75.9	91.3	15.4 ↑	10.3	0.0	-10.3 ↓
新見地域事務所		100.0	91.3	-8.7 ↓	0.0	0.0	0.0 →
美作県民局		92.2	89.7	-2.5 ↓	3.3	5.7	2.4 ↑
真庭地域事務所		78.9	92.3	13.4 ↑	7.9	0.0	-7.9 ↓
勝央地域事務所		89.5	88.6	-0.9 ↓	5.3	5.7	0.4 ↑

最大値: 最小値:

《水とみどりの潤い空間の保全と創出》

県民調査結果

【図表 森林や公園などの緑(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		17.2	20.7	3.5 ↑	23.7	18.4	-5.3 ↓
年齢	20～29歳	15.3	19.0	3.7 ↑	26.4	26.0	-0.4 ↓
	30～39歳	15.6	18.5	2.9 ↑	25.4	23.4	-2.0 ↓
	40～49歳	13.3	13.5	0.2 ↑	27.8	24.2	-3.6 ↓
	50～59歳	11.1	16.2	5.1 ↑	24.0	22.1	-1.9 ↓
	60～69歳	19.2	24.2	5.0 ↑	22.8	14.8	-8.0 ↓
	70歳以上	27.4	26.5	-0.9 ↓	17.8	11.4	-6.4 ↓
	地域	備前県民局	17.8	21.9	4.1 ↑	25.6	16.7
東備地域事務所		16.6	21.1	4.5 ↑	20.4	19.7	-0.7 ↓
備中県民局		27.1	21.3	-5.8 ↓	16.7	18.7	2.0 ↑
井笠地域事務所		19.6	19.7	0.1 ↑	32.1	21.3	-10.8 ↓
高梁地域事務所		10.3	8.7	-1.6 ↓	20.7	30.4	9.7 ↑
新見地域事務所		26.9	34.8	7.9 ↑	7.7	4.3	-3.4 ↓
美作県民局		15.6	12.6	-3.0 ↓	27.8	27.6	-0.2 ↓
真庭地域事務所		2.6	11.5	8.9 ↑	21.1	15.4	-5.7 ↓
勝央地域事務所		13.2	25.7	12.5 ↑	21.1	8.6	-12.5 ↓

最大値: 最小値:

【図表 庭やベランダに花や木を植える(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		84.6	84.1	-0.5 ↓	12.7	13.7	1.0 ↑
年齢	20～29歳	63.9	62.0	-1.9 ↓	27.8	38.0	10.2 ↑
	30～39歳	69.3	66.1	-3.2 ↓	29.8	32.3	2.5 ↑
	40～49歳	78.8	79.1	0.3 ↑	17.4	20.5	3.1 ↑
	50～59歳	88.2	86.4	-1.8 ↓	10.4	12.8	2.4 ↑
	60～69歳	94.7	93.1	-1.6 ↓	2.6	5.3	2.7 ↑
	70歳以上	92.5	90.4	-2.1 ↓	4.1	4.1	0.0 →
	地域	備前県民局	82.9	81.7	-1.2 ↓	14.4	16.7
東備地域事務所		85.7	85.9	0.2 ↑	11.6	12.7	1.1 ↑
備中県民局		85.4	84.4	-1.0 ↓	12.5	12.2	-0.3 ↓
井笠地域事務所		87.5	91.3	3.8 ↑	11.6	8.7	-2.9 ↓
高梁地域事務所		82.8	87.0	4.2 ↑	10.3	8.7	-1.6 ↓
新見地域事務所		96.2	73.9	-22.3 ↓	3.8	17.4	13.6 ↑
美作県民局		82.2	83.9	1.7 ↑	15.6	14.9	-0.7 ↓
真庭地域事務所		76.3	88.5	12.2 ↑	10.5	7.7	-2.8 ↓
勝央地域事務所		94.7	91.4	-3.3 ↓	5.3	5.7	0.4 ↑

最大値: 最小値:

【図表 この1年間に、緑の募金に募金した(属性別)】

項目		はい			いいえ			
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		37.2	17.2	-20.0 ↓	50.6	77.6	27.0 ↑	
年齢	20～29歳	20.8	19.0	-1.8 ↓	73.6	78.0	4.4 ↑	
	30～39歳	27.8	10.5	-17.3 ↓	67.3	86.3	19.0 ↑	
	40～49歳	32.4	15.3	-17.1 ↓	60.6	84.2	23.6 ↑	
	50～59歳	38.4	18.7	-19.7 ↓	53.0	80.0	27.0 ↑	
	60～69歳	44.4	22.0	-22.4 ↓	40.7	73.6	32.9 ↑	
	70歳以上	44.4	14.9	-29.5 ↓	29.5	72.3	42.8 ↑	
地域	備前県民局	33.7	14.9	-18.8 ↓	53.3	80.3	27.0 ↑	
	東備地域事務所	40.7	21.1	-19.6 ↓	48.7	73.2	24.5 ↑	
	備中県民局	45.8	18.2	-27.6 ↓	41.7	76.9	35.2 ↑	
	井笠地域事務所	31.3	15.0	-16.3 ↓	54.5	78.0	23.5 ↑	
	高梁地域事務所	65.5	30.4	-35.1 ↓	17.2	69.6	52.4 ↑	
	新見地域事務所	34.6	13.0	-21.6 ↓	53.8	73.9	20.1 ↑	
	美作県民局	30.0	19.5	-10.5 ↓	58.9	74.7	15.8 ↑	
	真庭地域事務所	57.9	26.9	-31.0 ↓	31.6	69.2	37.6 ↑	
	勝央地域事務所	34.2	25.7	-8.5 ↓	52.6	71.4	18.8 ↑	

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 緑の募金への協力(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		13.3	9.5	-3.8	↓
業種	建設業	10.0	0.0	-10.0	↓
	製造業	15.2	3.8	-11.4	↓
	運輸業、郵便業	20.0	0.0	-20.0	↓
	卸売業、小売業	16.7	7.1	-9.6	↓
	医療、福祉	6.9	15.0	8.1	↑
	サービス業	20.0	7.7	-12.3	↓
	その他	8.3	0.0	-8.3	↓
従業員数	29人以下	28.6	0.0	-28.6	↓
	30～49人	4.7	9.8	5.1	↑
	50～99人	15.4	12.8	-2.6	↓
	100～199人	13.6	4.3	-9.3	↓
	200～299人	30.0	12.5	-17.5	↓

最大値: 最小値:

5 参加と協働による快適な環境の保全

「5 参加と協働による快適な環境の保全」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号
協働による 環境保全活 動の促進	認識	県民調査	・環境保全活動には、積極的に参加すべきだ	問3(3)
			・環境問題を解決する上で、地域の団体や環境保護団体などの民間団体が果たす役割は重要だ	問3(4)
	取組状況	県民調査	・民間団体や行政が開催する環境保全活動に参加する	問2(25)
・この1年間に、おかやまアダプトに参加した			問14(7)	
環境学習の 充実	認識	県民調査	・次世代を担う子どもたちには、環境保全に関する教育が必要だ	問3(15)
			取組状況	県民調査
	・自然観察会や自然体験教室	問7(2)		
取組状況	事業所調査	・環境保全やエコロジー(生態学)をテーマとするツアー	問7(3)	
		・地域住民、学校などからの施設見学の受入れ	問17(6)	
景観の 保全と創造	認識	県民調査	・まち並みなどの景観	問1(13)
	取組状況	事業所調査	・事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加	問17(2)
快適な生活 環境の保全	認識	県民調査	・落書きがないなど、まちの快適さ	問1(14)
	取組状況	県民調査	・夜に星が見える状況	問1(15)
	取組状況	県民調査	・地域の美化や落書き消去などのボランティア活動	問7(7)

《協働による環境保全活動の促進》

県民調査結果

【図表 環境保全活動には、積極的に参加すべきだ(属性別)】

項目		思う			思わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		83.5	84.2	0.7 ↑	12.8	13.6	0.8 ↑
年齢	20～29歳	73.6	82.0	8.4 ↑	19.4	18.0	-1.4 ↓
	30～39歳	80.0	79.8	-0.2 ↓	18.5	20.2	1.7 ↑
	40～49歳	81.3	80.0	-1.3 ↓	14.5	19.5	5.0 ↑
	50～59歳	86.4	86.0	-0.4 ↓	12.2	13.6	1.4 ↑
	60～69歳	86.8	88.7	1.9 ↑	9.9	9.4	-0.5 ↓
	70歳以上	84.6	83.7	-0.9 ↓	8.3	9.9	1.6 ↑
地域	備前県民局	84.9	84.2	-0.7 ↓	12.6	14.2	1.6 ↑
	東備地域事務所	81.9	83.1	1.2 ↑	14.3	11.3	-3.0 ↓
	備中県民局	89.6	85.2	-4.4 ↓	8.3	12.2	3.9 ↑
	井笠地域事務所	85.7	85.0	-0.7 ↓	8.9	13.4	4.5 ↑
	高梁地域事務所	72.4	73.9	1.5 ↑	20.7	17.4	-3.3 ↓
	新見地域事務所	92.3	69.6	-22.7 ↓	3.8	21.7	17.9 ↑
	美作県民局	78.9	82.8	3.9 ↑	14.4	16.1	1.7 ↑
	真庭地域事務所	78.9	96.2	17.3 ↑	10.5	3.8	-6.7 ↓
勝央地域事務所	84.2	82.9	-1.3 ↓	15.8	17.1	1.3 ↑	

最大値: 最小値:

【図表 環境問題を解決する上で、地域の団体や環境保護団体などの
民間団体が果たす役割は重要だ(属性別)】

項目		思う			思わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		88.4	89.7	1.3 ↑	8.3	7.9	-0.4 ↓
年齢	20～29歳	80.6	87.0	6.4 ↑	12.5	13.0	0.5 ↑
	30～39歳	87.8	89.5	1.7 ↑	11.2	10.5	-0.7 ↓
	40～49歳	84.6	89.3	4.7 ↑	11.6	10.2	-1.4 ↓
	50～59歳	92.1	92.3	0.2 ↑	6.8	7.7	0.9 ↑
	60～69歳	87.7	91.5	3.8 ↑	7.6	6.0	-1.6 ↓
	70歳以上	91.3	87.2	-4.1 ↓	4.1	5.8	1.7 ↑
地域	備前県民局	90.2	91.2	1.0 ↑	7.3	6.8	-0.5 ↓
	東備地域事務所	86.2	85.9	-0.3 ↓	9.8	9.9	0.1 ↑
	備中県民局	93.8	89.1	-4.7 ↓	4.2	7.8	3.6 ↑
	井笠地域事務所	90.2	91.3	1.1 ↑	7.1	7.1	0.0 →
	高梁地域事務所	86.2	82.6	-3.6 ↓	3.4	13.0	9.6 ↑
	新見地域事務所	96.2	82.6	-13.6 ↓	3.8	8.7	4.9 ↑
	美作県民局	83.3	86.2	2.9 ↑	13.3	11.5	-1.8 ↓
	真庭地域事務所	78.9	84.6	5.7 ↑	10.5	15.4	4.9 ↑
勝央地域事務所	89.5	94.3	4.8 ↑	10.5	5.7	-4.8 ↓	

最大値: 最小値:

【図表 民間団体や行政が主催する環境保全活動に参加する(属性別)】

項目		行う			行わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		40.8	38.7	-2.1 ↓	55.9	59.3	3.4 ↑
年齢	20～29歳	15.3	23.0	7.7 ↑	77.8	77.0	-0.8 ↓
	30～39歳	23.9	28.2	4.3 ↑	75.6	71.8	-3.8 ↓
	40～49歳	31.5	24.2	-7.3 ↓	64.7	75.3	10.6 ↑
	50～59歳	36.6	33.2	-3.4 ↓	61.6	66.0	4.4 ↑
	60～69歳	52.3	46.2	-6.1 ↓	44.4	52.2	7.8 ↑
	70歳以上	62.2	52.8	-9.4 ↓	31.5	41.7	10.2 ↑
	地域	備前県民局	36.8	29.6	-7.2 ↓	60.2	68.8
東備地域事務所		38.7	40.8	2.1 ↑	58.0	54.9	-3.1 ↓
備中県民局		33.3	41.8	8.5 ↑	60.4	56.1	-4.3 ↓
井笠地域事務所		53.6	44.1	-9.5 ↓	44.6	55.1	10.5 ↑
高梁地域事務所		37.9	39.1	1.2 ↑	55.2	52.2	-3.0 ↓
新見地域事務所		73.1	43.5	-29.6 ↓	26.9	52.2	25.3 ↑
美作県民局		45.6	56.3	10.7 ↑	51.1	41.4	-9.7 ↓
真庭地域事務所		50.0	46.2	-3.8 ↓	36.8	50.0	13.2 ↑
勝央地域事務所		52.6	71.4	18.8 ↑	47.4	28.6	-18.8 ↓

最大値: 最小値:

【図表 この1年間に、おかやまアダプトに参加した(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		4.0	5.0	1.0 ↑	79.0	89.2	10.2 ↑
年齢	20～29歳	1.4	2.0	0.6 ↑	87.5	95.0	7.5 ↑
	30～39歳	2.9	1.6	-1.3 ↓	90.7	94.4	3.7 ↑
	40～49歳	3.7	2.8	-0.9 ↓	88.0	96.3	8.3 ↑
	50～59歳	3.2	4.7	1.5 ↑	84.9	93.6	8.7 ↑
	60～69歳	5.6	7.5	1.9 ↑	72.8	87.7	14.9 ↑
	70歳以上	5.0	6.4	1.4 ↑	58.5	79.6	21.1 ↑
	地域	備前県民局	2.5	2.3	-0.2 ↓	81.2	92.1
東備地域事務所		2.3	9.9	7.6 ↑	81.4	83.1	1.7 ↑
備中県民局		0.0	3.4	3.4 ↑	83.3	91.2	7.9 ↑
井笠地域事務所		7.1	11.0	3.9 ↑	74.1	81.1	7.0 ↑
高梁地域事務所		6.9	4.3	-2.6 ↓	62.1	95.7	33.6 ↑
新見地域事務所		15.4	8.7	-6.7 ↓	69.2	78.3	9.1 ↑
美作県民局		5.6	11.5	5.9 ↑	77.8	82.8	5.0 ↑
真庭地域事務所		23.7	7.7	-16.0 ↓	55.3	84.6	29.3 ↑
勝央地域事務所		7.9	14.3	6.4 ↑	76.3	85.7	9.4 ↑

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 おかやまアダプトに参加している(属性別)】

項目		はい			いいえ		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		3.4	3.6	0.2 ↑	89.0	95.1	6.1 ↑
業種	建設業	5.9	18.2	12.3 ↑	88.2	81.8	-6.4 ↓
	製造業	3.5	6.1	2.6 ↑	89.5	92.4	2.9 ↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0 →	93.8	100.0	6.3 ↑
	卸売業、小売業	3.4	0.0	-3.4 ↓	89.7	95.2	5.5 ↑
	医療、福祉	2.0	0.0	-2.0 ↓	96.1	100.0	3.9 ↑
	サービス業	4.5	4.3	-0.2 ↓	81.8	91.3	9.5 ↑
	その他	5.6	0.0	-5.6 ↓	83.3	100.0	16.7 ↑
	従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0 →	72.2	92.9
30～49人		2.4	4.2	1.8 ↑	92.9	94.4	1.5 ↑
50～99人		2.8	2.8	0.0 →	90.3	97.2	6.9 ↑
100～199人		2.8	7.4	4.6 ↑	86.1	92.6	6.5 ↑
200～299人		12.5	0.0	-12.5 ↓	87.5	100.0	12.5 ↑

最大値: 最小値:

《環境学習の充実》

県民調査結果

【図表 次世代を担う子供たちには、環境保全に関する教育が必要だ(属性別)】

項目		思う			思わない		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		94.6	94.1	-0.5 ↓	2.4	3.6	1.2 ↑
年齢	20～29歳	90.3	95.0	4.7 ↑	2.8	5.0	2.2 ↑
	30～39歳	94.6	94.4	-0.2 ↓	3.4	5.6	2.2 ↑
	40～49歳	93.4	94.4	1.0 ↑	2.9	5.1	2.2 ↑
	50～59歳	96.4	95.3	-1.1 ↓	2.9	4.3	1.4 ↑
	60～69歳	95.0	95.3	0.3 ↑	1.7	2.2	0.5 ↑
	70歳以上	94.6	91.5	-3.1 ↓	1.2	2.3	1.1 ↑
地域	備前県民局	95.2	94.4	-0.8 ↓	2.1	3.6	1.5 ↑
	東備地域事務所	94.5	97.2	2.7 ↑	2.3	0.0	-2.3 ↓
	備中県民局	97.9	93.8	-4.1 ↓	2.1	3.9	1.8 ↑
	井笠地域事務所	93.8	92.1	-1.7 ↓	3.6	5.5	1.9 ↑
	高梁地域事務所	93.1	91.3	-1.8 ↓	3.4	4.3	0.9 ↑
	新見地域事務所	100.0	82.6	-17.4 ↓	0.0	8.7	8.7 ↑
	美作県民局	93.3	95.4	2.1 ↑	3.3	2.3	-1.0 ↓
	真庭地域事務所	81.6	96.2	14.6 ↑	5.3	3.8	-1.5 ↓
	勝央地域事務所	100.0	97.1	-2.9 ↓	0.0	0.0	0.0 →

最大値: 最小値:

【図表 環境保全に関するセミナー、講習会(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		12.4	13.1	0.7 ↑
年齢	20～29歳	6.9	8.0	1.1 ↑
	30～39歳	7.3	8.1	0.8 ↑
	40～49歳	11.2	10.2	-1.0 ↓
	50～59歳	11.1	13.2	2.1 ↑
	60～69歳	16.6	17.0	0.4 ↑
	70歳以上	16.2	14.6	-1.6 ↓
地域	備前県民局	11.7	11.5	-0.2 ↓
	東備地域事務所	12.6	12.7	0.1 ↑
	備中県民局	16.7	12.2	-4.5 ↓
	井笠地域事務所	10.7	18.9	8.2 ↑
	高梁地域事務所	6.9	4.3	-2.6 ↓
	新見地域事務所	11.5	8.7	-2.8 ↓
	美作県民局	12.2	23.0	10.8 ↑
	真庭地域事務所	23.7	3.8	-19.9 ↓
	勝央地域事務所	15.8	20.0	4.2 ↑

最大値: 最小値:

【図表 自然観察会や自然体験教室(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		12.8	11.8	-1.0	↓
年齢	20～29歳	18.1	19.0	0.9	↑
	30～39歳	10.7	10.5	-0.2	↓
	40～49歳	15.4	13.0	-2.4	↓
	50～59歳	16.5	11.9	-4.6	↓
	60～69歳	10.3	9.4	-0.9	↓
	70歳以上	9.1	11.4	2.3	↑
地域	備前県民局	11.7	14.2	2.5	↑
	東備地域事務所	13.3	16.9	3.6	↑
	備中県民局	12.5	8.3	-4.2	↓
	井笠地域事務所	8.9	7.1	-1.8	↓
	高梁地域事務所	6.9	4.3	-2.6	↓
	新見地域事務所	11.5	13.0	1.5	↑
	美作県民局	21.1	14.9	-6.2	↓
	真庭地域事務所	18.4	15.4	-3.0	↓
	勝央地域事務所	15.8	11.4	-4.4	↓

最大値: 最小値:

【図表 環境保全やエコロジー(生態学)をテーマとするツアー(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		3.4	3.2	-0.2	↓
年齢	20～29歳	5.6	2.0	-3.6	↓
	30～39歳	1.0	4.0	3.0	↑
	40～49歳	3.3	2.3	-1.0	↓
	50～59歳	4.7	3.8	-0.9	↓
	60～69歳	2.3	2.8	0.5	↑
	70歳以上	5.0	3.8	-1.2	↓
地域	備前県民局	2.5	3.0	0.5	↑
	東備地域事務所	3.8	2.8	-1.0	↓
	備中県民局	4.2	2.9	-1.3	↓
	井笠地域事務所	2.7	3.1	0.4	↑
	高梁地域事務所	6.9	4.3	-2.6	↓
	新見地域事務所	3.8	0.0	-3.8	↓
	美作県民局	2.2	8.0	5.8	↑
	真庭地域事務所	13.2	3.8	-9.4	↓
	勝央地域事務所	5.3	0.0	-5.3	↓

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 地域住民、学校などからの施設見学の受入れ(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		29.7	24.5	-5.2	↓
業種	建設業	0.0	0.0	0.0	→
	製造業	33.3	32.1	-1.2	↓
	運輸業、郵便業	20.0	30.8	10.8	↑
	卸売業、小売業	22.2	42.9	20.7	↑
	医療、福祉	41.4	30.0	-11.4	↓
	サービス業	30.0	23.1	-6.9	↓
	その他	16.7	0.0	-16.7	↓
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	23.3	14.6	-8.7	↓
	50～99人	43.6	23.4	-20.2	↓
	100～199人	13.6	34.8	21.2	↑
	200～299人	40.0	25.0	-15.0	↓

最大値: 最小値:

《 景観の保全と創造 》

県民調査結果

【図表 まち並みなどの景観(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		23.3	29.2	5.9 ↑	21.6	16.4	-5.2 ↓
年齢	20～29歳	22.2	33.0	10.8 ↑	18.1	17.0	-1.1 ↓
	30～39歳	26.8	26.6	-0.2 ↓	17.6	16.9	-0.7 ↓
	40～49歳	24.1	31.6	7.5 ↑	25.3	15.8	-9.5 ↓
	50～59歳	19.4	29.8	10.4 ↑	21.1	16.2	-4.9 ↓
	60～69歳	23.5	31.1	7.6 ↑	21.9	16.4	-5.5 ↓
	70歳以上	24.5	25.4	0.9 ↑	22.4	16.6	-5.8 ↓
地域	備前県民局	23.4	29.0	5.6 ↑	21.5	16.5	-5.0 ↓
	東備地域事務所	23.6	28.2	4.6 ↑	20.4	22.5	2.1 ↑
	備中県民局	39.6	30.9	-8.7 ↓	14.6	16.1	1.5 ↑
	井笠地域事務所	22.3	28.3	6.0 ↑	24.1	14.2	-9.9 ↓
	高梁地域事務所	20.7	34.8	14.1 ↑	27.6	4.3	-23.3 ↓
	新見地域事務所	19.2	17.4	-1.8 ↓	23.1	26.1	3.0 ↑
	美作県民局	14.4	28.7	14.3 ↑	31.1	18.4	-12.7 ↓
	真庭地域事務所	26.3	34.6	8.3 ↑	15.8	7.7	-8.1 ↓
	勝央地域事務所	23.7	20.0	-3.7 ↓	15.8	17.1	1.3 ↑

最大値: 最小値:

事業所調査結果

【図表 事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		60.9	81.6	20.7 ↑
業種	建設業	30.0	66.7	36.7 ↑
	製造業	66.7	88.7	22.0 ↑
	運輸業、郵便業	40.0	76.9	36.9 ↑
	卸売業、小売業	44.4	78.6	34.2 ↑
	医療、福祉	65.5	65.0	-0.5 ↓
	サービス業	70.0	76.9	6.9 ↑
	その他	66.7	66.7	0.0 →
従業員数	29人以下	42.9	83.3	40.4 ↑
	30～49人	55.8	82.9	27.1 ↑
	50～99人	66.7	74.5	7.8 ↑
	100～199人	59.1	78.3	19.2 ↑
	200～299人	70.0	87.5	17.5 ↑

最大値: 最小値:

《快適な生活環境の保全》

県民調査結果

【図表 落書きがないなど、まちの快適さ(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		22.7	31.1	8.4 ↑	23.0	14.2	-8.8 ↓
年齢	20～29歳	19.4	34.0	14.6 ↑	15.3	12.0	-3.3 ↓
	30～39歳	20.0	30.6	10.6 ↑	25.4	17.7	-7.7 ↓
	40～49歳	17.4	33.0	15.6 ↑	30.3	12.1	-18.2 ↓
	50～59歳	16.5	26.4	9.9 ↑	21.9	17.4	-4.5 ↓
	60～69歳	26.5	31.1	4.6 ↑	22.2	15.7	-6.5 ↓
	70歳以上	33.6	32.4	-1.2 ↓	17.8	11.4	-6.4 ↓
地域	備前県民局	21.3	28.5	7.2 ↑	29.1	18.1	-11.0 ↓
	東備地域事務所	25.4	33.8	8.4 ↑	19.1	15.5	-3.6 ↓
	備中県民局	29.2	31.7	2.5 ↑	8.3	14.3	6.0 ↑
	井笠地域事務所	29.5	36.2	6.7 ↑	10.7	5.5	-5.2 ↓
	高梁地域事務所	20.7	26.1	5.4 ↑	10.3	4.3	-6.0 ↓
	新見地域事務所	23.1	43.5	20.4 ↑	7.7	0.0	-7.7 ↓
	美作県民局	8.9	28.7	19.8 ↑	31.1	13.8	-17.3 ↓
	真庭地域事務所	15.8	30.8	15.0 ↑	28.9	3.8	-25.1 ↓
	勝央地域事務所	26.3	42.9	16.6 ↑	21.1	5.7	-15.4 ↓

最大値: 最小値:

【図表 夜に星が見える状況(属性別)】

項目		向上			後退		
		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		13.0	17.6	4.6 ↑	18.6	16.3	-2.3 ↓
年齢	20～29歳	9.7	17.0	7.3 ↑	20.8	22.0	1.2 ↑
	30～39歳	5.9	9.7	3.8 ↑	19.0	24.2	5.2 ↑
	40～49歳	11.6	11.6	0.0 →	27.8	14.4	-13.4 ↓
	50～59歳	9.7	8.9	-0.8 ↓	14.0	18.7	4.7 ↑
	60～69歳	15.9	21.4	5.5 ↑	17.2	14.2	-3.0 ↓
	70歳以上	21.2	26.8	5.6 ↑	15.8	13.1	-2.7 ↓
地域	備前県民局	11.0	15.4	4.4 ↑	21.8	19.7	-2.1 ↓
	東備地域事務所	12.8	22.5	9.7 ↑	19.3	18.3	-1.0 ↓
	備中県民局	16.7	16.6	-0.1 ↓	10.4	16.1	5.7 ↑
	井笠地域事務所	16.1	18.9	2.8 ↑	14.3	10.2	-4.1 ↓
	高梁地域事務所	10.3	39.1	28.8 ↑	6.9	4.3	-2.6 ↓
	新見地域事務所	19.2	17.4	-1.8 ↓	7.7	0.0	-7.7 ↓
	美作県民局	16.7	19.5	2.8 ↑	15.6	17.2	1.6 ↑
	真庭地域事務所	13.2	11.5	-1.7 ↓	13.2	11.5	-1.7 ↓
	勝央地域事務所	18.4	34.3	15.9 ↑	15.8	0.0	-15.8 ↓

最大値: 最小値:

【図表 地域の美化や落書き消去などのボランティア活動(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		13.0	12.3	-0.7	↓
年齢	20～29歳	9.7	24.0	14.3	↑
	30～39歳	8.8	9.7	0.9	↑
	40～49歳	13.7	10.7	-3.0	↓
	50～59歳	13.6	14.0	0.4	↑
	60～69歳	14.6	11.0	-3.6	↓
	70歳以上	14.1	10.8	-3.3	↓
地域	備前県民局	11.5	12.7	1.2	↑
	東備地域事務所	11.1	11.3	0.2	↑
	備中県民局	14.6	9.4	-5.2	↓
	井笠地域事務所	14.3	14.2	-0.1	↓
	高梁地域事務所	10.3	13.0	2.7	↑
	新見地域事務所	7.7	4.3	-3.4	↓
	美作県民局	22.2	18.4	-3.8	↓
	真庭地域事務所	28.9	11.5	-17.4	↓
	勝央地域事務所	15.8	22.9	7.1	↑

最大値: 最小値:

6 環境と経済が好循環する仕組みづくり

「6 環境と経済が好循環する仕組みづくり」の主要施策と、それらに対応する意識調査の項目は以下のとおりである。

主要施策	評価項目	調査区分	意識調査の項目	設問番号
環境に配慮した事業者の育成・拡大	認識	事業所調査	・環境マネジメントシステムの導入に対する財政的援助(公的融資も含む)	問 21(1)
	取組状況	事業所調査	・環境マネジメントシステム(ISO14001 やエコアクション 21 など)について、貴事業所はどのように取り組まれていますか？	問 10
			・貴事業所での、環境マネジメントシステムはどのような形態ですか？	問 11
			・貴事業所では、認証の取得(独自システムの構築)によりどのような効果がありましたか？	問 12

《環境に配慮した事業者の育成・拡大》

事業所調査結果

【図表 環境マネジメントシステムの導入に対する財政的援助(公的融資も含む)(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		40.7	36.3	-4.4	↓
業種	建設業	47.1	27.3	-19.8	↓
	製造業	31.6	39.4	7.8	↑
	運輸業、郵便業	50.0	38.1	-11.9	↓
	卸売業、小売業	48.3	23.8	-24.5	↓
	医療、福祉	33.3	36.4	3.1	↑
	サービス業	54.5	39.1	-15.4	↓
	その他	33.3	0.0	-33.3	↓
従業員数	29人以下	22.2	21.4	-0.8	↓
	30～49人	44.7	38.9	-5.8	↓
	50～99人	38.9	38.9	0.0	→
	100～199人	36.1	18.5	-17.6	↓
	200～299人	43.8	72.7	29.0	↑

最大値: 最小値:

【図表 認証を取得している(独自のシステムを構築している)(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		20.3	25.6	5.3 ↑
業種	建設業	23.5	18.2	-5.3 ↓
	製造業	43.9	45.5	1.6 ↑
	運輸業、郵便業	18.8	28.6	9.9 ↑
	卸売業、小売業	20.7	28.6	7.9 ↑
	医療、福祉	2.0	0.0	-2.0 ↓
	サービス業	9.1	30.4	21.3 ↑
	その他	27.8	25.0	-2.8 ↓
従業員数	29人以下	0.0	7.1	7.1 ↑
	30～49人	18.8	15.3	-3.5 ↓
	50～99人	18.1	16.7	-1.4 ↓
	100～199人	27.8	37.0	9.2 ↑
	200～299人	25.0	63.6	38.6 ↑

最大値:  最小値: 

【図表 認証を取得する(独自のシステムを構築する)予定であり、現在準備中である(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		2.1	0.9	-1.2 ↓
業種	建設業	17.6	9.1	-8.5 ↓
	製造業	1.8	1.5	-0.3 ↓
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0 →
	卸売業、小売業	0.0	0.0	0.0 →
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0 →
	サービス業	4.5	0.0	-4.5 ↓
	その他	0.0	0.0	0.0 →
従業員数	29人以下	0.0	7.1	7.1 ↑
	30～49人	3.5	1.4	-2.1 ↓
	50～99人	1.4	0.0	-1.4 ↓
	100～199人	2.8	0.0	-2.8 ↓
	200～299人	0.0	0.0	0.0 →

最大値:  最小値: 

【図表 大いに関心があり、現在、情報を収集している(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		0.8	1.3	0.5	↑
業種	建設業	0.0	9.1	9.1	↑
	製造業	1.8	0.0	-1.8	↓
	運輸業、郵便業	0.0	4.8	4.8	↑
	卸売業、小売業	0.0	0.0	0.0	→
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	0.0	0.0	0.0	→
	その他	0.0	0.0	0.0	→
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	1.2	1.4	0.2	↑
	50～99人	1.4	1.4	0.0	→
	100～199人	0.0	3.7	3.7	↑
	200～299人	0.0	0.0	0.0	→

最大値:  最小値: 

【図表 関心はあるが、現時点では特別な対応はしていない(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		38.1	46.6	8.5	↑
業種	建設業	23.5	45.5	22.0	↑
	製造業	31.6	43.9	12.3	↑
	運輸業、郵便業	62.5	38.1	-24.4	↓
	卸売業、小売業	34.5	47.6	13.1	↑
	医療、福祉	43.1	47.7	4.6	↑
	サービス業	45.5	52.2	6.7	↑
	その他	38.9	25.0	-13.9	↓
従業員数	29人以下	38.9	21.4	-17.5	↓
	30～49人	35.3	55.6	20.3	↑
	50～99人	40.3	55.6	15.3	↑
	100～199人	36.1	37.0	0.9	↑
	200～299人	50.0	27.3	-22.7	↓

最大値:  最小値: 

【図表 特に関心はない(認証を取得、独自システムを構築するつもりはない)(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		35.6	20.6	-15.0	↓
業種	建設業	35.3	9.1	-26.2	↓
	製造業	17.5	7.6	-9.9	↓
	運輸業、郵便業	12.5	23.8	11.3	↑
	卸売業、小売業	44.8	9.5	-35.3	↓
	医療、福祉	52.9	50.0	-2.9	↓
	サービス業	36.4	4.3	-32.1	↓
	その他	33.3	50.0	16.7	↑
従業員数	29人以下	50.0	50.0	0.0	→
	30～49人	38.8	20.8	-18.0	↓
	50～99人	36.1	22.2	-13.9	↓
	100～199人	30.6	22.2	-8.4	↓
	200～299人	25.0	9.1	-15.9	↓

最大値: 最小値:

【図表 過去に認証を取得したが、現在は取得していない(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		1.3	2.2	0.9	↑
業種	建設業	0.0	9.1	9.1	↑
	製造業	1.8	1.5	-0.3	↓
	運輸業、郵便業	6.3	4.8	-1.5	↓
	卸売業、小売業	0.0	4.8	4.8	↑
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	0.0	4.3	4.3	↑
	その他	0.0	0.0	0.0	→
従業員数	29人以下	5.6	0.0	-5.6	↓
	30～49人	1.2	1.4	0.2	↑
	50～99人	1.4	4.2	2.8	↑
	100～199人	0.0	0.0	0.0	→
	200～299人	0.0	0.0	0.0	→

最大値: 最小値:

【図表 ISO14001(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		79.2	70.2	-9.0	↓
業種	建設業	75.0	100.0	25.0	↑
	製造業	100.0	90.0	-10.0	↓
	運輸業、郵便業	33.3	16.7	-16.6	↓
	卸売業、小売業	50.0	0.0	-50.0	↓
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	0.0	71.4	71.4	↑
	その他	100.0	100.0	0.0	→
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	68.8	81.8	13.1	↑
	50～99人	76.9	58.3	-18.6	↓
	100～199人	100.0	90.0	-10.0	↓
	200～299人	50.0	85.7	35.7	↑

最大値: 最小値:

【図表 エコアクション21(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		10.4	12.3	1.9	↑
業種	建設業	25.0	0.0	-25.0	↓
	製造業	0.0	6.7	6.7	↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業、小売業	50.0	50.0	0.0	→
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	50.0	14.3	-35.7	↓
	その他	0.0	0.0	0.0	→
従業員数	29人以下	0.0	100.0	100.0	↑
	30～49人	18.8	9.1	-9.7	↓
	50～99人	15.4	8.3	-7.1	↓
	100～199人	0.0	10.0	10.0	↑
	200～299人	0.0	0.0	0.0	→

最大値: 最小値:

【図表 岡山エコ事業所(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体			7.0	新規追加
業種	建設業		0.0	新規追加
	製造業		6.7	新規追加
	運輸業、郵便業		0.0	新規追加
	卸売業、小売業		33.3	新規追加
	医療、福祉		0.0	新規追加
	サービス業		0.0	新規追加
	その他		0.0	新規追加
従業員数	29人以下		0.0	新規追加
	30～49人		0.0	新規追加
	50～99人		8.3	新規追加
	100～199人		10.0	新規追加
	200～299人		0.0	新規追加

最大値: 最小値:

【図表 独自のシステムを構築(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24
全体		2.1	8.8	6.7 ↑
業種	建設業	0.0	0.0	0.0 →
	製造業	0.0	3.3	3.3 ↑
	運輸業、郵便業	0.0	50.0	50.0 ↑
	卸売業、小売業	0.0	16.7	16.7 ↑
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0 →
	サービス業	0.0	0.0	0.0 →
	その他	0.0	0.0	0.0 →
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0 →
	30～49人	0.0	9.1	9.1 ↑
	50～99人	0.0	8.3	8.3 ↑
	100～199人	0.0	0.0	0.0 →
	200～299人	25.0	14.3	-10.7 ↓

最大値: 最小値:

【図表 その他のシステム(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		8.3	7.0	-1.3	↓
業種	建設業	0.0	50.0	50.0	↑
	製造業	0.0	0.0	0.0	→
	運輸業、郵便業	66.7	33.3	-33.4	↓
	卸売業、小売業	0.0	0.0	0.0	→
	医療、福祉	100.0	0.0	-100.0	↓
	サービス業	50.0	14.3	-35.7	↓
	その他	0.0	0.0	0.0	→
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	12.5	9.1	-3.4	↓
	50～99人	7.7	8.3	0.6	↑
	100～199人	0.0	0.0	0.0	→
	200～299人	25.0	0.0	-25.0	↓

最大値: 最小値:

【図表 省資源、省エネルギーなどによりコストの削減につながった(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		45.8	59.6	13.8	↑
業種	建設業	25.0	0.0	-25.0	↓
	製造業	44.0	70.0	26.0	↑
	運輸業、郵便業	66.7	50.0	-16.7	↓
	卸売業、小売業	66.7	66.7	0.0	→
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	50.0	28.6	-21.4	↓
	その他	40.0	100.0	60.0	↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	43.8	54.5	10.8	↑
	50～99人	46.2	50.0	3.8	↑
	100～199人	30.0	90.0	60.0	↑
	200～299人	50.0	28.6	-21.4	↓

最大値: 最小値:

【図表 環境に関する目標管理を徹底するようになり、環境負荷の低減につながった(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		64.6	59.6	-5.0	↓
業種	建設業	75.0	50.0	-25.0	↓
	製造業	52.0	73.3	21.3	↑
	運輸業、郵便業	33.3	83.3	50.0	↑
	卸売業、小売業	66.7	50.0	-16.7	↓
	医療、福祉	100.0	0.0	-100.0	↓
	サービス業	50.0	0.0	-50.0	↓
	その他	80.0	100.0	20.0	↑
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	50.0	63.6	13.6	↑
	50～99人	61.5	41.7	-19.8	↓
	100～199人	50.0	80.0	30.0	↑
	200～299人	50.0	42.9	-7.1	↓

最大値:  最小値: 

【図表 社員の意思統一が図られ、環境への意識の向上につながった(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		68.8	57.9	-10.9	↓
業種	建設業	50.0	100.0	50.0	↑
	製造業	64.0	66.7	2.7	↑
	運輸業、郵便業	100.0	33.3	-66.7	↓
	卸売業、小売業	50.0	50.0	0.0	→
	医療、福祉	100.0	0.0	-100.0	↓
	サービス業	50.0	28.6	-21.4	↓
	その他	60.0	0.0	-60.0	↓
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	50.0	63.6	13.6	↑
	50～99人	84.6	58.3	-26.3	↓
	100～199人	30.0	90.0	60.0	↑
	200～299人	75.0	42.9	-32.1	↓

最大値:  最小値: 

【図表 内部、外部のコミュニケーションが円滑に図られるようになった(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		18.8	15.8	-3.0	↓
業種	建設業	50.0	0.0	-50.0	↓
	製造業	16.0	26.7	10.7	↑
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業、小売業	16.7	16.7	0.0	→
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	0.0	0.0	0.0	→
	その他	40.0	0.0	-40.0	↓
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	25.0	18.2	-6.8	↓
	50～99人	30.8	8.3	-22.5	↓
	100～199人	10.0	30.0	20.0	↑
	200～299人	0.0	14.3	14.3	↑

最大値:  最小値: 

【図表 PR効果も含めて、対外的な信用が向上した(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		33.3	15.8	-17.5	↓
業種	建設業	50.0	50.0	0.0	→
	製造業	20.0	16.7	-3.3	↓
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業、小売業	50.0	16.7	-33.3	↓
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	50.0	14.3	-35.7	↓
	その他	60.0	0.0	-60.0	↓
従業員数	29人以下	0.0	0.0	0.0	→
	30～49人	50.0	9.1	-40.9	↓
	50～99人	30.8	0.0	-30.8	↓
	100～199人	20.0	20.0	0.0	→
	200～299人	25.0	28.6	3.6	↑

最大値:  最小値: 

【図表 認証(構築)に係る手間や費用の割にはメリットがなかった(属性別)】

項目		H24の 構成割合	H28の 構成割合	H28-H24	
全体		27.1	1.8	-25.3	↓
業種	建設業	0.0	0.0	0.0	→
	製造業	12.0	0.0	-12.0	↓
	運輸業、郵便業	0.0	0.0	0.0	→
	卸売業、小売業	33.3	16.7	-16.6	↓
	医療、福祉	0.0	0.0	0.0	→
	サービス業	50.0	0.0	-50.0	↓
	その他	0.0	0.0	0.0	→
従業員数	29人以下	0.0	100.0	100.0	↑
	30～49人	18.8	0.0	-18.8	↓
	50～99人	15.4	0.0	-15.4	↓
	100～199人	10.0	0.0	-10.0	↓
	200～299人	0.0	0.0	0.0	→

最大値:  最小値: 

参 考 资 料

環境に関するアンケート調査(県民版)

ご協力のお願い

日ごろから、県政に対してご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、岡山県では、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現を目指して「新岡山県環境基本計画～エコビジョン2020～」に基づき、県民、事業者、行政それぞれが主体となった取組を進めていますが、社会情勢や環境問題の変化に対応するため、現在その見直しを行っています。

このたびお願いする調査は、同計画の見直しに当たっての基礎的な資料とするため、県民の皆様に関係するお考えやご意見をお伺いするものであり、県内にお住まいの20歳以上の方の中から2,500人を無作為に選ばせていただきました。

この調査には、あなたのお名前を書いていただく必要はありません。また、お答えの内容は、調査目的以外に使用することは絶対にありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の目的をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年5月

岡山県環境文化部環境企画課

ご記入について

- 回答は、宛名の方でなくても、ご家族の方が書かれてもかまいません。

調査票の返送について

- 調査票や返信用封筒には、お名前等を記載していただく必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒により、平成28年5月27日(金)までにポストへ投函してください。(切手は不要です。)

お問い合わせ先

岡山県 環境文化部 環境企画課 施策推進班
700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
電 話 : 086-226-7285

ご協力をお願いします。



岡山県マスコット
うらっち ももっち

環境に関するアンケート 調査票

ご自身のことについて

各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性
(2) 年齢	1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳	4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上
(3) 一緒にお住まいのご家族の人数 (ご自身も含めて)	1. 1 人 2. 2 人 3. 3 人	4. 4 人 5. 5 人 6. 6 人以上
(4) 現在の住所への 居住年数	1. 1 年未満 2. 1～4 年 3. 5～9 年 4. 10～14 年	5. 15～19 年 6. 20～29 年 7. 30～39 年 8. 40 年以上
(5) お住まいの形態	1. 持ち家一戸建 2. 持ち家マンション 3. 借家一戸建	4. 民間賃貸マンション・アパート 5. 市町村営、県営等公営の賃貸住宅 6. その他(具体的に:)
(6) お住まいの市町村	1. 岡山市北区 2. 岡山市中区 3. 岡山市東区 4. 岡山市南区 5. 倉敷市 6. 津山市 7. 玉野市 8. 笠岡市 9. 井原市 10. 総社市 11. 高梁市 12. 新見市 13. 備前市 14. 瀬戸内市 15. 赤磐市	16. 真庭市 17. 美作市 18. 浅口市 19. 和気町 20. 早島町 21. 里庄町 22. 矢掛町 23. 新庄村 24. 鏡野町 25. 勝央町 26. 奈義町 27. 西粟倉村 28. 久米南町 29. 美咲町 30. 吉備中央町

環境に配慮した日常生活の行動について

問2 あなた（及びあなたの家族）は日ごろ、次のような行動をどの程度行っていますか？
各項目について、1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	行 い つ つ も い る	行 つ つ て い る	か な り 行 つ つ て い る	た ま に 行 つ つ て い る	ほ と ん ど 行 わ な い	全 く 行 わ な い
(1) テレビや照明をこまめに消す	1	2	3	4	5	
(2) 長時間使わない電化製品は、コンセントからプラグを抜く	1	2	3	4	5	
(3) クールビズ、ウォームビズの取組により、空調の温度設定を暖房は20℃以下、冷房は28℃以上にする	1	2	3	4	5	
(4) ゴーヤなどの緑のカーテンを育てる	1	2	3	4	5	
(5) マイカーよりも公共交通機関や自転車を利用する	1	2	3	4	5	
(6) ごみは指定された日に出す	1	2	3	4	5	
(7) ビン・カン・ペットボトルは分別しリサイクルに回す	1	2	3	4	5	
(8) 不用品はバザー、フリーマーケットなどで再使用に回す	1	2	3	4	5	
(9) 生ごみは、たい肥化して自家処理する	1	2	3	4	5	
(10) 物は修理し長く使う	1	2	3	4	5	
(11) 紙コップなど使い捨て商品はなるべく使わない	1	2	3	4	5	
(12) 買い物の時にはマイバッグを持参しレジ袋をもらわない	1	2	3	4	5	
(13) 簡易包装や環境にやさしい商品を選んで購入する	1	2	3	4	5	
(14) 県内や地元でとれた農林水産物を選んで購入する	1	2	3	4	5	
(15) アイドリングストップなど <u>エコドライブ</u> ※に心がける	1	2	3	4	5	
(16) ふろの残り湯を洗濯や掃除に使う	1	2	3	4	5	
(17) 料理の残り油や生ごみなどを排水口に流さない	1	2	3	4	5	
(18) 炊事・洗濯の際、洗剤の量に気を付ける	1	2	3	4	5	
(19) 自分が出したごみは持ち帰るなど外出先を汚さない	1	2	3	4	5	
(20) 動植物を飼育する場合には、最後まで責任を持って世話をする	1	2	3	4	5	
(21) 余暇には自然とふれあうように心がける	1	2	3	4	5	
(22) 庭やベランダに花や木を植える	1	2	3	4	5	
(23) 家電製品等を購入する際には、省エネ性能の高いものを選んでいる	1	2	3	4	5	
(24) 地域の清掃・緑化活動に参加する	1	2	3	4	5	
(25) 民間団体や行政が開催する環境保全活動に参加する	1	2	3	4	5	

※エコドライブ：環境に配慮した自動車運転

環境問題に対する考え方について

問3 環境問題に対して、次のような考えや意見があります。
各項目について、あなたの考えや意見に最も近いものはどれですか？
1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	そう 思う	ある 程度 そう 思う	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない
(1) 環境問題は、私たちの身の回りにも影響を及ぼしている	1	2	3	4
(2) 私たちの日常生活も、環境を悪化させている原因の一つだ	1	2	3	4
(3) 環境保全活動には、積極的に参加すべきだ	1	2	3	4
(4) 環境問題を解決する上で、地域の団体や環境保護団体などの民間団体が果たす役割は重要だ	1	2	3	4
(5) 一人ひとりの行動が環境保全に役立つ	1	2	3	4
(6) 環境のことを考え、使い捨ては止めて、再使用やリサイクルを進めるべきだ	1	2	3	4
(7) 大量生産・大量消費・大量廃棄型の生活様式そのものを改めるべきだ	1	2	3	4
(8) 企業も環境保全活動に積極的に取り組むべきだ	1	2	3	4
(9) 消費者が環境に配慮した製品を選んで買うようになれば、企業の環境保全活動も促進される	1	2	3	4
(10) 環境問題の多くは、科学技術の発展によって解決できる	1	2	3	4
(11) 環境保全の取組を進めることは、経済の発展を阻害する	1	2	3	4
(12) 環境問題に対応するための新たな税制度を導入すべきだ	1	2	3	4
(13) 環境に配慮した行動をしない人には、罰則などの法令による規制が行われても仕方がない	1	2	3	4
(14) 県は、環境保全に関する県民の意見をもっと施策に反映させるべきだ	1	2	3	4
(15) 次世代を担う子供たちには、環境保全に関する教育が必要だ	1	2	3	4
(16) 環境に関する情報は、多くの媒体(広報誌やテレビ、ラジオなど)で提供すべきだ	1	2	3	4
(17) <u>再生可能エネルギー</u> *の導入量を増やしていくべきだ	1	2	3	4

※再生可能エネルギー：自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギー。具体的には、太陽光や風力などから発生した熱や電力など

関心のある環境問題について

問4 あなたが、次にあげる環境問題で、関心があるものはどれですか？
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 地球の温暖化
2. オゾン層*の破壊や酸性雨
3. 大陸等からの大気汚染物質 (PM2.5等) の影響
4. 過度の伐採による熱帯林の減少や砂漠化の進行
5. 廃棄物の不法投棄
6. 廃棄物の最終処分場のひっ迫
7. 工場から出る排水・排煙などによる水質・大気・土壌の汚染
8. 工場や自動車、近隣の店舗・住宅からの騒音・振動
9. 有害な化学物質 (ダイオキシン類*など) による環境の汚染
10. 再生可能エネルギーの導入
11. 希少野生動植物の保護と外来種などによる生態系の変化
12. 景観の悪化
13. 建物などへの落書き
14. 食べ物の大量廃棄
15. 海ごみなどの海洋汚染
16. その他 (具体的に: _____)
17. 特に関心事はない

※オゾン層：地上から10～50km上空にあるオゾン(O₃)濃度の高い大気の層。太陽光に含まれる有害な紫外線の大部分を吸収し、地球上の生物を守っている。

※ダイオキシン類：物を燃焼する過程などで副成物として発生する。人に対する発がん性があるとされており、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、排出規制が行われている。

活動すべき主体について

問5 あなたは、環境保全を進めるためには、だれが主に活動すべきと思いますか？
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

- | | |
|---------|------------------------------------|
| 1. 国 | 6. <u>NPO*</u> ・ <u>NGO*</u> ・民間団体 |
| 2. 県 | 7. 町内会・自治会 |
| 3. 市町村 | 8. 家庭・個人 |
| 4. 大企業 | 9. 学校などの教育機関 |
| 5. 中小企業 | 10. その他 (具体的に: _____) |

※NPO (非営利組織)：政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体

※NGO (非政府組織)：政府や行政から独立して公共のために、主に国際的な活動を行う非営利の民間団体

環境と企業活動について

問6 あなたは、環境保全を進めるために、企業にどのようなことを望みますか？
あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 使い捨てにならない長持ちする製品の製造・販売
2. リサイクルしやすい製品の製造・販売
3. 使用済の自社製品の回収
4. 商品の包装の簡素化
5. 省エネルギー設備や再生可能エネルギーを利用した設備の導入
6. 地域の環境保全活動への参加や支援
7. 積極的な公害防止や環境負荷低減の対策
8. 環境保全に取り組む事業所としての認定取得等 (ISO14001※、エコアクション21※、岡山エコ事業所※など)
9. 環境対策・環境保全活動など企業が保有する情報の公開
10. その他 (具体的に：)
11. 特にない

※ISO14001：国際標準化機構(ISO)が定める環境管理の国際規格で、企業や自治体などが環境負荷を減らす仕組みを持っているかどうかを評価し認証する

※エコアクション21：環境省が環境の国際規格「ISO14001」を基にガイドラインをつくり、04年から始まった認証・登録制度で、二酸化炭素や廃棄物の削減、節水など環境負荷の軽減に積極的に取り組む企業や団体などが対象

※岡山エコ事業所：事業者が自らの環境保全に関する取組方針、取組内容、取組実績、将来の目標、環境への負荷の状況等を体系的に取りまとめ、これを定期的に公表、報告するなど、循環型社会の形成のための取組が先進的、かつ、優秀であると県が認定した事業所

環境学習や環境保全活動への参加について

問7 次のような環境保全に関する学習の場や活動がありますが、あなたは、これまでに参加したことがあるものがありますか？あてはまる番号すべてに○をつけてください。

また、「9. 特に参加したことがない」とお答えの方は、参加したことがない理由と今後、機会があれば参加したいと思うかどうかお答えください。

1. 環境保全に関するセミナー、講習会
2. 自然観察会や自然体験教室
3. 環境保全やエコロジー(生態学)をテーマとするツアー
4. 生きもの、ごみなどの環境調査活動
5. 町内会や子ども会など定期的に地域で行う清掃や資源回収などの活動
6. 児島湖流域などでの大規模な清掃活動、クリーンキャンペーン
7. 地域の美化や落書き消去などのボランティア活動
8. その他(具体的に：)
9. 特に参加したことがない(以下の質問にお答えください。)
 - ①その理由を教えてください。
()
 - ②今後、機会があれば参加したいとお考えですか？
 1. 参加したい
 2. できたら参加したい
 3. 参加したいと思わない

問8 あなたは、環境保全活動を行う民間団体、またはその活動に参加することについて、どのようにお考えですか？（参加経験の有無にかかわらずお答えください。）
各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	そう思う	ある程度 そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
(1) 一人の社会人として参加すべきである	1	2	3	4
(2) 環境に関する知識が深まる	1	2	3	4
(3) さまざまな人との交流が深まる	1	2	3	4
(4) 活動の時間を確保するのが難しい	1	2	3	4
(5) 団体に関する情報が不足している	1	2	3	4
(6) 身近に参加可能な団体がない	1	2	3	4
(7) 趣旨に賛同できる団体がない	1	2	3	4
(8) 人間関係が難しい（難しそうだ）	1	2	3	4
(9) 費用をかけてまで参加したくない	1	2	3	4

環境情報について

問9 あなたは、環境に関する情報（環境問題に関する知識や環境配慮のための方法など）について、次あげる方法によって、どの程度入手していますか？
各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	よく 入手する	時々 入手する	あまり 入手しない	全く 入手しない
(1) テレビ・ラジオから	1	2	3	4
(2) 新聞・雑誌から	1	2	3	4
(3) インターネットから	1	2	3	4
(4) 環境イベント、講演会または講座から	1	2	3	4
(5) 県や市町村の広報誌から	1	2	3	4
(6) 企業の広報誌から	1	2	3	4
(7) 環境保全活動の団体などから	1	2	3	4
(8) 地域や職場、学校での活動を通じて	1	2	3	4
(9) 家族、友人・知人などからの口コミで	1	2	3	4

問 10 次にあげる環境問題に関する情報について、あなたはどの程度関心がありますか？
 各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。
 また、「とても関心がある」または「ある程度関心がある」と答えられた方は、得られる情報の量・質にどの程度満足しているかをア～エから選んで、1つに○をつけてください。

項 目	情報への関心度					得られる情報への満足度			
	とても 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない		とても 満足している	ある程度 満足している	あまり 満足していない	全く 満足していない
(1) 環境問題が日常生活に及ぼす影響	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(2) 日常生活が環境に及ぼす影響	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(3) 開発事業が周辺環境に及ぼす影響	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(4) 世界的な環境保全の動き	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(5) 温暖化など地球環境問題の情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(6) 企業の環境保全に対する取組状況	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(7) 企業の事業活動に伴う環境汚染物質、廃棄物などの環境負荷に関する情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(8) 購入する製品・サービスの環境負荷に関する情報	1	2	3	4	1, 2 の場合	ア	イ	ウ	エ
(9) 暮らしの中での環境保全のための工夫や行動	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(10) ごみの処理方法などに関する情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(11) 環境保全に取り組む団体の情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(12) 展示会・講演会・セミナーなどの案内	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(13) 環境問題に対する国や地方公共団体の政策	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(14) 環境問題に対する相談窓口に関する情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(15) 自然とふれあうための施設やイベントについての情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(16) 県内に生息する動植物に関する情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ
(17) 外来生物に関する情報	1	2	3	4		ア	イ	ウ	エ

行政に期待することについて

問 11 一人ひとりの自主的な環境配慮への取組を推進していくためには、行政に対してどのようなことを期待しますか？

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童・生徒等に対する環境教育
2. 社会人に対する環境教育
3. 岡山県地球温暖化防止活動推進員※など環境分野に関する人材の育成
4. 環境情報のデータベース化と迅速な提供
5. 環境配慮の取組方法について定めた行動指針などの策定
6. 成功事例の紹介
7. 個人や団体の優良取組への表彰制度の充実
8. 優良事業者の評価制度の充実
9. 県民、企業、民間団体、行政などのネットワークづくり
10. 環境に優しい製品を示すエコマーク※など環境ラベル※の普及
11. 環境保全活動への助成や税の軽減措置
12. 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を促進するための支援制度の充実等
13. LED照明など省エネルギー設備導入への助成や税の軽減措置
14. 電気自動車など低公害車購入への助成や税の軽減措置
15. 環境関連のイベントなどの開催
16. 県庁などへの相談窓口の設置
17. 局地的大雨など極端な気象やその影響等に関する情報提供
18. その他（具体的に： _____)

※岡山県地球温暖化防止活動推進員：県からの委嘱を受けて、地球温暖化防止に関する情報の提供や助言等を通じて、県内各地域における地球温暖化防止の実践活動を普及啓発する人

※エコマーク：消費者が環境に配慮した商品を選択するときの基準とするため、環境への負荷が少なく、あるいは環境の改善に役立つ環境に優しい製品を示すマーク

※環境ラベル：消費者がより環境負荷の低い製品やサービスを選択するための指標として制定されているマークなどのこと。代表例としては、エコマークなど

岡山県の取組状況について

問 12 岡山県が現在行っている環境に関する以下の施策についてお尋ねします。

それぞれの施策の重要度と県の取組状況の満足度についてあなたの考えや意見に最も近いものはどれですか？

項目ごとに、1～5のうち、重要度、満足度それぞれあてはまる番号1つに○をつけてください。

施 策	重要度 (○は1つ)					満足度 (○は1つ)				
	重要である	やや重要である	ふつう	重要でない	あまり重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	満足でない	あまり満足でない
(1) 新エネルギーの導入促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 省エネルギーの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) フロン類対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 森づくり、都市の緑化推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 酸性雨対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 環境技術協力などの国際貢献	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 循環型社会に向けた意識の改革	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 廃棄物の3R(リデュース、リユース、リサイクル)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 岡山県エコ製品の普及拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 廃棄物の適正処理の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 大気環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 水環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 騒音・振動の防止	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 土壌・地下水汚染対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 有害物質対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 環境放射線の監視	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 自然との調和した開発の指導	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 希少野生動植物の保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 自然とのふれあいの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 水辺環境や里地・里山の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 生物多様性の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 協働による環境保全活動の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 環境学習の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 景観の保全と創造	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 落書き防止・消去、光害防止への配慮	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 環境関連分野の研究開発支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 環境に配慮した事業者の育成・拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 環境影響評価の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

岡山県の将来像について

問 13 岡山県では、2020年度を目標に環境基本計画を策定し、各種施策に取り組んでいます
が、あなたは、2020年頃の県の環境はどのようにあるべきだとお考えですか？
重要と思われる番号に○をつけてください。（○は3つまで）

1. 温暖化など地球環境問題の心配がなくなる
2. ごみの散乱や不法投棄が少なくなる
3. 空気がきれいになる
4. 川や湖、海の水がきれいになる
5. 騒音・振動が少なくなる
6. 森林や公園などの緑が増える
7. 鳥や昆虫、魚、草木などの動植物の生息が保たれている
8. 美しい景観が良好に保たれている
9. 落書きがなくなるなど、まちがきれいで快適になる
10. その他（具体的に：)

環境に関する言葉の認知度

問 14 あなたは、次の環境に関する言葉についてご存知ですか？

各項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	実 際 に 取 り 組 ん だ こ と が あ る	聞 い た こ と が あ り 、 内 容 も よ く 知 っ て い る	聞 い た こ と は あ る が 、 内 容 は 知 ら な い	知 ら な い
(1) アースキーパーメンバーシップ 〔 県民、事業者が地球温暖化防止のため、自ら目標と取組みを登録し一定期間の状況を報告してもらう制度です。登録すると、会員証とステッカーが交付されます。 〕	1	2	3	4
(2) エコドライブ宣言 〔 エコドライブを実践しようという個人の方を募集しています。宣言していただいた方には、エコドライブステッカーを差し上げています。 〕	1	2	3	4
(3) おかやま・もったいない運動 〔 3Rについての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催など、広範なPR活動を展開しています。 〕	1	2	3	4
(4) 岡山県エコ製品 〔 岡山県循環型社会形成推進条例に基づき、循環型社会の形成に資する製品を岡山県エコ製品として認定する制度を創設し、県は、認定した製品については、価格、用途等を考慮の上、優先して使用するよう努めるなどその利用促進を図ることとしています。 〕	1	2	3	4
(5) マイバッグ運動 〔 買い物でマイバッグを持参し、レジ袋や包装を断る運動です。 〕	1	2	3	4
(6) クールビズ・ウォームビズ運動 〔 クールビズは冷房時の室温を28℃にし、ノーネクタイ等軽装を心がける取組。ウォームビズは暖房時の室内温度は20℃以下に調整し、暖房に頼らないライフスタイルを心がける取組を指します。 〕	1	2	3	4
(7) おかやまアダプト 〔 アダプト活動団体に認定された企業や地域住民からなる団体が、美しいまちづくりを目指して、一定区間の道路、河川、海岸で清掃活動を行う事業です。 〕	1	2	3	4
(8) 緑の募金 〔 身のまわりの緑化をはじめとして、森林の整備、国際協力まで幅広い緑化運動を支援するため、春（4月、5月）と秋（10月）のみどりの月間に実施しています。 〕	1	2	3	4

問15 環境問題や県の環境施策に関する、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

環境に関するアンケート調査(事業所版)

ご協力のお願い

日ごろから、県政に対してご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、岡山県では、より良い環境に恵まれた持続可能な社会の実現を目指して「新岡山県環境基本計画～エコビジョン2020～」に基づき、県民、事業者、行政それぞれが主体となった取組を進めていますが、社会情勢や環境問題の変化に対応するため、現在その見直しを行っています。

このたびお願いする調査は、同計画の見直しに当たっての基礎的な資料とするため、事業者の皆様に関することをお考えやご意見をお伺いするものであり、県内の事業所から500事業所を無作為に選ばせていただきました。

この調査には、事業所名や担当者の方のお名前を書いていただく必要はありません。また、お答えの内容は、調査目的以外に使用することは絶対にありません。

お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の目的をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成28年5月

岡山県環境文化部環境企画課

ご記入について

- 貴事業所の単位でお答えください。
- 回答は、環境担当又は総務担当の方をお願いします。
- 平成28年5月1日現在の状況についてご記入ください。

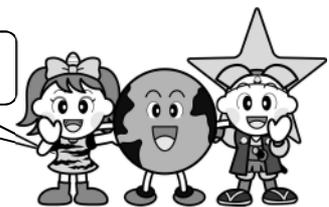
調査票の返送について

- 調査票や返信用封筒には、事業所名等を記載していただく必要はありません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒により、平成28年5月27日（金）までにお送りください。（切手は不要です。）

お問い合わせ先

岡山県 環境文化部 環境企画課 施策推進班
700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
電話：086-226-7285

ご協力をお願いします。



岡山県マスコット
うらっち ももっち

環境に関するアンケート調査(事業所版)

貴事業所について（※事業所の単位で、お答えください。）

各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 本社、支社の別	1. 本社	2. 支社（支店・営業所）
(2) 業種	1. 農林水産業 2. 鉱業、採石業、砂利採取業 3. 建設業 4. 製造業 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 6. 情報通信業 7. 運輸業、郵便業 8. 卸売業、小売業 9. 金融業、保険業 10. 不動産業、物品賃貸業	11. 学術研究、専門・技術サービス業 12. 宿泊業、飲食サービス業 13. 生活関連サービス業、娯楽業 14. 教育・学習支援業 15. 医療、福祉 16. サービス業 17. その他（ ）
(3) 主な形態	1. 店舗・飲食店 2. 事務所・営業所・事業場 3. 工場・作業所・鉱業所 4. 輸送・配送センター、これらの車庫	5. 倉庫・油槽所 6. 病院・診療所・福祉施設 7. 教育施設 8. その他（ ）
(4) 従業員数	1. 29人以下 2. 30～49人 3. 50～99人 4. 100～199人	5. 200～299人 6. 300～499人 7. 500～999人 8. 1,000人以上

注) 兼業の場合は、売上の割合が最も高いものをお答えください。

注) 複数あてはまる場合は、売上の割合が最も大きいものをお答えください。

注) 従業員数は、パートやアルバイトなどの臨時職員の人数を含めた人数でお答えください。

問4 問2で、「3. 将来検討したい」または「4. 検討する予定はない」とお答えの方にお聞きします。

貴事業所にとって、どのような条件が整えば、現在より積極的に環境保全対策を進めることができますか？

あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 商品やサービスが環境面から選別されるなど、消費者のニーズが変化すること
2. 環境保全のための世論が高まること
3. 環境保全に関する規制が設定もしくは強化されること
4. 環境保全対策が税制や金融面で優遇されること
5. 環境保全対策が企業のPRやイメージアップにつながり、企業メリットとなること
6. 環境保全対策の導入に伴う費用や労力が低減されること
7. 環境保全対策技術の研究・開発の支援が充実されること
8. その他(具体的に：)
9. 特になし

問5 貴事業所では、環境保全に配慮するための部署などがありますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 専任の部署を設置している
2. 専任の部署は設置していないが、専任の担当者を置いている
3. 専任の部署は設置していないが、兼任の担当者を置いている
4. 近々設置する予定である
5. 専任、兼任に係らず、設置する予定はない

問6 貴事業所では、従業員に対してどのような形で環境教育を行っていますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 定期的に環境教育を行っている
2. 定期的ではないが、環境教育を行っている
3. 従業員の希望に応じて、環境教育を行っている
4. 従業員に対する環境教育は行っていない
5. その他(具体的に：)

問7 環境保全への取組と事業収益との関係について、どのようにお考えですか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 環境保全は事業収益にも有効である
2. 事業収益を多少犠牲にしても、長期的な視野により環境保全を優先させる
3. 環境保全は重要ではあるが、事業収益に影響が出ない範囲で取り組む
4. 環境保全は事業収益を悪化させるため、取り組む考えはない
5. 環境保全と事業収益とは関係がない
6. わからない
7. その他(具体的に：)

問 10-1 問 10 で、「5. 特に関心はない」または「6. 過去に認証を取得したが、現在は取得していない」とお答えの方にお聞きします。
その理由を教えてください。

問 11 問 10 で「1. 認証を取得している（独自のシステムを構築している）」に○をつけた事業所の方にお聞きします。
貴事業所での、環境マネジメントシステムはどのような形態ですか？
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ISO14001	4. 独自のシステムを構築
2. エコアクション21	5. その他のシステム
3. 岡山エコ事業所	(名称:)

問 12 問 10 で「1. 認証を取得している（独自のシステムを構築している）」に○をつけた事業所の方にお聞きします。
貴事業所では、認証の取得（独自システムの構築）によりどのような効果がありましたか？
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 省資源、省エネルギーなどによりコストの削減につながった
2. 環境に関する目標管理を徹底するようになり、環境負荷の低減につながった
3. 社員の意思統一が図られ、環境への意識の向上につながった
4. 内部、外部のコミュニケーションが円滑に図られるようになった
5. PR効果も含めて、対外的な信用が向上した
6. 認証（構築）に係る手間や費用の割にはメリットがなかった
7. その他

（具体的に： _____）

問 13 貴事業所では、次にあげる環境への配慮に関する項目について、1～5のどれにあてはまりますか？

1～5のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	目標を持って 実施している	目標はないが方針を 持って実施している	目標や方針はないが 実施している	今後実施する予定がある	実施する予定はない
(1) クールビズ、ウォームビズの取組 (暖房20℃以下、冷房28℃に設定など)	1	2	3	4	5
(2) ライトダウンへの参加	1	2	3	4	5
(3) 節電、節水などの省エネ推進	1	2	3	4	5
(4) 省エネ診断の実施	1	2	3	4	5
(5) 省エネ機器・設備の導入	1	2	3	4	5
(6) <u>E S C O</u> *事業の導入	1	2	3	4	5
(7) 環境保全のための技術開発	1	2	3	4	5
(8) フロン類の使用抑制・全廃・回収など排出抑制	1	2	3	4	5
(9) <u>低公害車</u> *の導入など自動車公害対策の取組	1	2	3	4	5
(10) 電気自動車の導入	1	2	3	4	5
(11) 電気自動車充電器（一般開放用）の設置	1	2	3	4	5
(12) 輸送の大規模化など物流システムの見直し	1	2	3	4	5
(13) 事業所間での熱の相互利用	1	2	3	4	5
(14) 太陽光発電の導入	1	2	3	4	5
(15) 小水力発電の導入	1	2	3	4	5
(16) 風力発電の導入	1	2	3	4	5
(17) ソーラーシステム（太陽熱温水器）の導入	1	2	3	4	5
(18) バイオマスエネルギーの導入	1	2	3	4	5
(19) バイオディーゼル燃料（BDF）の導入	1	2	3	4	5
(20) 事業所内の緑化の推進	1	2	3	4	5
(21) 廃棄物の排出抑制	1	2	3	4	5
(22) 廃棄物、古紙などのリサイクルの推進	1	2	3	4	5
(23) 包装、梱包の減量化	1	2	3	4	5

項目	目標を持って 実施している	目標はないが方針を 持って実施している	目標や方針はないが 実施している	今後実施する予定がある	実施する予定はない
(24) ISO14001やエコアクション21、岡山エコ事業所などの認証等の取得	1	2	3	4	5
(25) <u>グリーン購入</u> ※の実施や再生紙・再生品の使用	1	2	3	4	5
(26) 環境保全型商品、エコマーク商品などの開発、製造、販売	1	2	3	4	5
(27) 環境負荷を低減させるための製造工程の変更	1	2	3	4	5
(28) <u>ライフサイクルアセスメント</u> ※の実施	1	2	3	4	5
(29) 自社製品などについての環境関連情報の提供	1	2	3	4	5
(30) 取引先選定に当たって相手の環境配慮に係る評価	1	2	3	4	5
(31) <u>環境報告書</u> ※の作成・公表	1	2	3	4	5
(32) <u>環境会計</u> ※の導入	1	2	3	4	5
(33) 騒音、振動、悪臭の低減	1	2	3	4	5
(34) 窒素酸化物などの大気汚染物質および、有機物などの水質汚濁物質の排出抑制	1	2	3	4	5
(35) 有害化学物質(農薬などを含む)の使用削減または使用回避	1	2	3	4	5
(36) 事業場が周辺に及ぼす環境影響の把握	1	2	3	4	5
(37) (36)で把握した結果の公表	1	2	3	4	5
(38) 省エネルギーや環境保全に関する従業員研修	1	2	3	4	5

※E S C O : Energy Service Company の略称で、ビルや工場の省エネ化に必要な、技術・設備・人材・資金などすべてを包括的に提供するサービス。省エネ効果をE S C O事業者が保証するとともに、省エネルギー改修に要した投資・金利返済・E S C Oの経費などは、すべて省エネルギーによる経費削減分でまかなわれるため、導入企業などの新たな経済的負担がなく、契約期間終了後の経費削減分はすべて顧客の利益となる。

※低公害車：電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、メタノール自動車及び低排出ガス認定車

※グリーン購入：環境への負荷が少ない製品やサービスを優先的に購入すること

※ライフサイクルアセスメント：製品の生産から消費、廃棄に至るすべての段階において、その製品が環境へ与える負荷を総合的に評価する手法のこと

※環境報告書：企業など事業者が環境保全・負荷軽減への考え方や目標、活動などについて自ら外部に対し情報を公表するもの

※環境会計：企業活動のうち、これまで財務分析の中に反映されにくかった環境保全に関する投資や経費とその効果を定量的に金額で把握するための仕組み

問 14 問 13 にあげた項目のうち、現在実施していない項目について、実施していない主な要因は何だと思いますか？

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. コストがかかるため | |
| 2. 手間、時間、労力がかかるため | |
| 3. 場所、敷地が確保できないため | |
| 4. 実施したときの事業活動への効果が不明なため | |
| 5. 実施したときの環境への効果が不明なため | |
| 6. 協力してくれる企業が見つからないため | |
| 7. 消費者の理解が得られないため | |
| 8. 取組方法が分からないため | |
| 9. 環境保全に関する情報がないため | |
| 10. 経営方針に環境保全に対する考え方が記されていないため | |
| 11. 事業内容に関係がないため | |
| 12. その他（具体的に： _____） | |

問 15 環境保全を進めるためには、だれが主に活動すべきと思いますか？

あてはまる番号に○をつけてください。（○は3つまで）

- | | |
|---------|------------------------------------|
| 1. 国 | 6. <u>NPO</u> *・ <u>NGO</u> *・民間団体 |
| 2. 県 | 7. 町内会・自治会 |
| 3. 市町村 | 8. 家庭・個人 |
| 4. 大企業 | 9. 学校などの教育機関 |
| 5. 中小企業 | 10. その他（具体的に： _____） |

※NPO（非営利組織）：政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体

※NGO（非政府組織）：政府や行政から独立して公共のために、主に国際的な活動を行う非営利の民間団体

問 16 貴事業所では、事業所の立地地域周辺で次の問 17 にあがるような環境に関する社会貢献活動を行っていますか？
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 行っている	→ 問17へ
2. 検討している] 問 18 へ
3. 行っていない	

問 17 問 16 において「1. 行っている」とお答えの事業所の方にお聞きします。
貴事業所はどのような社会貢献活動を実施していますか？
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 事業所の敷地内、または周辺の緑化
2. 事業所の周辺の清掃活動の実施、または活動への参加
3. 環境に関する地域のイベントなどへの参加、出展
4. 環境に関するボランティア活動への従業員の参加
5. 環境に関する地域活動、または市民団体（NPO、NGO、自治会など）への支援・寄付
6. 地域住民、学校などからの施設見学の受入れ
7. 自家用車以外での通勤の奨励（公共交通機関、自転車の利用）
8. リサイクルなどの資源回収活動の支援
9. 植林や森林保全事業の実施または協力
10. <u>緑の募金</u> ※への協力
11. その他（具体的に： _____)

※緑の募金：身近な地域や国内外の森づくりなどに使用する目的で集められている募金

問 18 環境保全に関する企業の取組を対外的にPRする場があれば参加したいですか？
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 経費負担があっても参加したい	4. 参加しない
2. 経費負担がなければ参加したい	5. わからない
3. 今後検討したい	

問 19 環境ビジネス※は、貴事業所の今後の経営にとって重要なものになるとお考えですか？
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とても重要になる] →問 20 へ	3. あまり重要にならない] →問 21 へ
2. ある程度重要になる		4. 全く関係ない	

※環境ビジネス：環境保全に資する技術、製品、サービスなどを提供するビジネス

問 20 問 19 で「1. とても重要になる」または「2. ある程度重要になる」とお答えの事業所の方にお聞きします。

今後、貴事業所での環境ビジネスの進展のために行政にどのようなことを望みますか？
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 環境ビジネスに関する情報の提供
2. 行政による環境ビジネスに関する相談窓口の設置
3. 取扱業務の規制や環境規制などの緩和
4. 規制強化も含めた新たな市場づくり
5. 税制面での優遇措置
6. 低利融資などの融資制度の拡充
7. 消費者・ユーザの意識向上のための啓発活動
8. 環境ビジネスのためのネットワークづくり
9. その他（具体的に：)

問 21 貴事業所の自主的な環境保全への取組を推進していくために、行政にどのようなことを期待しますか？

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 環境マネジメントシステムの導入等に対する支援・補助(公的融資も含む)
2. 企業、行政、民間団体、住民などのパートナーシップのためのネットワークづくり
3. 環境白書などによる情報の提供
4. 優良企業などの表彰
5. 環境保全への取組や環境管理を適切に行っている企業へのロゴマークの付与
6. 各種環境規制を分かりやすく記したガイドブックの作成や今後の動向に関する情報提供
7. 他の会社や業種の取組及び動向などに関する情報提供
8. 環境ビジネスの成功事例の紹介
9. 環境規制の緩和
10. 環境に優しい製品を示したエコマークなど環境ラベルの普及
11. 廃棄物の排出抑制と循環的な利用（ゼロエミッション）の周知
12. 環境問題に対する意識向上のための教育
13. 環境分野に関する人材の育成
14. 地球温暖化対策などに関する情報提供・相談窓口の設置
15. ワークショップやセミナーの開催
16. 省エネ機器・設備導入への支援・補助
17. 環境保全に関する企業の取組についての、地域住民への広報
18. その他（具体的に：)

問 22 岡山県では環境基本計画を策定し、2020年度を目途に各種施策に取り組んでいます。
2020年頃の県の環境はどのようにあるべきだとお考えですか？
重要と思われる番号に○をつけてください。（○は3つまで）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 温暖化など地球環境問題の心配がなくなる2. ごみの散乱や不法投棄が少なくなる3. 空気がきれいになる4. 川や湖、海の水がきれいになる5. 騒音・振動が少なくなる6. 森林や公園などの緑が増える7. 鳥や昆虫、魚、草木などの動植物の生息が保たれている8. 美しい景観が良好に保たれている9. 落書きがなくなるなど、まちがきれいで快適になる10. その他（具体的に：) |
|---|

問 23 岡山県が進めている様々な取組のうち、次にあげる項目について、1～4のうち、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	実際に取り組んだことがある	聞いたことがあり、内容もよく知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
(1) アースキーパーメンバーシップ 〔地球温暖化を防ぐために、地球にやさしい生活に取り組む人たちを、地球(アース)を守る人(キーパー)として会員登録する制度〕	1	2	3	4
(2) エコドライブ宣言 〔エコドライブ(環境に配慮した自動車運転)を実践する人を、「エコドライブ宣言者」として登録する制度、団体でも申し込める〕	1	2	3	4
(3) 岡山県エコ製品・エコ事業所 〔循環型社会の形成に資する製品を岡山県エコ製品として認定し、優先して使用するよう努めるなどその利用促進を図ることとしています。エコ事業所とは循環型社会の形成のための取組が先進的、かつ、優秀であると県が認定した事業所〕	1	2	3	4
(4) クールビズ・ウォームビズ運動 〔クールビズは冷房時の室温を28℃にし、ノーネクタイ等軽装を心がける取組。ウォームビズは暖房時の室内温度は20℃以下に調整し、暖房に頼らないライフスタイルを心がける取組を指します。〕	1	2	3	4
(5) おかやまアダプト 〔アダプト活動団体に認定された企業や地域住民からなる団体が、美しいまちづくりを目指して、一定区間の道路、河川、海岸で清掃活動を行う事業〕	1	2	3	4
(6) 循環資源マッチングシステム 〔循環資源を提供する事業者と利用する事業者をマッチング(あっせん)することにより、循環資源を有効に活用し、循環型社会の形成を推進する制度〕	1	2	3	4
(7) 電子マニフェスト 〔インターネットを利用した産業廃棄物管理票のこと〕	1	2	3	4

問 24 事業活動を行う上で、法律や条例による環境規制についてどのようにお考えですか？
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 多少の収益は犠牲にしても、環境規制は強化すべきである
2. 収益に影響のない範囲内で、環境規制を設けるべきである
3. 事業活動の抑制につながる環境規制は緩和すべきである
4. その他（具体的に： _____)

問 25 環境問題や県の環境施策に関する、ご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

名 称 環境に関する県民等意識調査報告書
発 行 岡山県環境文化部 環境企画課 施策推進班
所 在 地 〒700-8570 岡山市北区内山下 2-4-6
電 話 086-226-7285
FAX 086-233-7677
発行年月 平成 28 年 7 月